2025年度　　科目コード： 211003

細胞･動物実験法

開講学科	歯学専攻			開講年次	1 年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	小野　堅太郎						
担当教員	大学院研究科長,小野　堅太郎,山﨑　亮太,竹内　弘,吉野　賢一,有吉　渉,瀬田　祐司,矢田　直美,松原　琢磨,豊野　孝,中富　千尋						

授業の概要
細胞実験と動物実験の基礎について教授する。

学生の到達目標
細胞・動物を用いた基礎研究の概略を理解し、理論に基づいた実験を実際に遂行できるようになる。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
Moodleオンライン試験	66%
講義動画アンケート	34%

その他

授業内容に関する質問は受講者・教員で共有したほうが良いため、Class-wide questionsとしてTeams内の特定チャネルへ投稿してください。その際は、指定の教員を@でメンションしてください。成績などの個人的な質問は、各講義動画の教員ではなく、Private questionとして科目責任者に対してTeamsチャットで連絡してください。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	培養	講義	山﨑　亮太 竹内　弘	細菌学実験・細菌培養、細胞の培養法	Moodle
2	微生物検査	講義	山﨑　亮太 有吉　渉	生菌数測定と薬剤試験、常在菌検査	Moodle
3	実験用小動物	講義	小野　堅太郎 吉野　賢一	実験動物の飼育管理、マウスの解剖、実験動物麻酔法	Moodle
4	組織固定と摘出	講義	瀬田　祐司	組織固定法、灌流固定とサンプル摘出	Moodle
5	組織切片作製	講義	矢田　直美 瀬田　祐司	パラフィン包埋ブロックの薄切とHE染色、凍結切片作製	Moodle
6	顕微鏡について	講義	瀬田　祐司 小野　堅太郎 吉野　賢一	光学顕微鏡の使い方、電子顕微鏡	Moodle

2025年度　　科目コード： 211003

細胞･動物実験法

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1 年	**開講期**	前期
必修/選択	必修	**授業方法**	講義	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	小野　堅太郎						
担当教員	大学院研究科長,小野　堅太郎,山﨑　亮太,竹内　弘,吉野　賢一,有吉　渉,瀬田　祐司,矢田　直美,松原　琢磨,豊野　孝,中富　千尋						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
7	抗体を用いた実験法	講義	瀬田　祐司 有吉　渉	免疫染色法、ELISA法・ウエスタンブロット法	Moodle
8	分子生物学実験	講義	松原　琢磨 豊野　孝	RT-PCRと電気泳動、定量的PCR法、プロモーター解析・ゲルシフト解析法	Moodle
9	遺伝子組み換え	講義	松原　琢磨	微生物遺伝子組み換え、遺伝子組み換え	Moodle
10	疾患モデル動物	講義	松原　琢磨 小野　堅太郎	全身疾患モデル作製、歯科疾患モデル作製	Moodle
11	細胞生理学	講義	小野　堅太郎	プライマリー細胞単離、イオンイメージング法、パッチクランプ法	Moodle
12	薬物投与	講義	小野　堅太郎	経口ゾンデ投与法、腹腔内投与、静脈内投与	Moodle
13	採血と疼痛評価	講義	小野　堅太郎 中富　千尋	実験動物採血法、疼痛関連行動の評価法	Moodle
14	一般的な行動評価法	講義	中富　千尋	不安関連行動の評価法、条件付け味覚嫌悪	Moodle
15	光・化学遺伝学	講義	中富　千尋	光遺伝学、化学遺伝学	Moodle

2025年度　　科目コード： 211004

ヒト研究･統計解析

開講学科	歯学専攻			開講年次	1 年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	小野　堅太郎						
担当教員	大学院研究科長,小野　堅太郎,安細　敏弘,正木　千尋,中富　千尋,小野　堅太郎,小田　昌史,鬼塚						

授業の概要

臨床研究と統計解析の基礎について教授する。また、学術修辞についても教授する。

学生の到達目標

ヒトを対象とした調査・アンケート・サンプル採取の注意点を把握し、臨床研究を実際に遂行できるようになる。得られた実験結果に適切な統計解析を適用できるようになる。学術修辞を通じて適切に学術論文が作成できるようになる。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
Moodleオンライン試験	61%
講義動画アンケート	39%

その他

授業内容に関する質問は受講者・教員で共有したほうが良いため、Class-wide questionsとしてTeams内の特定チャネルへ投稿してください。その際は、指定の教員を@でメンションしてください。成績などの個人的な質問は、各講義動画の教員ではなく、Private questionとして科目責任者に対してTeamsチャットで連絡してください。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	臨床研究の種類	講義	安細　敏弘 正木　千尋	フィールド調査のフローとプロトコル、介入研究、症例報告	Moodle
2	データの収集	講義	正木　千尋 安細　敏弘	診査法、臨床サンプルと臨床研究のすすめ方、口腔診査法の基本	Moodle
3	アンケートとデータ管理	講義	安細　敏弘 中富　千尋	質問紙調査すすめ方、心理・官能試験、データ管理とセキュリティ	Moodle
4	ヒト細菌検査	講義	有吉　渉	細菌学的検査、フローラ・メタゲノム解析、フローラ解析結果の評価	Moodle

2025年度　　科目コード： 211004

ヒト研究･統計解析

開講学科	歯学専攻			開講年次	1 年	開講期	前期
必修/選択	必修	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	小野　堅太郎						
担当教員	大学院研究科長,小野　堅太郎,安細　敏弘,正木　千尋,中富　千尋,小野　堅太郎,小田　昌史,鬼塚						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
5	画像診断	講義	小田　昌史	シアログラフィー、コンピュータ断層撮影、機能的核磁気共鳴画像法	Moodle
6	統計解析Ⅰ	講義	小野　堅太郎	統計仮説、標本分布、第一種過誤と第二種過誤	Moodle
7	統計解析Ⅱ	講義	小野　堅太郎	一標本検定、二標本検定、多標本検定	Moodle
8	統計解析Ⅲ	講義	小野　堅太郎	比率検定、棒グラフ	Moodle
9	統計解析Ⅳ	講義	小野　堅太郎	相関分析、回帰分析	Moodle
10	統計解析Ⅴ	講義	安細　敏弘	フィッシャー統計とベイズ統計、メタアナリシスとシステマティックレビュー	Moodle
11	統計解析Ⅵ	講義	鬼塚　理	クラスター解析、GO解析、ハプロタイプ	Moodle
12	学術修辞Ⅰ	講義	安細　敏弘	論文作成の目的、論文を書くにあたって、論文の構造	Moodle
13	学術修辞Ⅱ	講義	安細　敏弘	論文のコンテンツ、図表作成のポイント	Moodle
14	学術修辞Ⅲ	講義	安細　敏弘	文献管理、投稿先の選定	Moodle
15	学術修辞Ⅳ	講義	安細　敏弘	オーサーシップと出版倫理、査読結果への対応	Moodle

2025年度　　科目コード： 211011

生体材料学演習Ⅰ(ベーシックコース)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～3 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	池田　弘						
担当教員	池田　弘,永松　有紀						

授業の概要

「歯科用有機材料」、「歯科用金属材料」、「歯科用無機材料」について研究を行うための基礎的知識、操作法ならびに材料試験法について学ぶ。床用レジン、コンポジットレジン、金合金、チタン合金、ポーセレン、オールセラミックスについて、大学院生の研究テーマに即した知識および技能を教授する。

学生の到達目標

１．歯科用レジンをはじめとする有機材料についての知識および操作法を習得し、実践できる。２．金合金をはじめとする金属材料についての知識および合金に適した鋳造法を習得し、実践できる。３．審美性を兼ね備えたポーセレン・オールセラミックスについての知識・技能を習得し、実践できる。４．材料試験方法についての知識およびそれらの操作法を習得し、実践できる。５．曲げ試験用の試料作製法、試験方法を習得し、実践できる。６．圧縮試験用の試料作製法、試験方法を習得し、実践できる。７．接着試験用の試料作製法、試験方法を習得し、実践できる。８．各種合金に適した鋳造機の使用方法、鋳造法を習得し、実践できる。９．電子顕微鏡による成分分析に必要な知識、操作法を習得し、実践できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
B	歯科材料と歯科医療機器/歯科用材料と歯科用機器に必要な知識を修得し、医療の提供や発展に必要な考え方を身に付ける。
B-1-1	材料(生体組織を含む)の物理的(光学的、機械的性質を含む)性質を理解している。
B-1-2	材料の化学的性質を理解している。
B-1-3	材料の生物学的性質(生体活性、安全性)を理解している。
B-2-1	成形修復・歯冠修復用材料の種類、成分、特性、用途及び操作方法を理解している。
B-2-2	義歯用材料の種類、成分、特性、用途及び操作方法を理解している。
B-2-3	接着用材料の種類、成分、特性、用途及び操作方法を理解している。
B-2-4	歯科矯正用材料の種類、成分、特性、用途及び操作方法を理解している。
B-2-5	歯内療法用材料の種類、成分、特性、用途及び操作方法を理解している。
B-2-6	口腔インプラント、口腔外科、歯周治療用材料の種類、成分、特性、用途及び操作方法を理解している。
B-3-1	歯科用材料の成形、加工(切削、焼結、重合、鋳造、溶着等)の原理を理解している。
B-3-2	歯科用機器の種類、構成、原理、特性及び使用方法を理解している。
B-3-3	歯科用検査装置の種類、構成、原理、特性及び使用方法を理解している。
B-3-4	成形・加工用機器(デジタル成形加工を含む)の種類、構成、原理、特性及び使用方法を理解している。

参考書

タイトル	著者	出版社
関連分野の文献および参考書は各自必要なものを利用する。		

2025年度　　科目コード： 211011

生体材料学演習Ⅰ(ベーシックコース)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～3 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	池田　弘						
担当教員	池田　弘,永松　有紀						

成績評価方法・基準

評価項目	割合
発表内容	100%

その他

池田：オフィスアワー　月～金　　12:00～13:00、16:30～18:00 永松：オフィスアワー　月・水・木・金　12:00～13:00、16:30～18:00

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	オリエンテーション 関係論文の探索法および使用する実験器具・装置の種類を学ぶ。関連する先端材料を学ぶ。	講義	池田　弘 永松　有紀	講義の復習（無機材料、有機材料、金属材料）	その他
2	印象材 各種歯科用印象材についての情報を得るとともにそれらの有効な操作法を学ぶ。関連する先端材料を学ぶ。	講義	池田　弘 永松　有紀	講義の復習（非弾性印象材・弾性印象材の分類）	その他
3	床用レジン 各種義歯床用レジンについての情報を得るとともにそれらの有効な操作法を学ぶ。関連する先端材料を学ぶ。	講義	池田　弘 永松　有紀	講義の復習（加熱重合型、常温重合型レジン）	その他
4	コンポジットレジン 各種コンポジットレジンについての情報を得るとともに化学重合あるいは可視光線重合法を学ぶ。関連する先端材料を学ぶ。	講義	池田　弘 永松　有紀	講義の復習（レジンモノマーとフィラーの分類）	その他
5	歯科用貴金属 合金各種歯科用貴金属合金についての情報を得るとともに鋳造法および熱処理法を学ぶ。関連する先端材料を学ぶ。	講義	池田　弘 永松　有紀	講義の復習（金合金、銀合金、金銀パラジウム合金）	その他
6	歯科用非貴金属合金各種歯科用貴金属合金についての情報を得るとともに鋳造法および熱処理法を学ぶ。関連する先端材料を学ぶ。	講義	池田　弘 永松　有紀	講義の復習（Co-Cr合金、Ni-Cr合金、ステンレス鋼）	その他

2025年度　　科目コード： 211011

生体材料学演習Ⅰ(ベーシックコース)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～3 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	池田　弘						
担当教員	池田　弘,永松　有紀						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
7	歯科用ポーセレン 各種歯科用ポーセレンについての情報を得るとともに築盛法および焼成法を学ぶ。関連する先端材料を学ぶ。	講義	池田　弘 永松　有紀	講義の復習（アルミナスポーセレンと金属焼付ポーセレン）	その他
8	歯科用オールセラミックス 各種歯科用オールセラミックスの情報を得るとともに製作法を学ぶ。関連する先端材料を学ぶ。	講義	池田　弘 永松　有紀	講義の復習（CAD/CAMの変遷）	その他
9	印象材の弾性ひずみ・永久ひずみ 最新のISOに準拠したひずみ試験用試験片の作製法および各試験法を学ぶ。	演習	池田　弘 永松　有紀	演習の復習（JIST6512に準拠）	その他
10	歯科用レジンの曲げ強さ 最新のISOに準拠した曲げ試験用試験片の作製法および試験法を学ぶ。	演習	池田　弘 永松　有紀	演習の復習（JIST6508に準拠）	その他
11	コンポジットレジンの接着強さ 最新のISOに準拠した試験片の作製法および試験法を学ぶ。	演習	池田　弘 永松　有紀	演習の復習（引張試験ならびにせん断試験）	その他
12	ワックスパターンの作製１金合金鋳造用ワックスパターンの作製法および遠心鋳造法を学ぶ。	演習	池田　弘 永松　有紀	演習の復習（鋳造体の適合性の検討）	その他
13	ワックスパターンの作製２ チタン合金鋳造用ワックスパターンの作製法およびアルゴンアーク鋳造法を学ぶ。関連する先端材料について学ぶ。	演習	池田　弘 永松　有紀	演習の復習（鋳造体の寸法精度の検討）	その他
14	ポーセレン・オールセラミックス ISOに準拠した圧縮試験用試験片の作製法および試験法を学ぶ。	演習	池田　弘 永松　有紀	演習の復習（オールセラミック材料の圧縮強さの検討）	その他
15	報告会講義・演習内容の総括を行うとともにプレゼンテーションの手法を学ぶ。	演習	池田　弘 永松　有紀	プレゼンテーションの準備	その他

2025年度　　科目コード： 211012

生体材料学演習 II (アドバンスコース)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	2〜3 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	演習	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	池田　弘						
担当教員	池田　弘,永松　有紀						

授業の概要

作業用模型の寸法精度・表面性状は、最終的に義歯床・鋳造物の適合性や表面に大きく影響する。模型は、印象採得時・模型作製時の使用材料の材質・材料の配合比・練和時間・温度・印象の消毒方法・印象材と模型材の組み合わせ等の諸条件により諸物性に影響を受ける。模型への種々の影響が起こり易いハイドロコロイド印象材について、印象採得時ならびに模型材注入までの保管方法等による模型の諸物性への影響について学ぶ。臨床で起こりうる諸条件を想定し、各条件下で作製した模型の寸法精度・表面性状・形態変化等を各測定装置により測定し、それらの結果について統計学的に検討する。

学生の到達目標

1.各種印象材・模型材の相違点、類似点を再確認するとともに、最新の材料についての知識を収集し、レベルアップすることができる。2.臨床を想定し、印象採得および模型製作時に起こりうる諸条件を検討し、具体的な実験条件を詳細に設定するとともに、分析に必要となる測定機器の原理・使用方法を理解できる。3.本実験に先立ち予備実験を行い、試験片および測定条件の再検討・機器の使用方法の習得し、実践できる。4.本実験により得られたデータについてオフィスソフトを用いて表計算を行い、グラフ化するとともに、実験結果をより効果的にプレゼンテーションする方法を身につけ実践できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
B	歯科材料と歯科医療機器/歯科用材料と歯科用機器に必要な知識を修得し、医療の提供や発展に必要な考え方を身に付ける。
B-1-1	材料(生体組織を含む)の物理的(光学的、機械的性質を含む)性質を理解している。
B-1-2	材料の化学的性質を理解している。
B-1-3	材料の生物学的性質(生体活性、安全性)を理解している。
B-2-1	成形修復・歯冠修復用材料の種類、成分、特性、用途及び操作方法を理解している。
B-2-2	義歯用材料の種類、成分、特性、用途及び操作方法を理解している。
B-2-3	接着用材料の種類、成分、特性、用途及び操作方法を理解している。
B-2-4	歯科矯正用材料の種類、成分、特性、用途及び操作方法を理解している。
B-2-5	歯内療法用材料の種類、成分、特性、用途及び操作方法を理解している。
B-2-6	口腔インプラント、口腔外科、歯周治療用材料の種類、成分、特性、用途及び操作方法を理解している。
B-3-1	歯科用材料の成形、加工(切削、焼結、重合、鋳造、溶着等)の原理を理解している。
B-3-2	歯科用機器の種類、構成、原理、特性及び使用方法を理解している。
B-3-3	歯科用検査装置の種類、構成、原理、特性及び使用方法を理解している。
B-3-4	成形・加工用機器(デジタル成形加工を含む)の種類、構成、原理、特性及び使用方法を理解している。

参考書

タイトル	著者	出版社

2025年度　　科目コード： 211012

生体材料学演習Ⅱ(アドバンスコース)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	2～3 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	演習	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	池田　弘						
担当教員	池田　弘,永松　有紀						

タイトル	著者	出版社
関連分野の文献および参考書は各自必要なものを利用する		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
発表内容	100%

その他

池田：オフィスアワー　月～金　　12:00～13:00、16:30～18:00
永松：オフィスアワー　月・水・木・金12:00～13:00、16:30～18:00

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	試験片作製１ 各種条件下での印象採得後、 模型作製（超硬質石膏）を行う。	演習	池田　弘 永松　有紀	講義の復習（印象材の特性、模型材の特性）	その他
2	試験片作製２ 各種条件下での印象の消毒後、模型作製（超硬質石膏）を行う。	演習	池田　弘 永松　有紀	講義の復習（印象の適切な消毒方法）	その他
3	試験片作製３ 各種条件下での印象の保存後、模型作製（超硬質石膏）を行う。	演習	池田　弘 永松　有紀	講義の復習（印象の寸法安定性）	その他
4	試験片作製４ 印象採得後、各種条件下での模型作製を行う。	演習	池田　弘 永松　有紀	講義の復習（印象材と模型材の組合せ）	その他
5,6	模型の寸法精度の測定 模型各部位の寸法の読み取り、原型との比較を行う。	演習	池田　弘 永松　有紀	講義の復習（模型の寸法精度への影響因子の検討）	その他
7～9	模型の表面粗さの測定 表面粗さの計測を行い、Ra値を原型と比較する。	演習	池田　弘 永松　有紀	講義の復習（模型の表面性状への影響因子の検討）	その他

2025年度　　科目コード： 211012

生体材料学演習Ⅱ(アドバンスコース)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	2～3 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	演習	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	池田　弘						
担当教員	池田　弘,永松　有紀						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
10	模型の形態の測定 形態の曲線化後、原型との比較する。	演習	池田　弘 永松　有紀	講義の復習（模型の形態への影響因子の検討）	その他
11,12	試験結果のエクセルを用いたグラフ化 全データをグラフ化し、各条件間の比較を行う。	演習	池田　弘 永松　有紀	講義の予習・復習（印象の取り扱い方法による模型への影響）	その他
13,14	プレゼンテーションデータとしてのデータの整理 データについて統計処理および発表用スライドの作成を行う。	演習	池田　弘 永松　有紀	講義の予習・復習（プレゼンテーションの準備・修正）	その他
15	研究結果の報告会 プレゼンテーションを行い、実験結果の報告を行う。また、その手法を学ぶ。	演習	池田　弘 永松　有紀	講義の予習・復習（プレゼンテーションの準備・修正）	その他

2025年度　　科目コード： 211013

生体材料学概論

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	演習	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	池田　弘						
担当教員	池田　弘,永松　有紀						

授業の概要

生体材料学・歯科材料学　関連英語論文の発表、読解、解説、議論を行う。

学生の到達目標

１．英文の読解力を養うとともに、日本語と英語の表現法の違いを理解できる。２．生体材料の研究方法・実験方法を学び実践できる。３．臨床的見地から歯科材料の最新の動向を学び実践できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
B	歯科材料と歯科医療機器/歯科用材料と歯科用機器に必要な知識を修得し、医療の提供や発展に必要な考え方を身に付ける。
B-1-1	材料(生体組織を含む)の物理的(光学的、機械的性質を含む)性質を理解している。
B-1-2	材料の化学的性質を理解している。
B-1-3	材料の生物学的性質(生体活性、安全性)を理解している。
B-2-1	成形修復・歯冠修復用材料の種類、成分、特性、用途及び操作方法を理解している。
B-2-2	義歯用材料の種類、成分、特性、用途及び操作方法を理解している。
B-2-3	接着用材料の種類、成分、特性、用途及び操作方法を理解している。
B-2-4	歯科矯正用材料の種類、成分、特性、用途及び操作方法を理解している。
B-2-5	歯内療法用材料の種類、成分、特性、用途及び操作方法を理解している。
B-2-6	口腔インプラント、口腔外科、歯周治療用材料の種類、成分、特性、用途及び操作方法を理解している。
B-3-1	歯科用材料の成形、加工(切削、焼結、重合、鋳造、溶着等)の原理を理解している。
B-3-2	歯科用機器の種類、構成、原理、特性及び使用方法を理解している。
B-3-3	歯科用検査装置の種類、構成、原理、特性及び使用方法を理解している。
B-3-4	成形・加工用機器(デジタル成形加工を含む)の種類、構成、原理、特性及び使用方法を理解している。

テキスト

タイトル	著者	出版社
BiomaterialsやDental Materialsなどの生体材料・歯科材料関連の英文誌を使用する。発表者は要約した資料を作成し、配布する。		online journals

2025年度　　科目コード： 211013

生体材料学概論

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	演習	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	池田　弘						
担当教員	池田　弘,永松　有紀						

成績評価方法・基準

評価項目	割合
プレゼンテーションの内容	100%

その他

池田：オフィスアワー　月～金　12:00～13:00、16:30～18:00 永松：オフィスアワー　月・水・木・金　12:00～13:00、16:30～18:00

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1 ～ 15	研究関係英文文献・論文からの情報収集最新の生体材料・歯科材料・装置を学ぶ。英語的思考力の養成を行う。	輪読、演習	池田　弘 永松　有紀	演習の予習・復習（輪読で担当する材料分野周辺の調査）	その他

2025年度　　科目コード： 211014

生体材料学特論 I

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～4 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	演習	時間数	30	単位数	2
科目責任者	池田　弘						
担当教員	池田　弘,永松　有紀						

授業の概要

下記の研究課題のうちひとつを選択し、その課題に関連する文献を渉猟し、抄読する。 1 接着 2 複合材料 3 セラミックス 4 生体模倣 5 CAD/CAM 6 抗菌性歯科材料 7 機能水 8 生体適合性 研究背景とその領域の現状の把握を行い、学んだことをまとめ、発表する。このことを通じて分野の教員からアドバイスを貰い、ひいては自身の研究計画立案と論文作成の参考とする。

学生の到達目標

1　英文献が読める。2　その領域の歴史と現状を説明できる。3　文献の批判的評価ができる。4　論文の緒言を書くことができる。5　　論文を参考に自身の研究計画を立案できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
B	歯科材料と歯科医療機器/歯科用材料と歯科用機器に必要な知識を修得し、医療の提供や発展に必要な考え方を身に付ける。
B-1-1	材料(生体組織を含む)の物理的(光学的、機械的性質を含む)性質を理解している。
B-1-2	材料の化学的性質を理解している。
B-1-3	材料の生物学的性質(生体活性、安全性)を理解している。
B-2-1	成形修復・歯冠修復用材料の種類、成分、特性、用途及び操作方法を理解している。
B-2-2	義歯用材料の種類、成分、特性、用途及び操作方法を理解している。
B-2-3	接着用材料の種類、成分、特性、用途及び操作方法を理解している。
B-2-4	歯科矯正用材料の種類、成分、特性、用途及び操作方法を理解している。
B-2-5	歯内療法用材料の種類、成分、特性、用途及び操作方法を理解している。
B-2-6	口腔インプラント、口腔外科、歯周治療用材料の種類、成分、特性、用途及び操作方法を理解している。
B-3-1	歯科用材料の成形、加工(切削、焼結、重合、鋳造、溶着等)の原理を理解している。
B-3-2	歯科用機器の種類、構成、原理、特性及び使用方法を理解している。
B-3-3	歯科用検査装置の種類、構成、原理、特性及び使用方法を理解している。
B-3-4	成形・加工用機器(デジタル成形加工を含む)の種類、構成、原理、特性及び使用方法を理解している。

テキスト

タイトル	著者	出版社
各自で選択する。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
発表内容	100%

2025年度　　科目コード： 211014

生体材料学特論Ⅰ

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	演習	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	池田　弘						
担当教員	池田　弘,永松　有紀						

その他

池田：オフィスアワー　月～金　12:00～13:00、16:30～18:00 永松：オフィスアワー　月・水・木・金　12:00～13:00、16:30～18:00

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1～15	自分の課題に関連する文献を渉猟し、抄読し、定められたフォーマットにまとめ、発表する。質問に対し、応答する。指摘事項に対し、修正し、資料を完成する。	抄読、演習	池田　弘 永松　有紀	演習の予習・復習（資料の準備と指摘事項の修正）	その他

2025年度　　科目コード： 211015

生体材料学特論 II

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	演習	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	池田　弘						
担当教員	池田　弘,永松　有紀						

授業の概要

下記内容に関する最新の情報と生体材料学分野教員の研究成果と今後の展望について学ぶ。 1 歯科接着に関すること 2 歯科材料の殺菌・抗菌性に関すること 3 セラミックスやコンポジット材料に関すること 4 デジタル歯学に関すること

学生の到達目標

到達目標1　当該分野の最新の知識を説明することができる。2　当該分野の新しい研究計画の立案ができる。3 当該分野の基礎的知識と臨床との関連を説明できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
B	歯科材料と歯科医療機器/歯科用材料と歯科用機器に必要な知識を修得し、医療の提供や発展に必要な考え方を身に付ける。
B-1-1	材料(生体組織を含む)の物理的(光学的、機械的性質を含む)性質を理解している。
B-1-2	材料の化学的性質を理解している。
B-1-3	材料の生物学的性質(生体活性、安全性)を理解している。
B-2-1	成形修復・歯冠修復用材料の種類、成分、特性、用途及び操作方法を理解している。
B-2-2	義歯用材料の種類、成分、特性、用途及び操作方法を理解している。
B-2-3	接着用材料の種類、成分、特性、用途及び操作方法を理解している。
B-2-4	歯科矯正用材料の種類、成分、特性、用途及び操作方法を理解している。
B-2-5	歯内療法用材料の種類、成分、特性、用途及び操作方法を理解している。
B-2-6	口腔インプラント、口腔外科、歯周治療用材料の種類、成分、特性、用途及び操作方法を理解している。
B-3-1	歯科用材料の成形、加工(切削、焼結、重合、鋳造、溶着等)の原理を理解している。
B-3-2	歯科用機器の種類、構成、原理、特性及び使用方法を理解している。
B-3-3	歯科用検査装置の種類、構成、原理、特性及び使用方法を理解している。
B-3-4	成形・加工用機器(デジタル成形加工を含む)の種類、構成、原理、特性及び使用方法を理解している。

テキスト

タイトル	著者	出版社
担当教員が準備する。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
発表内容	100%

2025年度　　科目コード： 211015

生体材料学特論 II

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1〜4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	演習	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	池田　弘						
担当教員	池田　弘,永松　有紀						

その他

池田：オフィスアワー　月〜金　12:00〜13:00、16:30〜18:00 永松：オフィスアワー　月・水・木・金　12:00〜13:00、16:30〜18:00

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1〜15	教員の講義からの情報収集プレゼン手法の学習	講義と演習	池田　弘 永松　有紀	講義と演習の復習	その他

2025年度　　科目コード： 211022

総合診療学2(アドバンスコース)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	2～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	実習	**時間数**	120	**単位数**	4
科目責任者	永松　浩						
担当教員	永松　浩,鬼塚　千絵						

授業の概要

患者に安心安全な全人的歯科治療を行うために学部教育や臨床研修等で習得してきた知識・技能・態度を振り返り、見直すとともにそれらの集大成として、臨床の場で実践し、習熟する。 なお歯科治療技能については歯学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）「E 診察・診断と治療技能」の「Ⅰa．患者への診療として自験する課題」をはじめ「Ⅰb．患者への診療として自験が期待されるが、困難な場合はシミュレーション等で補完できる課題」および「Ⅱ．経験が望まれる重要な課題」について振り返りと実践を行う。社会人大学院生の場合、現在の診療スタイルを見直し、新規材料・新規技術を含めフィードバックを行う。

学生の到達目標

１．全人的歯科医療を行うための知識、技能および態度を修得できる。 ２．プライマリケアを実施できる。 ３．総合診療計画を実施できる。４．チーム医療の意識を高める。

テキスト

タイトル	著者	出版社
必要に応じて資料を配付する。		

参考書

タイトル	著者	出版社
必修　臨床研修歯科医ハンドブック		医歯薬出版
患者ニーズにマッチした歯科医療面接の実際	［編著］伊藤孝訓、　寺中敏夫	クインテッセンス出版
その他の参考書を読む		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート提出・症例発表等	100%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】：相談は随時受け付け可能であるが、事前に、科目責任者に時間予約をメールまたは電話にて行うこと。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
			永松　浩 鬼塚　千絵		

2025年度　　科目コード： 211022

総合診療学2(アドバンスコース)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	2～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	実習	**時間数**	120	**単位数**	4
科目責任者	永松　浩						
担当教員	永松　浩,鬼塚　千絵						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1~4	オリエンテーション・医療面接１・年間スケジュールについて把握する。　・ベーシックコースの復習をする。　・良好な患者―医療者関係を構築する。　【自験症例数：2～5症例】	実習	永松　浩 鬼塚　千絵	歯科医療に求められる患者ー医療者関係とは	
5~8	医療面接２　・対応が難しい患者の医療面接を行う。【自験症例数：2～5症例】	実習	永松　浩 鬼塚　千絵	対応が困難な患者	
9~12	歯周治療　・歯周基本治療の継続を行う。　【自験症例数：5～10症例】	実習	永松　浩 鬼塚　千絵	歯周基本治療 保険診療	
13~17	歯内治療　・難症例について検討を行い、難しい原因、拡大視野下での治療対応について学ぶ。　【自験症例数：1～3症例】	実習	永松　浩 鬼塚　千絵	マイクロスコープ	
18~21	歯の硬組織疾患治療　・MIの概念と実施　・審美歯科修復治療について学ぶ。　【自験症例数：5～10症例】	実習	永松　浩 鬼塚　千絵	MI	
22~26	歯冠修復治療　・単冠について形成～印象～鋳造～セットまで実践から学ぶ。　【自験症例数：2～5症例】	実習	永松　浩 鬼塚　千絵	・単冠修復に求められる要件　・臨床技工	
27~31	欠損に対する固定式補綴修復　・ブリッジについて形成～印象～セットまで実践から学ぶ。　・インプラント治療の概念を学ぶ。　【自験症例数：1～3症例】	実習	永松　浩 鬼塚　千絵	・ブリッジ補綴に求められる要件	
32~36	欠損に対する可撤式補綴修復　・パーシャルデンチャーの診断・設計について模型から学ぶ。　【自験症例数：1～3症例】	実習	永松　浩 鬼塚　千絵	リジットサポート	
37~40	歯科矯正処置　・症例を通じて歯科矯正処置について学ぶ。【自験症例数：1～3症例】	実習	永松　浩 鬼塚　千絵	・歯科矯正の基本術式　・ＭＴＭの適応症	

2025年度　　科目コード： 211022

総合診療学2(アドバンスコース)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	2～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	実習	**時間数**	120	**単位数**	4
科目責任者	永松　浩						
担当教員	永松　浩,鬼塚　千絵						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
41~44	チーム診療　・多職種連携について実践を交えながら学ぶ。　【自験症例数：2～5症例】	実習	永松　浩 鬼塚　千絵	・多職種連携　・病診連携　・医科歯科連携　・医療・介護・福祉職の種類と業務	
45～46	解釈モデル　・難症例への対応　・LEARNの法則を実践する。　【自験症例数：1～3症例】	実習	永松　浩 鬼塚　千絵	・LEARNのアプローチ	
47～48	咬合育成　・矯正治療が必要かどうかについて症例検討を行う。【自験症例数：1～3症例】	実習	永松　浩 鬼塚　千絵	・咬合育成	
41~44	感染対策　・スタンダード・プリコーションについて学ぶ。　・新型コロナウイルス感染拡大防止について最新の知見を学び実践する。【自験症例数：1～3症例】	講習会・講義・実習	永松　浩 鬼塚　千絵	・スタンダード・プリコーション　・新型コロナウイルス感染症	
51~52	医療安全　・インシデントレポートから、安心安全な歯科治療を実施するために必要な手順・対応策を理解する。　・臨床現場におけるシステム構築を実践する。　【自験症例数：1～3症例】	講習会・講義・実習	永松　浩 鬼塚　千絵	インシデント	
53~57	包括診療　・保存補綴処置について一口腔単位で計画を立て、実践する。【自験症例数：1～3症例】	実習	永松　浩 鬼塚　千絵	包括診療	
58~60	症例発表準備と発表　・プレゼンテーション用ファイルを作成し発表準備を行い、発表する。　【自験症例数：1～3症例】	実習	永松　浩 鬼塚　千絵	プレゼンテーションソフトの基本・応用操作	

2025年度　　科目コード： 211023

解剖学演習Ⅰ(ベーシックコース)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～2 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	瀬田　祐司						
担当教員	瀬田　祐司,豊野　孝,片岡　真司,松山　佳永						

授業の概要

「味覚受容機構」、「味覚受容体（T1R1）遺伝子のプロモーター解析」、「ATP受容体の味蕾での発現」、「歯の発生」、「味蕾発生の分子生物学」等について研究を行うための基礎的知識および手法について学ぶ。細胞培養、凍結切片およびパラフィン切片による免疫組織化学法について、大学院生のテーマに即した知識ならびに技能を教授する。

学生の到達目標

１．味覚と動物の行動を解析するための知識および技能を習得できる。２．細胞培養法を習得できる。３．組織切片の作製法を習得できる。４．免疫組織学的手法を習得できる。

参考書

タイトル	著者	出版社
組織学、分子生物学で最近報告した文献は必読。および関連した文献、参考書を読む。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
演習中の諮問に対する回答	10%
実験操作の正確性・達成度	90%

その他

学生相談：随時

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
			瀬田　祐司 豊野　孝 片岡　真司 松山　佳永		
1	オリエンテーション本演習で行う手技の概要を学習する。	講義	瀬田　祐司 豊野　孝 片岡　真司 松山　佳永	文献及び参考文献の学習	
2,3	細胞培養法の基礎１　培養細胞の取扱、培地の作製法について演習する。	演習	瀬田　祐司 豊野　孝 片岡　真司 松山　佳永	文献及び参考文献の学習	

2025年度　　科目コード： 211023

解剖学演習Ⅰ(ベーシックコース)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～2 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	瀬田　祐司						
担当教員	瀬田　祐司,豊野　孝,片岡　真司,松山　佳永						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
4,5	細胞培養法の基礎２ 細胞の継代、細胞の保存法について演習する。	演習	瀬田　祐司 豊野　孝 片岡　真司 松山　佳永	文献及び参考文献の学習	
6,7	組織切片の作製法１ 各種固定液の調整法、マウスの灌流固定を演習する。	演習	瀬田　祐司 豊野　孝 片岡　真司 松山　佳永	文献及び参考文献の学習	
8,9	組織切片の作製法２ 固定した組織を包埋、凍結切片作製法を演習する。	演習	瀬田　祐司 豊野　孝 片岡　真司 松山　佳永	文献及び参考文献の学習	
10,11	組織切片の作製法３ 固定した組織を包埋、パラフィン切片作製法を演習する。	演習	瀬田　祐司 豊野　孝 片岡　真司 松山　佳永	文献及び参考文献の学習	
12,13	免疫組織法（１） ブロッキング・1次抗体	演習	瀬田　祐司 豊野　孝 片岡　真司 松山　佳永	文献及び参考文献の学習	
14,15	免疫組織法（１） 2次抗体・写真撮影	演習	瀬田　祐司 豊野　孝 片岡　真司 松山　佳永	文献及び参考文献の学習	

2025年度　　科目コード： 211024

解剖学演習 II (アドバンスコース)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	2〜3 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	瀬田　祐司						
担当教員	瀬田　祐司,豊野　孝,片岡　真司,松山　佳永						

授業の概要

「味覚受容機構」、「味覚受容体（T1R1）遺伝子のプロモーター解析」、「ATP受容体の味蕾での発現」、「歯の発生」、「味蕾発生の分子生物学」等についての研究を推進する。RT-PCR法、TAクローニング、遺伝子導入などについて、信頼性の高いデータが取得できるように指導を行う。

学生の到達目標

1．味覚と動物の行動を解析するための知識および技能をレベルアップさせ、実践できる。2．PCRクローニングができる。3．細胞に遺伝子導入ができる。

参考書

タイトル	著者	出版社
組織学、分子生物学で最近報告した文献は必読。および関連した文献、参考書を読む。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
演習中の試問に対する回答	10%
実験操作の正確性・達成度	90%

その他

学生相談：随時

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	オリエンテーション本演習で学ぶ手技について原理・応用を学習する。	講義	瀬田　祐司 豊野　孝 片岡　真司 松山　佳永	文献及び参考文献の学習	
2,3	RT-PCR１ 組織からRNA抽出・逆転写	演習	瀬田　祐司 豊野　孝 片岡　真司 松山　佳永	文献及び参考文献の学習	
4,5	RT-PCR２ プライマー作製・PCR	演習	瀬田　祐司 豊野　孝 片岡　真司 松山　佳永	文献及び参考文献の学習	

2025年度　　科目コード： 211024

解剖学演習Ⅱ(アドバンスコース)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	2～3 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	瀬田　祐司						
担当教員	瀬田　祐司,豊野　孝,片岡　真司,松山　佳永						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
6,7	PCRクローニング法１ PCR産物をTAベクターへの Ligationを演習する。	演習	瀬田　祐司 豊野　孝 片岡　真司 松山　佳永	文献及び参考文献の学習	
8,9	PCRクローニング法２ PCR産物を組み込んだベクターを大腸菌へのトランスフォーメーションを演習する。	演習	瀬田　祐司 豊野　孝 片岡　真司 松山　佳永	文献及び参考文献の学習	
10,11	PCRクローニング法３ コロニーのピックアップ、ベクターへのPCR産物のLigationの確認を演習する。	演習	瀬田　祐司 豊野　孝 片岡　真司 松山　佳永	文献及び参考文献の学習	
12,13	培養細胞への遺伝子導入１遺伝子導入法の種類と原理を学習し、培養細胞への発現ベクター導入を演習する	演習	瀬田　祐司 豊野　孝 片岡　真司 松山　佳永	文献及び参考文献の学習	
14,15	培養細胞への遺伝子導入２培養細胞における導入遺伝子の発現の確認法を演習する。	演習	瀬田　祐司 豊野　孝 片岡　真司 松山　佳永	文献及び参考文献の学習	

2025年度　　科目コード： 211025

解剖学演習III

開講学科	歯学専攻			開講年次	2〜3 年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	30	単位数	2
科目責任者	瀬田　祐司						
担当教員	瀬田　祐司,豊野　孝,片岡　真司,松山　佳永						

授業の概要

「味覚受容機構」、「味覚受容体（T1R1）遺伝子のプロモーター解析」、「ATP受容体の味蕾での発現」、「歯の発生」、「味蕾発生の分子生物学」等についての研究を推進する。RT-PCR法、TAクローニング、遺伝子導入などについて、信頼性の高いデータが取得できるように指導を行う。

学生の到達目標

1．味覚と動物の行動を解析するための知識および技能をレベルアップさせ、実践できる。2．PCRクローニングができる。3．細胞に遺伝子導入ができる。

参考書

タイトル	著者	出版社
組織学、分子生物学で最近報告した文献は必読。および関連した文献、参考書を読む。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
演習中の試問に対する回答	10%
実験操作の正確性・達成度	90%

その他

学生相談：随時

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	オリエンテーション本演習で学ぶ手技について原理・応用を学習する。	講義	瀬田　祐司 豊野　孝 片岡　真司 松山　佳永	文献及び参考文献の学習	
2,3	RT-PCR１ 組織からRNA抽出・逆転写	演習	瀬田　祐司 豊野　孝 片岡　真司 松山　佳永	文献及び参考文献の学習	
4,5	RT-PCR２ プライマー作製・PCR	演習	瀬田　祐司 豊野　孝 片岡　真司 松山　佳永	文献及び参考文献の学習	

2025年度　　科目コード： 211025

解剖学演習III

開講学科	歯学専攻			開講年次	2〜3 年	開講期	後期
必修/選択	必修	授業方法	実習	時間数	30	単位数	2
科目責任者	瀬田　祐司						
担当教員	瀬田　祐司,豊野　孝,片岡　真司,松山　佳永						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
6,7	PCRクローニング法１ PCR産物をTAベクターへの Ligationを演習する。	演習	瀬田　祐司 豊野　孝 片岡　真司 松山　佳永	文献及び参考文献の学習	
8,9	PCRクローニング法２ PCR産物を組み込んだベクターを大腸菌へのトランスフォーメーションを演習する。	演習	瀬田　祐司 豊野　孝 片岡　真司 松山　佳永	文献及び参考文献の学習	
10,11	PCRクローニング法３ コロニーのピックアップ、ベクターへのPCR産物のLigationの確認を演習する。	演習	瀬田　祐司 豊野　孝 片岡　真司 松山　佳永	文献及び参考文献の学習	
12,13	培養細胞への遺伝子導入１遺伝子導入法の種類と原理を学習し、培養細胞への発現ベクター導入を演習する。	演習	瀬田　祐司 豊野　孝 片岡　真司 松山　佳永	文献及び参考文献の学習	
14,15	培養細胞への遺伝子導入２培養細胞における導入遺伝子の発現の確認法を演習する。	演習	瀬田　祐司 豊野　孝 片岡　真司 松山　佳永	文献及び参考文献の学習	

2025年度　　科目コード： 211026

解剖学特論

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	演習	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	瀬田　祐司						
担当教員	瀬田　祐司,豊野　孝,片岡　真司,松山　佳永						

授業の概要
味覚や歯の発生に関連した研究の論文を読むことによって味覚研究の最新の動向を理解する。

学生の到達目標
1．　味覚・歯に関する研究内容を理解できる。2．　研究方法およびその原理を理解できる。3．　研究の進め方を理解し、実践できる。4．英語の読解力を深める。

テキスト

タイトル	著者	出版社
テキストおよび参考文献等は各自必要なものを選択する。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
セミナーにおける発表内容	80%
質疑応答内容	20%

その他
学生相談：随時

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
			瀬田　祐司 豊野　孝 片岡　真司 松山　佳永		
1～15	味覚・歯に関連した最新研究の論文の内容の理解。	文献紹介および討論	瀬田　祐司 豊野　孝 片岡　真司 松山　佳永	文献および参考文献の学習	

2025年度　　科目コード： 211027

頭頸部解剖実習

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	実習	**時間数**	30	**単位数**	1
科目責任者	片岡　真司						
担当教員	片岡　真司						

授業の概要

頭頸部領域の構造を主な対象とし、表層から最深部に向かって順に解剖する。

学生の到達目標

頭頸部領域の主要な構造を立体的に理解できる。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
知識に基づいた正確な解剖手技	60%
実習試験	40%

その他

受講希望の場合には、事前にメールで片岡（kataoka@kyu-dent.ac.jp）までご相談ください。 学習相談等は平日9時-17時でおこないますが、事前に日時を調整するのでメールで問い合わせてください。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1,2	オリエンテーション	講義		解剖実習配布資料、解剖実習参考書	
3,4	頭蓋骨実習	実習		解剖実習配布資料、解剖実習参考書	
5-15	頭頸部解剖実習	実習		解剖実習配布資料、解剖実習参考書	

2025年度　　科目コード： 211031

生理学演習Ⅰ(ベーシックコース)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1〜3 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	小野　堅太郎						
担当教員	小野　堅太郎,中富　千尋						

授業の概要

「渇きのメカニズム」、「口腔乾燥症の研究」、「唾液分泌のメカニズム」あるいは「痛みの制御機構」について研究を行うための基礎的知識および技能について学ぶ。動物行動解析学、スライス標本作製法、細胞単離法、分子生物学的手法、免疫組織学的手法、細胞内動態解析法、電気生理学的解析法について大学院生のテーマに即した知識および技能を教授する。

学生の到達目標

１．喉の渇きと動物の行動を解析するための知識および技能を修得し、実践できる。２．痛覚と動物の行動を解析するための知識および技能を修得し、実践できる。３．脳スライス標本を作製できる。４．パッチクランプ法を用いて神経活動を測定できる。５．免疫組織化学法ができる。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
研究報告やプレゼンテーション能力	100%

その他

学生相談：随時

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	オリエンテーション	講義		文献、参考書の予習	
2〜4	動物行動解析学法　ラットの取り扱い手技について学ぶ。飲水行動や痛覚に関する行動について、行動解析法を学ぶ。	演習		文献、参考書の予習と演習の復習	
5〜7	三叉神経節ニューロン単離法と神経活動記録法　口腔顔面痛に関する三叉神経節ニューロンの単離培養法を学ぶ。パッチクランプ法やカルシウムイメージング法による神経活動記録法について学ぶ。	演習		文献、参考書の予習と演習の復習	
8〜10	口腔内炎症モデル作製法　ラットを用いて、種々の口腔疾患モデルの作製法について学ぶ。	演習		文献、参考書の予習と演習の復習	

2025年度　　科目コード： 211031

生理学演習Ⅰ(ベーシックコース)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～3 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	小野　堅太郎						
担当教員	小野　堅太郎,中富　千尋						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
11～15	疼痛に関与した情報伝達系解析法各種口腔疾患モデルからの組織サンプルの摘出を行い、免疫染色法、ELISA法などについて学ぶ。	演習		文献、参考書の予習と演習の復習	

2025年度　　科目コード： 211032

生理学演習Ⅱ(アドバンスコース)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	2〜3 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	演習	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	小野　堅太郎						
担当教員	小野　堅太郎,中富　千尋						

授業の概要

「渇きのメカニズム」、「口腔乾燥症の研究」、「唾液分泌のメカニズム」あるいは「痛みの制御機構」についての研究を推進する。動物行動解析学、分子生物学的手法、免疫組織学的手法、細胞内動態解析法、電気生理学的解析法について、信頼性の高いデータが得られるように指導する。

学生の到達目標

１．喉の渇きと動物の行動を解析するための最新の知識および技能のレベルアップを図り、実践できる。２．痛覚と動物の行動を解析するための最新の知識および技能のレベルアップを図り、実践できる。３．唾液分泌機能について最新の知識および技能のレベルアップを図り、実践できる。４．パッチクランプ法を用いて神経活動のデータを採得することができる。５．免疫組織化学法によりデータを採得することができる。６．各実験のデータの信頼性を高めることができる。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
研究報告やプレゼンテーション能力	100%

その他

学生相談：随時

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1〜3	飲水行動実験　喉の渇きを起こす刺激剤の投与方法を学ぶ。誘起される飲水行動を観察する。	演習		文献、参考書の予習と演習の復習	
4〜7	唾液分泌　唾液分泌を起こす刺激剤の投与による効果を観察する。	演習		文献、参考書の予習と演習の復習	
8〜10	口内炎と疼痛　口内炎と疼痛の関係について、口内炎モデルラットを用いて、発症機序を学ぶ。	演習		文献、参考書の予習と演習の復習	
11〜13	疼痛で誘発される行動の解析　疼痛刺激で誘発される動物行動を観察する。	演習		文献、参考書の予習と演習の復習	
14,15	疼痛に関与した情報伝達系解析　疼痛の発症機序について学ぶ。	演習		文献、参考書の予習と演習の復習	

2025年度　　科目コード： 211033

生理学演習III

開講学科	歯学専攻			開講年次	2〜3 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	演習	時間数	30	単位数	2
科目責任者	小野　堅太郎						
担当教員	小野　堅太郎,中富　千尋						

授業の概要

「渇きのメカニズム」、「口腔乾燥症の研究」、「唾液分泌のメカニズム」あるいは「痛みの制御機構」について得られた結果をもとに、研究論文にまとめるプロセスを学習する。必要な場合は追加実験等を行う。

学生の到達目標

１．喉の渇きと動物の行動を解析し、研究論文にまとめるプロセスを修得し、実践できる。２．痛覚と動物の行動を解析し、研究論文にまとめるプロセスを修得し、実践できる。３．唾液分泌機能について、研究論文にまとめるプロセスを修得し、実践できる。４．独自に研究できる能力を高める。

参考書

タイトル	著者	出版社
生理学で最近報告した文献は必読。および関連した文献、参考書を読む。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
出席	30%
演習中の諮問に対する回答や、月1回の研究報告会での報告（月毎の研究内容を資料にまとめ報告）の内容	70%

その他

学生相談：随時

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1,2	動物行動解析まとめ喉の渇き刺激に対して、動物がとった行動を解析し、そのメカニズムについて学ぶ。	演習		文献、参考書の予習と演習の復習	
3,4	唾液分泌を起こす薬物に対する作用のまとめ唾液分泌を誘発する薬物に対する反応を解析し、その作用機序を学ぶ。	演習		文献、参考書の予習と演習の復習	

2025年度　　科目コード： 211033

生理学演習III

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	2〜3 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	演習	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	小野　堅太郎						
担当教員	小野　堅太郎,中富　千尋						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
5〜8	疼痛に関与した情報伝達系解析のまとめ疼痛刺激に対して動物が起こした行動および関与する情報伝導路を組織学的に解析し、疼痛の発症機序を学ぶ。	演習		文献、参考書の予習と演習の復習	
9〜15	研究報告会	演習		文献、参考書の予習と演習の復習	

2025年度　　科目コード： 211034

生理学講究

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～4 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	演習	時間数	30	単位数	2
科目責任者	中富　千尋						
担当教員	中富　千尋,小野　堅太郎						

授業の概要
口腔生理学関連の最新の研究の動向を理解するために、文献を抄読する。

学生の到達目標
①英語文献を読み込む能力を高める。
②研究内容を理解できる。
③研究を批評する力を高める。
④研究の背景や動向を理解できる。

参考書

タイトル	著者	出版社
関連分野の文献および参考書は各自必要なものを選別する。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
ルーブリック評価に基づき評価を行う。評価項目は初回講義時に受講者へ説明する	100%

その他
オフィスアワー：随時

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1-15	各自選んだ文献の内容、研究背景、関連分野の研究の今後の展望を理解する。	文献紹介および討論	中富　千尋	文献抄読および関連分野の調査	その他

2025年度　　科目コード： 211041

分子生物学Ⅰ(初級編)

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～2 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	60	単位数	4
科目責任者	古株　彰一郎						
担当教員	古株　彰一郎						

授業の概要

分子生物学(講義・演習)では、生命科学を理解する上で重要な分子生物学的手法の原理を理解した上で実践し、結果を導き出す能力を養う。

学生の到達目標

1．細胞培養ができる。2．マウスを取り扱うことができ、臓器や細胞を調製することができる。3．セントラルドグマを説明できる。4．RNA、タンパク質の取り扱いができる。5．RT-PCRの原理を説明でき、実践できる。6．Western Blottingの原理を説明でき、実践できる。

参考書

タイトル	著者	出版社
必要に応じて各自入手する。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	80%
口頭試問	20%

その他

学生相談：随時

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1,2	オリエンテーション本講義の概要を説明し、分子生物学の基本事項について学ぶ	講義（遠隔授業）	古株　彰一郎	文献および参考文献の学習	
3,4	細胞培養の基礎について学ぶ＃１①　細胞の取り扱い方②　培地の作り方	講義・演習（遠隔及び対面）	古株　彰一郎	細胞培養の復習	
5,6	細胞培養の基礎について学ぶ＃２①　細胞の継代②　細胞の保存	講義・演習（遠隔及び対面）	古株　彰一郎	細胞培養の復習	
7,8	マウスの取り扱い方について学ぶ①　マウスの取り扱い方の基礎②　薬物の投与法③　採血法	講義・演習（遠隔及び対面）	古株　彰一郎	マウスの取扱の復習	

2025年度　　科目コード： 211041

分子生物学Ⅰ(初級編)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～2 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	60	**単位数**	4
科目責任者	古株　彰一郎						
担当教員	古株　彰一郎						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
9,10	マウスからの臓器、細胞の調製法について学ぶ＃１①　マウスの麻酔法②　胸腺細胞、骨髄細胞の調製法	講義・演習（遠隔及び対面）	古株　彰一郎	マウスから臓器?細胞の調製法の復習	
11,12	マウスからの臓器、細胞の調製法について学ぶ＃２① 初代骨芽細胞の調製法② 骨髄間質細胞の調整法	講義・演習（遠隔及び対面）	古株　彰一郎	マウスから細胞の調製法の復習	
13,14	RT-PCR法について学ぶ#１PCR法の原理① 細胞(臓器)からのRNAの調製② RNA定量	講義・演習（遠隔及び対面）	松原　琢磨	RT-PCR法の原理の予習	
15,16	RT-PCR法について学ぶ#２① cDNAの合成② Primer の設計(コンピューターソフトを利用)	演習（対面）	松原　琢磨	プライマー設計の基本事項の予習	
17,18	RT-PCR法について学ぶ#３① PCR② アガロースゲル電気泳動	演習（対面）	松原　琢磨	RT-PCR法の原理の復習	
19,20	Real-time PCR について学ぶ#１ Real-time PCRの原理Real-time PCRの実践	講義・演習（遠隔及び対面）	古株　彰一郎	Real-time PCR法の原理の予習	
21,22	Real-time PCR について学ぶ#２ データ解析法	講義・演習（遠隔及び対面）	古株　彰一郎	データ解析の復習	
23,24	Western Blotting について学ぶ#１　① 細胞(臓器)からのタンパク質の調製　② タンパク質定量	講義・演習（遠隔及び対面）	Addison William	タンパク質の取扱の予習	
25,26	Western Blotting について学ぶ#２① SDS-PAGEの原理と実践② PVDF膜への転写	講義・演習（遠隔及び対面）	Addison William	Western Blottingの原理の予習	
27,28	Western Blottingについて学ぶ#３① Blocking② １次抗体との反応③ ２次抗体との反応	演習（対面）	Addison William	Western Blottingの原理の予習	
29,30	Western Blotting について学ぶ#４① Stripping② Reblotting	演習（対面）	Addison William	得られた結果のDiscussion	

2025年度　　科目コード： 211042

分子生物学Ⅱ(中級編)

開講学科	歯学専攻			開講年次	2〜3 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	60	単位数	4
科目責任者	古株　彰一郎						
担当教員	古株　彰一郎						

授業の概要

分子生物学(講義・演習)では、生命科学を理解する上で重要な分子生物学的手法の原理を理解した上で実践し、結果を導き出す能力を養う。さらにベーシックコースで学んだ技術を発展させた手技を習得し、信頼性の高いデータを引き出す能力を養う。

学生の到達目標

1．遺伝子組換えの原理を理解できる。2．既知の遺伝子をクローニングできる。3．遺伝子導入の種類と原理を説明でき、実践できる。4．免疫沈降法の原理を説明でき、実践できる。5．タグの種類を説明でき、検出できる。6．ルシフェラーゼアッセイの原理が説明でき、実践できる。

参考書

タイトル	著者	出版社
必要に応じて各自入手する。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	80%
口頭試問	20%

その他

学生相談：随時

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1,2	PCRクローニングについて学ぶ#１① PCRを用いた遺伝子のクローニング② 制限酵素によるPCR産物とベクターの消化(Sticky end)	講義・演習（遠隔及び対面）	古株　彰一郎	遺伝子クローニングの原理の予習	
3,4	PCRクローニングについて学ぶ#２① ベクターの脱リン酸化② ライゲーション	講義・演習（遠隔及び対面）	古株　彰一郎	ライゲーションの原理の予習	
5,6	PCRクローニングについて学ぶ#３① コンピテント細胞の作り方②大腸菌へのトランスフォーメション	講義・演習（遠隔及び対面）	古株　彰一郎	トランスフォーメーションの予習	

2025年度　　科目コード： 211042

分子生物学Ⅱ(中級編)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	2～3 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	60	**単位数**	4
科目責任者	古株　彰一郎						
担当教員	古株　彰一郎						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
7,8	PCRクローニングについて学ぶ#４①　コロニーのpick up②　培養	講義・演習（遠隔及び対面）	古株　彰一郎	これまでのステップの復習	
9,10	PCRクローニングについて学ぶ#５① 少量調製② アガロースゲル電気泳動	講義・演習（遠隔及び対面）	古株　彰一郎	少量調製の原理の予習	
11,12	PCRクローニングについて学ぶ#６①　Midi-Prep.②　プラスミドの精製	講義・演習（遠隔及び対面）	古株　彰一郎	Midi-prepの予習	
13,14	遺伝子機能解析法について学ぶ#１①　遺伝子導入法の種類と原理②　リポフェクション法による遺伝子導入	講義・演習（遠隔及び対面）	Addison William	遺伝子導入法の種類と原理の予習	
15,16	遺伝子機能解析法について学ぶ#２①　PCR法をベースとした遺伝子の変異導入②　スクリーニング	講義・演習（遠隔及び対面）	Addison William	遺伝子導入法の種類と原理の予習	
17,18	遺伝子機能解析法について学ぶ#３①　ルシフェラーゼ法の原理②ルミノメーターを用いたルシフェラーゼ活性の測定	講義・演習（遠隔及び対面）	Addison William	ルシフェラーゼ法の原理の予習	
19,20	遺伝子機能解析法について学ぶ#４ドミナントネガティブ型、恒常的活性型変異体の作製	演習（対面）	Addison William	ドミナントネガティブ型、恒常的活性型の原理の予習	
21,22	免疫沈降法について学ぶ#１① 細胞からのタンパク質の調製② タンパク質の定量③ 抗体?担体の複合体による免疫沈降	講義・演習（遠隔及び対面）	松原　琢磨	タンパク質の取扱の予習	
23,24	免疫沈降法について学ぶ#２① SDS-PAGE② PVDF膜への転写③ Blocking	演習（対面）	松原　琢磨	免疫沈降法の原理の予習	
25,26	免疫沈降法について学ぶ#３① １次抗体との反応② ２次抗体との反応	演習（対面）	松原　琢磨	免疫沈降法の原理の復習	

2025年度　　科目コード： 211042

分子生物学Ⅱ(中級編)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	2～3 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	60	**単位数**	4
科目責任者	古株　彰一郎						
担当教員	古株　彰一郎						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
27,28	タグの付加について学ぶ#１① タグの種類と原理② FLAGタグ、HAタグ、mycタグ、GFP発現ベクターへのクローニング	講義・演習（遠隔及び対面）	松原　琢磨	タグの種類と原理の予習	
29,30	タグの付加について学ぶ#２FLAGタグ、HAタグ、mycタグ、GFPの検出	演習（対面）	松原　琢磨	タグの種類と原理の復習	

2025年度　　科目コード： 211043

分子生物学III(上級編)

開講学科	歯学専攻			開講年次	2〜3 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	60	単位数	4
科目責任者	古株　彰一郎						
担当教員	古株　彰一郎						

授業の概要

分子生物学(講義・実習)では、生命科学を理解する上で重要な分子生物学的手法の原理を理解した上で実践し、結果を導き出す能力を養う。さらに我々の研究室の研究テーマである「骨代謝研究」を実践する上で必要な技術を習得し、学会発表および研究論文にまとめるプロセスを習得する。

学生の到達目標

1．ウィルスベクターの原理を理解し、レトロウィルスベクターによる遺伝子導入ができる。2．クロマチン免疫沈降法の原理を説明でき、実践できる。3．遺伝子改変マウスの種類と作製法を説明できる。4．フローサイトメーターの原理を説明でき、実践できる。

参考書

タイトル	著者	出版社
必要に応じて各自入手する。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	80%
口頭試問	20%

その他

学生相談：随時

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1,2	ウィルスベクターを用いた遺伝子導入について学ぶ#１① レトロウィルスベクターの原理② レトロウィルスベクターの作成1・制限酵素によるPCR産物とベクターの消化・ベクターの脱リン酸化・Ligation	講義/演習（遠隔及び対面）	松原　琢磨	レトロウィルスベクターの原理の予習	
3,4	ウィルスベクターを用いた遺伝子導入について学ぶ#２ レトロウィルスベクターの作成２・コンピテント細胞の作り方・大腸菌へのトランスフォーメーション	講義/演習（遠隔及び対面）	松原　琢磨	レトロウィルスベクターの作成法の予習	

2025年度　　科目コード： 211043

分子生物学III(上級編)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	2～3 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	60	**単位数**	4
科目責任者	古株　彰一郎						
担当教員	古株　彰一郎						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
5,6	ウィルスベクターを用いた遺伝子導入について学ぶ#３　レトロウィルスベクターの作成３・コロニーのピックアップ・少量調製	講義（遠隔）	松原　琢磨	レトロウィルスベクターの作成法の予習・復習	
7,8	ウィルスベクターを用いた遺伝子導入について学ぶ#４　レトロウィルスベクターの作成４・大量調製・パッケージング細胞の培養	演習（対面）	松原　琢磨	レトロウィルスベクターの作成法の予習・復習	
9,10	ウィルスベクターを用いた遺伝子導入について学ぶ#５　レトロウィルスベクターの作成５・ウィルス液の回収・MOIの測定	演習（対面）	松原　琢磨	レトロウィルスベクターによる遺伝子導入法の予習	
11,12	ウィルスベクターを用いた遺伝子導入について学ぶ#５　レトロウィルスベクターの作成６・使用細胞へのGFPベクターの感染・GFPの発現確認	講義（遠隔）	松原　琢磨	レトロウィルスベクターによる遺伝子導入法の予習	
13,14	クロマチン免疫沈降法について学ぶ#１クロマチン免疫沈降法の原理について学ぶ	講義（遠隔）	古株　彰一郎	クロマチン免疫沈降法の原理の予習	
15,16	クロマチン免疫沈降法について学ぶ#２①　細胞の調製とクロスリンキング②　免疫沈降	演習（対面）	古株　彰一郎	クロマチン免疫沈降法の予習	
17,18	クロマチン免疫沈降法について学ぶ#３　　PCR	演習（対面）	古株　彰一郎	クロマチン免疫沈降法の復習	
19,20	遺伝子改変マウス　について学ぶ#１トランスジェニックマウスおよびノックアウトマウスの原理と作製法	講義（遠隔）	古株　彰一郎	遺伝子改変マウスの種類と作製法の原理の予習	
21,22	遺伝子改変マウス　について学ぶ#２ノックインマウスおよびコンディショナルノックアウトマウスの原理と作製法	講義（遠隔）	古株　彰一郎	ノックインマウスとコンディショナルノックアウトマウス作製法の原理の予習	

2025年度　　科目コード： 211043

分子生物学III(上級編)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	2～3 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	60	**単位数**	4
科目責任者	古株　彰一郎						
担当教員	古株　彰一郎						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
23,24	遺伝子改変マウスの解析法について学ぶ#１①　遺伝子改変マウスの遺伝子型の判定法(PCR法)②　病理組織学的解析	演習（対面）	古株　彰一郎	マウスジェノタイピング法の予習	
25,26	遺伝子改変マウスの解析法について学ぶ#２③　骨髄細胞を用いた破骨細胞分化誘導④　初代骨芽細胞を用いた骨芽細胞分化誘導	演習（対面）	古株　彰一郎	初代破骨細胞および骨芽細胞の調製法と分化誘導法の予習	
27,28	遺伝子改変マウスの解析法について学ぶ#３フローサイトメーターを用いたリンパ球表面抗原の解析	演習（対面）	松原　琢磨	フローサイトメーターの原理の予習	
29,30	遺伝子改変マウスの解析法について学ぶ#４高脂肪食投与によるエネルギー代謝	演習（対面）	松原　琢磨	肥満のメカニズムの予習	

2025年度　　科目コード： 211044

分子生物学クラブ (抄読会)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～3 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	演習	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	松原　琢磨						
担当教員	松原　琢磨,古株　彰一郎,Addison William						

授業の概要

骨・骨格筋代謝およびがん研究の話題を中心として、最新の研究の手技・内容および動向を理解するために、文献を読む。

学生の到達目標

・英語文献を読んで内容を理解できる。
・論文中で行われている実験手技を理解できる。
・研究を客観的に批評することができる。
・研究を建設的に批評することができる。
・研究の背景を理解できる。
・論文の内容を他の人にわかりやすく説明することができる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
A-1-1-1	原子と生体を構成する元素を理解している。
A-1-1-2	分子の成り立ちと生体構成分子に関する化学的性質を理解している。
A-1-2-1	アミノ酸とタンパク質の構造、機能及び代謝を理解している。
A-1-2-2	糖質の構造、機能及び代謝を理解している。
A-1-2-3	脂質の構造、機能及び代謝を理解している。
A-1-2-4	電子伝達系と酸化的リン酸化を理解している。
A-1-2-5	酵素の機能と調節、主な代謝異常を理解している。
A-1-2-6	ビタミン、ミネラルの種類と作用を理解している。
A-1-2-7	酸化ストレス(フリーラジカル、活性酸素)の発生と作用を理解している。
A-1-2-8	栄養素の相互変換とエネルギー代謝(エネルギーの定義、食品中のエネルギー値、エネルギー消費量、推定エネルギー必要量)を理解している。
A-1-2-9	空腹時、飢餓時、食後、過食時及び運動時における代謝を理解している。
A-1-3-1	メンデルの法則や遺伝子型と表現型の関係を理解している。
A-1-3-2	核酸、遺伝子及び染色体の構造と機能を理解している。
A-1-3-3	デオキシリボ核酸(DNA)複製と修復、DNAからリボ核酸(RNA)への転写、タンパク質合成に至る翻訳を含む遺伝情報の発現及び調節を理解している。
A-1-3-4	遺伝性疾患の発生機序を理解している。
A-1-3-5	遺伝子解析や遺伝子工学技術を理解している。
A-1-3-6	染色体分析とDNA配列決定を含むゲノム解析技術を理解している。
A-1-4-1	真核細胞の全体像と細胞膜、核、細胞小器官及び細胞骨格の構造と機能を理解している。
A-1-4-4	細胞周期、細胞分裂及び主な細胞分化のしくみを理解している。
A-1-5-1	細胞接着の機構を理解している。
A-1-5-2	受容体を介するホルモン、成長因子、サイトカイン等による細胞間及び細胞内の情報伝達機構を理解している。
A-1-5-3	主な細胞外マトリックス分子の種類、構造及び機能を理解している。

2025年度　　科目コード： 211044

分子生物学クラブ (抄読会)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～3 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	演習	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	松原　琢磨						
担当教員	松原　琢磨,古株　彰一郎,Addison William						

コアカリキュラム	内容
A-1-5-4	主な細胞外マトリックス分子の合成と分解を理解している。
A-2-1-5	多能性幹細胞と基本的な発生学的技術を理解している。

テキスト

タイトル	著者	出版社
紹介する論文、関連文献および参考書は各自必要なものを選別する。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
論文の選択基準	30%
プレゼンテーション能力	40%
質疑応答	30%

その他

月曜日：8:50～学生相談：随時

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1~15	骨および骨格筋代謝研究、さらには分子生物学領域で重要な最新の研究の内容および動向を理解し、説明する。	論文紹介および討論	古株　彰一郎 松原　琢磨 Addison William	論文の詳読および実験手技、背景の理解の予習・復習	その他 Microsoft Teams

2025年度　　科目コード： 211051

口腔病態病理学

開講学科	歯学専攻			開講年次	1〜2 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講義	時間数	60	単位数	4
科目責任者	松尾　拡						
担当教員	松尾　拡,矢田　直美						

授業の概要

口腔顎顔面領域の病変に関する最新の専門的知見について解説し、その発生のメカニズムの解明や新しい診断・治療法開発につながる基礎的研究に着手するきっかけ、礎とする。

学生の到達目標

１．齲蝕、象牙質・歯髄複合体の病変について最新の専門的知見を得、知識を高める。２．根尖性歯周組織の病変に関する最新の専門的知見を得、知識を高める。３．辺縁部歯周組織の病変に関する最新の専門的知見を得、知識を高める。４．顎・顎関節疾患に関する最新の専門的知見を得、知識を高める。５．口腔粘膜疾患に関する最新の専門的知見を得、知識を高める。６．口腔癌・前癌病変に関する最新の専門的知見を得、知識を高める。７．歯原性腫瘍、嚢胞性疾患に関する最新の専門的知見を得、知識を高める。８．非歯原性腫瘍に関する最新の専門的知見を得、知識を高める。９．唾液腺の非腫瘍性疾患に関する最新の専門的知見を得、知識を高める。10．唾液腺腫瘍に関する最新の専門的知見を得、知識を高める。

テキスト

タイトル	著者	出版社
配布プリント		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	100%

その他

【オフィスアワー】松尾　拡　：月〜金 17:00〜19:00；矢田　直美　：月〜金 17:00〜19:00；メールは随時受付

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1〜3	齲蝕、象牙質・歯髄複合体の病変について取り上げられた最近のトピックスから最新の専門的知見を得る。	講義 口腔病態病理学オフィス	松尾　拡 矢田　直美	事前学修（キーワード）：齲蝕、象牙質・歯髄複合体の病変 事後学修：最新の専門的知見に関するレポート作成	その他

2025年度　　科目コード： 211051

口腔病態病理学

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～2 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講義	**時間数**	60	**単位数**	4
科目責任者	松尾　拡						
担当教員	松尾　拡,矢田　直美						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
4～6	根尖性歯周組織の病変について取り上げられた最近のトピックスから最新の専門的知見を得る。	講義 口腔病態病理学オフィス	松尾　拡 矢田　直美	事前学修（キーワード）：根尖性歯周組織の病変 事後学修：最新の専門的知見に関するレポート作成	その他
7～9	辺縁部歯周組織の病変について取り上げられた最近のトピックスから最新の専門的知見を得る。	講義 口腔病態病理学オフィス	松尾　拡 矢田　直美	事前学修（キーワード）：辺縁部歯周組織の病変 事後学修：最新の専門的知見に関するレポート作成	その他
10～12	顎・顎関節疾患について取り上げられた最近のトピックスから最新の専門的知見を得る。	講義 口腔病態病理学オフィス	松尾　拡 矢田　直美	事前学修（キーワード）：顎・顎関節疾患 事後学修：最新の専門的知見に関するレポート作成	その他
13～15	口腔粘膜疾患について取り上げられた最近のトピックスから最新の専門的知見を得る。	講義 口腔病態病理学オフィス	松尾　拡 矢田　直美	事前学修（キーワード）：口腔粘膜疾患 事後学修：最新の専門的知見に関するレポート作成	その他
16～18	口腔癌・前癌病変について取り上げられた最近のトピックスから最新の専門的知見を得る。	講義 口腔病態病理学オフィス	松尾　拡 矢田　直美	事前学修（キーワード）：口腔癌・前癌病変 事後学修：最新の専門的知見に関するレポート作成	その他
19～21	歯原性腫瘍、嚢胞性疾患について取り上げられた最近のトピックスから最新の専門的知見を得る。	講義 口腔病態病理学オフィス	松尾　拡 矢田　直美	事前学修（キーワード）：歯原性腫瘍、嚢胞性疾患 事後学修：最新の専門的知見に関するレポート作成	その他

2025年度　　科目コード： 211051

口腔病態病理学

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～2 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講義	**時間数**	60	**単位数**	4
科目責任者	松尾　拡						
担当教員	松尾　拡,矢田　直美						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
22～24	非歯原性腫瘍について取り上げられた最近のトピックスから最新の専門的知見を得る。	講義 口腔病態病理学オフィス	松尾　拡 矢田　直美	事前学修（キーワード）：非歯原性腫瘍 事後学修：最新の専門的知見に関するレポート作成	その他
25～27	唾液腺の非腫瘍性疾患について取り上げられた最近のトピックスから最新の専門的知見を得る。	講義 口腔病態病理学オフィス	松尾　拡 矢田　直美	事前学修（キーワード）：唾液腺の非腫瘍性疾患 事後学修：最新の専門的知見に関するレポート作成	その他
28～30	唾液腺腫瘍について取り上げられた最近のトピックスから最新の専門的知見を得る。	講義 口腔病態病理学オフィス	松尾　拡 矢田　直美	事前学修（キーワード）：唾液腺腫瘍 事後学修：最新の専門的知見に関するレポート作成	その他

2025年度　　科目コード： 211052

口腔病態病理学演習Ⅰ(ベーシックコース)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～2 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	演習	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	松尾　拡						
担当教員	松尾　拡						

授業の概要

口腔病態病理学分野で推進している研究や関連する研究を行うための基礎的知識および技能について学ぶ。 病理組織標本作成法、組織化学的手法、免疫組織学的手法、超微形態学的手法について知識および技能を教授する。また大学院生のテーマに応じて、必要な生化学的、分子生物学的、微生物学的手法、免疫学的手法などについても知識および技能を教授する。

学生の到達目標

１．病理組織標本作成法の技能を修得し実践できる。２．特殊染色標本を作製できる。３．免疫染色標本を作製できる。４．電顕資料を作成できる。５．（研究テーマに応じて）細胞培養ができる。６．（研究テーマに応じて）DNA, RNA抽出ができる。７．（研究テーマに応じて）蛋白抽出ができる。８．（研究テーマに応じて）RT-PCR、アガロースゲル電気泳動ができる。９．（研究テーマに応じて）蛋白電気泳動法、ウエスタンブロッティング法ができる。10．（研究テーマに応じて）クローニング、遺伝子組み換えの知識および技法を修得し、対応できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
配布プリント		

参考書

タイトル	著者	出版社
口腔病態病理学分野ですすめている研究に関する文献や参考書。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	100%

その他

【オフィスアワー】月～金 17:00～19:00、メールは随時受付

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1,2	病理組織標本作成法について概要・手順を学び演習を行う。	演習 口腔病態病理学オフィス＆実験室	松尾　拡	事前学修（キーワード）：病理組織標本作成法 事後学修：演習内容まとめのレポート作成	その他

2025年度　　科目コード： 211052

口腔病態病理学演習Ⅰ(ベーシックコース)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～2 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	演習	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	松尾　拡						
担当教員	松尾　拡						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
3,4	特殊染色標本作成法について概要・手順を学び演習を行う。	演習 口腔病態病理学オフィス＆実験室	松尾　拡	事前学修（キーワード）：特殊染色標本作成法 事後学修：演習内容まとめのレポート作成	その他
5,6	免疫染色標本作成法について概要・手順を学び演習を行う。	演習 口腔病態病理学オフィス＆実験室	松尾　拡	事前学修（キーワード）：免疫染色標本作成法 事後学修：演習内容まとめのレポート作成	その他
7,8	電顕資料作成法について概要・手順を学び演習を行う。	演習 口腔病態病理学オフィス＆実験室	松尾　拡	事前学修（キーワード）：電顕資料作成法 事後学修：演習内容まとめのレポート作成	その他
9,10	細胞培養法について概要・手順を学び演習を行う。	演習 口腔病態病理学オフィス＆実験室	松尾　拡	事前学修（キーワード）：細胞培養法 事後学修：演習内容まとめのレポート作成	その他
11	DNA，RNA抽出法について概要・手順を学び演習を行う。	演習 口腔病態病理学オフィス＆実験室	松尾　拡	事前学修（キーワード）：DNA，RNA抽出法 事後学修：演習内容まとめのレポート作成	その他
12	蛋白抽出法について概要・手順を学び演習を行う。	演習 口腔病態病理学オフィス＆実験室	松尾　拡	事前学修（キーワード）：蛋白抽出法 事後学修：演習内容まとめのレポート作成	その他

2025年度　　科目コード： 211052

口腔病態病理学演習Ⅰ(ベーシックコース)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～2 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	演習	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	松尾　拡						
担当教員	松尾　拡						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
13	RT-PCR法、アガロースゲル電気泳動法について概要・手順を学び演習を行う。	演習 口腔病態病理学オフィス＆実験室	松尾　拡	事前学修（キーワード）：RT-PCR法、アガロースゲル電気泳動法 事後学修：演習内容まとめのレポート作成	その他
14	蛋白電気泳動法、ウエスタンブロッティング法について概要・手順を学び演習を行う。	演習 口腔病態病理学オフィス＆実験室	松尾　拡	事前学修（キーワード）：蛋白電気泳動法、ウエスタンブロッティング法 事後学修：演習内容まとめのレポート作成	その他
15	クローニング、遺伝子組み換え法について概要・手順を学び演習を行う。	演習 口腔病態病理学オフィス＆実験室	松尾　拡	事前学修（キーワード）：クローニング、遺伝子組み換え法 事後学修：演習内容まとめのレポート作成	その他

2025年度　　科目コード： 211053

口腔病態病理学演習Ⅱ(アドバンスコース)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	2～3 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	演習	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	松尾　拡						
担当教員	松尾　拡						

授業の概要

口腔病態病理学分野で取組んでいる研究、特に個々の大学院生に与えられ得たテーマに対する研究を推進する。病理組織標本作成法、組織化学的手法、免疫組織学的手法、超微形態学的手法、生化学的、分子生物学的、微生物学的手法、免疫学的手法について、信頼性の高いデータが得られるように指導する。

学生の到達目標

１．病理組織標本作成法の技能のレベルアップを図り、病理組織標本の作成ができる。２．特殊染色標本によりデータを採得し、研究論文にまとめることができる。３．免疫染色標本によりデータを採得し、研究論文にまとめることができる。４．電顕資料によりデータを採得し、研究論文にまとめることができる。５．細胞培養によりデータを採得し、研究論文にまとめることができる。６．DNA，RNA抽出によりデータを採得し、研究論文にまとめることができる。７．蛋白抽出によりデータを採得し、研究論文にまとめることができる。８．各実験データの信頼性を高めることができる。９．独自に研究計画を立て、推進する能力を養い実践できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
配布プリント		

参考書

タイトル	著者	出版社
口腔病態病理学分野ですすめている研究に関する文献や参考書。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	50%
プレゼンテーション	50%

その他

【オフィスアワー】月～金 17:00～19:00、メールは随時受付

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1,2	光顕標本より得られたデータの解析、検討、まとめを行う。	演習 口腔病態病理学オフィス	松尾　拡	事前学修：光顕標本より得られたデータの解析およびプレゼンテーション準備 事後学修：討論内容まとめのレポート作成	その他

2025年度　　科目コード： 211053

口腔病態病理学演習Ⅱ(アドバンスコース)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	2～3 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	演習	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	松尾　拡						
担当教員	松尾　拡						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
3,4	電顕資料より得られたデータの解析、検討、まとめを行う。	演習 口腔病態病理学オフィス	松尾　拡	事前学修：電顕試料より得られたデータの解析およびプレゼンテーション準備 事後学修：討論内容まとめのレポート作成	その他
5,6	細胞培養より得られたデータの解析、検討、まとめを行う。	演習 口腔病態病理学オフィス	松尾　拡	事前学修：細胞培養より得られたデータの解析およびプレゼンテーション準備 事後学修：討論内容まとめのレポート作成	その他
7,8	生化学的、分子生物学的手法により得られたデータの解析、検討、まとめを行う。	演習 口腔病態病理学オフィス	松尾　拡	事前学修：生化学的、分子生物学的手法により得られたデータの解析およびプレゼンテーション準備 事後学修：討論内容まとめのレポート作成	その他
9～11	各自で進めている研究の発表会を行う。	演習 口腔病態病理学オフィス	松尾　拡	事前学修：これまでの研究内容をまとめたプレゼンテーション準備 事後学修：討論内容まとめのレポート作成	その他
12～15	論文作成法について学び、各自の研究に関する論文の骨子を組み立てる。	演習 口腔病態病理学オフィス	松尾　拡	事前学修：学術論文作成法に関するプレゼンテーション準備 事後学修：討論内容まとめのレポート作成および自身の研究論文の組み立てを考える。	その他

2025年度　　科目コード： 211054

口腔病態病理学講究

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～4 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	演習	時間数	30	単位数	2
科目責任者	松尾　拡						
担当教員	松尾　拡						

授業の概要

病理学、口腔病理学関連の最新の研究の動向を理解するために文献を精読する。 また各自の研究内容の報告会、ディスカッションを行う。

学生の到達目標

１．英語論文を正確に理解できる能力を高める。２．研究の内容を理解できる。３．研究を論評する力を高める。４．研究の背景や動向を理解できる。５．研究発表、プレゼンテーションの能力を高める。

テキスト

タイトル	著者	出版社
配布プリント		

参考書

タイトル	著者	出版社
関連分野の文献および参考書は各自必要なものを選別する。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	50%
プレゼンテーション	50%

その他

【オフィスアワー】月～金 17:00～19:00、メールは随時受付

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	オリエンテーション、口腔病態病理学分野における研究の概要説明および討論。	演習 口腔病態病理学オフィス	松尾　拡	事前学修：病理学・口腔病理学の学問的枠組みについて 事後学修：討論内容まとめのレポート作成	その他

2025年度　　科目コード： 211054

口腔病態病理学講究

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～4 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	演習	時間数	30	単位数	2
科目責任者	松尾　拡						
担当教員	松尾　拡						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
2,3	前癌病変および上皮内癌に関する最近の研究動向を学び、討論する。	演習 口腔病態病理学オフィス	松尾　拡	事前学修（キーワード）：前癌病変、上皮内癌 事後学修：最近の研究動向および討論内容まとめのレポート作成	その他
4	受講生の研究内容について発表し、また関連文献を紹介し、討論する（１）。	演習 口腔病態病理学オフィス	松尾　拡	事前学修：受講生の研究内容および関連論文に関するプレゼンテーション準備 事後学修：討論内容まとめのレポート作成	その他
5,6	腫瘍マーカーに関する最近の研究動向を学び、討論する。	演習 口腔病態病理学オフィス	松尾　拡	事前学修（キーワード）：腫瘍マーカー 事後学修：討論内容まとめのレポート作成	その他
7	受講生の研究内容について発表し、また関連文献を紹介し、討論する（２）。	演習 口腔病態病理学オフィス	松尾　拡	事前学修：受講生の研究内容および関連論文に関するプレゼンテーション準備 事後学修：討論内容まとめのレポート作成	その他
8,9	創傷治癒に関する最近の研究動向を学び、討論する（１）。	演習 口腔病態病理学オフィス	松尾　拡	事前学修（キーワード）：創傷治癒 事後学修：討論内容まとめのレポート作成	その他
10	受講生の研究内容について発表し、また関連文献を紹介し、討論する（３）。	演習 口腔病態病理学オフィス	松尾　拡	事前学修：受講生の研究内容および関連論文に関するプレゼンテーション準備 事後学修：討論内容まとめのレポート作成	その他

2025年度　　科目コード： 211054

口腔病態病理学講究

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～4 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	演習	時間数	30	単位数	2
科目責任者	松尾　拡						
担当教員	松尾　拡						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
11,12	創傷治癒に関する最近の研究動向を学び、討論する（２）。	演習 口腔病態病理学オフィス	松尾　拡	事前学修（キーワード）：創傷治癒 事後学修：討論内容まとめのレポート作成	その他
13	受講生の研究内容について発表し、また関連文献を紹介し、討論する（４）。	演習 口腔病態病理学オフィス	松尾　拡	事前学修：受講生の研究内容および関連論文に関するプレゼンテーション準備 事後学修：討論内容まとめのレポート作成	その他
14,15	各自の研究内容について討論したことを総括し、今後どのように研究を展開していけばよいか、などについて討論する。	演習 口腔病態病理学オフィス	松尾　拡	事前学修：受講生の研究内容まとめのプレゼンテーション準備 事後学修：討論内容まとめのレポート作成	その他

2025年度　　科目コード： 211055

臨床病理診断学

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～3 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講義	**時間数**	60	**単位数**	4
科目責任者	松尾　拡						
担当教員	松尾　拡,矢田　直美						

授業の概要

基礎研究以外に口腔病態病理学分野における重要なルーチンワークとして病理診断がある。本講義では、臨床病理診断業務の実際や、死体解剖資格および口腔病理専門医資格を取得できるような基礎的知識を教授する。また病理診断に焦点を絞った口腔顎顔面領域における病変の最新知見の解説も行う。

学生の到達目標

１．病理解剖（剖検）について理解し実践できる。２．生検について理解し実践できる。３．手術材料の取り扱いについて理解し実践できる。４．細胞診について理解し実践できる。５．術中迅速診断について理解し実践できる。６．組織標本作成法について理解し実践できる。７．病理診断に利用する特殊染色や免疫染色について理解し実践できる。８．口腔顎顔面領域の病理診断に関する最新の専門的知見を得、知識を高める。９．悪性腫瘍と良性腫瘍、非腫瘍性疾患の鑑別点について理解し実践できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
配布プリント		

参考書

タイトル	著者	出版社
Pathologic basis of disease, Robbins & Cotran, 8th edition		Elsevier
病理学　第6版		医学書院
標準病理学　第6版		医学書院
イラスト病理学		文光堂
口腔病理アトラス　第3版		文光堂
WHO Classification of Tumours, Pathology and Genetics of Tumours of the Head and Neck		IARC 出版
各講義で紹介された文献、参考資料		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	0%

その他

【オフィスアワー】松尾　拡 ：月～金 17:00～19:00； 矢田　直美 ：月～金 17:00～19:00； メールは随時受付

2025年度　　科目コード： 211055

臨床病理診断学

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～3 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講義	**時間数**	60	**単位数**	4
科目責任者	松尾　拡						
担当教員	松尾　拡,矢田　直美						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1,2	人体病理学概論：人体病理学の学問的枠組みについて学ぶ。	講義 口腔病態病理学オフィス	松尾　拡 矢田　直美	事前学修（キーワード）：人体病理学 事後学修：人体病理学に関するレポート作成	その他
3～5	病理解剖（剖検）の概要について学ぶ。	講義 口腔病態病理学オフィス	松尾　拡 矢田　直美	事前学修（キーワード）：病理解剖（剖検） 事後学修：病理解剖（剖検）に関するレポート作成	その他
6～8	生検の概要について学ぶ。	講義 口腔病態病理学オフィス	松尾　拡 矢田　直美	事前学修（キーワード）：生検 事後学修：生検に関するレポート作成	その他
9～11	手術材料の取り扱いについて概要を学ぶ。	講義 口腔病態病理学オフィス	松尾　拡 矢田　直美	事前学修（キーワード）：手術材料の取り扱い 事後学修：手術材料の取り扱いに関するレポート作成	その他
12～14	細胞診について概要を学ぶ。	講義 口腔病態病理学オフィス	松尾　拡 矢田　直美	事前学修（キーワード）：細胞診 事後学修：細胞診に関するレポート作成	その他
15～17	術中迅速診断について概要を学ぶ。	講義 口腔病態病理学オフィス	松尾　拡 矢田　直美	事前学修（キーワード）：術中迅速診断 事後学修：術中迅速診断に関するレポート作成	その他
18～20	組織標本作成法について概要を学ぶ。	講義 口腔病態病理学オフィス	松尾　拡 矢田　直美	事前学修（キーワード）：組織標本作成法 事後学修：組織標本作成法に関するレポート作成	その他

2025年度　　科目コード： 211055

臨床病理診断学

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1〜3 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講義	**時間数**	60	**単位数**	4
科目責任者	松尾　拡						
担当教員	松尾　拡,矢田　直美						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
21〜23	病理診断に利用する特殊染色、免疫染色について概要を学ぶ。	講義 口腔病態病理学オフィス	松尾　拡 矢田　直美	事前学修（キーワード）：特殊染色、免疫染色 事後学修：特殊染色、免疫染色に関するレポート作成	その他
24〜26	口腔顎顔面領域の病理診断について概要およびその特殊性を学び、かつ最新の専門的知見を得る。	講義 口腔病態病理学オフィス	松尾　拡 矢田　直美	事前学修（キーワード）：口腔顎顔面領域 事後学修：口腔顎顔面領域の病理診断に関するレポート作成	その他
27〜30	悪性腫瘍と良性腫瘍、非腫瘍性疾患の鑑別について学ぶ。	講義 口腔病態病理学オフィス	松尾　拡 矢田　直美	事前学修（キーワード）：悪性腫瘍、良性腫瘍、非腫瘍性疾患、鑑別診断 事後学修：悪性腫瘍と良性腫瘍、非腫瘍性疾患の鑑別に関するレポート作成	その他

2025年度　　科目コード： 211056

臨床病理診断学演習

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～3 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	演習	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	矢田　直美						
担当教員	矢田　直美						

授業の概要

臨床病理診断業務に関わる手技を修得する。また、病理診断、報告書の作成、症例検討会を行い、病理診断能力を養う。

学生の到達目標

１．生検材料の取り扱い方を修得できる。２．手術材料の取り扱い方を修得できる。３．細胞診材料の取り扱い方を修得できる。４．術中迅速診断材料の取り
扱い方を修得できる。５．病理解剖（剖検）を経験し、知識を高める。６．主要な口腔顎顔面領域疾患の病理診断ができる。７．主要な全身疾患の病理診断が
できる。８．病理診断報告書が作成できる。９．症例を論文（症例報告）にまとめることができる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
配布プリント		

参考書

タイトル	著者	出版社
WHO Classification of of Head and Neck Tumours		IARC
口腔病理アトラス　第3版	高木　實	文光堂
標準病理学 第7版		医学書院
各講義で紹介された文献、参考資料		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	100%

その他

【オフィスアワー】月～金 17:00～19:00；　メールは随時受付

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	オリエンテーション（演習の概要および注意点などについて説明する）	講義	矢田　直美	レポート	
2，3	生検、手術材料の取り扱いの手順を学び、演習を行う。	演習	矢田　直美	レポート	

2025年度　　科目コード： 211056

臨床病理診断学演習

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～3 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	演習	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	矢田　直美						
担当教員	矢田　直美						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
4，5	細胞診材料の取り扱いの手順を学び、演習を行う。	演習	矢田　直美	レポート	
6	術中迅速診断材料の取り扱いの手順を学び、演習を行う。	演習	矢田　直美	レポート	
7	病理解剖（剖検）の手順を学び、演習を行う。	演習	矢田　直美	レポート	
8，9	主要な口腔顎顔面領域疾患の病理診断の概要を学び、演習を行う。	演習	矢田　直美	レポート	
10，11	主要な全身疾患の病理診断の概要を学び、演習を行う。	演習	矢田　直美	レポート	
12，13	病理診断報告書の作成法を学び、演習を行う。	演習	矢田　直美	レポート	
14，15	症例報告および論文作成法を学び、演習を行う。	演習	矢田　直美	レポート	

2025年度　　科目コード： 211061

感染症学Ⅰ

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～2 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	有吉　渉						
担当教員	有吉　渉,山﨑　亮太,吉岡　香絵						

授業の概要

感染症における病原因子とそれに対する宿主の感染防御システムについて、分子生物学的観点から学ぶ。さらに「歯周病原性細菌の病原性発現メカニズム」、「パターン認識受容体」や「骨免疫学」など個別のテーマについてグループ学習を行う。

学生の到達目標

① 感染に関わる病原体側の因子を説明できる。
② デンタルプラークの機能や細菌間情報伝達機構を説明できる。
③ 口腔内の感染症（齲蝕や歯周病）について分子生物学観点から説明できる。
④ 免疫による病原体の認識機構と排除機構を説明できる。
⑤ サイトカインや炎症性メディエーターを説明できる。
⑥ パターン認識受容体を説明できる。
⑦ 炎症応答における免疫細胞の機能を説明できる。
⑧ 口腔内の病原体排除機構を説明できる。
⑨ 感染症に対する診断、予防、治療を説明できる。
⑩ インフラマソームを説明できる。
⑪ 骨リモデリングの分子メカニズムを説明できる。
⑫ 骨代謝における免疫系の関与を説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
事前に資料を配布の上、学習項目を提示。		

参考書

タイトル	著者	出版社
感染分子生物学分野で最近報告した文献は必読。および関連した文献、参考書を読む。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	100%

その他

【オフィスアワー】講義・演習の前後、またはメールで受け付ける。

2025年度　　科目コード： 211061

感染症学Ⅰ

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～2 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	有吉　渉						
担当教員	有吉　渉,山﨑　亮太,吉岡　香絵						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	病原微生物の分子生物学Ⅰ： 感染症学の学習に必要な分子生物学および細菌学の概要を学ぶ。	グループ学習	有吉　渉 吉岡　香絵 山﨑　亮太	【事前学修】配布資料の精読	Moodle Microsoft Teams
2	病原微生物の分子生物学Ⅱ： 病原体のもつ定着因子や内毒素について学ぶ。	グループ学習	有吉　渉 吉岡　香絵 山﨑　亮太	【事前学修】配布資料の精読	Moodle Microsoft Teams
3	病原微生物の分子生物学Ⅲ： バイオフィルムとしてのデンタルプラークの構造や機能を学ぶ。	グループ学習	有吉　渉 吉岡　香絵 山﨑　亮太	【事前学修】配布資料の精読	Moodle Microsoft Teams
4	病原微生物の分子生物学Ⅳ： 歯周病原性細菌のもつ病原因子について学ぶ。	グループ学習	有吉　渉 吉岡　香絵 山﨑　亮太	【事前学修】配布資料の精読	Moodle Microsoft Teams
5	病原微生物の分子生物学Ⅴ： 口腔マイクロバイオームの生態と機能について最新の論文を踏まえて学ぶ。	講義	有吉　渉 吉岡　香絵 山﨑　亮太	【事前学修】第1-4回のグループ学習の復習　【事後学修】第1-5回のまとめレポート作成	Moodle Microsoft Teams
6	感染防御の分子生物学Ⅰ： 免疫学の学習に必要な分子生物学の概要を学ぶ。	グループ学習	有吉　渉 吉岡　香絵 山﨑　亮太	【事前学修】配布資料の精読	Moodle Microsoft Teams
7	感染防御の分子生物学Ⅱ： 自然免疫による異物の認識と抗原排除に関するメカニズムを学ぶ。	グループ学習	有吉　渉 吉岡　香絵 山﨑　亮太	【事前学修】配布資料の精読	Moodle Microsoft Teams
8	感染防御の分子生物学Ⅲ： 体液性免疫による異物の認識と抗原排除に関するメカニズムを学ぶ。	グループ学習	有吉　渉 山﨑　亮太 吉岡　香絵	【事前学修】配布資料の精読	Moodle Microsoft Teams
9	感染防御の分子生物学Ⅳ： 細胞性免疫による異物の認識と抗原排除に関するメカニズムを学ぶ。	グループ学習	有吉　渉 吉岡　香絵 山﨑　亮太	【事前学修】配布資料の精読	Moodle Microsoft Teams
10	感染防御の分子生物学Ⅴ： 唾液および抗菌物質など、口腔内の感染防御機構を学ぶ。	グループ学習	有吉　渉 吉岡　香絵 山﨑　亮太	【事前学修】配布資料の精読	Moodle Microsoft Teams

2025年度　　科目コード： 211061

感染症学Ⅰ

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～2 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	有吉　渉						
担当教員	有吉　渉,山﨑　亮太,吉岡　香絵						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
11	感染防御の分子生物学Ⅵ： 病因論に基づいた口腔感染症の診断、予防、治療を学ぶ。	グループ学習	有吉　渉 吉岡　香絵 山﨑　亮太	【事前学修】配布資料の精読	Moodle Microsoft Teams
12	感染防御の分子生物学Ⅶ： 炎症応答におけるインフラマソームの活性化メカニズムについて、最新の論文を踏まえて学ぶ。	講義	有吉　渉 吉岡　香絵 山﨑　亮太	【事前学修】第6-11回のグループ学習の復習　【事後学修】第6-12回のまとめレポート作成	Moodle Microsoft Teams
13	炎症性骨吸収Ⅰ： 骨リモデリングの制御システムを学ぶ。	グループ学習	有吉　渉 吉岡　香絵 山﨑　亮太	【事前学修】配布資料の精読	Moodle Microsoft Teams
14	炎症性骨吸収Ⅱ： 骨代謝の制御に関わる様々な免疫調節分子を学ぶ。	グループ学習	有吉　渉 吉岡　香絵 山﨑　亮太	【事前学修】配布資料の精読	Moodle Microsoft Teams
15	炎症性骨吸収Ⅲ： 骨免疫学を応用した炎症性骨吸収に対する治療アプローチについて、最新の論文を踏まえて学ぶ。	講義	有吉　渉 吉岡　香絵 山﨑　亮太	【事前学修】第13-14回のグループ学習の復習　【事後学修】第13-15回のまとめレポート作成	Moodle Microsoft Teams

2025年度　　科目コード： 211062

感染症学Ⅱ

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～4 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	演習	時間数	30	単位数	2
科目責任者	有吉　渉						
担当教員	吉岡　香絵,有吉　渉,山﨑　亮太						

授業の概要

感染症学と免疫学領域における最新の学術雑誌に掲載されている重要な英語論文を精読する。担当学生は参加者全員に対して、論文の目的、実験手技、結果の導き方、考察などについて解説する。解説後、質疑応答を通して、最新の知識を共有することを目指す。

学生の到達目標

① 英語文献を読み込む能力を養うことができる。
② 研究を批判する力を養うことができる。
③ 自分の研究への応用が可能かどうかを考える力を養うことができる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
Nature、Cell、Scienceなど、ライフサイエンス研究に直結する英語論文		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
発表	100%

その他

【オフィスアワー】演習の前後、またはメールで受け付ける。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1～15	毎回発表される抄読論文の研究の背景や方法、結果、考察を理解する。担当論文に関しては、抄録内容の精読に加え、自身の研究との関連を理解する。さらに、グループ内での発表と意見交換を通じて、得られた知識を自己確認できる能力を培う。	文献紹介および討論	吉岡　香絵 有吉　渉 山﨑　亮太	【事前学修】グループメンバーに理解してもらうための十分な文献の精読と資料の作成・配布　【事後学修】討論を通じて、論文から得られた知識を確固としたものにするために、事後学習のテーマを与える。	Moodle Microsoft Teams

2025年度　　科目コード： 211063

感染症学III

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～4 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	演習	時間数	30	単位数	2
科目責任者	有吉　渉						
担当教員	山﨑　亮太,有吉　渉,吉岡　香絵						

授業の概要

感染分子生物学分野で実験を行なっている研究成果に関する討論を通して、研究の論理展開を理解するとともに、大学院生間の研究に関する情報交換の場として活用する。担当教官はテュータとなり、PBL形式での演習と教育を行う。

学生の到達目標

① 自身の研究について論理的に説明できる能力を養うことができる。
② 実験手技について原理と結果の解釈を理解し、説明できる能力を養うことができる。
③ 他人の発表を聞き、自分の研究への応用が可能かどうかを考察する力を養うことができる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
実験ノート、および研究に関連する参考文献を資料として用いる。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
データ内容、参加態度、プレゼンテーション能力	100%

その他

【オフィスアワー】演習の前後、またはメールで受け付ける。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1～15	自身の直近の実験データを取りまとめて発表し、プレゼンテーション能力を養う。また、発表者は担当教官や他の大学院生からの質問に的確に回答していくなかで科学的な質疑応答能力を養う。	研究報告および討論	山﨑　亮太 有吉　渉 吉岡　香絵	【事前学修】関連分野の文献調査、プレゼンテーションの準備 【事後学修】プレゼンテーションを通じて、論文から得られた 知識を確固としたものにするために、事後学習のテーマを与え る。	６０１講義室 その他 Moodle Microsoft Teams

2025年度　　科目コード： 211064

感染症学IV

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～3 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	有吉　渉						
担当教員	有吉　渉						

授業の概要
感染症学研究を遂行する上で必要な基本的実験手技について原理を理解した上で学ぶ。

学生の到達目標

① 細胞の培養を実践できる。
② 細菌の培養を実践できる。
③ 培養細胞からのRNAの抽出を実践できる。
④ real-time RT-qPCR法の原理を説明できる。
⑤ real-time RT-qPCR法を実践できる。
⑥ 培養細胞からのタンパクの抽出を実践できる。
⑦ Western blotting法の原理を説明できる。
⑧ Western blotting法を実践できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
事前に資料を配布の上、学習項目を表示		

参考書

タイトル	著者	出版社
感染分子生物学分野で最近報告した文献は必読。および関連した文献、参考書を読む。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
質疑応答	100%

その他
【オフィスアワー】講義・演習の前後、またはメールで受け付ける。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	オリエンテーション： 本演習の目的と概要を学ぶ。	講義	有吉　渉 山﨑　亮太 吉岡　香絵	【事前学修】配布資料の精読	その他 Moodle Microsoft Teams
2	細胞培養Ⅰ： 培養液の作製、培養細胞の取り扱いを学ぶ。	講義・演習	有吉　渉 吉岡　香絵 山﨑　亮太	【事前学修】配布資料の精読	その他 Moodle Microsoft Teams

2025年度　　科目コード： 211064

感染症学IV

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～3 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	有吉　渉						
担当教員	有吉　渉						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
3	細胞培養Ⅱ： 細胞の継代と保存を学ぶ。	講義・演習	有吉　渉 吉岡　香絵 山﨑　亮太	【事前学修】配布資料の精読	その他 Moodle Microsoft Teams
4	細菌培養Ⅰ： 無菌操作、培地の作製、細菌の取り扱いを学ぶ。	講義・演習	山﨑　亮太 有吉　渉 吉岡　香絵	【事前学修】配布資料の精読	その他 Moodle Microsoft Teams
5	細菌培養Ⅱ： シングルコロニーのピックアップ、試験管培養、大量培養を学ぶ。	講義・演習	山﨑　亮太 有吉　渉 吉岡　香絵	【事前学修】配布資料の精読	その他 Moodle Microsoft Teams
6	real-time RT-qPCR法： Ⅰ real-time RT-qPCR法の原理とプライマーの設計を学ぶ。	講義・演習	有吉　渉 山﨑　亮太 吉岡　香絵	【事前学修】配布資料の精読	その他 Moodle Microsoft Teams
7	real-time RT-qPCR法Ⅱ： 培養細胞からのRNAの抽出とcDNAの合成を学ぶ。	講義・演習	有吉　渉 山﨑　亮太 吉岡　香絵	【事前学修】配布資料の精読	その他 Moodle Microsoft Teams
8	real-time RT-qPCR法Ⅲ： real-time RT-qPCRを学ぶ。	講義・演習	有吉　渉 山﨑　亮太 吉岡　香絵	【事前学修】配布資料の精読	その他 Moodle Microsoft Teams
9	real-time RT-qPCR法： Ⅳデータの解析を学ぶ。	講義・演習	有吉　渉 山﨑　亮太 吉岡　香絵	【事前学修】配布資料の精読	その他 Moodle Microsoft Teams
10	Western blotting法Ⅰ： Western blotting法の原理とゲルの作製を学ぶ。	講義・演習	有吉　渉 吉岡　香絵 山﨑　亮太	【事前学修】配布資料の精読	その他 Moodle Microsoft Teams
11	Western blotting法Ⅱ： 培養細胞からのタンパクの抽出を学ぶ。	講義・演習	有吉　渉 吉岡　香絵 山﨑　亮太	【事前学修】配布資料の精読	その他 Moodle Microsoft Teams
12	Western blotting法Ⅲ： SDS-PAGEとブロッティングを学ぶ。	講義・演習	有吉　渉 吉岡　香絵 山﨑　亮太	【事前学修】配布資料の精読	その他 Moodle Microsoft Teams
13	Western blotting法Ⅳ： ブロッキングと1次抗体反応を学ぶ。	講義・演習	有吉　渉 吉岡　香絵 山﨑　亮太	【事前学修】配布資料の精読	その他 Moodle Microsoft Teams

2025年度　　科目コード： 211064

感染症学IV

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～3 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	有吉　渉						
担当教員	有吉　渉						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
14	Western blotting法Ⅴ： 2次抗体反応とHRPによる発色反応を学ぶ。	講義・演習	有吉　渉 吉岡　香絵 山﨑　亮太	【事前学修】配布資料の精読	その他 Moodle Microsoft Teams
15	Western blotting法Ⅵ： データの解析を学ぶ。	講義・演習	有吉　渉 吉岡　香絵 山﨑　亮太	【事前学修】配布資料の精読	その他 Moodle Microsoft Teams

2025年度　　科目コード： 211065

感染症学講究

開講学科	歯学専攻			開講年次	2〜4 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	演習	時間数	30	単位数	2
科目責任者	有吉　渉						
担当教員	有吉　渉,山﨑　亮太,吉岡　香絵						

授業の概要

自身の研究テーマに関する課題を抽出し、それを基盤に研究手法および研究計画を立案する。さらに、実験研究成果の学会発表やプレゼンテーションを通して、研究領域の知識のアップデートや情報交換の場を設ける。担当教官はテュータとなり、ディスカッション形式で演習と教育を行う。

学生の到達目標

① 自身の研究について、国内外の研究の動向を踏まえ、課題を抽出する能力を養うことができる。
② 自身の研究の実験手技の原理を理解し、説明できる能力を養うことができる。
③ 自身の研究の結果を解釈し、考察する能力を養うことができる。
④ 他分野や他施設の研究を聞き、自分の研究への応用が可能かどうか判断する能力を養う。

テキスト

タイトル	著者	出版社
実験ノート、および研究に関連する参考文献を資料として用いる。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
研究計画	25%
中間報告	25%
学会報告	25%
研究成果報告	25%

その他

【オフィスアワー】演習の前後、またはメールで受け付ける。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	研究計画立案1：関連論文の抄読を通じて、自身の研究課題を抽出する能力を養う。	演習・討論	有吉　渉 山﨑　亮太 吉岡　香絵	【事前学修】関連論文の抄読、研究課題の抽出 【事後学修】抽出課題の修正	その他 Moodle Microsoft Teams

2025年度　　科目コード： 211065

感染症学講究

開講学科	歯学専攻			開講年次	2～4 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	演習	時間数	30	単位数	2
科目責任者	有吉　渉						
担当教員	有吉　渉,山﨑　亮太,吉岡　香絵						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
2	研究計画立案2：抽出した研究課題を証明するための研究方法の提案を通じて、その原理を理解する。	演習・討論	有吉　渉 山﨑　亮太 吉岡　香絵	【事前学修】関連論文の抄読、研究方法の提案 【事後学修】提案方法の修正	その他 Moodle Microsoft Teams
3	研究計画立案3：提案した研究方法の遂行するための研究計画を立案し、研究の企画力を養う。	演習・討論	有吉　渉 山﨑　亮太 吉岡　香絵	【事前学修】関連論文の抄読、研究計画の立案 【事後学修】立案計画の修正	その他 Moodle Microsoft Teams
4	中間報告1：8月までに得られたデータを整理し、研究成果を取りまとめる能力を養う。	演習・討論	有吉　渉 山﨑　亮太 吉岡　香絵	【事前学修】関連論文の抄読 【事後学修】研究データの理解・取りまとめ	その他 Moodle Microsoft Teams
5	中間報告2：8月までに得られたデータの分野内での発表準備を通じて、研究成果のプレゼンテーション能力を養う。	演習・討論	有吉　渉 山﨑　亮太 吉岡　香絵	【事前学修】関連論文の抄読 【事後学修】プレゼンテーションの構成考案	その他 Moodle Microsoft Teams
6	中間報告3：プレゼンテーションを行い、自身の発表に対する教員の質問に的確に回答するなかで科学的な質疑応答能力を養う。	演習・討論	有吉　渉 山﨑　亮太 吉岡　香絵	【事前学修】プレゼンテーションスライドの作成 【事後学修】プレゼンテーション指摘点の修正	その他 Moodle Microsoft Teams
7	中間報告4：プレゼンテーションでの質疑応答の内容を取りまとめ、自身の研究成果にフィードバックし、考察する能力を培う。	演習・討論	有吉　渉 山﨑　亮太 吉岡　香絵	【事前学修】プレゼンテーションスライドの作成 【事後学修】プレゼンテーション指摘点の修正	その他 Moodle Microsoft Teams
8	中間報告5：フィードバックから、改めて研究課題を抽出し、研究方法および研究計画を立案し、研究の企画力を養う。	演習・討論	有吉　渉 山﨑　亮太 吉岡　香絵	【事前学修】新たな研究課題の抽出 【事後学修】研究方法の提案、研究計画の立案	その他 Moodle Microsoft Teams

2025年度　　科目コード： 211065

感染症学講究

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	2～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	演習	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	有吉　渉						
担当教員	有吉　渉,山﨑　亮太,吉岡　香絵						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
9	学会参加1：自身の研究領域の学会を探索し、過去の発表内容から、研究のトピックを理解する。3・４年生は、学会発表に向けた抄録作成を通じて研究成果を取りまとめる能力を養う。	演習・討論	有吉　渉 山﨑　亮太 吉岡　香絵	【事前学修】学会情報の探索、発表内容の確認 【事後学修】抄録の作成	その他 Moodle Microsoft Teams
10	学会参加2：参加する学会の抄録集を熟読し、自身の研究との関連性を理解するとともに、問題点を抽出する能力を養う。3・４年生は、学会発表の準備を通じて研究成果のプレゼンテーション能力を培う。	演習・討論	有吉　渉 山﨑　亮太 吉岡　香絵	【事前学修】学会抄録内容の確認 【事後学修】ディスカッション項目の抽出、プレゼンテーションスライド/ポスターの作成	その他 Moodle Microsoft Teams
11	学会参加3：学会に参加し、関連する演題の発表者へ積極的に質問し、ディスカッションする能力を培う。3・4年生は、自身の発表に対する質問に的確に回答するなかで科学的な質疑応答能力を養う。	演習・討論	有吉　渉 山﨑　亮太 吉岡　香絵	【事前学修】プレゼンテーション/質疑応答の準備 【事後学修】質疑応答事項の取りまとめ	その他 Moodle Microsoft Teams
12	学会参加4：学会での質疑応答の内容を取りまとめ、自身の研究成果にフィードバックし、考察する能力を培う。	演習・討論	有吉　渉 山﨑　亮太 吉岡　香絵	【事前学修】質疑応答を踏まえた研究課題の抽出 【事後学修】研究方法の提案、研究計画の立案	その他 Moodle Microsoft Teams
13	研究成果報告1：中間報告書（2-3年生）、および研究成果報告書（最終学年）のドラフト作成を通じて、研究成果を取りまとめる能力を養う。	演習・討論	有吉　渉 山﨑　亮太 吉岡　香絵	【事前学修】関連論文の抄読、報告書の構成立案 【事後学修】報告書の構成修正	その他 Moodle Microsoft Teams
14	研究成果報告2：中間報告書（2-3年生）、および研究成果報告書（最終学年）のドラフト作成を通じて、研究成果を考察する能力を養う。	演習・討論	有吉　渉 山﨑　亮太 吉岡　香絵	【事前学修】報告書ドラフトの作成 【事後学修】報告書ドラフトの修正	その他 Moodle Microsoft Teams

2025年度　　科目コード： 211065

感染症学講究

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	2～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	演習	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	有吉　渉						
担当教員	有吉　渉,山﨑　亮太,吉岡　香絵						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
15	研究成果報告3：中間報告書（1-3年生）、および研究成果報告書（最終学年）を作成し、自身の研究成果を総括する能力を養う。	演習・討論	有吉　渉 山﨑　亮太 吉岡　香絵	【事前学修】報告書の作成 【事後学修】報告書の修正・提出	その他 Moodle Microsoft Teams

2025年度　　科目コード： 211071

薬理学Ⅰ

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～4 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	竹内　弘						
担当教員	竹内　弘,東 泉						

授業の概要

全身疾患を有する患者が使用する各種薬物について詳細に学ぶ。 特に高齢者が使用することの多い血液系作用薬（抗凝固薬，抗血栓薬），中枢神経系作用薬（パーキンソン病治療薬など）を中心に学ぶ。

学生の到達目標

1．全身疾患を有する患者に対して最適な薬物投与ができる。
2．全身疾患を有する患者に対して安全な歯科治療ができる。
3．全身疾患を有する患者の使用する各種薬物について詳細に説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
発表者が資料準備・配布		

参考書

タイトル	著者	出版社
グッドマン・ギルマン　薬理書　第13版	橋本、赤池ら監訳	廣川書店
各種文献		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
演習の発表内容	50%
講義・演習における質疑応答	50%

その他

学生相談：随時メールにて受付

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
			竹内　弘 東 泉		
1	オリエンテーション血液系作用薬・中枢神経系作用薬の概論を学ぶ。	講義（対面と遠隔の併用）	竹内　弘 東 泉	-	
2	血液系作用薬１血液凝固系、線溶系について学ぶ。抗凝固薬（ヘパリン）の作用機序、副作用、有害作用について学ぶ。	演習（対面と遠隔の併用）	竹内　弘 東 泉	【事前学修課題】配付資料の精読	

2025年度　　科目コード： 211071

薬理学Ⅰ

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～4 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	竹内　弘						
担当教員	竹内　弘,東 泉						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
3	血液系作用薬2 抗凝固薬（ワルファリン）の作用機序、副作用、有害作用について学ぶ。	演習（対面と遠隔の併用）	竹内　弘 東 泉	【事前学修課題】配付資料の精読	
4	血液系作用薬3 新規経口抗凝固薬（NOAC）の作用機序、副作用、有害作用について学ぶ。	演習（対面と遠隔の併用）	竹内　弘 東 泉	【事前学修課題】配付資料の精読	
5	血液系作用薬4 抗血栓薬（アスピリン）の作用機序、副作用、有害作用について学ぶ。	演習（対面と遠隔の併用）	竹内　弘 東 泉	【事前学修課題】配付資料の精読　【事後学修課題】	
6	血液系作用薬5 新規抗血栓薬の作用機序、副作用、有害作用について学ぶ。	演習（対面と遠隔の併用）	竹内　弘 東 泉	【事前学修課題】配付資料の精読　【事後学修課題】	
7	血液系作用薬6 抗凝固薬・抗血栓薬使用時の歯科治療の問題点について学ぶ　その①。	演習（対面と遠隔の併用）	竹内　弘 東 泉	【事前学修課題】配付資料の精読　【事後学修課題】	
8	血液系作用薬7 抗凝固薬・抗血栓薬使用時の歯科治療の問題点について学ぶ　その②。	演習（対面と遠隔の併用）	竹内　弘 東 泉	【事前学修課題】配付資料の精読　【事後学修課題】	
9	中枢神経系作用薬１神経・精神疾患について学ぶ。	演習（対面と遠隔の併用）	竹内　弘 東 泉	【事前学修課題】配付資料の精読　【事後学修課題】	
10	中枢神経系作用薬2 パーキンソン病について臨床応用される治療薬を中心に学ぶ。	演習（対面と遠隔の併用）	竹内　弘 東 泉	【事前学修課題】配付資料の精読　【事後学修課題】	
11	中枢神経系作用薬3 うつ病について臨床応用される治療薬について学ぶ。	演習（対面と遠隔の併用）	竹内　弘 東 泉	【事前学修課題】配付資料の精読　【事後学修課題】	
12	中枢神経系作用薬4 認知症について臨床応用される治療薬について学ぶ。	演習（対面と遠隔の併用）	竹内　弘 東 泉	【事前学修課題】配付資料の精読　【事後学修課題】	
13	中枢神経系作用薬5 てんかんについて臨床応用される治療薬を中心に学ぶ。	演習（対面と遠隔の併用）	竹内　弘 東 泉	【事前学修課題】配付資料の精読　【事後学修課題】	

2025年度　　科目コード： 211071

薬理学Ⅰ

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	竹内　弘						
担当教員	竹内　弘,東 泉						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
14	中枢神経系作用薬6 高齢者に適した薬剤について学ぶ。	演習（対面と遠隔の併用）	竹内　弘 東 泉	【事前学修課題】配付資料の精読　【事後学修課題】	
15	まとめ　血液系作用薬・中枢神経系作用薬と歯科治療の関連性について学ぶ。	講義・演習（対面と遠隔の併用）	竹内　弘 東 泉	-	

2025年度　　科目コード： 211072

薬理学Ⅱ

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～4 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	竹内　弘						
担当教員	竹内　弘,東 泉						

授業の概要

全身疾患を有する患者が使用する各種薬物について詳細に学ぶ。 特に高齢者が使用することの多い循環器系作用薬（高血圧症治療薬，狭心症治療薬など），中枢神経系作用薬（抗うつ薬など）について学ぶ。

学生の到達目標

1．全身疾患を有する患者に対して最適な薬物投与ができる。
2．全身疾患を有する患者に対して安全な歯科治療ができる。
3．全身疾患を有する患者の使用する各種薬物について詳細に説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
発表者が資料準備・配布		

参考書

タイトル	著者	出版社
グッドマン・ギルマン　薬理書　第13版	橋本、赤池ら監訳	廣川書店
各種文献		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
演習の発表内容	50%
講義・演習における質疑応答	50%

その他

学生相談：随時メールにて受付

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
			竹内　弘 東 泉		
1	オリエンテーション循環器系作用薬・中枢神経系作用薬の概論を学ぶ。	講義（対面と遠隔の併用）	竹内　弘 東 泉	-	
2	循環器系作用薬１高血圧症治療薬について学ぶ　その①。	演習（対面と遠隔の併用）	竹内　弘 東 泉	事前学習：配付資料の精読	
3	循環器系作用薬2 高血圧症治療薬について学ぶ　その②。	演習（対面と遠隔の併用）	竹内　弘 東 泉	事前学習：配付資料の精読	

2025年度　　科目コード： 211072

薬理学Ⅱ

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～4 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	竹内　弘						
担当教員	竹内　弘,東 泉						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
4	循環器系作用薬3 心不全治療薬について学ぶ。	演習（対面と遠隔の併用）	竹内　弘 東 泉	事前学習：配付資料の精読	
5	循環器系作用薬4 狭心症治療薬について学ぶ。	演習（対面と遠隔の併用）	竹内　弘 東 泉	事前学習：配付資料の精読	
6	循環器系作用薬5 不整脈治療薬について学ぶ。	演習（対面と遠隔の併用）	竹内　弘 東 泉	事前学習：配付資料の精読	
7	循環器系作用薬6 循環器系作用薬使用患者の歯科治療について学ぶその①。	演習（対面と遠隔の併用）	竹内　弘 東 泉	事前学習：配付資料の精読	
8	循環器系作用薬7 循環器系作用薬使用患者の歯科治療について学ぶその②。	演習（対面と遠隔の併用）	竹内　弘 東 泉	事前学習：配付資料の精読	
9	中枢神経系作用薬１神経・精神疾患について学ぶ。	演習（対面と遠隔の併用）	竹内　弘 東 泉	事前学習：配付資料の精読	
10	中枢神経系作用薬2 うつ病について臨床応用される治療薬について学ぶ。	演習（対面と遠隔の併用）	竹内　弘 東 泉	事前学習：配付資料の精読	
11	中枢神経系作用薬3 そう病について臨床応用される治療薬を中心に学ぶ。	演習（対面と遠隔の併用）	竹内　弘 東 泉	事前学習：配付資料の精読	
12	中枢神経系作用薬4 認知症について臨床応用される治療薬について学ぶ。	演習（対面と遠隔の併用）	竹内　弘 東 泉	事前学習：配付資料の精読	
13	中枢神経系作用薬5 統合失調症について臨床応用される頻度の高い治療薬について学ぶ。	演習（対面と遠隔の併用）	竹内　弘 東 泉	事前学習：配付資料の精読	
14	中枢神経系作用薬6 アルコール依存、薬物依存症について学ぶ。	演習（対面と遠隔の併用）	竹内　弘 東 泉	事前学習：配付資料の精読	
15	まとめ　循環器系作用薬・中枢神経系作用薬と歯科治療の関連性について学ぶ。	講義・演習（対面と遠隔の併用）	竹内　弘 東 泉	-	

2025年度　　科目コード： 211073

薬理学III

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～4 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	演習	時間数	30	単位数	2
科目責任者	竹内　弘						
担当教員	竹内　弘,東 泉						

授業の概要

歯科治療に関連の深い医薬品についての文献を読み、最新の知識を得る。また、歯科治療にともなう医薬品の副作用について学ぶ。

学生の到達目標

1．患者に安全で有効な薬物投与ができる。
2．最新の医薬品情報を得ることができる。
3．論文を読むことができる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
発表者が資料準備・配布		

参考書

タイトル	著者	出版社
各種文献（ガイドラインなど都度指示）		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
演習の発表内容	50%
講義・演習における質疑応答	50%

その他

学生相談：随時メールにて受付

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
			竹内　弘 東 泉		
1	オリエンテーション今後の講義・演習について討論する。	講義（対面と遠隔の併用）	竹内　弘 東 泉	-	
2	抗菌薬1 PK-PD理論を学ぶ　その①。	演習（対面と遠隔の併用）	竹内　弘 東 泉	事前学習：配付資料の精読	
3	抗菌薬2 PK-PD理論を学ぶ　その②。	演習（対面と遠隔の併用）	竹内　弘 東 泉	事前学習：配付資料の精読	
4	抗菌薬3 耐性菌について学ぶ。	演習（対面と遠隔の併用）	竹内　弘 東 泉	事前学習：配付資料の精読	

2025年度　　科目コード： 211073

薬理学III

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～4 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	演習	時間数	30	単位数	2
科目責任者	竹内　弘						
担当教員	竹内　弘,東 泉						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
5	抗菌薬4 カルバペネム系抗生物質について学ぶ。	演習（対面と遠隔の併用）	竹内　弘 東 泉	事前学習：配付資料の精読	
6	抗ウイルス薬　新規抗インフルエンザウイルス薬について学ぶ。	演習（対面と遠隔の併用）	竹内　弘 東 泉	事前学習：配付資料の精読	
7	抗血小板凝集薬1 血液凝固、血液溶解について学ぶ。	演習（対面と遠隔の併用）	竹内　弘 東 泉	事前学習：配付資料の精読	
8	抗血小板凝集薬2新規抗血小板凝集薬について学ぶ。	演習（対面と遠隔の併用）	竹内　弘 東 泉	事前学習：配付資料の精読	
9	抗血小板凝集薬3 新規抗血小板凝集薬と歯科治療について学ぶ。	演習（対面と遠隔の併用）	竹内　弘 東 泉	事前学習：配付資料の精読	
10	血液凝固抑制薬に関するガイドラインについて学ぶ。	演習（対面と遠隔の併用）	竹内　弘 東 泉	事前学習：配付資料の精読	
11	抗真菌薬1 抗真菌薬と歯科における応用について学ぶ。	演習（対面と遠隔の併用）	竹内　弘 東 泉	事前学習：配付資料の精読	
12	抗真菌薬2抗真菌薬とその薬物相互作用について学ぶ。	演習（対面と遠隔の併用）	竹内　弘 東 泉	事前学習：配付資料の精読	
13	骨粗鬆症治療薬1 ビスホスホネート製剤について学ぶ。	演習（対面と遠隔の併用）	竹内　弘 東 泉	事前学習：配付資料の精読	
14	骨粗鬆症治療薬2 ビスホスホネート製剤の副作用について学ぶ。	演習（対面と遠隔の併用）	竹内　弘 東 泉	事前学習：配付資料の精読	
15	まとめ　歯科治療における安全な薬物投与について学ぶ。	演習（対面と遠隔の併用）	竹内　弘 東 泉	-	

2025年度　　科目コード： 211074

薬理学IV

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～4 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	竹内　弘						
担当教員	竹内　弘,東 泉						

授業の概要
新規に開発された医薬品についての基礎知識、作用機序、臨床応用、適正使用について学ぶ。

学生の到達目標
1．分子標的薬を中心に新薬の説明ができる。
2．最新の医薬品情報を入手・理解できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
発表者が資料準備・配布		

参考書

タイトル	著者	出版社
各種文献（各回の担当者が準備）		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
演習の発表内容	50%
講義・演習における質疑応答	50%

その他
学生相談：随時メールにて受付

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	オリエンテーション新規開発医薬品に関する情報収集方法を学ぶ。	講義（対面と遠隔の併用）	竹内　弘 東 泉		
2	発表担当者は新規開発医薬品の紹介と解説を行い、情報収集と発表方法を学ぶ。	演習（対面と遠隔の併用）	竹内　弘 東 泉	事前学習：配付資料の精読	
3	発表担当者は新規開発医薬品の紹介と解説を行い、情報収集と発表方法を学ぶ。	演習（対面と遠隔の併用）	竹内　弘 東 泉	事前学習：配付資料の精読	
4	発表担当者は新規開発医薬品の紹介と解説を行い、情報収集と発表方法を学ぶ。	演習（対面と遠隔の併用）	竹内　弘 東 泉	事前学習：配付資料の精読	

2025年度　　科目コード： 211074

薬理学IV

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～4 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	竹内　弘						
担当教員	竹内　弘,東 泉						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
5	発表担当者は新規開発医薬品の紹介と解説を行い、情報収集と発表方法を学ぶ。	演習（対面と遠隔の併用）	竹内　弘 東 泉	事前学習：配付資料の精読	
6	発表担当者は新規開発医薬品の紹介と解説を行い、情報収集と発表方法を学ぶ。	演習（対面と遠隔の併用）	竹内　弘 東 泉	事前学習：配付資料の精読	
7	発表担当者は新規開発医薬品の紹介と解説を行い、情報収集と発表方法を学ぶ。	演習（対面と遠隔の併用）	竹内　弘 東 泉	事前学習：配付資料の精読	
8	発表担当者は新規開発医薬品の紹介と解説を行い、情報収集と発表方法を学ぶ。	演習（対面と遠隔の併用）	竹内　弘 東 泉	事前学習：配付資料の精読	
9	発表担当者は新規開発医薬品の紹介と解説を行い、情報収集と発表方法を学ぶ。	演習（対面と遠隔の併用）	竹内　弘 東 泉	事前学習：配付資料の精読	
10	発表担当者は新規開発医薬品の紹介と解説を行い、情報収集と発表方法を学ぶ。	演習（対面と遠隔の併用）	竹内　弘 東 泉	事前学習：配付資料の精読	
11	発表担当者は新規開発医薬品の紹介と解説を行い、情報収集と発表方法を学ぶ。	演習（対面と遠隔の併用）	竹内　弘 東 泉	事前学習：配付資料の精読	
12	発表担当者は新規開発医薬品の紹介と解説を行い、情報収集と発表方法を学ぶ	演習（対面と遠隔の併用）	竹内　弘 東 泉	事前学習：配付資料の精読	
13	発表担当者は新規開発医薬品の紹介と解説を行い、情報収集と発表方法を学ぶ。	演習（対面と遠隔の併用）	竹内　弘 東 泉	事前学習：配付資料の精読	
14	発表担当者は新規開発医薬品の紹介と解説を行い、情報収集と発表方法を学ぶ。	演習（対面と遠隔の併用）	竹内　弘 東 泉	事前学習：配付資料の精読	
15	発表担当者は新規開発医薬品の紹介と解説を行い、情報収集と発表方法を学ぶ。	講義・演習（対面と遠隔の併用）	竹内　弘 東 泉	事前学習：配付資料の精読	

2025年度　　科目コード： 211075

薬理学講究

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～4 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	演習	時間数	30	単位数	2
科目責任者	竹内　弘						
担当教員	竹内　弘,東 泉						

授業の概要

新薬開発や各種薬物に関する最新の研究の動向を理解する。「健康食品」などの成分や効能についても資料に基づいて科学的に検証する。担当者は新薬開発につながる研究テーマの発掘も念頭に置いて文献を紹介し、その内容について全員で議論する。

学生の到達目標

1．英文・和文の文献を論理的な視点で読むことができる。
2．基礎生命科学研究文献の内容を理解し批評できる。
3．基礎生命科学研究文献の内容を、背景を含めてわかりやすく説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
紹介する文献および参考書は各自必要なものを選別する。		

参考書

タイトル	著者	出版社
紹介する文献および参考書は発表担当者が必要なものを選別する。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
発表	50%
質疑応答	50%

その他

学生相談：随時　但し事前にメール等で予約必要

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
			竹内　弘 東 泉		
1～15	創薬を意識した最新の生命科学研究の内容と動向を理解し、説明および討論する。	文献紹介および討論（一部遠隔）	竹内　弘 東 泉	（予習）担当者は文献の詳読および関連情報の調査説明用資料の準備	

2025年度　　科目コード： 211076

分子薬理学演習

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	竹内　弘						
担当教員	竹内　弘,東 泉						

授業の概要

薬理学の研究に必要となる基本的知識および基本的実験手技を学ぶ。 遺伝子組換えタンパク質を調製し、各種薬物の効果を調べる方法を中心とする。

学生の到達目標

1．遺伝子組換えタンパク質の調製法について説明できる。
2．タンパク質の調製に必要な DNA コンストラクトを設計・作製できる。
3．遺伝子組換えタンパク質を調製できる。
4．遺伝子組換えタンパク質を用いた薬理学的な試験管内実験を行うことができる。

参考書

タイトル	著者	出版社
板書による説明。学習内容に応じた参考文献、参考書については助言する。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
演習の発表内容	30%
実験の理解度と結果の整理	70%

その他

学生相談：随時　但し事前にメール等の予約必要

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
			竹内　弘 東 泉		
1	オリエンテーション本演習で行う実験の全体の流れを学ぶ。	講義	竹内　弘 東 泉	配付資料の精読	
2	大腸菌用発現コンストラクトの作製準備必要な遺伝子情報を収集しコンストラクトを設計する方法について学ぶ。	演習	竹内　弘 東 泉	（復習）実験内容と結果の記録	

2025年度　　科目コード： 211076

分子薬理学演習

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～4 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	竹内　弘						
担当教員	竹内　弘,東 泉						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
3	大腸菌発現コンストラクトの作製（１）PCR 法による目的遺伝子とベクターの調製、ライゲーションについて学ぶ。	演習	竹内　弘 東 泉	（復習）実験内容と結果の記録	
4	大腸菌細胞用発現コンストラクトの作製（２）インサート挿入の正否判定について学ぶ。	演習	竹内　弘 東 泉	（復習）実験内容と結果の記録	
5	組換えタンパク質の発現確認（１）大腸菌の培養と組換えタンパク質の発現誘導からサンプル調製までを学ぶ。	演習	竹内　弘 東 泉	（復習）実験内容と結果の記録	
6	組換えタンパク質の発現確認（２）調製したサンプルの解析。SDS-PAGE。	演習	竹内　弘 東 泉	（復習）実験内容と結果の記録	
7	組換えタンパク質の調製　（１）組換えタンパク質を調製するための大量培養系における発現誘導の条件検討について学ぶ。	演習	竹内　弘 東 泉	（復習）実験内容と結果の記録	
8	組換えタンパク質の調製　（２）大腸菌溶解液から組換えタンパク質精製する方法を学ぶ。	演習	竹内　弘 東 泉	（復習）実験内容と結果の記録	
9	組換えタンパク質の調製（３）調製したタンパク質の濃度や精製度の確認方法について学ぶ。	演習	竹内　弘 東 泉	（復習）実験内容と結果の記録	
10	組換えタンパク質を用いた試験管内実験　（１）タンパク質間結合能を指標にした活性測定について学ぶ。サンプル調製まで。	演習	竹内　弘 東 泉	（復習）実験内容と結果の記録	
11	組換えタンパク質を用いた試験管内実験　（２）引続きタンパク質間結合能を指標にした活性測定について学ぶ。調製したサンプルの電気泳動。	演習	竹内　弘 東 泉	（復習）実験内容と結果の記録	

2025年度　　科目コード： 211076

分子薬理学演習

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	竹内　弘						
担当教員	竹内　弘,東 泉						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
12	組換えタンパク質を用いた試験管内実験　（３）調製したタンパク質の酵素活性を測定することを学ぶ。	演習	竹内　弘 東 泉	（復習）実験内容と結果の記録	
13	組換えタンパク質を用いた試験管内実験　（４）組換えタンパク質の酵素活性に薬物が与える影響を調べる。	演習	竹内　弘 東 泉	（復習）実験内容と結果の記録	
14	データのまとめ得られた結果をまとめて発表する準備をする。	演習	竹内　弘 東 泉	（復習）結果のまとめと発表資料の準備	
15	まとめたデータの発表まとめたデータについて発表討論する。	演習	竹内　弘 東 泉	（予習）発表資料の準備	

2025年度　　科目コード： 211077

細胞分子薬理学演習

開講学科	歯学専攻			開講年次	1年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	竹内　弘						
担当教員	竹内　弘,東 泉						

授業の概要

薬理学の研究に必要となる基本的知識および基本的実験手技を学ぶ。 遺伝子組み換えと哺乳類細胞培養技術を用いて、各種薬物の効果を調べる方法を修得する。

学生の到達目標

1．培養細胞の外来遺伝子発現を操作する方法を説明できる。
2．上記操作に必要なDNAコンストラクトを設計・作製できる。
3．外来生遺伝子を培養細胞に導入できる。
4．遺伝子操作した培養細胞を用いて各種薬物の効果を検討することができる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
なし		

参考書

タイトル	著者	出版社
板書による説明。学習内容に応じた参考文献、参考書については助言する。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
演習の発表内容	30%
実験の理解度と結果の整理	70%

その他

学生相談：随時　但し事前にメール等の予約必要

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	オリエンテーション本演習で行う実験の全体の流れを学ぶ。	講義	竹内　弘 東 泉	配付資料の精読	
2	哺乳類細胞用発現コンストラクトの作製準備 必要な遺伝子情報を収集しコンストラクトを設計する方法について学ぶ	演習	竹内　弘 東 泉	（復習）実験内容と結果の記録	

2025年度　　科目コード： 211077

細胞分子薬理学演習

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	竹内　弘						
担当教員	竹内　弘,東 泉						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
3	哺乳類細胞用発現コンストラクトの作製（1） 目的遺伝子とベクターの調製、ライゲーションについて学ぶ。	演習	竹内　弘 東 泉	（復習）実験内容と結果の記録	
4	哺乳類細胞用発現コンストラクトの作製（2） インサート挿入の成否判定について学ぶ。	演習	竹内　弘 東 泉	（復習）実験内容と結果の記録	
5	培養細胞への遺伝子導入と発現確認（1） 調製したコンストラクトを培養細胞に導入する方法について学ぶ。	演習	竹内　弘 東 泉	（復習）実験内容と結果の記録	
6	培養細胞への遺伝子導入と発現確認（2） 調製したコンストラクトを培養細胞に導入する方法について学ぶ。前回の続き。	演習	竹内　弘 東 泉	（復習）実験内容と結果の記録	
7	培養細胞への遺伝子導入と発現確認（3） 培養細胞に導入した遺伝子の発現確認方法を学ぶ（顕微鏡観察とタンパク質電気泳動）。	演習	竹内　弘 東 泉	（復習）実験内容と結果の記録	
8	培養細胞への遺伝子導入と発現確認（4） 培養細胞に導入した遺伝子の発現確認方法を学ぶ（ウエスタンブロット）。	演習	竹内　弘 東 泉	（復習）実験内容と結果の記録	
9	遺伝子導入した培養細胞で薬物効果の検討（1） 薬物に応答した細胞内分子の局在変化の観察方法を学ぶ。	演習	竹内　弘 東 泉	（復習）実験内容と結果の記録	
10	遺伝子導入した培養細胞で薬物効果の検討（2） 細胞内タンパク質のリン酸化を指標とした薬物応答の評価方法を学ぶ（サンプル調製）。	演習	竹内　弘 東 泉	（復習）実験内容と結果の記録	

2025年度　　科目コード： 211077

細胞分子薬理学演習

開講学科	歯学専攻			開講年次	1年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	竹内　弘						
担当教員	竹内　弘,東 泉						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
11	遺伝子導入した培養細胞で薬物効果の検討（3） 引き続き細胞内タンパク質のリン酸化を指標とした薬物応答の評価方法を学ぶ（電気泳動）。	演習	竹内　弘 東 泉	（復習）実験内容と結果の記録	
12	遺伝子導入した培養細胞で薬物効果の検討（4） 引き続き細胞内タンパク質のリン酸化を指標とした薬物応答の評価方法を学ぶ（検出と結果判定）。	演習	竹内　弘 東 泉	（復習）実験内容と結果の記録	
13	遺伝子導入した培養細胞で薬物効果の検討（5） 細胞内カルシウム動態を指標とした薬物応答の評価方法を学ぶ（細胞の調製）。	演習	竹内　弘 東 泉	（復習）実験内容と結果の記録	
14	遺伝子導入した培養細胞で薬物効果の検討（6） 細胞内カルシウム動態を指標とした薬物応答の評価方法を学ぶ（カルシウムイメージング）。	演習	竹内　弘 東 泉	（復習）結果のまとめと発表資料の準備	
15	データのまとめと考察 得られた結果をまとめて発表討論する。	演習	竹内　弘 東 泉	（予習）発表資料の準備	

2025年度　　科目コード： 211078

薬理学演習

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～4 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	竹内　弘						
担当教員	竹内　弘,東 泉						

授業の概要

実験動物を使用して研究を行う際に必要になる、基本的知識および基本的実験手技を学ぶ。さらに、動物実験計画書作成について学ぶ。

学生の到達目標

1．実験動物について説明できる。
2．動物実験計画書を立案できる。
3．動物に薬物投与を行うことができる。
4．基本的薬理実験について説明でき、行うことができる。

参考書

タイトル	著者	出版社
動物実験の適正な実施に向けたガイドライン	日本学術会議制定	
各種文献		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
演習の発表内容	30%
実験の理解度と結果の整理	70%

その他

学生相談：随時

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
			竹内　弘 東 泉		
1	オリエンテーション今後の講義・演習について討論する	講義	竹内　弘 東 泉	-	
2	実験動物学総論1 実験動物の概論を学ぶ。	講義	竹内　弘 東 泉	事前学習：配付資料の精読	
3	実験動物学総論2 実験動物に関する各種法律・ガイドラインについて学ぶ。	講義	竹内　弘 東 泉	事前学習：配付資料の精読	

2025年度　　科目コード： 211078

薬理学演習

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～4 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	竹内　弘						
担当教員	竹内　弘,東 泉						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
4	実験動物学総論3 実験動物に関する動物福祉について学ぶ。	講義・演習	竹内　弘 東 泉	事前学習：配付資料の精読	
5	実験動物学総論4 実験動物の薬物投与方法、麻酔方法、安楽死について学ぶ　その①。	講義・演習	竹内　弘 東 泉	事前学習：配付資料の精読	
6	実験動物学総論5 実験動物の薬物投与方法、麻酔方法、安楽死について学ぶ　その②。	講義・演習	竹内　弘 東 泉	事前学習：配付資料の精読	
7	実験動物学総論6 実験動物の薬物投与方法、麻酔方法、安楽死について学ぶ　その③。	講義・演習	竹内　弘 東 泉	事前学習：配付資料の精読	
8	薬理学実験 1急性毒性実験法について学ぶ。	講義・演習	竹内　弘 東 泉	事前学習：配付資料の精読	
9	薬理学実験 2 慢性毒性実験法について学ぶ。	講義・演習	竹内　弘 東 泉	事前学習：配付資料の精読	
10	薬理学実験 3 局所毒性実験法について学ぶ。	講義・演習	竹内　弘 東 泉	事前学習：配付資料の精読	
11	薬理学実験 4 その他の毒性試験について学ぶ。	講義・演習	竹内　弘 東 泉	事前学習：配付資料の精読	
12	動物実験計画書作成 1 動物実験計画書の作成方法を学ぶ その①。	講義	竹内　弘 東 泉	事前学習：配付資料の精読	
13	動物実験計画書作成 2 動物実験計画書の作成方法を学ぶ その②。	講義	竹内　弘 東 泉	事前学習：配付資料の精読	
14	動物実験計画書作成 3 動物実験計画書を作成する。	講義	竹内　弘 東 泉	事前学習：配付資料の精読	
15	まとめ 薬理学実験に関しての総まとめを行う。	講義	竹内　弘 東 泉	-	

2025年度　　科目コード： 211081

臨床疫学Ⅰ

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～2 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	60	単位数	4
科目責任者	角舘　直樹						
担当教員	角舘　直樹						

授業の概要

本科目では、臨床疫学の基礎的内容を学習し、臨床疫学の各種研究デザインについて理解する。また、それぞれの研究デザインに関する論文を批判的吟味することで、理解を深める。これによりEvidence-Based Dentistry(EBD)の実践力も養う。

学生の到達目標

１．臨床疫学の概略を理解する。２．臨床疫学・構造化抄録の読み方を理解する。３．臨床疫学研究デザインの概略を理解する。４．各種研究デザインにおける論文の批判的吟味ができる。５．Evidence-Based Dentistryを実践できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
Evidence-Based Dentistry入門		永末書店

参考書

タイトル	著者	出版社
医学的研究のデザインー研究の質を高める疫学的アプローチー第3版		メディカルサイエンスインターナショナル社
歯科診療に基づく研究・英語論文執筆ガイド		医歯薬出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
演習の成果物	100%

その他

【オフィスアワー】講義の前後、またはメールにて随時受付。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1,2	イントロダクション：臨床疫学の定義について学び、臨床疫学研究デザインの全体像を理解する。	講義	角舘　直樹	臨床疫学研究デザインについて	
3,4	臨床疫学論文・構造化抄録の読み方：臨床疫学論文の構成および構造化抄録の読解方法を学ぶ。	講義	角舘　直樹	臨床疫学論文・構造化抄録の読み方について	

2025年度　　科目コード： 211081

臨床疫学Ⅰ

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～2 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	60	**単位数**	4
科目責任者	角舘　直樹						
担当教員	角舘　直樹						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
5,6	文献検索法①：文献検索方法について学び、実際にPubMed、医中誌等を用いて各種研究デザインの論文を検索する。	演習	角舘　直樹	PubMed、医中誌による文献検索について	
7,8	文献検索法②：Cochrane Library, Mindsを用いて、システマティックレビューや診療ガイドラインを検索する。	演習	角舘　直樹	Cochrane Library, Mindsによる文献検索について	
9,10	臨床疫学研究デザイン①（横断研究、症例対照研究）：横断研究・症例対照研究の利点と欠点を理解し、歯科領域における先行研究について学ぶ。	講義	角舘　直樹	横断研究・症例対照研究の利点と欠点について	
11,12	批判的吟味①（横断研究）：横断研究に関する論文の批判的吟味の方法について理解し、実際に行う。	演習	角舘　直樹	横断研究論文の批判的吟味について	
13,14	臨床疫学研究デザイン②（コホート研究）：コホート研究の利点と欠点を理解し、歯科領域における先行研究について学ぶ。	講義	角舘　直樹	コホート研究の利点と欠点について	
15,16	批判的吟味②（コホート研究）：コホート研究に関する論文の批判的吟味の方法について理解し、実際に行う。	演習	角舘　直樹	コホート研究論文の批判的吟味について	
17,18	臨床疫学研究デザイン③（介入研究）：介入研究の利点と欠点を理解し、歯科領域における先行研究について学ぶ。	講義	角舘　直樹	介入研究の利点と欠点について	
19,20	批判的吟味③（介入研究）：介入研究に関する論文の批判的吟味の方法について理解し、実際に行う。	演習	角舘　直樹	介入研究論文の批判的吟味について	

2025年度　　科目コード： 211081

臨床疫学Ⅰ

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～2 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	60	**単位数**	4
科目責任者	角舘　直樹						
担当教員	角舘　直樹						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
21,22	臨床疫学研究デザイン④（システマティックレビュー・メタアナリシス）：データ統合型研究の利点と欠点を理解し、歯科領域における先行研究について学ぶ。	講義	角舘　直樹	データ統合型研究の利点と欠点について	
23,24	批判的吟味④（システマティックレビュー・メタアナリシス）：データ統合型研究に関する論文の批判的吟味の方法について理解し、実際に行う。	演習	角舘　直樹	データ統合型研究論文の批判的吟味について	
25,26	臨床研究デザイン⑤（診断・スクリーニングの評価）：診断・スクリーニングの評価法について理解する。歯科領域における先行研究について学ぶ。	演習	角舘　直樹	診断・スクリーニング研究の特徴について	
27,28	批判的吟味⑤（診断・スクリーニングの評価）：診断・スクリーニングの評価法に関する論文の批判的吟味の方法について理解し、実際に行う。	演習	角舘　直樹	診断・スクリーニング研究論文の批判的吟味について	
29,30	診療ガイドライン：診療ガイドラインの意義を理解し、実際に読解する。AGREE、診療ガイドラインの評価法（AGREE）やGRADEシステムについても学ぶ。	演習	角舘　直樹	診療ガイドラインの評価について	

2025年度　　科目コード： 211082

臨床疫学Ⅱ

開講学科	歯学専攻			開講年次	2～3 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	60	単位数	4
科目責任者	角舘　直樹						
担当教員	角舘　直樹						

授業の概要

本科目では、臨床疫学の専門的な知識および臨床疫学研究を実践する上での応用力を養う。また各自のリサーチクエスチョンに基づいて研究デザインならびに統計解析デザインを立案し、研究プロトコールを作成するための実践的能力を養う。

学生の到達目標

１．各自の診療上の疑問を定式化し、アウトカム指標を設定できる。２．概念モデルを作成することができる。３．適切な臨床疫学研究デザインを立案できる。４．適切な統計解析デザインを立案できる。　５．研究プロトコールを作成することができる。

参考書

タイトル	著者	出版社
Evidence-Based Dentistry 入門		永末書店
医学的研究のデザインー研究の質を高める疫学的アプローチー第3版		メディカルサイエンスインターナショナル社
歯科診療に基づく研究・英語論文執筆ガイド		医歯薬出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
演習の成果物	100%

その他

【オフィスアワー】講義の前後、またはメールにて随時受付。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1,2	診療上の疑問の定式化：自身の診療上の疑問をPICOのフォーマットを用いて定式化する。アウトカムを測定する際の指標の種類、選択方法について学ぶ。	講義	角舘　直樹	PICO/Finer’s check	

2025年度　　科目コード： 211082

臨床疫学Ⅱ

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	2～3 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	60	**単位数**	4
科目責任者	角舘　直樹						
担当教員	角舘　直樹						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
3,4	アウトカム指標の設定：アウトカムを測定する際の指標、測定方法、患者立脚アウトカムについて学ぶ。	講義	角舘　直樹	アウトカム指標について	
5,6	仮説（概念モデル）の設定：交絡因子をはじめとする第3の因子を検討するために概念モデルを検討する。	講義,演習	角舘　直樹	概念モデルについて	
7,8	臨床疫学研究デザインの立案：自身の疑問に基づいて適切な臨床疫学研究デザインを立案する。各種デザインに応じた研究手法について学ぶ。	講義,演習	角舘　直樹	臨床疫学研究デザインについて	
9,10	バイアスの制御法：選択バイアス、測定バイアス、交絡バイアスの制御方法について学び、実例をもとに学ぶ。	講義	角舘　直樹	バイアスの制御法について	
11,12	データ測定法：キャリブレーションなどをはじめとするデータ測定方法の信頼性・妥当性について学ぶ。	講義,演習	角舘　直樹	データ測定方法における信頼性と妥当性について	
13,14	統計解析のデザイン①：データの種類、分布、記述統計、オッズ比、リスク比、リスク差およびハザード比の違いについて学ぶ。	講義,演習	角舘　直樹	リスク比、リスク差およびハザード比について	
15,16	統計解析のデザイン②：統計学的仮説検定、P値と有意水準、信頼区間、相関および相関係数について学ぶ。		角舘　直樹	P値と有意水準、信頼区間、相関および相関係数について	
17,18	統計解析のデザイン③：２群間比較と多群間比較の検定方法および検定の過誤について学ぶ。	講義,演習	角舘　直樹	２群間比較と多群間比較の検定方法について	
19,20	統計解析のデザイン④：ロジスティック回帰分析、重回帰分析をはじめとする多変量解析について学ぶ。	講義,演習	角舘　直樹	ロジスティック回帰分析、重回帰分析について	

2025年度　　科目コード： 211082

臨床疫学Ⅱ

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	2～3 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	60	**単位数**	4
科目責任者	角舘　直樹						
担当教員	角舘　直樹						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
21,22	統計解析のデザイン⑤: Cox回帰（比例ハザードモデル）やカプラン・マイヤー曲線、ログランク検定をはじめとする生存時間解析の手法について学ぶ。	講義,演習	角舘　直樹	生存時間解析について	
23,24	統計解析のデザイン⑥: サンプルサイズの推定について学ぶ。	講義,演習	角舘　直樹	サンプルサイズの推定について	
25,26	質問票の作成: 情報バイアスを制御するための質問票の作成方法について学び、実際に質問紙を作成する。	講義,演習	角舘　直樹	質問票の作成法について	
27,28	研究プロトコールの作成方法: Consort声明・Strobe声明をはじめとする研究報告のガイドラインについて学び、効率的な研究プロトコールの作成方法について理解する。	講義	角舘　直樹	研究プロトコールの作成について	
29,30	臨床疫学研究における倫理的配慮: 各種倫理指針、倫理委員会への書類申請ならびに臨床研究試験登録について学ぶ。	講義	角舘　直樹	倫理指針、倫理委員会への書類申請および臨床研究試験登録について。	

2025年度　　科目コード： 211083

臨床疫学III

開講学科	歯学専攻			開講年次	3〜4 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	60	単位数	4
科目責任者	角舘　直樹						
担当教員	角舘　直樹						

授業の概要

本科目では、様々な臨床疫学研究の応用例について理解を深め、歯科領域における研究事例について学ぶ。また、国際的な臨床疫学研究について学び、Practice-Based Researchの意義や方法論についても理解する。

学生の到達目標

１．歯科領域における各種の臨床疫学研究の理論と実例を理解する。 ２．国際的な臨床疫学研究について学ぶ。 ３．Practice-Based Researchについて理解する。４．Evidence-Practice Gapについて理解する。５．臨床疫学研究論文の作成方法について学ぶ。

参考書

タイトル	著者	出版社
Evidence-Based Dentistry入門		永末書店
医学的研究のデザインー研究の質を高める疫学的アプローチー第3版		メディカルサイエンスインターナショナル社
歯科診療に基づく研究・英語論文執筆ガイド		医歯薬出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
演習の成果物	100%

その他

【オフィスアワー】 講義の前後、またはメールにて随時受付。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1,2	う蝕の臨床疫学：う蝕の原因、診断、治療、予防、予後をはじめとする臨床疫学研究について学ぶ。	講義・演習	角舘　直樹	う蝕の臨床疫学について	
3,4	歯周病の臨床疫学：歯周病の原因、診断、治療、予防、予後をはじめとする臨床疫学研究について学ぶ。	講義・演習	角舘　直樹	歯周病の臨床疫学について	

2025年度　　科目コード： 211083

臨床疫学III

開講学科	歯学専攻			開講年次	3～4 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	60	単位数	4
科目責任者	角舘　直樹						
担当教員	角舘　直樹						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
5,6	顎関節症の臨床疫学：顎関節症の原因、診断、治療、予防、予後をはじめとする臨床疫学研究について学ぶ。	講義・演習	角舘　直樹	顎関節症の臨床疫学について	
7,8	歯冠修復物に関する臨床疫学：歯冠修復物の予後・生存期間に関する臨床疫学研究について学ぶ。	講義・演習	角舘　直樹	歯科修復物に関する臨床疫学について	
9,10	歯科保健指導に関する臨床疫学：歯科保健指導に関する臨床疫学研究について学ぶ。	講義・演習	角舘　直樹	歯科保健指導に関する臨床疫学について	
11,12	患者立脚型アウトカム：研究患者満足度、QOLなどの患者立脚型アウトカムを理解し、歯科領域における研究事例について学ぶ。	講義・演習	角舘　直樹	患者満足度研究について	
13,14	行動科学に関する臨床疫学：各種健康行動科学理論について理解し、歯科領域における行動科学に関する研究事例について学ぶ。	講義・演習	角舘　直樹	歯科領域における健康行動科学理論について	
15,16	歯科治療の費用対効果の臨床疫学：歯科治療における費用対効果について理解し、歯科領域の研究事例について学ぶ。	講義・演習	角舘　直樹	費用対効果に関する臨床疫学について	
17,18	医療の質に関する臨床疫学：医療の質について理解し、歯科領域における研究事例について学ぶ。	講義・演習	角舘　直樹	医療の質研究について	
19,20	Practice-Based Research: Practice-Based Researchの歴史、意義、現状について理解し、研究の事例について学ぶ。	講義・演習	角舘　直樹	Practice-Based Researchについて	
21,22	Evidence-Practice Gap：エビデンス―診療ギャップを理解し、歯科領域での研究事例について学ぶ。	講義・演習	角舘　直樹	Evidence-Practice Gapについて	

2025年度　　科目コード： 211083

臨床疫学III

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	3〜4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	60	**単位数**	4
科目責任者	角舘　直樹						
担当教員	角舘　直樹						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
23,24	国際的な臨床疫学研究：国際的な臨床疫学研究の潮流について理解し、歯科領域での研究事例について学ぶ。	講義・演習	角舘　直樹	国際的な臨床疫学研究の潮流について	
25,26	歯科診療の国際比較研究：歯科診療パターンの国際比較について学ぶ、歯科医療制度の違いについて考察する。	講義・演習	角舘　直樹	歯科診療の国際比較研究について	
27,28	歯科医療政策と臨床疫学：歯科医療政策と臨床疫学研究の関係について学ぶ。	講義・演習	角舘　直樹	歯科保健医療政策と臨床疫学研究について	
29,30	臨床疫学研究論文の作成：臨床疫学研究論文の書き方および統計報告の方法について学ぶ。	講義・演習	角舘　直樹	臨床疫学研究論文の作成方法について	

2025年度　　科目コード： 211084

臨床疫学演習

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～3 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	角舘　直樹						
担当教員	角舘　直樹						

授業の概要

臨床疫学分野で行う研究内容・成果の発表会に参加し、そこで行われる討論および質疑応答を通して、研究の内容理解を深める。担当教員をはじめとする発表会参加者より受けたフィードバックに基づいて自身の研究を見直し、研究の質を高める。

学生の到達目標

１．研究方法について理解し、説明できる。２．自身の研究結果（解析データ）について論理的に解釈し、説明できる。３．研究の進捗状況・結果についてスライドを作成し、分かりやすくプレゼンテーションできる。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
演習の成果物	50%
発表・質疑応答	50%

その他

各自の研究テーマに関連する最新の論文を各自で選定する。発表者はスライドにて発表資料を準備し、参加者に事前配布する。【オフィスアワー】講義の前後、またはメールにて随時受付。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1～15	解析データ・進捗状況をスライドにまとめ、プレゼンテーションを行う。発表者は発表会参加者からの質問に答え、討論を行うことで研究方法および内容について理解を深める。	研究報告・発表および討論	角舘　直樹	文献抄読および関連文献の収集	

2025年度　　科目コード： 211085

臨床疫学講究

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～4 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	角舘　直樹						
担当教員	角舘　直樹						

授業の概要

臨床疫学分野で行う研究内容・成果の発表会に参加し、そこで行われる討論および質疑応答を通して、研究の内容理解を深める。担当教員をはじめとする発表会参加者より受けたフィードバックに基づいて自身の研究を見直し、研究の質を高める。

学生の到達目標

１．研究方法について理解し、説明できる。２．自身の研究結果（解析データ）について論理的に解釈し、説明できる。３．研究の進捗状況・結果についてスライドを作成し、分かりやすくプレゼンテーションできる。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
演習の成果物	50%
発表・質疑応答	50%

その他

各自の研究テーマに関連する最新の論文を各自で選定する。発表者はスライドにて発表資料を準備し、参加者に事前配布する。【オフィスアワー】講義の前後、またはメールにて随時受付。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1～15	解析データ・進捗状況をスライドにまとめ、プレゼンテーションを行う。発表者は発表会参加者からの質問に答え、討論を行うことで研究方法および内容について理解を深める。	研究報告・発表および討論	角舘　直樹	文献抄読および関連文献の収集	

2025年度　　科目コード： 211091

口腔健康学Ⅰ

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～2 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講義	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	秋房　住郎						
担当教員	秋房　住郎,藤井　航,邵 仁浩,佐藤　毅,泉　繭依,船原　まどか						

授業の概要

口腔保健学の学際領域に対する研究志向性を担保する、優れた研究遂行能力を付与するため、また、当該領域を教授するための素養を醸成するため、口腔の健康に関連する最新の医学的・保健学的事象を学ぶとともに、当該事象を解決するための方略を創造するための応用発展的な研究手法や解析方法について、様々な観点からオムニバス形式で講義する。

学生の到達目標

１．わが国の公衆衛生における健康・医療に関わる制度・政策を理解し、歯科専門職の役割等について説明できる。 ２．口腔衛生学領域における疾患・異常に対する論理的観点と当該事象の解決にかかる研究手法を詳細に説明できる。 ３．EBMによる口腔保健に関する基礎・臨床研究の手法を詳細に説明できる。 ４．対象者の背景に立脚した口腔保健の専門的価値観と能力の醸成に関する手法を想起する ５．口腔状態および口腔疾患が全身状態に関係することをいかに証明するのか、そのMethodology（方法論）を説明できる。 ６．摂食行動に関与する高次脳機能、神経生理学的および非侵襲的な研究手法について説明できる。 ７．栄養学領域における健康または疾患に対する論理的観点と当該事象の解決にかかる研究手法を説明できる。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	90%
口述試問	10%

その他

学生相談：随時

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	公衆衛生と健康政策（1）　公衆衛生における健康・医療に関わる制度・政策を概説し、健康・医療に関連する制度・政策や社会の仕組みに、研究、人材育成、その他の専門的活動がどのように関わり貢献しているかを考える。	遠隔授業(Teams, Moodle)	邵 仁浩	事前：公衆衛生における健康・医療に関わる制度・政策 事後：事後レポートの提出	

2025年度　　科目コード： 211091

口腔健康学Ⅰ

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～2 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講義	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	秋房　住郎						
担当教員	秋房　住郎,藤井　航,邵 仁浩,佐藤　毅,泉　繭依,船原　まどか						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
2	公衆衛生と健康政策（2）　公衆衛生における健康・医療に関連する制度・政策や社会の仕組みに、研究、人材育成、その他の専門的活動がどのように関わているかの知見に基づき、医資源に限りがあることを前提とし、公正に効率良く資源を分配する手法について考える。	遠隔授業(Teams, Moodle)	邵 仁浩	事前：医療資源の分配 事後：事後レポートの提出	
3	健康に対する口腔衛生学的観点（１）　　ヒトの健康を口腔衛生学的に考察し、その維持向上ないしは回復するためのミクロからマクロにわたる方略について考える。	遠隔授業(Teams, Moodle)	秋房　住郎	事前：健康の概念 事後：事後レポートの提出	
4	健康に対する口腔衛生学観点（2）　う蝕と歯周疾患に対する口腔衛生学的観点を概説し、それぞれの課題とその解決方法について考える。	遠隔授業(Teams, Moodle)	秋房　住郎	事前：う蝕と歯周疾患のレビュー等の抄読 事後：事後レポートの提出	
5	回復期・慢性期に対する口腔衛生学観点 回復期から慢性期における対象者の背景（全身および口腔状態を含む）を口腔衛生学的に概説し、それぞれの研究課題と解決方法について考える。	講義（Teams, Moodle)	泉　繭依	事前：回復期、慢性期の患者の状態 事後：事後レポートの提出	
6	急性期に関わる口腔有害事象と口腔機能管理 急性期に関わる口腔有害事象と、支持療法および予防法を口腔衛生学的観点から概説し、関連論文から研究課題とその解決方法について考える。	講義（Teams, Moodle)	船原　まどか	事前：急性期に関わる口腔有害事象、支持療法、予防法 事後：事後レポートの提出	
7	「歯科衛生士の高等教育に関する展望（1) 社会状況と口腔健康の変化を踏まえ、専門職のリーダーに求められる価値観と能力について考える。	講義（Teams, Moodle)	佐藤　毅	事前：専門職のリーダーに求められる価値観と能力 事後：事後レポートの提出	

2025年度　　科目コード： 211091

口腔健康学Ⅰ

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～2 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	秋房　住郎						
担当教員	秋房　住郎,藤井　航,邵 仁浩,佐藤　毅,泉　繭依,船原　まどか						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
8	「歯科衛生士の高等教育に関する展望（2） 医療・看護における教育方法を講義し、口腔健康の高度な専門性を育成するための教育方法について考える。	講義（Teams, Moodle)	佐藤　毅	事前：医学的看護学的教育手法 事後：事後レポートの提出	
9	Methodology（方法論）1 口腔状態および口腔疾患が全身状態と関係することを証明した過去から現在までの実験的方法について考える。	講義（Teams, Moodle)	秋房　住郎	事前：口腔状態および口腔疾患が全身状態 事後：事後レポートの提出	
10	Methodology（方法論）2 口腔状態および口腔疾患が全身状態と関係することを証明した過去から現在までの疫学的方法について考える。	講義（Teams, Moodle)	秋房　住郎	事前：口腔状態および口腔疾患が全身状態 事後：事後レポートの提出	
11	摂食嚥下支援の理論と実際１ 摂食嚥下に関する臨床学的知見に基づき、嚥下の臨床像について考える。	講義（Teams, Moodle)	藤井　航	事前：摂食嚥下 事後レポートの提出	
12	摂食嚥下支援の理論と実際２ 摂食嚥下の支援のあり方について症例から考える。	講義（Teams, Moodle)	藤井　航	事前：摂食嚥下支援 事後：事後レポートの提出	
13	健康に対する栄養学観点（１） 健康または生活習慣病に対する栄養学的観点を概説し、それぞれの研究課題とその解決方法について考える。	講義（Teams, Moodle)	辻澤　利行	事前：健康または生活習慣病に対する栄養学的観点 事後レポートの提出	
14	健康に対する栄養学観点（２） 健康または生活習慣病に対する栄養学的観点を概説し、それぞれの研究課題とその解決方法について考える。	講義（Teams, Moodle)	辻澤　利行	事前：健康または生活習慣病に対する栄養学的観点 事後レポートの提出	
15	講義全体のまとめ	講義（Teams, Moodle)	秋房　住郎	事前：これまでの講義の復習 事後レポートの提出	

2025年度　　科目コード： 211092

口腔健康学Ⅱ

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～4 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	60	単位数	4
科目責任者	藤井　航						
担当教員	藤井　航						

授業の概要
口腔保健学領域の最新の動向を理解するため、国際学術雑誌の論文を抄読する。

学生の到達目標

１．英語文献を読んで内容を理解する。
２．抄読した論文の研究背景を説明できる。
３．研究手法について詳細を説明できる。
４．研究結果について詳細を説明できる。
５．考察内容を批判的に説明できる。
６．研究内容をわかりやすく伝えることができる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
教員が供与した論文や参考書および各自が検索した関連分野の文献を利用する。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
プレゼンテーション	50%
質疑応答	50%

その他
学生相談：随時

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1～30	口腔保健学領域の最新の動向を理解し、説明する。	演習（遠隔により実施を含む）	藤井　航	各教員の指示を受けて演習に臨む。 論文検索・抄読、質問への事後レポート	

2025年度　　科目コード： 211093

口腔健康学III

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～4 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	60	単位数	4
科目責任者	藤井　航						
担当教員	藤井　航						

授業の概要

大学院生の研究成果について、様々な領域の研究者である担当教員と討論し、研究の質を高めるとともに、プレゼンテーション能力の涵養も合わせて行う。

学生の到達目標

１．自分が行っている研究内容を論理的に説明できる。
２．自分が行っている研究背景を詳細に説明できる。
３．質疑に対して適切に応答できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
指導教員が供与した論文や参考書および各自が検索した関連分野の文献を利用する。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
プレゼンテーション	50%
質疑応答	50%

その他

学生相談：随時

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1-30	自分が行っている研究成果についてわかりやすく発表し、教員からの質疑に応答する。	演習（遠隔により実施を含む）	藤井　航	各教員の指示を受けて演習に臨む。 論文検索・抄読、質問への事後レポート	

2025年度　　科目コード： 211094

口腔健康学実習

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	演習	**時間数**	60	**単位数**	4
科目責任者	藤井　航						
担当教員	藤井　航,邵 仁浩,佐藤　毅						

授業の概要
口腔保健学領域の最新の知識・技術を学ぶため、臨床的実践を行う。

学生の到達目標

1．適正な医療面接を実践する。
2．医療安全・感染予防対策を実践する。
3．EBMに基づいた総合歯科衛生過程を立案する。
4．EBMに基づいた歯科予防処置・歯科診療補助・歯科保健指導を実践する。
5．歯科衛生士の社会的役割を果たすために必要な口腔機能管理を実践する。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
臨床的実践能力を、総合評価する。	100%

その他
学生相談:随時

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1-30	口腔保健学領域の最新の知識・技術を学ぶため、臨床的実践を行う。	実習	藤井　航 邵 仁浩 佐藤　毅	各教員の指示を受けて実習に臨む。	

2025年度　　科目コード： 211095

口腔保健福祉学特論 II

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	演習	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	秋房　住郎						
担当教員	秋房　住郎						

授業の概要

地域の歯科における医療・保健・福祉連携の実際に係る理論と方法にかかる知識をもとに、モデルケースを用いて、その実践を演習する。

学生の到達目標

１．地域の保健・福祉の実際を説明できる。　２．歯科における医療・保健・福祉の連携の実際を説明できる。
３．歯科における医療・保健・福祉の連携を推進するための方法論を習得する。　４．地域で口腔HP、WPを実践するための知識を習得する。

テキスト

タイトル	著者	出版社
地方分権時代の健康政策実践書―みんなで楽しくできるヘルスプロモーション (Japanese)	Aut．石井敏弘、中村譲治、その他	Pub．ライフサイエンスセンター

参考書

タイトル	著者	出版社
国民衛生の動向	厚生労働統計協会	
不平等が健康を損なう	イチロー カワチ,ブルース・P．ケネディ	日本評論社
ソーシャル・キャピタルと健康	イチロー カワチ	日本評論社

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	80%
プレゼンテーション	20%

その他

受講対象は、修士課程の口腔保健福祉学Ｉを受講していない者とする。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
			秋房　住郎		
1	ヘルスプロモーションの理論 HPで用いられる一般的な手法および近年用いられている新しい手法について学習する。	講義遠隔授業(Teams, Moodle)	秋房　住郎	事前：PRECEDE-PROCEED model 事後：事後レポートの提出	

2025年度　　科目コード： 211095

口腔保健福祉学特論 II

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～4 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	演習	時間数	30	単位数	2
科目責任者	秋房　住郎						
担当教員	秋房　住郎						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
2	口腔を通じた福祉のあり方について 介護制度を含む高齢者福祉や障害者福祉における歯科の役割とあるべき姿について学習する。	講義遠隔授業(Teams, Moodle)	秋房　住郎	事前：高齢者福祉、障害者福祉 事後：事後レポートの提出	
3	オーラルヘルスプロモーションの実際理論 口腔保健におけるHPの理論について学ぶ。	講義遠隔授業(Teams, Moodle)	秋房　住郎	事前：オーラルヘルスプロモーション 事後：事後レポートの提出	
4	オーラルヘルスプロモーションの実際（１）～実例の収集～　口腔保健におけるHPの実際について、市町村事業の実例を示しながら方法論を学ぶ。	演習遠隔授業(Teams, Moodle)	秋房　住郎	事前：実例の収集 事後レポートの提出	
5	オーラルヘルスプロモーションの実際（２）～実例の収集～　前回に引き続き、口腔保健におけるHPの実際について、市町村事業の実例を示しながら方法論を学ぶ。	演習遠隔授業(Teams, Moodle)	秋房　住郎	事前：実例の収集 事後レポートの提出	
6	地域における口腔HP、WP事例の収集と課題の抽出（１）～実例の収集～　地域歯科保健等に関する報告書などから地域における口腔HP、WPの実例を選出する。	演習遠隔授業(Teams, Moodle)	秋房　住郎	事前：実例の収集 事後レポートの提出	
7	地域における口腔HP、WP事例の収集と課題の抽出（２）～実例から学ぶ課題と解決方法～ 前回選出した実例について地域の課題とその解決方法について考察する。	演習遠隔授業(Teams, Moodle)	秋房　住郎	事前：実例の収集 事後レポートの提出	
8	地域における口腔HP、WP事例の収集と課題の抽出（３）～実例から学ぶ課題と解決方法～ 文献検索を行い、国内外の事例を検討する。	演習遠隔授業(Teams, Moodle)	秋房　住郎	事前：実例の収集 事後レポートの提出	
9	地域における口腔HP、WP事例の収集と課題の抽出（４）～実例から学ぶ課題と解決方法～ 前回に引き続き文献検索を行い、国内外の事例の実際を検討する。	演習遠隔授業(Teams, Moodle)	秋房　住郎	事前：実例の収集 事後レポートの提出	

2025年度　　科目コード： 211095

口腔保健福祉学特論 II

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～4 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	演習	時間数	30	単位数	2
科目責任者	秋房　住郎						
担当教員	秋房　住郎						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
10	地域における口腔HP、WP事例の課題の解決方法（１）～課題の抽出～　福岡県内市町村の中からモデル地区を選出してその課題を抽出する。	演習遠隔授業(Teams, Moodle)	秋房　住郎	事前：実例の収集 事後レポートの提出	
11	地域における口腔HP、WP事例の課題の解決方法（２）～課題の解決方法の企画立案～　前回抽出したモデル地区の課題の解決方略を企画立案する。	演習遠隔授業(Teams, Moodle)	秋房　住郎	事前：実例の収集 事後レポートの提出	
12	地域における口腔HP、WP事例の課題の解決方法（３）～課題の解決方法の企画立案～　前回抽出したモデル地区の課題の解決方略を企画立案する。	演習遠隔授業(Teams, Moodle)	秋房　住郎	事前：実例の収集 事後レポートの提出	
13	地域における口腔HP、WP事例の課題の解決方法（４）～課題の解決方法の企画立案～　前回抽出したモデル地区の課題の解決方略を企画立案する。	演習遠隔授業(Teams, Moodle)	秋房　住郎	事前：実例の収集 事後レポートの提出	
14	地域のHP、WPに対する働きかけ 地域住民に働きかけを行うために必要な方法論について事例を交えながら学習する。	演習遠隔授業(Teams, Moodle)	秋房　住郎	事前：地域のHP、WP 事後：事後レポートの提出	
15	まとめ　これまで行ってきた内容をまとめ、プレゼンテーションを行う。	演習遠隔授業(Teams, Moodle)	秋房　住郎	事前：プレゼンテーションの準備 事後：プレゼンテーションの提出	

2025年度　　科目コード： 211101

保健医療特論Ⅰ

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講義	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	福泉　隆喜						
担当教員	福泉　隆喜						

授業の概要

地域の中で生活する全ての人々の健康課題、なかでも歯科領域の課題について、疫学的な手法や社会制度との関わりに着目して研究に取り組む重要性について講義する。特に、我が国の社会保障制度のなかで、歯科保健医療や歯科医療従事者の果たす役割を研究するための基礎的知識を習得する。

学生の到達目標

１．患者の尊厳、医の倫理、研究倫理を説明できる。
２．健康と疾病の概念を説明できる。
３．歯科医師法及び関連法規の基本的な考え方を説明できる。
４．公衆衛生と歯科医療における予防の概念を説明できる。
５．主な保健医療統計の概要を説明できる。

参考書

タイトル	著者	出版社
国民衛生の動向	厚生労働統計協会	
シンプル衛生公衆衛生学2025	辻一郎他	南江堂
公衆衛生がみえる2024-2025（第６版）	医療情報科学研究所（編）	メディックメディア
新版 歯科医療管理	日本歯科医療管理学会（編集）	医歯薬出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	50%
口頭試問	50%

その他

学生相談：随時

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
			福泉　隆喜		

2025年度　　科目コード： 211101

保健医療特論Ⅰ

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～4 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	福泉　隆喜						
担当教員	福泉　隆喜						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	社会と歯科医療①　公衆衛生の基盤となる健康の概念、社会・環境との関わり、予防の概念について学習する。	講義	福泉　隆喜	配付資料、参考書、文献の精読	
2	社会と歯科医療②　患者の尊厳とこれを支える医の倫理及び各種の規範等について学習する。	講義	福泉　隆喜	配付資料、参考書、文献の精読	
3	社会と歯科医療③　歯科医療と社会との関わり、歯科医師の責務等について学習する。	講義	福泉　隆喜	配付資料、参考書、文献の精読	
4	医療保険制度　社会保障制度の全体像を理解し、社会保険のなかでも医療を支える国民皆保険制度等について学習する。	講義	福泉　隆喜	配付資料、参考書、文献の精読	
5	年金保険制度、労災保険制度 社会保険を構成する年金保険制度、労災保険制度について学習する。	講義	福泉　隆喜	配付資料、参考書、文献の精読	
6	介護保険制度　社会保険のひとつである介護保険制度について学習する。	講義	福泉　隆喜	配付資料、参考書、文献の精読	
7	雇用保険、社会福祉制度　社会保険のひとつである雇用保険制度、社会保障の構成要素である社会福祉及び公的扶助について学習する。	講義	福泉　隆喜	配付資料、参考書、文献の精読	
8	歯科医師と関連法規①　歯科医師の責務や業務を規定する歯科医師法の概要を理解し、関連統計から歯科医師をめぐる現況について学習する。	講義	福泉　隆喜	配付資料、参考書、文献の精読	
9	歯科医師と関連法規②　我が国における医療提供体制を規定する医療法の概要を理解し、医療に関する選択の支援及び医療の安全の確保について学習する。	講義	福泉　隆喜	配付資料、参考書、文献の精読	

2025年度　　科目コード： 211101

保健医療特論Ⅰ

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～4 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	福泉　隆喜						
担当教員	福泉　隆喜						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
10	歯科医師と関連法規③　医療法に規定する病院、診療所等の管理、医療計画等の医療提供体制の確保について学習する。	講義	福泉　隆喜	配付資料、参考書、文献の精読	
11	歯科医師と関連法規⑤　医薬品医療機器等法の概要を理解し、薬局の管理、医薬品の審査、医療機器と保険診療の関係等について学習する。	講義	福泉　隆喜	配付資料、参考書、文献の精読	
12	歯科医師と関連法規⑥　医薬品医療機器等法に規定する広告規制、副作用報告等を理解し、毒劇物及び麻薬等の規制について学習する。	講義	福泉　隆喜	配付資料、参考書、文献の精読	
13	社会と人口統計　統計法の概要を理解し、基幹統計及び一般統計のうち、保健医療に関連する代表的な公的統計及びその代表的指標について学習する。	講義	福泉　隆喜	配付資料、参考書、文献の精読	
14	都道府県における歯科保健行政の実際　国がの推進する歯科保健医療行政の動向を踏まえ、都道府県で実施されている歯科保健行政の具体的取組について学習する。	講義	福泉　隆喜	配付資料、参考書、文献の精読	
15	市町村における歯科保健行政の実際　国及び都道府県が推進する歯科保健医療行政の動向を踏まえ、市町村で実施されている歯科保健行政の具体的取組について学習する。	講義	福泉　隆喜	配付資料、参考書、文献の精読	

2025年度　　科目コード： 211102

保健医療特論Ⅱ

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～4 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	福泉　隆喜						
担当教員	福泉　隆喜						

授業の概要

疫学の基本的な考え方、地域歯科保健、学校歯科保健、健康増進、疾病予防、国際保健、精神保健など、各分野の保健事業と歯科医師の関与、根拠法令等について講義する。特に、各種保健事業における歯科医療従事者の果たす役割を研究するための基礎的知識を習得する。

学生の到達目標

１．医療関係職種と及び関連法規の基本的な考え方を説明できる。
２．保健、医療、福祉、介護に関連する社会制度、地域医療及び社会環境を説明できる。
３．環境と健康との関わりを説明できる。
４．集団レベルの予防と健康管理を説明できる。
５．疫学と科学的根拠にもとづいた医療、保健医療統計の応用を説明できる。

参考書

タイトル	著者	出版社
国民衛生の動向	厚生労働統計協会	
シンプル衛生公衆衛生学2025	辻一郎他	南江堂
公衆衛生がみえる2024-2025（第６版）	医療情報科学研究所（編）	メディックメディア
改訂７版　疫学マニュアル	柳川　洋他	南山堂

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	50%
口頭試問	50%

その他

学生相談：随時

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
			福泉　隆喜		

2025年度　　科目コード： 211102

保健医療特論Ⅱ

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～4 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	福泉　隆喜						
担当教員	福泉　隆喜						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	医療関係職種と関連法規①　歯科衛生士法、保健師助産師看護師法の概要や関連する政省令、法に基づく制度、就業の状況等について学習する。	講義	福泉　隆喜	配付資料、参考書、文献の精読	
2	医療関係職種と関連法規②　歯科技工士法、薬剤師法、医師法の概要や関連する政省令、法に基づく制度、就業の状況等について学習する。	講義	福泉　隆喜	配付資料、参考書、文献の精読	
3	医療関係職種と関連法規③　診療放射線技師法、言語聴覚士法、理学療法士及び作業療法士法、栄養士法等の関係職種の法の大要、就業の状況等について学習する。	講義	福泉　隆喜	配付資料、参考書、文献の精読	
4	成人保健　疾病構造の変化と生活習慣病の現状を理解し、市町村の健康増進事業、特定健診・特定保健指導、健康日本21（第2次）及び歯科口腔保健法に規定する目標値等について学習する。	講義	福泉　隆喜	配付資料、参考書、文献の精読	
5	地域保健、保健所　地域の公衆衛生の拠点となる保健所及び市町村保健センター等の業務を理解し、地域診断の重要性について学習する。	講義	福泉　隆喜	配付資料、参考書、文献の精読	
6	疫学と歯科医療①　公衆衛生の基盤となる疫学の基本的な考え方、疫学的手法、研究手順、歯科医学への応用等について学習する。	講義	福泉　隆喜	配付資料、参考書、文献の精読	
7	疫学と歯科医療②　疫学の各論を理解するため、具体的な疫学研究のトピックスを紹介し、研究デザインとエビデンスレベルについて学習する。	講義	福泉　隆喜	配付資料、参考書、文献の精読	

2025年度　　科目コード： 211102

保健医療特論Ⅱ

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～4 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	福泉　隆喜						
担当教員	福泉　隆喜						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
8	疫学と歯科医療③　スクリーニングの概念を理解し、各種の疫学指標と研究デザインの関係等について学習する。	講義	福泉　隆喜	配付資料、参考書、文献の精読	
9	母子保健　小児の健やかな成長を支える母子保健の概要を把握し、我が国における母子保健施策について学習する。	講義	福泉　隆喜	配付資料、参考書、文献の精読	
10	健康増進　健康増進法の概要を把握し、市町村における健康づくり対策の現況について学習する。	講義	福泉　隆喜	配付資料、参考書、文献の精読	
11	国際保健　国際保健の概要及び公衆衛生において重要な疾病予防の概念を理解し、感染症法及び予防接種法に規定する各種の感染症対策について学習する。	講義	福泉　隆喜	配付資料、参考書、文献の精読	
12	学校保健　学童期における健康管理に重要な学校保健の概念を理解し、学校保健安全法に規定する各種の対策について学習する。	講義	福泉　隆喜	配付資料、参考書、文献の精読	
13	環境と健康　国民の健康に影響を及ぼす各種の環境因子等と環境基本法の関係を理解し、上下水道の衛生基準等について学習する。	講義	福泉　隆喜	配付資料、参考書、文献の精読	
14	精神保健福祉　精神保健福祉の概要を理解し、精神保健福祉法及び医療観察法等について学習する。	講義	福泉　隆喜	配付資料、参考書、文献の精読	
15	高齢者介護　高齢化と要介護高齢者の現況を理解し、介護保険における口腔関連介護サービスの概要、老人福祉施設と介護保険施設との関係について学習する。	講義	福泉　隆喜	配付資料、参考書、文献の精読	

2025年度　　科目コード： 211103

保健医療特論III

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～4 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	福泉　隆喜						
担当教員	福泉　隆喜						

授業の概要

産業歯科保健、労務管理、医療安全管理（医薬品・医療機器の安全管理を含む）、医療情報管理、食品衛生、障害者保健福祉、医療過誤への対応等への対応策について講義する。特に、各種の制度上の位置付けや社会保障制度において必要とされる取組における歯科医療従事者の果たす役割を研究するための基礎的知識を習得する。

学生の到達目標

１．環境と健康との関わりを説明できる。
２．保健、医療、福祉、介護に関連する社会制度、地域医療及び社会環境を説明できる。
３．事業所レベルの予防と健康管理を説明できる。
４．保健医療情報の利用と管理方法を説明できる。
５．患者本位の医療を実践するため、適切な説明を行った上で、患者の主体的な同意を得るために必要な対話能力と態度および考え方を説明できる。

参考書

タイトル	著者	出版社
国民衛生の動向	厚生労働統計協会	
シンプル衛生公衆衛生学2025	辻一郎他	南江堂
公衆衛生がみえる 2024-2025（第６版）	医療情報科学研究所（編）	メディックメディア
改訂７版　疫学マニュアル	柳川　洋他	南山堂

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	50%
口頭試問	50%

その他

学生相談：随時

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
			福泉　隆喜		

2025年度　　科目コード： 211103

保健医療特論III

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～4 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	福泉　隆喜						
担当教員	福泉　隆喜						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	産業保健①　労働者の健康管理を担う産業保健の概要を理解し、労働基準法及び労働安全衛生法に規定する労働者保護対策について学習する。	講義	福泉　隆喜	配付資料、参考書、文献の精読	
2	産業保健②　労働者保護対策のひとつである労働契約法の概要を理解し、歯科医師の有期労働契約の取扱い及び医療契約の特徴について学習する。	講義	福泉　隆喜	配付資料、参考書、文献の精読	
3	医療情報とその管理①　歯科診療に伴う診療録等の取扱いを理解し、歯科医師法、医療法、療養担当規則等における規定について学習する。	講義	福泉　隆喜	配付資料、参考書、文献の精読	
4	医療情報とその管理②　歯科診療所における個人情報の取扱いを理解し、個人情報保護法、取扱いのためのｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝ等における規定について学習する。	講義	福泉　隆喜	配付資料、参考書、文献の精読	
5	医薬品（生物製剤を含む）・医療機器の安全管理（医療法等） 歯科診療所における医薬品・医療機器の安全管理を理解し、医療法等における規定について学習する。	講義	福泉　隆喜	配付資料、参考書、文献の精読	
6	国民栄養と食品保健（国民健康・栄養調査、食品衛生法等）　国民健康・栄養調査の意義を理解し、国民の健康に密接に関わる食品衛生の概要及び食中毒の動向について学習する。	講義	福泉　隆喜	配付資料、参考書、文献の精読	
7	障害者保健福祉　障害者に対する保健福祉対策の概要を理解し、障害者総合支援法の制定に至る経緯、障害者権利条約、ノーマライゼーションについて学習する。	講義	福泉　隆喜	配付資料、参考書、文献の精読	

2025年度　　科目コード： 211103

保健医療特論III

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～4 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	福泉　隆喜						
担当教員	福泉　隆喜						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
8	患者の視点から見た歯科医療 患者の尊厳、医の倫理等を理解し、歯科医師の責務に関する法的な位置付けを学習する。	講義	福泉　隆喜	配付資料、参考書、文献の精読	
9	コンフリクト・マネジメント① 歯科診療所における医療紛争の原因等を理解し、これを解決する手法である医療メディエーションを学習する。	講義	福泉　隆喜	配付資料、参考書、文献の精読	
10	コンフリクト・マネジメント② 医療紛争の解決法として注目される裁判外紛争解決手続きを理解し、医療訴訟の動向等を学習する。	講義	福泉　隆喜	配付資料、参考書、文献の精読	
11	最近の歯科保健医療行政の動向 保健医療論全般のまとめとして、最近の歯科保健医療行政の動向について学習する。	講義	福泉　隆喜	配付資料、参考書、文献の精読	
12	研究デザイン①　エビデンスレベル、各種研究デザインおよびアウトカム指標について、全体像を学習する。	講義	福泉　隆喜	配付資料、参考書、文献の精読	
13	研究デザイン②　横断研究のデザイン・アウトカム指標や横断研究の利点・欠点について学習する。	講義	福泉　隆喜	配付資料、参考書、文献の精読	
14	研究デザイン③　コホート研究のデザイン・アウトカム指標やコホート研究の利点・欠点について学習する。	講義	福泉　隆喜	配付資料、参考書、文献の精読	
15	研究デザイン④　ランダム化比較試験（RCT）のデザイン・アウトカム指標やRCTの利点・欠点について学習する。	講義	福泉　隆喜	配付資料、参考書、文献の精読	

2025年度　　科目コード： 211104

保健医療特論Ⅳ

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～4 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	福泉　隆喜						
担当教員	福泉　隆喜						

授業の概要

客観的資料に基づき、疾病・リスク・生活習慣の現状と変化を明らかにし、個々の健康政策の成果を評価するために必須である疫学の手法について講義する。特に、健康寿命の伸延及び健康格差の縮小並びに生活習慣病の発症予防及び重症化予防を研究するための基礎的知識を習得する。

学生の到達目標

１．疫学研究と倫理を説明できる。
２．疫学の基本的な手法を説明できる。
３．健康寿命の伸延及び健康格差の縮小を説明できる。
４．生活習慣病の発症予防及び重症化予防を説明できる。
５．政策疫学の実践を説明できる。

参考書

タイトル	著者	出版社
国民衛生の動向	厚生労働統計協会	
シンプル衛生公衆衛生学2025	辻一郎他	南江堂
公衆衛生がみえる 2024-2025（第６版）	医療情報科学研究所（編）	メディックメディア
改訂７版　疫学マニュアル	柳川　洋他	南山堂

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	50%
演習の成果物	50%

その他

学生相談：随時

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
			福泉　隆喜		
1	疫学の意義と倫理　　疫学の意義と目的、疫学研究の倫理、介入研究と対象者選択の妥当性について学習する。	講義・演習	福泉　隆喜	配付資料、参考書、文献の精読	

2025年度　　科目コード： 211104

保健医療特論Ⅳ

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～4 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	福泉　隆喜						
担当教員	福泉　隆喜						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
2	疾病頻度の測定　罹患率、累積罹患率、有病率、死亡率、致命率、相対頻度について学習する。	講義・演習	福泉　隆喜	配付資料、参考書、文献の精読	
3	曝露効果の測定　率の差と比、生存率、健康寿命について学習する。	講義・演習	福泉　隆喜	配付資料、参考書、文献の精読	
4	疫学研究手法　CASP(CRITICAL APRAISAL SKILLS PROGRAMME)を用いて、学術論文の内容の吟味を行い、観察研究との違いを明確にして、学習する。	講義・演習	福泉　隆喜	配付資料、参考書、文献の精読	
5	標本調査　悉皆調査と標本調査、母集団と標本、無作為化、標本抽出の考え方、標本の大きさの決定法について学習する。	講義・演習	福泉　隆喜	配付資料、参考書、文献の精読	
6	誤差、偏りとその制御　誤差の分類、バイアス、交絡因子の排除、率の標準化について学習する。	講義・演習	福泉　隆喜	配付資料、参考書、文献の精読	
7	因果関係の判定　因果関係の判定基準、評価方法、危険因子と予防因子について学習する。	講義・演習	福泉　隆喜	配付資料、参考書、文献の精読	
8	疫学要因　宿主要因、環境要因、多要因病因論について学習する。	講義・演習	福泉　隆喜	配付資料、参考書、文献の精読	
9	スクリーニング　スクリーニングの意義、評価方法、実施条件、プログラム評価、代表的なスクリーニングプログラムについて学習する。	講義・演習	福泉　隆喜	配付資料、参考書、文献の精読	
10	感染症の疫学　感染症発症の３条件、感染症の蔓延の指標、流行と宿主の抵抗力、病原体と感染経路、流行調査について学習する。	講義・演習	福泉　隆喜	配付資料、参考書、文献の精読	
11	病因疫学　病因疫学、リスク因子、分子疫学について学習する。	講義・演習	福泉　隆喜	配付資料、参考書、文献の精読	

2025年度　　科目コード： 211104

保健医療特論Ⅳ

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	福泉　隆喜						
担当教員	福泉　隆喜						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
12	政策疫学　　ポピュレーションアプローチ、ハイリスクアプローチ、医療経済評価（アウトカム別分析）について学習する。	講義・演習	福泉　隆喜	配付資料、参考書、文献の精読	
13	調査計画の実際　　調査項目の選定、情報収集方法、調査票の作成、データ解析の流れについて学習する。	講義・演習	福泉　隆喜	配付資料、参考書、文献の精読	
14	疫学解析手法　　分割表、回帰と相関、検定法の実際、多変量解析について学習する。	講義・演習	福泉　隆喜	配付資料、参考書、文献の精読	
15	統計図表の作成　　図表作成の原則、統計図表の形式と特徴について学習する。	講義・演習	福泉　隆喜	配付資料、参考書、文献の精読	

2025年度　　科目コード： 211105

保健医療特論演習Ⅰ

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～4 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	演習	時間数	30	単位数	2
科目責任者	福泉　隆喜						
担当教員	福泉　隆喜						

授業の概要

２年ごとに改定される診療報酬制度と３年ごとに改定される介護報酬制度について、それぞれの直近の変更点と制度改正に至る背景を解析する。また、社会医療診療行為別調査、介護給付費実態調査をはじめとする各報酬に関連する統計調査から、制度改正後の動向を把握し、政策調査の活用法とシミュレーションを行うための研究手法を習得する。

学生の到達目標

１．診療報酬制度と介護報酬制度を説明できる。
２．社会医療診療行為別調査、介護給付費実態調査をはじめとする各報酬に関連する統計調査を説明できる。
３．政策調査の活用とシミュレーションを実践できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
厚生労働統計一覧 http://www.mhlw.go.jp/toukei/itiran/		Labour and Welfare
政府統計の総合窓口（e-Stat） https://www.e-stat.go.jp/		

参考書

タイトル	著者	出版社
国民衛生の動向	厚生労働統計協会	
保険と年金の動向	厚生労働統計協会	
国民の福祉と介護の動向	厚生労働統計協会	

成績評価方法・基準

評価項目	割合
シミュレーション結果	35%
プレゼンテーション能力	35%
質疑応答能力	30%

その他

学生相談：随時

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等

2025年度　　科目コード： 211105

保健医療特論演習Ⅰ

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	演習	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	福泉　隆喜						
担当教員	福泉　隆喜						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1～15	制度改正の背景、各報酬に関連する統計調査結果との関係等を理解し、政策調査の活用とシミュレーションを実践する。シミュレーションの結果をプレゼンテーションし、今後の動向予測について意見交換する。	政策調査の活用とシミュレーションに関する演習、プレゼンテーション及び意見交換	福泉　隆喜	配付資料、参考書、文献の精読及び関連分野の調査	

2025年度　　科目コード： 211106

保健医療特論演習 II

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～4 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	演習	時間数	30	単位数	2
科目責任者	福泉　隆喜						
担当教員	福泉　隆喜						

授業の概要

厚生労働統計のうち、保健衛生分野、人口・世帯分野、社会福祉分野、老人保健福祉分野、社会保障分野の各領域について、最新の動向を把握し、政策研究への活用法とシミュレーションを行うための研究手法を習得する。また、学校保健統計等についても、同様の手法で学習する。

学生の到達目標

１．厚生労働統計等の特徴を説明できる。
２．厚生労働統計の各領域の概要等を説明できる。
３．各統計の政策研究への活用とシミュレーションを実践できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
厚生労働統計一覧 http://www.mhlw.go.jp/toukei/itiran/		Labour and Welfare
政府統計の総合窓口（e-Stat） https://www.e-stat.go.jp/		

参考書

タイトル	著者	出版社
国民衛生の動向	厚生労働統計協会	
保険と年金の動向	厚生労働統計協会	
国民の福祉と介護の動向	厚生労働統計協会	

成績評価方法・基準

評価項目	割合
シミュレーション結果	35%
プレゼンテーション能力	35%
質疑応答能力	30%

その他

学生相談：随時

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等

2025年度　　科目コード： 211106

保健医療特論演習 II

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1〜4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	演習	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	福泉　隆喜						
担当教員	福泉　隆喜						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1〜15	制度改正の背景、各報酬に関連する統計調査結果との関係等を理解し、政策調査の活用とシミュレーションを実践する。シミュレーションの結果をプレゼンテーションし、今後の動向予測について意見交換する。	政策調査の活用とシミュレーションに関する演習、プレゼンテーション及び意見交換	福泉　隆喜	配付資料、参考書、文献の精読及び関連分野の調査	

2025年度　　科目コード： 211107

保健医療特論講究

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～4 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	演習	時間数	30	単位数	2
科目責任者	福泉　隆喜						
担当教員	福泉　隆喜						

授業の概要

歯科保健医療に関連する最新の研究動向を理解するために、文献を詳読する。また、各自の研究の進捗状況をプレゼンテーションし、今後の研究の展開について意見交換する。

学生の到達目標

１．文献を詳読することで、批判的思考力を習得できる。
２．当該研究の背景及び研究手法を理解できる。
３．自身の研究結果を他者に正確に説明することができる。

参考書

タイトル	著者	出版社
紹介する論文、関連文献及び参考図書は、各自必要なものを選別する。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
文献の理解度	35%
プレゼンテーション能力	35%
質疑応答能力	30%

その他

学生相談：随時

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1～15	研究の背景、研究手法、研究結果及び関連分野の研究の今後の動向を理解する。研究の進捗状況をプレゼンテーションし、今後の研究の展開について意見交換する。	文献紹介及び討論、プレゼンテーション及び意見交換	福泉　隆喜	文献の詳読及び関連分野の調査	

2025年度　　科目コード： 212011

プライマリ・ケアⅠ（ベーシックコース）

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	実習	**時間数**	120	**単位数**	4
科目責任者	粟野　秀慈						
担当教員	粟野　秀慈,守下　昌輝,村岡　宏祐						

授業の概要

全人的歯科医療を習得するための、プライマリ・ケアを臨床の現場で実践する。

学生の到達目標

１）患者中心の歯科医療を実施するための医療面接を実践する。
２）医療安全・感染予防対策を実践する。
３）EBMに基づいた総合治療計画（歯科衛生士過程）を立案する。
４）EBMに基づいた歯科疾患の予防・治療・管理を実践する。
５）歯科医師及び歯科衛生士の社会的役割を果たすために必要な医療管理を実践する。

参考書

タイトル	著者	出版社
新臨床研修歯科医ハンドブック	粟野秀慈 他	医歯薬出版
EBMの正しい理解と実践Q&A	能登　洋	羊土社
全科実例による 社会保険歯科診療 平成29年4月版		医歯薬出版
必要に応じたその他参考書		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	100%

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1-60	プライマリ・ケアの専門性を理解した上で、医療事故・感染予防管理の実践、医療面接・診察の実践、口腔・歯科疾患の診断、EBMに基づく包括的治療計画の立案、EBMに基づく専門性の高いプライマリ・ケアについて実践する。	実習	村岡　宏祐 守下　昌輝 粟野　秀慈	事後レポートの提出	診療室_病院
1-60			村岡　宏祐 守下　昌輝 粟野　秀慈		診療室_病院

2025年度　　科目コード： 212012

プライマリ・ケアII（アドバンスコース）

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	2～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	実習	**時間数**	120	**単位数**	4
科目責任者	粟野　秀慈						
担当教員	粟野　秀慈,守下　昌輝,村岡　宏祐						

授業の概要

患者のQOLの向上につながるプライマリ・ケアを臨床の現場で実践し、専門的な臨床能力の向上を図る。

学生の到達目標

１）あらゆる臨床の現場で医療安全・感染予防対策を実践する。
２）患者のライフステージに応じた総合治療計画を立案し、歯科疾患の予防・治療・管理を実践する。
３）専門家と連携し患者を中心としたチーム医療を実践する。
４）地域包括ケアを理解し、地域医療を実践する。

参考書

タイトル	著者	出版社
新臨床研修歯科医ハンドブック	粟野秀慈 他	医歯薬出版
EBMの正しい理解と実践Q&A	能登　洋	羊土社
全科実例による社会保険歯科診療		医歯薬出版
必要に応じてその他参考書を参照		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート評価	100%

2025年度　　科目コード： 212012

プライマリ・ケアII（アドバンスコース）

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	2～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	実習	**時間数**	120	**単位数**	4
科目責任者	粟野　秀慈						
担当教員	粟野　秀慈,守下　昌輝,村岡　宏祐						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1-60	本授業を通じて主に以下の内容を実践し専門的な臨床能力を修得する ・患者のライフステージに応じたプライマリ・デンタルケアを実践する。 ・患者のう蝕および歯周病のリスクアセスメントを実践する。 ・基本的な歯周外科手術を実践する。（歯科衛生士として歯周外科手術の介助を実践する。） ・口腔乾燥症患者の治療の実践する。 ・周術期口腔管理を実践する。 ・地域包括ケアにおける全身疾患を有する高齢者のプライマリ・ケアを実践する。	実習	村岡　宏祐 守下　昌輝 粟野　秀慈	事後振り返りレポートを提出する。	診療室_病院
1-60			村岡　宏祐 守下　昌輝 粟野　秀慈		診療室_病院

2025年度　　科目コード： 212013

プライマリ・ケアIII (症例検討)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	演習	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	粟野　秀慈						
担当教員	粟野　秀慈,守下　昌輝,村岡　宏祐						

授業の概要

症例検討を通じてプライマリ・ケアに必要な実践的な臨床能力の向上を図る。

学生の到達目標

１）患者情報に基づいて臨床問題を抽出する。
２）最新のEBMに従い包括的治療計画(歯科衛生課程）を立案する。
３）様々な専門分野の国際誌から最新の歯科治療、口腔健康管理の情報を収集する。
４）症例発表のための資料を準備しプレゼンテーションを実施する。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
症例発表の評価	100%

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1-15	プライマリ・ケアに基づく症例検討から最新の臨床情報を学ぶ	セミナー	粟野　秀慈 守下　昌輝 村岡　宏祐	症例発表の準備	その他

2025年度　　科目コード： 212014

歯科総合臨床教育研究学1

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～2 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	粟野　秀慈						
担当教員	粟野　秀慈,守下　昌輝,村岡　宏祐						

授業の概要

大学院生として必要な総合的な研究能力を向上させるため、歯科医学の発展のために行われている様々な分野の基礎研究、臨床研究、疫学研究そして教育研究について学んでいく。

学生の到達目標

１）Pubmedを使って必要な文献を検索し見つける
２）英語論文を読み、説明する。
３）研究計画を立案する。
４）研究に必要な統計分析方法を修得する。
５）質問紙表を作成する。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
発表内容の評価	0%

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1-8	この講義の内容は以下のとおりである。 ・最新の歯科医学に関連する学術論文をPubMedを使って検索する。 ・その内容に関してプレゼンテーションを行う。	発表・討論	守下　昌輝 村岡　宏祐 粟野　秀慈	学術論文の検索と発表をするための準備	その他
9,10	統計解析方法を学ぶ実際のデータを使って解析する。	講義・演習	守下　昌輝 村岡　宏祐 粟野　秀慈	データの準備	その他
11-13	研究テーマに沿って研究計画を立案して発表する。	講義・演習・発表・討論	守下　昌輝 村岡　宏祐 粟野　秀慈	研究テーマの準備	その他
14,15	様々な場面で使用するアンケート調査のための実際に作成する。	講義・演習・発表・討論	村岡　宏祐 守下　昌輝 粟野　秀慈	アンケート調査の概要準備	その他

2025年度　　科目コード： 212015

歯科総合臨床教育研究学2

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	3～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	粟野　秀慈						
担当教員	粟野　秀慈,守下　昌輝,村岡　宏祐						

授業の概要

自分の研究テーマに関連する専門分野の最新の知見を学びながら研究活動を実践し、最終的に研究成果をまとめて報告することによって研究を遂行するために必要な総合的な研究マネジメント能力を養成する。

学生の到達目標

１）自分の研究内容に関連する最新の知見を含んだ英語論文の内容を理解し発表する。
２）研究活動の経過をまとめて課題・問題点を抽出する。
３）学会発表ならびに論文作成で必要な研究データの整理・分析を行う。
４）学会発表に必要な発表用のスライドまたはポスターを作成する。
５）国際学術誌に投稿するための英語論文を作成する。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
発表内容の評価	100%

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1-15	研究報告ならびに関連する最新の英語論文の内容を発表する	発表・討論	守下　昌輝 村岡　宏祐 粟野　秀慈	事前に研究成果及び関連する参考文献の内容をまとめる。	その他

2025年度　　科目コード： 212021

総合診療学1(ベーシックコース)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～3 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	実習	**時間数**	120	**単位数**	4
科目責任者	永松　浩						
担当教員	永松　浩,鬼塚　千絵						

授業の概要

患者に安心安全な全人的歯科治療を行うために学部教育や臨床研修等で習得してきた知識・技能・態度を振り返り、見直すとともにそれらの集大成として、臨床の場で実践し、習熟する。 なお歯科治療技能については歯学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）「E 診察・診断と治療技能」の「Ⅰa．患者への診療として自験する課題」をはじめ「Ⅰb．患者への診療として自験が期待されるが、困難な場合はシミュレーション等で補完できる課題」および「Ⅱ．経験が望まれる重要な課題」について振り返りと実践を行う。社会人大学院生の場合、現在の診療スタイルを見直し、新規材料・新規技術を含めフィードバックを行う。

学生の到達目標

１．全人的歯科医療を行うための知識、技能および態度を修得できる。 ２．プライマリケアを行うための知識および技能を修得できる。 ３．総合診療計画の立案ができる。 ４．チーム医療の意識を高める。

テキスト

タイトル	著者	出版社
必要に応じて資料を配付する。		

参考書

タイトル	著者	出版社
必修　臨床研修歯科医ハンドブック		医歯薬出版
患者ニーズにマッチした歯科医療面接の実際	［編著］伊藤孝訓、　寺中敏夫	クインテッセンス出版
歯科医療面接　アートとサイエンス　第３版	［編著］伊藤孝訓	砂書房
その他の参考書を読む。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート提出・症例発表等	100%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】：相談は随時受け付け可能であるが、事前に、科目責任者に時間予約をメールまたは電話にて行うこと。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
			永松　浩 鬼塚　千絵		

2025年度　　科目コード： 212021

総合診療学1(ベーシックコース)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1〜3 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	実習	**時間数**	120	**単位数**	4
科目責任者	永松　浩						
担当教員	永松　浩,鬼塚　千絵						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	オリエンテーション ・年間予定について理解する。	講義	永松　浩 鬼塚　千絵	-	
2~3	印象採得概説 ・印象採得から研究用模型作製までの必要な知識を身につける。	講義・実習	永松　浩 鬼塚　千絵	印象採得の分類	
4~7	印象採得 ・目的にあわせた印象採得の方法を実践から学ぶ。 ・研究用模型のための印象採得法について学ぶ。 ・保存修復のための印象採得法について学ぶ。 ・欠損補綴のための印象採得法について学ぶ。 ・矯正治療のための印象採得法について学ぶ。【自験症例数：3〜5症例】	実習	永松　浩 鬼塚　千絵	個人トレー・個歯トレー辺縁封鎖連合印象採得	
8	印象採得 ・光学スキャナを用いたデジタル印象採得について学ぶ。 ・デジタル印象採得の利点と限界について学ぶ。 ・光学スキャナの使用法を修得する。 ・光学印象採得後のデータ処理、修復物・補綴装置製作について学ぶ。【自験症例数：1〜3症例】	実習	永松　浩 鬼塚　千絵	光学スキャナデジタル印象採得デジタルワークフロー CAD/CAM	
9~14	研究用模型作製 ・スタディモデルの作製方法を実践から学ぶ。 ・作製した模型を用いて歯列・咬合などを評価する。 【自験症例数：3〜5症例】	実習	永松　浩 鬼塚　千絵	研究用模型	
15〜22	診療資料の収集（写真撮影等） 1.口腔内写真・口腔内写真の撮影の仕方を実践から学ぶ。 ・リングストロボ・デジタルカメラの取り扱いを学ぶ。 ・撮影された口腔内写真データの取り扱いについて学ぶ。 ・医療情報システム(電子カルテ)へのデータ登録(保存)法を学ぶ。 【自験症例数：5〜10症例】 2.歯周病検査・歯周病検査について学ぶ。 ・検査結果を解釈し歯周病の病態を理解する。【自験症例数：5〜10症例】	実習	永松　浩 鬼塚　千絵	口腔内写真歯周組織検査	

2025年度　　科目コード： 212021

総合診療学1(ベーシックコース)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～3 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	実習	**時間数**	120	**単位数**	4
科目責任者	永松　浩						
担当教員	永松　浩,鬼塚　千絵						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
23～24	他科経由患者の解釈（エックス線CT検査・血液検査等）と検査依頼方法 1.検査依頼 ・血液 ・病理 ・細菌 ・真菌 等の検査依頼の文書(伝票)の書き方 ・医療情報システムからの発行法を学び、実践で臨床検査室に依頼する。 ・臨床検査値を解釈し病態を学ぶ。【自験症例数：1～3症例】 2.エックス線撮影 ・パノラマエックス線検査 ・CT検査 ・MRI検査 等の撮影依頼の文書(伝票)の書き方 ・医療情報システムからの発行法を学び、実践で歯科放射線科に依頼する。 ・パノラマエックス線検査 ・CT検査 ・MRI検査 等の読影法を学ぶ。 ・パノラマエックス線検査 ・CT検査 ・MRI検査 等の歯科放射線科の読影レポートを参考に診断を行う。 【自験症例数：5～10症例】	講義・実習	永松　浩 鬼塚　千絵	パノラマCTMRI臨床検査	
25～29	医療面接1 ・初診時医療面接について、模擬患者と実践をふまえながら学ぶ。 ・良好な患者―医療者関係を構築する。 ・傾聴や共感等のコミュニケーションスキルを実践する。 【自験症例数：5～10症例】	実習	永松　浩 鬼塚　千絵	コミュニケーションスキル	
30～34	医療面接2 ・患者に寄り添う医療面接の方法について実践をふまえながら学ぶ。 ・診断を念頭に置いた推理推論について学ぶ。【自験症例数：5～10症例】	実習	永松　浩 鬼塚　千絵	推理推論ナラティブ	
35～37	診療システムと診療姿勢 ・治療計画と診療マネージメントについて学ぶ。 ・ミラーテクニックとPd(固有感覚の自覚による姿勢)について学ぶ。	講義・実習	永松　浩 鬼塚　千絵	ミラーテクニック Pd	

2025年度　　科目コード： 212021

総合診療学1(ベーシックコース)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～3 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	実習	**時間数**	120	**単位数**	4
科目責任者	永松　浩						
担当教員	永松　浩,鬼塚　千絵						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
38～41	歯内治療 ・歯の解剖学的形態からみる歯内治療の基本手技について実践を踏まえながら学ぶ。【自験症例数：2～5症例】	実習	永松　浩 鬼塚　千絵	歯の解剖歯内治療ミラーテクニック	
42～45	歯周基本治療歯周基本治療について一連の流れで実践をふまえながら学ぶ。保険診療のルールを学ぶ。【自験症例数：2～5症例】	実習	永松　浩 鬼塚　千絵	歯周基本治療保険診療	
46～49	歯の硬組織疾患治療う蝕治療について実践をふまえながら学ぶ。MIの概念と実施について学ぶ。【自験症例数：2～5症例】	実習	永松　浩 鬼塚　千絵	MI	
50～54	歯科矯正処置歯科矯正処置について、実際例を見学しながら学ぶ。MTMについて学ぶ。【自験症例数：１～3症例】	実習	永松　浩 鬼塚　千絵	タイポドントMTM	
55～57	プレゼンテーション資料の作成口腔内写真のトリミングの仕方を学ぶ。診療情報システムから画像や検査結果の取得法についいて学び、実践する。【自験症例数：2～5症例】	実習	永松　浩 鬼塚　千絵	デジタル画像のトリミングや取り扱い	
58～60	症例発表準備と発表症例発表用のプレゼンテーションファイルの作成について学び、症例発表を行う。【自験症例数：2～5症例】	実習	永松　浩 鬼塚　千絵	プレゼンテーション	

2025年度　　科目コード： 212023

歯科医学教育研究学1

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～3 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	鬼塚　千絵						
担当教員	鬼塚　千絵,永松　浩						

授業の概要

患者に安心安全な全人的歯科治療を行うために学部教育や臨床研修等で習得してきた知識・技能・態度を振り返り、見直すとともにそれらを基に、コミュニケーション技法と歯学教育技法を理解し実践する。

学生の到達目標

１．コミュニケーション技法を理解できる。 ２．歯学教育技法を理解できる。 ３．コミュニケーション技法を実践できる。 ４．歯学教育技法を実践できる。 ５．歯科医師・歯科医学教育者としてのプロフェッショナリズムを涵養する。

テキスト

タイトル	著者	出版社
必要に応じて資料を配付する。		

参考書

タイトル	著者	出版社
医療コミュニケーション分析の方法【第２版】	野呂幾久子、阿部恵子、石川ひろの	三恵社
福祉・心理・看護のテキストマイニング入門	藤井美和、小杉考司、李政元	中央法規
リサーチ・クエスチョンの作り方	福原俊一	健康医療評価研究機構
ナラティブ　デンタルコミュニケーション	石川明	ｸｲﾝﾃｯｾﾝｽ出版株式会社
その他教育技法文献および関連した文献、参考書を読む。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	30%
口頭試問	50%
単位認定試験	20%

2025年度　　科目コード： 212023

歯科医学教育研究学1

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～3 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	鬼塚　千絵						
担当教員	鬼塚　千絵,永松　浩						

その他

【オフィスアワー（学習相談）】：相談は随時受け付け可能であるが、事前に、科目責任者に時間予約をメールまたは電話にて行うこと。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
			鬼塚　千絵 永松　浩		
1	オリエンテーション ・１年間のスケジュールについて理解する。・歯科医学におけるコミュニケーション技法と教育技法の必要性を学ぶ。	講義	鬼塚　千絵	コミュニケーション技法教育技法	
2	コミュニケーションスキル１（傾聴、共感技法、異文化） ・コミュニケーションに必要なスキル（特に傾聴・共感技法）について学ぶ。 ・異文化コミュニケーションを理解することで、医療コミュニケーションの本質を学ぶ	講義	鬼塚　千絵	コミュニケーション技法 異文化コミュニケーション	
3	コミュニケーション技法の研究（エスノメソドロジー、社会言語学、機能的アプローチ、ナラティブ分析、カウンセリング理論） ・コミュニケーション技法の分類とその特徴を学ぶ。	講義	鬼塚　千絵	エスノメソドロジーナラティブコミュニケーション技法の分類と特徴	
4~5	コミュニケーションスキル２ ・医療面接における良好な患者―医療者間関係を構築するためにロールプレイによる演習を通して習熟し自動化されるまでコミュニケーションについて必要な技法を学ぶ。	演習	永松　浩 鬼塚　千絵	コミュニケーション技法 コンピテンシー	
6~7	会話分析（量的分析） ・言語的コミュニケーション評価方法であるRIASを用いて発話を分析する。・非言語的コミュニケーション評価方法について学ぶ。	講義・演習	鬼塚　千絵	スクリプトRIAS	

2025年度　　科目コード： 212023

歯科医学教育研究学1

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～3 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	鬼塚　千絵						
担当教員	鬼塚　千絵,永松　浩						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
8~9	会話分析（質的分析）　・談話分析の方法について学ぶ。　・テキストマイニング、内省法による解析法を学ぶ。　・グランデッドセオリー、SCATによる分析法を学ぶ。	講義・演習	鬼塚　千絵	テキストマイニング グランデッドセオリー コンピテンス	
10	歯学教育グローバルスタンダード・ヨーロッパ、アメリカ、東南アジアなど海外の歯学教育について学ぶ。	講義	鬼塚　千絵	グローバルスタンダード アウトカム基盤型医学教育	
11	Problem Based Learning ・PBL（問題解決型授業）についてその有用性と実施法を学ぶ。	講義	鬼塚　千絵	PBL	
12~13	医療面接　・医療面接の演習を行い、難症例・対応困難症例の対応方法について学ぶ。	演習	永松　浩 鬼塚　千絵	難症例とは	
14	シミュレーション教育１（概論・自動軌跡追尾・切削圧）　・シミュレーターを用いた研究について概要を学ぶ。　・本学に導入されているシミュレーターを用いて、基本的な操作法を習得し、教育への活用法について学ぶ。	講義・演習	永松　浩 鬼塚　千絵	シミュレーション医学教育	
15	口頭試問	試験	永松　浩 鬼塚　千絵	確認試験	

2025年度　　科目コード： 212024

歯科医学教育研究学2

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	2～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	鬼塚　千絵						
担当教員	鬼塚　千絵,永松　浩						

授業の概要

患者に安心安全な全人的歯科治療を行うために学部教育や臨床研修等で習得してきた知識・技能・態度を振り返り見直すとともにそれらを基に、コミュニケーション技法と歯学教育技法を理解し実践する。

学生の到達目標

１．コミュニケーション技法を理解できる。 ２．歯学教育技法を理解できる。 ３．コミュニケーション技法を実践できる。 ４．歯学教育技法を実践できる。 ５．歯科医師・歯科医学教育者としてのプロフェッショナリズムを涵養する。

テキスト

タイトル	著者	出版社
必要に応じて資料を配付する。		

参考書

タイトル	著者	出版社
実践！クリティカル・シンキングのすすめ	八重垣健	ｸｲﾝﾃｯｾﾝｽ出版株式会社
医療プロフェッショナリズムを測定する	天野隆弘	慶應義塾大学医学部医学教育統括センター
医療コミュニケーション実証研究への多面的アプローチ	藤崎和彦、橋本英樹	篠原出版社
2013 年度版　よき歯科医師になるための20 の質問倫理的検討事例集	日本歯科医学教育学会	倫理・プロフェッショナリズム教育委員会
その他教育技法文献および関連した文献、参考書を読む。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	30%
口頭試問	50%
単位認定試験	20%

2025年度　　科目コード： 212024

歯科医学教育研究学2

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	2～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	鬼塚　千絵						
担当教員	鬼塚　千絵,永松　浩						

その他

【オフィスアワー（学習相談）】：相談は随時受け付け可能であるが、事前に、科目責任者に時間予約をメールまたは電話にて行うこと。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
			鬼塚　千絵		
1~5	シミュレーション教育２（窩洞と支台歯形成・根管長測定）　・シミュレーターを用いた応用的な研究方法について学ぶ。　・本学に導入されているシミュレーターの操作に習熟し、教育への活用法について学ぶ。	講義・演習	永松　浩 鬼塚　千絵	歯科医学教育におけるシミュレーションシミュレーターの操作法	
6~7	マイクロティーチング（教育技法）　・マイクロティーチングの方法について学ぶ。　・講義・説明・プレゼンテーションのスキルアップを図る。	講義・演習	鬼塚　千絵	マイクロティーチングの特徴	
8~9	医療行動学　・医療分野における人間の行動を科学的に研究し 、その法則性を解明する。　・医療行動について事例集を参考に学ぶ。	講義	鬼塚　千絵	行動科学	
10~11	医療倫理　・医療におけるプロフェッショナリズムを学ぶ。　・医療倫理について事例集を参考に学ぶ。	講義	鬼塚　千絵	プロフェッショナリズム	
12~13	KJ法　・KJ法を用いて意見の抽出と集約について学ぶ。　・テーマについてKJ法を実践し習熟を図る。	講義・演習	鬼塚　千絵	KJ法の特徴と欠点	
14	ファシリテーションスキル　・ファシリテーターの役割について学ぶ。　・効果的なフードバック法について学ぶ。　・成人学習理論を用い行動変容について学ぶ。	講義・演習	鬼塚　千絵	ファシリテーション行動変容フィードバック	
15	口頭試問	試験	鬼塚　千絵 永松　浩		

2025年度　　科目コード： 212025

歯科医学教育研究学3

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	3～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	鬼塚　千絵						
担当教員	鬼塚　千絵,永松　浩						

授業の概要

患者に安心安全な全人的歯科治療を行うために学部教育や臨床研修等で習得してきた知識・技能・態度を振り返り、見直すとともにそれらを基に、コミュニケーション技法と歯学教育技法を理解し実践する。

学生の到達目標

１．コミュニケーション技法を理解できる。 ２．歯学教育技法を理解できる。 ３．コミュニケーション技法を実践できる。 ４．歯学教育技法を実践できる。 ５．歯科医師・歯科医学教育者としてのプロフェッショナリズムを涵養する。

テキスト

タイトル	著者	出版社
必要に応じて資料を配付する。		

参考書

タイトル	著者	出版社
歯科医院のクレーム対応術	関根眞一	日本歯科新聞社
心理学マニュアル　質問紙法	鎌原雅彦、宮下一博、多野木裕明、中澤潤	北大路書房
その他教育技法文献および関連した文献、参考書を読む。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	30%
口頭試問	50%
単位認定試験	20%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】：相談は随時受け付け可能であるが、事前に、科目責任者に時間予約をメールまたは電話にて行うこと。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
			鬼塚　千絵		

2025年度　　科目コード： 212025

歯科医学教育研究学3

開講学科	歯学専攻			開講年次	3～4 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	鬼塚　千絵						
担当教員	鬼塚　千絵,永松　浩						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1~2	コーチング ・コーチングの方法について学ぶ。 ・アサーションスキルを用い相手に受け入れてもらいやすい伝え方を学ぶ。	講義・演習	鬼塚　千絵	コーチング理論 アサーション	
3~4	質問紙法 ・Y-G性格検査などの質問紙法の特徴と利点について学ぶ。 ・質問紙の作成方法について学ぶ。	講義・演習	鬼塚　千絵	質問紙法の特徴と利点	
5~7	歯科心身症 ・歯科心身症の行動特性について学ぶ。	講義	鬼塚　千絵	行動特性 歯科心身症	
8	患者心理学 ・患者心理を理解するための基本的な視点について学ぶ。 ・患者心理を理解することで援助への手掛かりを学ぶ。	講義	鬼塚　千絵	認知心理学	
9	クレーマーへの対応 ・医療現場でのクレーマーの心理を学ぶ。 ・クレーマーへの対応方法について学ぶ。	講義・演習	鬼塚　千絵	クレーマー 認知心理学	
10~11	模擬患者（SP）養成法 ・SPの概要と必要性を学ぶ。SPの養成方法について学ぶ。	講義	鬼塚　千絵 永松　浩	模擬患者 ファシリテーション	
12~13	医療安全デザイン ・インシデントの概念について学ぶ。 ・感染防止対策について学ぶ。 ・医療安全について学ぶ。	講義	永松　浩 鬼塚　千絵	安全管理 インシデント	
14	プロフェッショナリズム ・プロフェッショナリズムについて概要と歴史を学ぶ。 ・欧米および日本におけるプロフェッショナリズム教育の位置づけについて学ぶ。	講義	鬼塚　千絵	プロフェッショナリズム	
15	口頭試問	試験	鬼塚　千絵 永松　浩		

2025年度　　科目コード： 212026

総合診療学教育研究1

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～3 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	演習	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	永松　浩						
担当教員	永松　浩,鬼塚　千絵						

授業の概要

総合診療学関係の研究動向を理解するために、文献を抄読する。 各自の研究内容についての報告会、ディスカッション等を行う。

学生の到達目標

１．専門領域の論文を説明できる。（認知） ２．他分野の研究を理解し、評価、討論できる。（認知・情意）
３．英語を主体とする研究論文を読む能力を高める。（精神運動） ４．研究に関するディスカッション能力を高める。（精神運動） ５．自分の研究を発表できる。（精神運動）

テキスト

タイトル	著者	出版社
必要に応じて資料を配付する。		

参考書

タイトル	著者	出版社
重要な関連文献の抄読は必須。関連文献の選択、参考書は各自必要なものを選別する。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
発表	100%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】：相談は随時受け付け可能であるが、事前に、科目責任者に時間予約をメールまたは電話にて行うこと。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1~15	和英論文を用いて最新の文献の内容、および関連分野の研究の動向を理解する。【和英論文１編ずつ以上の抄録を提出】	輪読 文献抄読および討論	永松　浩 鬼塚　千絵	文献抄録および関連文献の調査	

2025年度　　科目コード： 212027

総合診療学教育研究2

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	2～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	演習	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	永松　浩						
担当教員	永松　浩,鬼塚　千絵						

授業の概要

総合診療学関係の研究動向を理解するために、文献を抄読する。 各自の研究内容についての報告会、ディスカッション等を行う。

学生の到達目標

１．専門領域の論文を説明できる。（認知） ２．他分野の研究を理解し、評価、討論できる。（認知・情意） ３．英語を主体とする研究論文を読む能力を高める。（精神運動） ４．研究に関するディスカッション能力を高める。（精神運動） ５．自分の研究を発表できる。（精神運動） ６．研究報告、抄録を書くことができる（日本語および英語）。（精神運動） ７．大学院ゼミでの内容を立案し、運営できる。（精神運動）

テキスト

タイトル	著者	出版社
必要に応じて資料を配付する。		

参考書

タイトル	著者	出版社
重要な関連文献の抄読は必須。関連文献の選択、参考書は各自必要なものを選別する。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
発表	100%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】：相談は随時受け付け可能であるが、事前に、科目責任者に時間予約をメールまたは電話にて行うこと。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1~15	和英論文を用いて最新の文献の内容、および関連分野の研究の動向を理解する。【和英論文１編ずつ以上の抄録を提出】	輪読 文献抄読および討論	木尾　哲朗 永松　浩 鬼塚　千絵	文献抄録および関連文献の調査	

2025年度　　科目コード： 212028

総合診療学教育研究3

開講学科	歯学専攻			開講年次	3〜4 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	演習	時間数	30	単位数	2
科目責任者	永松　浩						
担当教員	永松　浩,鬼塚　千絵						

授業の概要

総合診療学関係の研究動向を理解するために、文献を抄読する。 各自の研究内容についての報告会、ディスカッション等を行う。

学生の到達目標

１．専門領域の論文を説明できる。（認知） ２．他分野の研究を理解し、評価、討論できる。（認知・情意） ３．英語を主体とする研究論文を読む能力を高める。（精神運動） ４．研究に関するディスカッション能力を高める。（精神運動） ５．自分の研究を発表できる。（精神運動） ６．研究報告、抄録を書くことができる（日本語および英語）。（精神運動） ７．大学院ゼミでの内容を立案し、運営できる。（精神運動） ８．論文が書くことができる。（精神運動） ９．ゼミ内容に関して指導できる。（情意・精神運動）

テキスト

タイトル	著者	出版社
必要に応じて資料を配付する。		

参考書

タイトル	著者	出版社
重要な関連文献の抄読は必須。関連文献の選択、参考書は各自必要なものを選別する。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
発表	100%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】：相談は随時受け付け可能であるが、事前に、時間予約を科目責任者にメールまたは電話にて行うこと。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1~15	和英論文を用いて最新の文献の内容、および関連分野の研究の動向を理解する。【和英論文１編ずつ以上の抄録を提出】	輪読 文献抄読および討論	永松　浩 鬼塚　千絵	文献抄録および関連文献の調査	

2025年度　　科目コード： 212029

総合診療学3（症例検討会）

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～4 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	演習	時間数	30	単位数	2
科目責任者	永松　浩						
担当教員	永松　浩,鬼塚　千絵						

授業の概要

総合治療計画の立案に必要な情報収集・検査を実践でき、患者背景に応じた治療計画を立案し、プレゼンテーション能力の向上を図る。

学生の到達目標

１）患者から情報収集をする。　２）必要な検査を実施する。　３）患者のナラティブに応じた治療計画を立案する。　４）症例発表のための資料を準備する。　５）聴取者がわかりやすいプレゼンテーションをする。　６）自分自身で振り返り、改善する。

テキスト

タイトル	著者	出版社
必要に応じて資料を配付する。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
症例発表の評価	100%

その他

【オフィスアワー（学習相談）】：相談は随時受け付け可能であるが、事前に、科目責任者に時間予約をメールまたは電話にて行うこと。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	概論	講義	永松　浩 鬼塚　千絵	評価法についての確認	
2 ~14	総合治療計画の立案およびプレゼンテーション資料の作成	講義・演習	永松　浩 鬼塚　千絵	症例発表の準備	
15	症例発表会	演習	永松　浩 鬼塚　千絵	症例発表	

2025年度　　科目コード： 212031

口腔保存治療学Ⅰ(臨床ベーシックコース)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～2 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	実習	**時間数**	60	**単位数**	2
科目責任者	北村　知昭						
担当教員	北村　知昭,鷲尾　絢子,折本　愛,相原　良亮,村田　一将						

授業の概要

歯の重要性が認識され高齢者も多くの歯を有している現代では、精度の高い歯の治療（保存修復治療、歯内治療，補綴治療）を実施する能力が求められている。本科目では歯の治療に関する基本能力の実習を行う。指導歯科医師の管理下でマネキンを用いた実習および臨床実習を実施し、保存治療認定医・専門医資格取得に必要な知識・技術基盤を養成する。

学生の到達目標

【一般目標】　歯の治療に必要な基本能力を修得するため、マネキンを用いた実習および臨床実習を実施し基本的知識・技術を修得し、実践できる。【到達目標】・ 自立して患者対応・病院スタッフ対応できる。・ 評価（１）および評価（２）に合格する。・ 症例収集に必要な口腔内写真撮影、エックス線写真撮影等をする。＜基本治療能力の例＞a．保存修復治療、歯内治療、補綴治療b．歯周基本治療と粘膜切開・縫合技術

テキスト

タイトル	著者	出版社
保存修復学第7版	千田彰 他編	医歯薬出版
保存修復学２１第６版	田上順次 他編	永末書店
歯内治療学第５版	勝海一郎 他編	医歯薬出版
エンドドンティックス第６版	興地隆史 他編	永末書店
マイクロエンドをはじめよう　超入門テキスト	北村知昭 他編	医歯薬出版
非歯原性疼痛へのアプローチ	北村知昭 他編	医歯薬出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
評価（１）、（２）の平均点	50%
ルーブリック評価	50%

2025年度　　科目コード： 212031

口腔保存治療学Ⅰ(臨床ベーシックコース)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～2 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	実習	**時間数**	60	**単位数**	2
科目責任者	北村　知昭						
担当教員	北村　知昭,鷲尾　絢子,折本　愛,相原　良亮,村田　一将						

その他

相談は授業時間外でも随時受け付け可能。また、相談時間予約にメールを利用可能。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
			北村　知昭 鷲尾　絢子 折本　愛 相原　良亮 村田　一将		
1～3	歯内治療I 臨床能力評価（歯内治療）に向けたシミュレーション実習を行う。	実習	北村　知昭 鷲尾　絢子 折本　愛 相原　良亮 村田　一将	【事前学修課題】歯内治療について予習。 【事後学修課題】歯内治療について復習。	
4～6	保存修復治療I 臨床能力評価（保存修復治療）に向けたシミュレーション実習を行う。	実習	北村　知昭 鷲尾　絢子 折本　愛 相原　良亮 村田　一将	【事前学修課題】保存修復治療について予習。 【事後学修課題】保存修復治療について復習。	
7～9	補綴治療I 臨床能力評価（補綴治療）に向けたシミュレーション実習を行う。	実習	北村　知昭 鷲尾　絢子 折本　愛 相原　良亮 村田　一将	【事前学修課題】補綴治療について予習。 【事後学修課題】補綴治療について復習。	
10～12	評価（１） 臨床能力評価を行う。評価合格をもって臨床を開始する。	実習	北村　知昭 鷲尾　絢子 折本　愛 相原　良亮 村田　一将	【事前学修課題】歯内治療、保存修復治療、補綴治療について予習。 【事後学修課題】歯内治療、保存修復治療、補綴治療について復習。	
13～15	歯内治療II 患者対応を含めた診療能力評価に向けた診療（歯内治療）を行う。	実習	北村　知昭 鷲尾　絢子 折本　愛 相原　良亮 村田　一将	【事前学修課題】歯内治療について予習。 【事後学修課題】歯内治療について復習。	

2025年度　　科目コード： 212031

口腔保存治療学Ⅰ(臨床ベーシックコース)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～2 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	実習	**時間数**	60	**単位数**	2
科目責任者	北村　知昭						
担当教員	北村　知昭,鷲尾　絢子,折本　愛,相原　良亮,村田　一将						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
16～18	保存修復治療II 患者対応を含めた診療能力評価に向けた診療（保存修復治療）を行う。	実習	北村　知昭 鷲尾　絢子 折本　愛 相原　良亮 村田　一将	【事前学修課題】保存修復治療について予習。 【事後学修課題】保存修復治療について復習。	
19～21	補綴治療II 患者対応を含めた診療能力評価に向けた診療（補綴治療）を行う。	実習	北村　知昭 鷲尾　絢子 折本　愛 相原　良亮 村田　一将	【事前学修課題】補綴治療について予習。 【事後学修課題】補綴治療について復習。	
22～24	歯周治療 患者対応を含めた診療能力評価に向けた診療（歯周治療）を行う。	実習	北村　知昭 鷲尾　絢子 折本　愛 相原　良亮 村田　一将	【事前学修課題】歯周治療について予習。 【事後学修課題】歯周治療について復習。	
25～27	評価（２） 臨床能力評価を行う。評価合格をもって専門的実習を開始する。	実習	北村　知昭 鷲尾　絢子 折本　愛 相原　良亮 村田　一将	【事前学修課題】歯内治療、保存修復治療、歯周治療、補綴治療について予習。 【事後学修課題】歯内治療、保存修復治療、歯周治療、補綴治療について復習。	
28～30	外科技術基本 基本的な粘膜切開・縫合に関するシミュレーション実習を行う。	実習	北村　知昭 鷲尾　絢子 折本　愛 相原　良亮 村田　一将	【事前学修課題】口腔外科小手術について予習。 【事後学修課題】口腔外科小手術について復習。	

2025年度　　科目コード： 212032

口腔保存治療学Ⅱ(臨床アドバンスコースS)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	実習	**時間数**	60	**単位数**	2
科目責任者	北村　知昭						
担当教員	北村　知昭,鷲尾　絢子,折本　愛,相原　良亮,村田　一将						

授業の概要

本科目では、臨床ベーシックコースで修得した能力を基盤として認定医・専門医資格取得に必要な症例収集を行う。また高精度な歯の治療に必須であるマイクロスコープ等の器機を用いた臨床能力を修得するため、シミュレーション実習を実施し到達度を評価することにより、保存治療専門医資格を取得するための知識・技術を養成する。

学生の到達目標

【一般目標】　高精度な歯の治療に必要な能力を修得するため、実習を実施し認定医・専門医資格取得のための知識・技術を修得し、実践できる。【到達目標】・ 評価(３)に合格する。・ 各種審美治療法を修得し、実践できる。・ 治療計画を立案・実施できる。＜専門治療技術の例＞ マイクロスコープ下の保存治療、外科的歯内治療、関連分野（歯周基本治療等）

テキスト

タイトル	著者	出版社
保存修復学第７版	千田彰 他編	医歯薬出版
保存修復学２１第５版	田上順次 他編	永末書店
歯内治療学第５版	勝海一郎 他編	医歯薬出版
エンドドンティックス第６版	興地隆史 他編	永末書店
マイクロエンドをはじめよう　超入門テキスト	北村知昭編	医歯薬出版
非歯原性疼痛へのアプローチ	北村知昭他編	医歯薬出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
評価（３）	50%
ルーブリック評価	50%

2025年度　　科目コード： 212032

口腔保存治療学Ⅱ(臨床アドバンスコースS)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	実習	**時間数**	60	**単位数**	2
科目責任者	北村　知昭						
担当教員	北村　知昭,鷲尾　絢子,折本　愛,相原　良亮,村田　一将						

その他

相談は授業時間外でも随時受け付け可能。また、相談時間予約にメールを利用可能。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
			北村　知昭 鷲尾　絢子 折本　愛 相原　良亮 村田　一将		
1～5	マイクロスコープ下の歯内治療臨床能力評価（マイクロスコープ下の歯内治療）に向けたシミュレーション実習を行う。	実習	北村　知昭 鷲尾　絢子 折本　愛 相原　良亮 村田　一将	【事前学修課題】マイクロスコープ、歯内治療について予習。　【事後学修課題】マイクロスコープ、歯内治療について復習。	
6～10	マイクロスコープ下の審美治療臨床能力評価（マイクロスコープ下の審美治療）に向けたシミュレーション実習を行う。	実習	北村　知昭 鷲尾　絢子 折本　愛 相原　良亮 村田　一将	【事前学修課題】マイクロスコープ、審美歯科について予習。　【事後学修課題】マイクロスコープ、審美歯科について復習。	
11～15	マイクロスコープ下の補綴治療臨床能力評価（マイクロスコープ下の補綴治療）に向けたシミュレーション実習を行う。	実習	北村　知昭 鷲尾　絢子 折本　愛 相原　良亮 村田　一将	【事前学修課題】マイクロスコープ、補綴治療について予習。　【事後学修課題】ママイクロスコープ、補綴治療について復習。	
16～20	マイクロスコープ下のポスト除去臨床能力評価（マイクロスコープ下の再治療）に向けたシミュレーション実習を行う。	実習	北村　知昭 鷲尾　絢子 折本　愛 相原　良亮 村田　一将	【事前学修課題】マイクロスコープ、ポスト除去について予習。　【事後学修課題】マイクロスコープ、ポスト除去について復習。	

2025年度　　科目コード： 212032

口腔保存治療学Ⅱ(臨床アドバンスコースS)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	実習	**時間数**	60	**単位数**	2
科目責任者	北村　知昭						
担当教員	北村　知昭,鷲尾　絢子,折本　愛,相原　良亮,村田　一将						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
21～25	マイクロスコープ下の外科的歯内治療 臨床能力評価（エンドドンティック・マイクロサージェリー）に向けたシミュレーション実習を行う。	実習	北村　知昭 鷲尾　絢子 折本　愛 相原　良亮 村田　一将	【事前学修課題】マイクロスコープ、外科的歯内治療について予習。 【事後学修課題】マイクロスコープ、外科的歯内治療について復習。	
26～30	評価（３） 臨床能力評価を行う。評価合格をもって専門的診療を開始する。	実習	北村　知昭 鷲尾　絢子 折本　愛 相原　良亮 村田　一将	【事前学修課題】マイクロスコープ、歯科治療全般について予習。 【事後学修課題】マイクロスコープ、歯科治療全般について復習。	

2025年度　　科目コード： 212033

口腔保存治療学III(臨床アドバンスコースH)

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～4 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	実習	時間数	120	単位数	4
科目責任者	北村　知昭						
担当教員	北村　知昭,鷲尾　絢子,折本　愛,相原　良亮,村田　一将						

授業の概要

本科目では、認定医・専門医資格取得に必要な症例収集を行うとともに、マイクロスコープ下の高精度な治療に関する能力を修得し、認定医・専門医資格を取得ための知識・技術を養成する。また、臨床セミナーとして実施するケース・プレゼンテーションを通して臨床推論能力およびプレゼンテーション能力を養成する。

学生の到達目標

【一般目標】　認定医・専門医に必要な能力を身につけるため、マイクロスコープ下の治療について臨床を通して修得するとともに、ケース・プレゼンテーションを通して臨床推論能力を修得し、実践できる。【到達目標】・ 評価(４)に合格する。・ 治療計画を立案・実施し、ケース・プレゼンテーションを行うことができる。・ 認定医・専門医資格取得に適した症例を吟味できる。＜専門治療技術の例＞a．マイクロスコープ使用下での各種保存治療、外科的治療b．認定医・専門医に必要な関連分野（歯周基本治療等）

テキスト

タイトル	著者	出版社
保存修復学第７版	千田彰 他編	医歯薬出版
保存修復学２１第５版	田上順次 他編	永末書店
歯内治療学第５版	勝海一郎 他編	医歯薬出版
エンドドンティックス第６版	興地隆史 他編	永末書店
マイクロエンドをはじめよう　超入門テキスト	北村知昭 編	医歯薬出版
非歯原性疼痛へのアプローチ	北村知昭 他編	医歯薬出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
評価（４）	50%
ルーブリック評価	50%

2025年度　　科目コード： 212033

口腔保存治療学III(臨床アドバンスコースH)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	実習	**時間数**	120	**単位数**	4
科目責任者	北村　知昭						
担当教員	北村　知昭,鷲尾　絢子,折本　愛,相原　良亮,村田　一将						

その他

相談は授業時間外でも随時受け付け可能。また、相談時間予約にメールを利用可能。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
			北村　知昭 鷲尾　絢子 折本　愛 相原　良亮 村田　一将		
1～8	マイクロスコープ下の歯内治療 患者対応を含めた診療能力評価に向けた診療（マイクロスコープ下の歯内治療）を行う。	実習	北村　知昭 鷲尾　絢子 折本　愛 相原　良亮 村田　一将	【事前学修課題】マイクロエンドドンティクスについて予習。　【事後学修課題】マイクロエンドドンティクスについて復習。	
9～16	マイクロスコープ下の審美治療 患者対応を含めた診療能力評価に向けた診療（マイクロスコープ下の審美修復・補綴治療）を行う。	実習	北村　知昭 鷲尾　絢子 折本　愛 相原　良亮 村田　一将	【事前学修課題】マイクロスコープ、審美歯科について予習。　【事後学修課題】マイクロスコープ、審美歯科について復習。	
17～24	マイクロスコープ下の外科的歯内治療 患者対応を含めた診療能力評価に向けた診療（エンドドンティック・マイクロサージェリー）を行う。	実習	北村　知昭 鷲尾　絢子 折本　愛 相原　良亮 村田　一将	【事前学修課題】エンドドンティック・マイクロサージェリーについて予習。 【事後学修課題】エンドドンティック・マイクロサージェリーについて復習。	
25～32	評価（４）　臨床能力評価を行う。評価合格をもって自立した専門的診療を開始する。	実習	北村　知昭 鷲尾　絢子 折本　愛 相原　良亮 村田　一将	【事前学修課題】マイクロスコープ、歯科治療全般について予習。　【事後学修課題】マイクロスコープ、歯科治療全般について復習。	

2025年度　　科目コード： 212033

口腔保存治療学III(臨床アドバンスコースH)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	実習	**時間数**	120	**単位数**	4
科目責任者	北村　知昭						
担当教員	北村　知昭,鷲尾　絢子,折本　愛,相原　良亮,村田　一将						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
33～40	治療計画立案 保存治療認定医・専門医資格取得のために必要な症例の治療計画を立案する。	実習	北村　知昭 鷲尾　絢子 折本　愛 相原　良亮 村田　一将	【事前学修課題】保存治療認定医・専門医、治療計画立案について予習。 【事後学修課題】保存治療認定医・専門医、治療計画立案について復習。	
41～48	保存治療関連症例の治療 保存治療認定医・専門医資格取得のために必要な症例治療を実施する。	実習	北村　知昭 鷲尾　絢子 折本　愛 相原　良亮 村田　一将	【事前学修課題】保存治療認定医・専門医、症例報告について予習。 【事後学修課題】保存治療認定医・専門医、症例報告について復習。	
49～56	ケース・プレゼンテーションおよび専門医による講義 ケース・プレゼンテーションと専門医による講義を通して保存治療認定医・専門医資格取得に必要な知識を修得する。 【事前学習課題】保存治療認定医・専門医、ケースプレゼンテーション	実習	北村　知昭 鷲尾　絢子 折本　愛 相原　良亮 村田　一将	【事前学修課題】保存治療認定医・専門医、ケースプレゼンテーションについて予習。 【事後学修課題】保存治療認定医・専門医、ケースプレゼンテーションについて復習。	
57～60	保存治療専門医資格取得用症例の作成 保存治療認定医・専門医資格取得のために必要な症例発表様式を作成する。	実習	北村　知昭 鷲尾　絢子 折本　愛 相原　良亮 村田　一将	【事前学修課題】保存治療認定医・専門医、ケースプレゼンテーションについて予習。 【事後学修課題】保存治療認定医・専門医、ケースプレゼンテーションについて復習。	

2025年度　　科目コード： 212034

口腔保存治療学IV(研究セミナー)

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～4 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	演習	時間数	30	単位数	2
科目責任者	北村　知昭						
担当教員	北村　知昭,鷲尾　絢子,折本　愛,相原　良亮,村田　一将						

授業の概要

本科目では、高精度な歯の治療と関連する再生医療や医療器機開発に関する研究、および臨床研究に関する論文抄読と研究報告を実施する。質の高い論文を精読し診療・研究に共通する論理的考察・推論能力や国際的視野を修得する。また、研究結果報告を行うことで学位取得につながる議論をすることも目的としている。

学生の到達目標

【一般目標】　質の高い歯科医学研究・臨床能力を修得するため、国際的に認められている研究の精読と研究報告を行い、博士（歯学）として必要な論理的思考法・実践法を修得し、実践できる。【到達目標】・ 研究の背景となる国際論文を収集できる。・ 国際論文を抄読し、自身の研究内容の背景を説明できる。・ プレゼンテーション法を修得し、実践できる。・ 研究遂行に必要な論文を収集・吟味し、プレゼンテーションできる。・ 研究報告（経過報告、学会発表準備報告）ができる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
保存修復学第７版	千田彰 他編	医歯薬出版
保存修復学２１第５版	田上順次 他編	永末書店
歯内治療学第５版	勝海一郎 他編	医歯薬出版
エンドドンティックス第５版	興地隆史 他編	永末書店
マイクロエンドをはじめよう　超入門テキスト	北村知昭 編	医歯薬出版
非歯原性疼痛へのアプローチ	北村知昭 他編	医歯薬出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
セミナー中の発表内容	50%
ルーブリック評価	50%

2025年度　　科目コード： 212034

口腔保存治療学IV(研究セミナー)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	演習	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	北村　知昭						
担当教員	北村　知昭,鷲尾　絢子,折本　愛,相原　良亮,村田　一将						

その他

相談は授業時間外でも随時受け付け可能。また、相談時間予約にメールを利用可能。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
			北村　知昭 鷲尾　絢子 折本　愛 相原　良亮 村田　一将		
1～5	論文抄読 研究の背景や関連する文献の精読とプレゼンテーションを行う。	文献紹介と討論	北村　知昭 鷲尾　絢子 折本　愛 相原　良亮 村田　一将	【事前学修課題】課題研究に関する文献収集、プレゼンテーションについて予習。 【事後学修課題】課題研究に関する文献収集、プレゼンテーションについて復習。	
6～10	研究報告 自身の研究内容（経過，学会発表準備）に関するプレゼンテーションを行う。	研究内容の報告と討論	北村　知昭 鷲尾　絢子 折本　愛 相原　良亮 村田　一将	【事前学修課題】研究報告について予習。 【事後学修課題】研究報告について復習。	
11～15	論文紹介・研究報告 各教員による専門領域の論文抄読、講義、および研究報告を受講し、知識を修得する。	文献紹介・研究報告と討論	北村　知昭 鷲尾　絢子 折本　愛 相原　良亮 村田　一将	【事前学修課題】論文抄読、研究報告について予習。 【事後学修課題】論文抄読、研究報告について復習。	

2025年度　　科目コード： 212035

口腔保存治療学Ⅴ(研究演習)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	演習	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	北村　知昭						
担当教員	北村　知昭,鷲尾　絢子,折本　愛,相原　良亮,村田　一将						

授業の概要

本分野では、高精度な歯の治療と関連する再生医療や医療器機開発に関する研究、および臨床研究を行っている。本科目では、学内外の優れた研究グループと連携・協力しながら、研究遂行に必要な能力を修得し、国際的に通用する歯科医師・歯科医学研究者・教育者を養成することを目的としている。

学生の到達目標

【一般目標】　国際的に通用する歯科医師・歯科医学研究者・教育者になるため、研究能力・論文作成能力を修得し学位取得に適した研究論文を作成できる。【到達目標】・ 研究遂行に必要な知識・技術を修得し、実践できる。・ 研究報告や学会発表に必要なデータ整理方法を修得し、実践できる。・ 研究報告よび国内外での学会発表と論文作成を行うことができる。・ 自立して研究テーマを開発する能力を修得し、実践できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
保存修復学第７版	千田彰 他編	医歯薬出版
保存修復学２１第５版	田上順次 他編	永末書店
歯内治療学第５版	勝海一郎 他編	医歯薬出版
エンドドンティックス第６版	興地隆史 他編	永末書店
マイクロエンドをはじめよう　超入門テキスト	北村知昭編	医歯薬出版
非歯原性疼痛へのアプローチ	北村知昭他編	医歯薬出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
演習内容	50%
ルーブリック評価	50%

その他

相談は授業時間外でも随時受け付け可能。また、相談時間予約にメールを利用可能。

2025年度　　科目コード： 212035

口腔保存治療学Ⅴ(研究演習)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	演習	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	北村　知昭						
担当教員	北村　知昭,鷲尾　絢子,折本　愛,相原　良亮,村田　一将						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
			北村　知昭 鷲尾　絢子 折本　愛 相原　良亮 村田　一将		
1	オリエンテーション 研究テーマについて議論・決定する。	講義	北村　知昭 鷲尾　絢子 折本　愛 相原　良亮 村田　一将	【事前学修課題】研究テーマについて予習。 【事後学修課題】研究テーマについて復習。	
2,3	培養細胞を用いた研究 培養細胞の取扱いおよび研究手法を修得する。	演習	北村　知昭 鷲尾　絢子 折本　愛 相原　良亮 村田　一将	【事前学修課題】細胞培養法について予習。 【事後学修課題】細胞培養法について復習。	
4,5	実験動物を用いた研究 実験動物の取扱いおよび研究手法を修得する。	演習	北村　知昭 鷲尾　絢子 折本　愛 相原　良亮 村田　一将	【事前学修課題】実験動物、ARC利用について予習。 【事後学修課題】実験動物、ARC利用について復習。	
6,7	歯科材料に関する研究 歯科材料の開発・研究手法を修得する。	演習	北村　知昭 鷲尾　絢子 折本　愛 相原　良亮 村田　一将	【事前学修課題】歯科材料について予習。 【事後学修課題】歯科材料について復習。	
8,9	医療機器開発に関する研究 医療機器の開発・研究手法を修得する。	演習	北村　知昭 鷲尾　絢子 折本　愛 相原　良亮 村田　一将	【事前学修課題】医用工学について予習。 【事後学修課題】医用工学について復習。	
10,11	臨床疫学研究 臨床疫学における研究手法を修得する。	演習	北村　知昭 鷲尾　絢子 折本　愛 相原　良亮 村田　一将	【事前学修課題】臨床疫学について予習。 【事後学修課題】臨床疫学について復習。	

2025年度　　科目コード： 212035

口腔保存治療学Ⅴ(研究演習)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	演習	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	北村　知昭						
担当教員	北村　知昭,鷲尾　絢子,折本　愛,相原　良亮,村田　一将						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
12～15	学会発表・論文作成と投稿 各研究成果を学会発表すると共に論文を作成し公表する。	演習	北村　知昭 鷲尾　絢子 折本　愛 相原　良亮 村田　一将	【事前学修課題】学会発表、論文作成について予習。 【事後学修課題】学会発表、論文作成について復習。	

2025年度　　科目コード： 212041

歯周病学Ⅰ

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～3 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	実習	**時間数**	120	**単位数**	4
科目責任者	臼井　通彦						
担当教員	臼井　通彦,鬼塚　理,佐野　孝太朗,中村　太志						

授業の概要

近年、歯周病は単なる口腔局所の一疾患ではなく全身の問題として注目されている。本授業では、歯周病の危険因子を理解しエビデンスに基づいた（EBM）効果的な診断・治療を学ぶ。そのため、世界中で発表されている歯周病に関連する論文を可能な限り多く輪読する。蓄積された知識を日常の臨床に活かすことで、最新の治療法を実践する。また、多様な問題を抱えた重篤な症例を通じて、専門医としての診断力、問題解決力を身につける。

学生の到達目標

１．歯周病患者に対し必要な医療面接を実施できる（第1回）。２．歯周組織検査について説明、実施できる（第2～7，20回）。３．検査の結果に基づいた治療計画を立案できる（第8回）。４．効果的なモチベーションを実践できる（第9～14回）。５．超音波スケーリング、スケーリング・ルートプレーニングを実施できる（第15～19回）。６．歯周外科手術の基本的手技を理解し、治癒機転と予後を説明できる（第21～23回）。７．歯周再生療法の特徴を理解し、治癒機転と予後を説明できる（第24，25回）。８．歯周補綴学、矯正およびインプラント治療の応用を説明できる（第26～28回）。９．SPTの意義と手順を説明できる(第29回)。１０．歯周病症例を提示し、治療計画・治療結果について説明できる（第30回）。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
D-3-2-3	歯周疾患の病因と病態を理解している。
D-3-2-4	口腔細菌、プラーク(口腔バイオフィルム)及び歯石を理解している。
D-4-2-3	治療方針と治療の優先性及び患者の背景や希望を考慮して治療計画を立案できる。
D-5-1-3	プラークコントロールの意義と方法を理解している。
D-5-2-3-2	歯周疾患の検査法、診断及び治療方針(メインテナンスを含む)を理解している。
D-5-2-3-3	歯周治療の術式と適応症を理解している。
D-5-2-3-4	歯周外科治療の種類と適応症を理解している。
D-5-2-3-5	歯周治療後の組織の治癒機転と予後を理解している。
E-2-5-1	診断並びに治療に必要な画像検査及び臨床検査を選択し、実施できる。
E-5-3-3-1	歯周基本治療としてプラークコントロール指導ができる。（Ⅰa)
E-5-3-3-2	歯周基本治療としてスケーリングができる。（Ⅰa)
PS-05	病因と病態、生体の構造と機能の異常を理解している。
PS-06	診断と治療を理解している。
PS-07	歯科医療における材料と機器の性質と使用法を理解している。

テキスト

タイトル	著者	出版社
Journal of Periodontology		
Journal of Clinical Periodontology		

参考書

タイトル	著者	出版社
参考書（参考文献）は実習時に配布する。		

2025年度　　科目コード： 212041

歯周病学Ⅰ

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～3 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	実習	**時間数**	120	**単位数**	4
科目責任者	臼井　通彦						
担当教員	臼井　通彦,鬼塚　理,佐野　孝太朗,中村　太志						

成績評価方法・基準

評価項目	割合
口頭試問	100%

その他

学生相談：随時　メールでの質問も可。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1,2	歯周病患者の医療面接歯周病患者の医療面接について学ぶ。	実習	臼井　通彦	事後学習（医療面接）	
3,4	歯周組織検査（口腔内写真撮影１）口腔内写真撮影方法について学ぶ。	実習	臼井　通彦	事後学習（口腔内写真）	
5,6	歯周組織検査（口腔内写真撮影２）口腔内写真撮影方法について学ぶ。	実習	臼井　通彦	事後学習（口腔内写真）	
7,8	歯周組織検査（プロービング）歯周ポケット検査について学ぶ。	実習	臼井　通彦	事後学習（プロービング）	
9,10	歯周組織検査（エックス線写真撮影）エックス線写真撮影と読影について学ぶ。	実習	臼井　通彦	事後学習（Ｘ線写真撮影）	
11,12	歯周組織検査（咬合力測定と分析）咬合力測定と分析法について学ぶ。	実習	臼井　通彦	事後学習（咬合力）	
13,14	歯周組織検査（歯の動揺度測定）歯の動揺度測定について学ぶ。	実習	臼井　通彦	事後学習（動揺度）	
15,16	治療計画の立案治療計画の多様性について学ぶ。	実習	臼井　通彦	事後学習（治療計画）	
17,18	効果的なモチベーション法１モチベーションの与え方について学ぶ。	実習	中村　太志	事後学習（モチベーション）	

2025年度　　科目コード： 212041

歯周病学Ⅰ

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～3 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	実習	時間数	120	単位数	4
科目責任者	臼井　通彦						
担当教員	臼井　通彦,鬼塚　理,佐野　孝太朗,中村　太志						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
19,20	効果的なモチベーション法２モチベーションの与え方について学ぶ。	実習	中村　太志	事後学習（モチベーション）	
21,22	効果的なモチベーション法３モチベーションの与え方について学ぶ。	実習	中村　太志	事後学習（モチベーション）	
23,24	効果的なモチベーション法４モチベーションの与え方について学ぶ。	実習	中村　太志	事後学習（モチベーション）	
25,26	効果的なモチベーション法５モチベーションの与え方について学ぶ。	実習	中村　太志	事後学習（モチベーション）	
27,28	効果的なモチベーション法６モチベーションの与え方について学ぶ。	実習	中村　太志	事後学習（モチベーション）	
29,30	超音波スケーリング（歯肉縁上）歯肉縁上の超音波スケーリングについて学ぶ。	実習	中村　太志	事後学習（超音波スケーリング）	
31,32	超音波スケーリング（歯肉縁下・分岐部）歯肉縁下・分岐部の超音波スケーリングについて学ぶ。	実習	中村　太志	事後学習（超音波スケーリング）	
33,34	スケーリング・ルートプレーニングⅠ（ポジショニング）SRP時のポジショニングについて学ぶ。	実習	鬼塚　理	事後学習（スケーリング・ルートプレーニング）	
35,36	スケーリング・ルートプレーニングⅡ（シャープニング）シャープニングの方法について学ぶ。	実習	鬼塚　理	事後学習（スケーリング・ルートプレーニング）	
37,38	スケーリング・ルートプレーニングⅢ（非外科への移行）	実習	鬼塚　理	事後学習（スケーリング・ルートプレーニング）	
39,40	再評価と治療に対する反応性（レスポンス）に基づく治療計画立案反応性に基づいた治療計画の立案方法について学ぶ。	実習	鬼塚　理	事後学習（再評価）	

2025年度　　科目コード： 212041

歯周病学Ⅰ

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～3 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	実習	**時間数**	120	**単位数**	4
科目責任者	臼井　通彦						
担当教員	臼井　通彦,鬼塚　理,佐野　孝太朗,中村　太志						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
41,42	歯周外科手術１（基礎的手技；全層弁・部分層弁の作成、各種縫合法）フラップ形成と縫合方法について学ぶ。	実習	鬼塚　理	事後学習（歯周外科手術）	
43,44	歯周外科手術２（フラップ手術）フラップ手術の原理と方法について学ぶ。	実習	鬼塚　理	事後学習（歯周外科手術）	
45,46	歯周外科手術３（歯肉結合組織移植術）歯肉結合組織移植術の原理と方法について学ぶ。	実習	鬼塚　理	事後学習（歯周外科手術）	
47,48	歯周再生療法１（GTR法）GTR法の原理と方法について学ぶ。	実習	佐野　孝太朗	事後学習（再生療法）	
49,50	歯周再生療法２（エムドゲインを用いた再生療法）エムドゲイ療法の原理と方法について学ぶ。	実習	佐野　孝太朗	事後学習（再生療法）	
51,52	歯周補綴学歯周補綴の概念・方法について学ぶ。	実習	佐野　孝太朗	事後学習（歯周補綴）	
53,54	歯周治療におけるインプラントの応用歯周治療におけるインプラント治療の応用方法や注意点について学ぶ。	実習	佐野　孝太朗	事後学習（インプラント）	
55,56	歯周治療における矯正治療の応用歯周治療のおける矯正治療の応用方法や注意点について学ぶ。	実習	佐野　孝太朗	事後学習（矯正治療）	
57,58	SPTの意義と実際SPTの意義と方法・注意点について学ぶ。	実習	佐野　孝太朗	事後学習（ＳＰＴ）	
59,60	臨床症例の提示および検討実際の症例を提示し、検討を行う。	実習	佐野　孝太朗	事後学習（症例提示方法）	

2025年度　　科目コード： 212042

歯周病学Ⅱ

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～3 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	演習	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	臼井　通彦						
担当教員	臼井　通彦,鬼塚　理,佐野　孝太朗,中村　太志						

授業の概要

歯科領域の中でも、特に歯周病研究の進歩は目覚ましく、日進月歩である。よって、研究を始める前に最新の情報を熟知していなければ、研究結果が既知のものとなってしまう。本授業では、英語論文を理解するための各種ツールを紹介する。また、検索した文献を論文作成までの間にデータベース化する方法を学ぶ。 研究から得られたデータを適切な方法で解析するために必要な、統計ソフトウェアの使用法と各統計手法の背景を学ぶ。さらに、複数の臨床研究から一定の結論を導き出すメタアナリシスの手法についても学ぶ。 最後に、論文あるいはプレゼンテーション作成において簡潔で論理的な文章を作成する注意点について学ぶ。

学生の到達目標

１．オンライン辞書を利用して、英文論文の内容を理解できる。２．PubMedから文献を検索して、検索結果をデータベース化できる。３．統計学的手法により臨床データの基礎的な解析ができる。４．メタアナリシスの手法を理解できる。５．簡潔で論理的な文章を作成できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
C-6-2-1	確率変数とその分布、統計的推測(推定と検定)の原理と方法を理解している。
C-6-2-4	調査方法と統計的分析法を理解している。

参考書

タイトル	著者	出版社
ライフサイエンス辞書プロジェクト（http://lsd.pharm.kyoto-u.ac.jp/ja/index.html）		
JMP（統計ソフトウェア）		
EndNote（文献検索ソフトウェア）		
Cochrane Reviews		
Journal of Periodontology		
Journal of Clinical Periodontology		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
口頭試問	100%

2025年度　　科目コード： 212042

歯周病学Ⅱ

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～3 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	演習	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	臼井　通彦						
担当教員	臼井　通彦,鬼塚　理,佐野　孝太朗,中村　太志						

その他

学生相談：随時　メールでの質問も可

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	オンライン辞書の検索オンライン辞書を用いた検索方法を学ぶ。	演習	中村　太志	事後学習（オンライン辞書）	その他
2	文献ライブラリ（PubMed）の検索文献ライブラリ（PubMed）の使用方法を学ぶ。	演習	中村　太志	事後学習（PubMed）	その他
3	文献データベースの作成文献データベースの作成方法を学ぶ。	演習	中村　太志	事後学習（EndNote）	その他
4	臨床統計学（データの取扱い）統計処理に必要なデータの取扱い方法を学ぶ。	演習	中村　太志	事後学習（データの取扱い）	その他
5	臨床統計学（データ分布と正規性）統計処理に必要なデータ分布と正規性について学ぶ	演習	中村　太志	事後学習（データ分布・正規性）	その他
6	臨床統計学（グループ平均の比較）グループ平均の比較方法について学ぶ。	演習	鬼塚　理	事後学習（グループ平均の比較）	その他
7	臨床統計学（分散分析）分散分析の意味と方法について学ぶ。	演習	鬼塚　理	事後学習（分散分析）	その他
8	臨床統計学（単回帰）単回帰の意味と方法について学ぶ。	演習	鬼塚　理	事後学習（単回帰）	その他
9	臨床統計学（重回帰）重回帰の意味と方法について学ぶ。	演習	鬼塚　理	事後学習（重回帰）	その他
10	臨床データの解析１実際の臨床データを用いて、今まで学習した方法で解析を行う。	演習	鬼塚　理	事後学習（臨床データ解析）	その他
11	臨床データの解析２実際の臨床データを用いて、今まで学習した方法で解析を行う。	演習	佐野　孝太朗	事後学習（臨床データ解析）	その他

2025年度　　科目コード： 212042

歯周病学Ⅱ

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～3 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	演習	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	臼井　通彦						
担当教員	臼井　通彦,鬼塚　理,佐野　孝太朗,中村　太志						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
12	メタアナリシスの基礎メタアナリシスの意義について学ぶ。	演習	佐野　孝太朗	事後学習（メタアナリシス）	その他
13	メタアナリシスの応用メタアナリシスの方法を習得し、実践する。	演習	佐野　孝太朗	事後学習（メタアナリシス）	その他
14	論文作成（日本語）日本語での論文作成方法について学ぶ。	演習	佐野　孝太朗	事後学習（日本語論文作成）	その他
15	論文作成（英語）英語での論文作成方法について学ぶ。	演習	佐野　孝太朗	事後学習（英語論文作成）	その他

2025年度　　科目コード： 212043

歯周病学III(症例検討)

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～4 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	演習	時間数	30	単位数	2
科目責任者	臼井　通彦						
担当教員	臼井　通彦,鬼塚　理,佐野　孝太朗,中村　太志						

授業の概要

歯周病に関連した最新の英語論文を数多く輪読する。臨床においてはケーススタディーを用いて、実際の症例に基づく問題解決法を学ぶ。

学生の到達目標

１．急性、慢性疾患に対応する疾患モデルに精通し、対応できる。２．専門性の高い非外科的、外科的治療を学び、知識を高める。３．難治性の概念を理解できる。４．歯科心身医学に基づく歯科医療を身に着け、対応できる。５．再生療法を学び、知識を高める。

テキスト

タイトル	著者	出版社
Journal of Periodontology		
Journal of Clinical Periodontology		
Journal of Periodontal Research		

参考書

タイトル	著者	出版社
以下のジャーナルより毎回、論文（文献）を選択し、配布する。		
Journal of Periodontology		
Journal of Clinical Periodontology		
Journal of Periodontal Research		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
セミナー中の質問に対する回答	100%

その他

学生相談：随時

2025年度　　科目コード： 212043

歯周病学III(症例検討)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	演習	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	臼井　通彦						
担当教員	臼井　通彦,鬼塚　理,佐野　孝太朗,中村　太志						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1～15	論文抄読・症例検討最新の文献および関連する文献から、研究・治療に関して今後の展開を考察する。また、実際の症例への応用を検討する。	文献抄読会および症例討論会	臼井　通彦 中村　太志 佐野　孝太朗 鬼塚　理	配付資料（文献）の復習	その他

2025年度　　科目コード： 212044

歯周病学IV(歯周外科アドバンス)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・実	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	臼井　通彦						
担当教員	臼井　通彦,鬼塚　理,佐野　孝太朗,中村　太志						

授業の概要

歯周外科を行うにあたり、術者はあるレベル以上の技術力を有していなければならないが，その技術力を，歯周治療という側面から有効に機能させるための知識も必要である。本授業では、術式の単純な理解に留まらず、ファントム模型実習・ブタ顎骨実習の実践に加え、指導医が実際に行う歯周外科のアシストを行うことで、歯周外科治療に必要な基本的技能を習得する。

学生の到達目標

１．歯周外科治療の基本概念を説明することができる。２．症例に応じて、適切な歯周外科術式を選択することができる。３．歯周外科に必要な機材の選択、操作ができる。４．指導医のもと、歯周外科を実践できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
配布資料		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
理解度（口頭試問による）	100%

その他

学生相談：随時

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	全層弁による歯肉剥離掻爬術 全層弁での歯肉剥離掻爬術の術式、適応症例について学ぶ。	講義	中村　太志	事後学習（歯肉剥離掻爬術）	その他
2	全層・部分層弁による歯肉剥離掻爬術 全層・部分層弁による歯肉剥離掻爬術の術式、適応症例について学ぶ。	講義	中村　太志	事後学習（歯肉剥離掻爬術）	その他
3	歯肉剥離掻爬術実習 歯肉剥離掻爬術をファントム模型・ブタ顎骨にて実習する。	演習・実習	中村　太志	事後学習（歯肉剥離掻爬術）	その他
4	小帯切除術 小帯切除術の術式、適応症例について学ぶ。	講義	中村　太志	事後学習（小帯切除術）	その他

2025年度　　科目コード： 212044

歯周病学IV(歯周外科アドバンス)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・実	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	臼井　通彦						
担当教員	臼井　通彦,鬼塚　理,佐野　孝太朗,中村　太志						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
5	口腔前庭拡張術 口腔前庭拡張術の術式、適応症例について学ぶ。	講義	中村　太志	事後学習（口腔前庭拡張術）	その他
6	有茎歯肉弁移植術による歯肉歯槽粘膜形成術 有茎歯肉弁移植術の術式、適応症例について学ぶ。	講義	佐野　孝太朗	事後学習（歯肉移植術）	その他
7	遊離歯肉移植による歯肉歯槽粘膜形成術遊離歯肉移植術の術式、適応症例について学ぶ。	講義	佐野　孝太朗	事後学習（歯肉移植術）	その他
8	結合組織移植，遊離歯肉移植による歯肉歯槽粘膜形成術 結合組織移植術の術式、適応症例について学ぶ。	講義	佐野　孝太朗	Post-learning: Periodontal plastic surgery	その他
9	歯肉歯槽粘膜形成術実習歯肉歯槽粘膜形成術をファントム模型・ブタ顎骨にて実習する。	演習・実習	佐野　孝太朗	事後学習（歯肉移植術）	その他
10	GTR法 GTR法の術式、適応症例について学ぶ。	講義	佐野　孝太朗	事後学習（ＧＴＲ法）	その他
11	GTR法実習 GTR法をファントム模型・ブタ顎骨にて実習する。	演習・実習	鬼塚　理	事後学習（ＧＴＲ法）	その他
12	エムドゲイン療法 エムドゲイン療法の術式、適応症例について学ぶ。	講義	鬼塚　理	事後学習（エムドゲイン療法）	その他
13	自家骨移植術 自家骨移植術の術式、適応症例について学ぶ。	講義	鬼塚　理	事後学習（自家骨移植術）	その他
14	歯肉歯槽粘膜形成術介助（アシスト）担当教員の行なう歯肉歯槽粘膜形成術のアシストにつき、実際の症例にて術式・手技を学ぶ	演習・実習	鬼塚　理	事後学習（歯肉歯槽粘膜形成術）	診療室_病院
15	歯周再生療法介助（アシスト）担当教員の行なう歯周再生療法のアシストにつき、実際の症例にて術式・手技を学ぶ	演習・実習	鬼塚　理	事後学習（歯周再生療法）	診療室_病院

2025年度　　科目コード： 212051

補綴治療学Ⅰ(ベーシックコース)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～3 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	120	**単位数**	4
科目責任者	有田　正博						
担当教員	有田　正博						

授業の概要
全部欠損補綴治療を臨床の場で実践するための臨床手技を修得する。

学生の到達目標
１．全部床義歯装着までの臨床および技工ができる。２．咬合調整ができる。３．義歯調整ができる。 ４．義歯修理ができる。

参考書

タイトル	著者	出版社
コンプリートデンチャーテクニック第5版		医歯薬出版 東京　2005
入門　無歯顎補綴治療		医歯薬出版 東京　2006

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	58%
単位認定試験	42%

その他
【オフィスアワー（学習相談）】随時有田：内線2122　　渡辺：内線 2123

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
					Moodle
1,2	概形印象採得の臨床 アルジネート練和法、トレー修正法 印象採得の実際	遠隔講義（Moodle）	有田　正博	概形印象	Moodle
3,4	研究用模型の作製 トリミングのポイント	遠隔講義（Moodle）	有田　正博	研究用模型模型修正法	Moodle
5,6	個人トレーの作製　開口印象用，閉口印象用	遠隔講義（Moodle）	有田　正博	個人トレー	Moodle
7,8	辺縁形成の臨床 コンパウンドの操作	遠隔講義（Moodle）	有田　正博	辺縁形成	Moodle

2025年度　　科目コード： 212051

補綴治療学Ⅰ(ベーシックコース)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～3 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	120	**単位数**	4
科目責任者	有田　正博						
担当教員	有田　正博						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
9,10	精密印象採得の臨床 ラバー系印象材	遠隔講義（Moodle）	有田　正博	精密印象	Moodle
11,12	作業用模型の作製　ボクシング，トリミング	遠隔講義（Moodle）	有田　正博	作業用模型	Moodle
13,14	咬合床の作製　基礎床，咬合堤	遠隔講義（Moodle）	有田　正博	咬合床	Moodle
15,16	咬合採得の臨床1　咬合平面の設定	遠隔講義（Moodle）	有田　正博	咬合平面	Moodle
17,18	咬合採得の臨床2　咬合高径の設定	遠隔講義（Moodle）	有田　正博	咬合高径	Moodle
19,20	咬合器装着1　フェイスボウトランスファー	遠隔講義（Moodle）	有田　正博	顔弓計測	Moodle
21,22	咬合器装着2　平均値付着板の使用	遠隔講義（Moodle）	有田　正博	平均値付着板	Moodle
23,24	ゴシックアーチ描記法術式　ゴシックアーチトレーサー，下顎模型再装着	遠隔講義（Moodle）	有田　正博	ゴシックアーチ	Moodle
25,26	チェックバイト法術式　前方・側方チェックバイト採得法　スプリットキャスト法による顆路計測法	遠隔講義（Moodle）	有田　正博	チェックバイト	Moodle
27,28	ゴシックアーチ描記とチェックバイト採得の同時記録法	遠隔講義（Moodle）	有田　正博	ゴシックアーチチェックバイト	Moodle
29,30	人工歯選択1　前歯部人工歯選択	遠隔講義（Moodle）	有田　正博	人工歯選択	Moodle
31,32	人工歯選択2　臼歯部人工歯選択	遠隔講義（Moodle）	渡辺　崇文	人工歯選択	Moodle
33,34	前歯部人工歯排列	遠隔講義（Moodle）	渡辺　崇文	人工歯排列	Moodle
35,36	臼歯部人工歯排列　フルバランス，リンガライズド他	遠隔講義（Moodle）	渡辺　崇文	人工歯排列	Moodle

2025年度　　科目コード： 212051

補綴治療学Ⅰ(ベーシックコース)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～3 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	120	**単位数**	4
科目責任者	有田　正博						
担当教員	有田　正博						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
37,38	歯肉形成法　コルベン形態	遠隔講義（Moodle）	渡辺　崇文	歯肉形成	Moodle
39,40	埋没法　二重埋没	遠隔講義（Moodle）	渡辺　崇文	埋没法	Moodle
41,42	重合法	遠隔講義（Moodle）	渡辺　崇文	重合法	Moodle
43,44	研磨法　研磨の順序	遠隔講義（Moodle）	渡辺　崇文	義歯研磨法	Moodle
45,46	咬合調整法	遠隔講義（Moodle）	渡辺　崇文	咬合調整	Moodle
47,48	新義歯装着の臨床　床粘膜面の適合，咬合	遠隔講義（Moodle）	渡辺　崇文	適合検査	Moodle
49,50	患者教育　義歯の取り扱い	遠隔講義（Moodle）	渡辺　崇文	患者教育	Moodle
51,52	義歯調整法　ダイナミック印象，リライン	遠隔講義（Moodle）	渡辺　崇文	リライン	Moodle
53,54	義歯修理法1　咬合高径が高い場合の対処法	遠隔講義（Moodle）	渡辺　崇文	義歯修理	Moodle
55,56	義歯修理法2金属歯への置換法	遠隔講義（Moodle）	渡辺　崇文	金属歯	Moodle
57,58	粘膜の発赤に対する対処細菌，アレルギー	遠隔講義（Moodle）	渡辺　崇文	義歯性口内炎	Moodle
59,60	単位認定試験	遠隔講義（Moodle）	渡辺　崇文	全部床義歯の臨床全般	Moodle

2025年度　　科目コード： 212052

補綴治療学Ⅱ（フレンジテクニック）

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～3 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	有田　正博						
担当教員	有田　正博						

授業の概要
より高度な特殊技術（フレンジテクニック）習得のための基本技術を習得する。

学生の到達目標
フレンジテクニックを用いた全部床義歯装着までの臨床および技工ができる。

参考書

タイトル	著者	出版社
無歯顎補綴治療学		医歯薬出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	70%
単位認定試験	30%

その他
【オフィスアワー（学習相談）】随時　槙原：内線2123

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	オリエンテーション	遠隔講義（Moodle）	有田　正博	デンチャースペース	Moodle
2	デンチャースペースとは？	遠隔講義（Moodle）	有田　正博	デンチャースペース	Moodle
3	デンチャースペースの採得法1ニュートラルゾーンテクニック	遠隔講義（Moodle）	有田　正博	ニュートラルゾーンテクニック	Moodle
4	デンチャースペースの採得法2ピエゾグラフィー	遠隔講義（Moodle）	有田　正博	ピエゾグラフィー	Moodle
5	デンチャースペースの採得法3フレンジテクニック	遠隔講義（Moodle）	有田　正博	フレンジテクニック	Moodle
6	フレンジテクニックの臨床1概形印象，研究用模型	遠隔講義（Moodle）演習	有田　正博	概形印象研究用模型	Moodle
7	フレンジテクニックの臨床2閉口印象用個人トレー	遠隔講義（Moodle）演習	有田　正博	個人トレー	Moodle

2025年度　　科目コード： 212052

補綴治療学Ⅱ（フレンジテクニック）

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～3 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	有田　正博						
担当教員	有田　正博						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
8	フレンジテクニックの臨床3精密印象，作業用模型	遠隔講義（Moodle）演習	有田　正博	精密印象作業用模型	Moodle
9	フレンジテクニックの臨床4顔弓計測，咬合採得	遠隔講義（Moodle）演習	有田　正博	顔弓計測咬合採得	Moodle
10	フレンジテクニックの臨床5デンチャースペース採得の前準備	遠隔講義（Moodle）演習	有田　正博	前準備	Moodle
11	フレンジテクニックの臨床6デンチャースペース採得	遠隔講義（Moodle）演習	有田　正博	デンチャースペース採得	Moodle
12	フレンジテクニックの臨床7石こうコアと人工歯排列	遠隔講義（Moodle）演習	有田　正博	人工歯排列	Moodle
13	フレンジテクニックの臨床8機能的歯肉形成	遠隔講義（Moodle）演習	有田　正博	歯肉フレンジ	Moodle
14	フレンジテクニックの臨床9リライン	遠隔講義（Moodle）演習	有田　正博	リライン	Moodle
15	単位認定試験	遠隔テスト（Moodle）	有田　正博	フランジテクニックの臨床全般	Moodle

2025年度　　科目コード： 212053

補綴治療学III（マグネットデンチャー）

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～3 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	有田　正博						
担当教員	有田　正博						

授業の概要
より高度な特殊技術(マグネットデンチャー)習得のための基本技術を習得する。

学生の到達目標
マグネットデンチャーの臨床および技工ができる。

参考書

タイトル	著者	出版社
新・磁性アタッチメント	田中貴信編	医歯薬出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	42%
単位認定試験	50%
総合評価（授業態度，興味関心など）	8%

その他
オフィスアワー(学習相談)】　随時 渡辺:内線2123 またはメール

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	オリエンテーション	講義	有田　正博 渡辺　崇文	歯科用磁性ア タッチメント（DMA）講義の振り返り	
2	歯科用磁性アタッチメントの歴史	講義	有田　正博 渡辺　崇文	歴史 講義の振り返り	
3	歯科用磁性アタッチメントの構造 Cap-york, Sandwich, Split-pole	講義	有田　正博 渡辺　崇文	構造 講義の振り返り	
4	歯科用磁性アタッチメントの特徴 基本的形態	講義	有田　正博 渡辺　崇文	基本形態 講義の振り返り	
5	臨床応用	講義	有田　正博 渡辺　崇文	臨床応用 講義の振り返り	
6	MRIへの影響1 歯科用金属	講義 演習	有田　正博 渡辺　崇文	歯科用金属 講義の振り返り	

2025年度　　科目コード： 212053

補綴治療学III（マグネットデンチャー）

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～3 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	有田　正博						
担当教員	有田　正博						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
7	MRIへの影響2 鋳接法	講義 演習	有田　正博 渡辺　崇文	鋳接法 講義の振り返り	
8	MRIへの対策1 可撤性アタッチメント	講義 演習	有田　正博 渡辺　崇文	MRI対策 講義の振り返り	
9	MRIへの対策2 市販キーパーの修正	講義 演習	有田　正博 渡辺　崇文	MRI対策 講義の振り返り	
10	新世代磁性アタッチメント	講義 演習	有田　正博 渡辺　崇文	新時代磁性アタッチメント 講義の振り返り	
11	ダイレクトボンディング法	講義 演習	有田　正博 渡辺　崇文	ダイレクトボンディング法 講義の振り返り	
12	マグネットデンチャーの臨床1 パーシャルデンチャー症例	講義 演習	有田　正博 渡辺　崇文	臨床例 講義の振り返り	
13	マグネットデンチャーの臨床2 義歯装着,マグネット合着,調整	講義 演習	有田　正博 渡辺　崇文	臨床例 講義の振り返り	
14	マグネットデンチャーの臨床3 可撤性ブリッジ症例	講義 演習	有田　正博 渡辺　崇文	臨床例 講義の振り返り	
15	単位認定試験	テスト	有田　正博 渡辺　崇文	マグネットデンチャーの臨床全般 講義の振り返り	

2025年度　　科目コード： 212054

顎口腔欠損再構築学1（睡眠時無呼吸症）

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～3 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	槙原　絵理						
担当教員	槙原　絵理						

授業の概要

閉塞型睡眠時無呼吸は夜間に上気道が一部あるいは全部閉塞し、いびきや低呼吸、無呼吸を繰り返すことで、日中眠気などの生活に支障が生じる疾患である。その原因は上気道の機能的・形態的異常によるものであるが、その原因に応じた治療を選択することが重要である。口腔内装置療法は歯科医師が提供することのできる治療であるが、その治療効果や副作用について十分理解し、医療機関と密に連携をとることが重要である。本講義では基本的知識とともに診療内容および医科歯科連携について理解を深める。

学生の到達目標

OSAの研究に関する知識および患者の治療ができる.

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
C-1-3-3	医療、保健、福祉、介護における多職種連携と歯科医師の役割を理解している。
C-1-3-5	患者情報の守秘と患者等への情報提供の重要性と説明責任を理解している。
D-2-4-2	医療情報提供書の記載方法を理解している。
D-2-4-3	医科歯科連携の必要性と歯科医師の関わり方を理解している。
D-3-1-11-6	睡眠時無呼吸の原因、診察、検査、診断及び治療方針を理解している。
D-6-2-2	歯科技工士と連携する歯科技工の方法の概要を理解している。
D-6-2-3	多職種連携に必要となる基本的な専門用語を理解している。

参考書

タイトル	著者	出版社
睡眠医歯学の臨床		ヒョーロンパブリッシャーズ
睡眠時無呼吸症を疑ったら		羊土社

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	42%
単位認定試験	50%
総合評価	8%

その他

オフィスアワー（学習相談）】随時槙原：内線2123　またはメール

2025年度　　科目コード： 212054

顎口腔欠損再構築学1（睡眠時無呼吸症）

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～3 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	槙原　絵理						
担当教員	槙原　絵理						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1,2	オリエンテーション	遠隔講義（Moodle）	槙原　絵理	SAS	
3,4	睡眠時無呼吸症(SAS)の概要	遠隔講義（Moodle）	槙原　絵理	SAS	
5,6	閉塞型睡眠時無呼吸症(OSA) の概要	遠隔講義（Moodle）	槙原　絵理	OSAS	
7,8	SASの診断	遠隔講義（Moodle）	槙原　絵理	ESS，PSG	
9,10	SASの治療法	遠隔講義（Moodle）	槙原　絵理	外科的療法，内科的療法，nCPAP，OA	
11,12	OSA患者が来院したら	遠隔講義（Moodle）	槙原　絵理	臨床の流れ	
13,14	OAの臨床1　　診査・診断	遠隔講義（Moodle）	槙原　絵理	診査・診断	
15,16	OAの臨床2　　印象，咬合採得	遠隔講義（Moodle）	槙原　絵理	印象，咬合採得	
17,18	OAの臨床3　　口腔内装置1	遠隔講義（Moodle）	槙原　絵理	製作法	
19,20	OAの臨床4　　口腔内装置2	遠隔講義（Moodle）	槙原　絵理	製作法	
21,22	OAの臨床5　　セラスノア	遠隔講義（Moodle）	槙原　絵理	セラスノア	
23,24	OAの臨床6　　各種市販OA	遠隔講義（Moodle）	槙原　絵理	各種市販OA	
25,26	OAの臨床7　　タイトレーション	遠隔講義（Moodle）	槙原　絵理	タイトレーション	
27,28	OAの臨床8　　コンプライアンス	遠隔講義（Moodle）	槙原　絵理	コンプライアンス	
29,30	単位認定試験	遠隔テスト（Moodle）	槙原　絵理	SAS全般	

2025年度　　科目コード： 212055

顎口腔欠損再構築学2（TMD）

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～3 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	槙原　絵理						
担当教員	槙原　絵理						

授業の概要

顎関節症は顎関節症は、顎関節や咀嚼筋の疼痛、顎関節雑音、開口障害ないし顎運動異常を主要症候とする障害の包括的診断名である。その病態は咀嚼筋痛障害、顎関節痛障害、顎関節円板障害および変形性顎関節症であるが、 Diagnostic Criteria for Temporomandibular disorders（DC /TMD）が診断法として発表された。本講義では顎関節症の診断方法を理解し実践できるようになるとともに、咬合が関連した顎関節症の臨床を学ぶ。咬合性顎関節症の基本的知識と臨床を学ぶ.

学生の到達目標

TMDの知識と患者の治療ができる.

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
D-3-1-7-1	顎関節疾患の分類と特徴を理解している。
D-3-1-7-2	顎関節疾患の症状、診断法及び治療法を理解している。

参考書

タイトル	著者	出版社
新編　顎関節症　改訂版		永末書店

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	42%
単位認定試験	50%
総合評価	8%

その他

オフィスアワー（学習相談）　随時　槙原絵理（メールにて受付）

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1,2	オリエンテーション	遠隔講義	槙原　絵理	顎関節症（TMD》	
3,4	TMDの潮流	遠隔講義	槙原　絵理	TMD	
5,6	DC/TMD	遠隔講義	槙原　絵理	DC/TMD	
7,8	日本顎関節学会の考え	遠隔講義	槙原　絵理	症型分類	
9,10	TMDの寄与因子	遠隔講義	槙原　絵理	寄与因子	
11,12	低位咬合	遠隔講義	槙原　絵理	低位咬合	
13,14	力のコントロール	遠隔講義	槙原　絵理	力のコントロール	
15,16	咬合挙上と顎関節	遠隔講義	槙原　絵理	咬合挙上と顎関節	
17,18	咬合調整	遠隔講義	槙原　絵理	咬合調整	
19,20	神経筋調節機構	遠隔講義	槙原　絵理	神経筋調節機構	
21,22	習慣性咀嚼	遠隔講義	槙原　絵理	習慣性咀嚼	

2025年度　　科目コード： 212055

顎口腔欠損再構築学2（TMD）

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～3 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	槙原　絵理						
担当教員	槙原　絵理						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
23,24	アプライアンス製作法	遠隔講義	槙原　絵理	アプライアンス製作法	
25,26	アプライアンス調整法１	遠隔講義	槙原　絵理	調整法	
27,28	アプライアンス調整法２	遠隔講義	槙原　絵理	調整法	
29,30	単位認定試験	遠隔講義	槙原　絵理	咬合性顎関節症全般	

2025年度　　科目コード： 212056

顎口腔欠損再構築学3(検討会)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	演習	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	有田　正博						
担当教員	有田　正博						

授業の概要

歯科補綴学関連の最新の研究の動向を理解するために、文献を詳読する。 各自の研究内容に対する報告会、ディスカッション。 その他顎関節症チームアプローチ、顎口腔欠損再構築学分野臨床セミナー。

学生の到達目標

１．英語文献を読み込む能力を養う。２．研究の内容を理解する。３．研究を批評する力を養う。４．研究の背景や動向を理解する。５．最新の臨床テクニックを養う

成績評価方法・基準

評価項目	割合
事後レポート	90%
振り返りレポート	10%

その他

オフィスアワー（学習相談）】随時　津田：内線2123

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1~30	研究の背景と最新の文献の内容、および関連分野の研究の今後の展望を理解する。	輪読、文献紹介および討論基本対面とするが，文献抄録等はメール配信も行うため，質疑応答はメールででも可.	有田　正博 渡辺　崇文 大楠　弘通	文献抄読および関連分野の調査	

2025年度　　科目コード： 212061

口腔インプラント補綴学Ⅰ

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～3 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講・実	時間数	120	単位数	4
科目責任者	正木　千尋						
担当教員	正木　千尋,近藤　祐介,向坊　太郎,宗政　翔,野代　知孝						

授業の概要

口腔インプラント治療を安全・確実に行うために必要な解剖、画像診断、シミュレーション法等の基礎的な理論を理解し、治療計画立案に必要な知識を習得する。さらにファントム模型やブタ顎骨を用いたインプラント体埋入実習、切開・縫合実習、アバットメント連結、印象採得実習等を行うことで口腔インプラント治療に必要な基本的な技能を習得する。

学生の到達目標

1．口腔インプラントの歴史について説明できる。 2．口腔インプラント治療に必要な解剖学を理解できる。 3．診断用ワックスアップ、ステントの意義を理解し、作製できる。 4．口腔インプラントの治癒過程について理解できる。 5．X線CTシミュレーション法の基礎的な理論を理解できる。 6．口腔インプラントの手術術式について説明できる。 7．口腔インプラントの補綴術式について説明できる。 8．口腔インプラント治療におけるメインテナンスの重要性を理解できる。

参考書

タイトル	著者	出版社
よくわかる口腔インプラント学（第4版）		医歯薬出版
補綴臨床別冊　インプラントのポジショニング		医歯薬出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
演習中の諮問に対する回答	60%
症例検討会での内容や姿勢	40%

その他

学生相談：随時
※テキストは特に指定せず、講義当日に資料を配布する。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1～4	オリエンテーション「口腔インプラント補綴学とは？」：歯科医療におけるインプラント治療の位置づけについて学習する。 【事前学習課題】インプラント補綴学	講義	正木　千尋 近藤　祐介 向坊　太郎 宗政　翔 野代　知孝	配布資料による復習	その他 Microsoft Teams

2025年度　　科目コード： 212061

口腔インプラント補綴学Ⅰ

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～3 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講・実	時間数	120	単位数	4
科目責任者	正木　千尋						
担当教員	正木　千尋,近藤　祐介,向坊　太郎,宗政　翔,野代　知孝						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
5～12	インプラントの歴史、臨床エビデンス、おもなシステムについて：インプラント治療の歴史を踏まえ、根底にあるコンセプトについて学習する。 【事前学習課題】インプラント補綴学	講義	正木　千尋 近藤　祐介 向坊　太郎 宗政　翔 野代　知孝	配布資料による復習	その他 Microsoft Teams
13～20	インプラント治療に関係する解剖学インプラントの病理学：インプラント治療に必要な解剖学および病理学について学習する。 【事前学習課題】インプラント補綴学	講義	正木　千尋 近藤　祐介 向坊　太郎 宗政　翔 野代　知孝	配布資料による復習	その他 Microsoft Teams
21～28	術前診断と治療計画「症例演習／Simplantによる実習」：インプラントシミュレーションソフトウェアを用いて症例をピックアップしシミュレーションを体験する。 【事前学習課題】インプラント補綴学	講義・実習	正木　千尋 近藤　祐介 向坊　太郎 宗政　翔 野代　知孝	配布資料による復習	その他 Microsoft Teams
29～36	診断用ワックアップ、ステント作製：埋入予定症例をもとに診断用ワックスアップからＣＴ撮影用ステントを製作する。 【事前学習課題】インプラント補綴学	講義・実習	正木　千尋 近藤　祐介 向坊　太郎 宗政　翔 野代　知孝	配布資料による復習	その他 Microsoft Teams
37～44	インプラント埋入術式について：埋入手術のビデオ学習を通じてインプラント埋入手術の全体像を把握する。 【事前学習課題】インプラント補綴学	講義・実習	正木　千尋 近藤　祐介 向坊　太郎 宗政　翔 野代　知孝	配布資料による復習	その他 Microsoft Teams
45～52	印象術式・補綴術式について：様々なインプラントシステムの補綴術式について、症例写真を通して学習する。 【事前学習課題】インプラント補綴学	講義・実習	正木　千尋 近藤　祐介 向坊　太郎 宗政　翔 野代　知孝	配布資料による復習	その他 Microsoft Teams
53～60	CAD/CAMによる補綴、咬合調整と術後管理：ジルコニア・アルミナ・チタンやコバルトなどCAD/CAM技工を症例ベースで学習する。 【事前学習課題】インプラント補綴学	講義・実習	正木　千尋 近藤　祐介 向坊　太郎 宗政　翔 野代　知孝	配布資料による復習	その他 Microsoft Teams

2025年度　　科目コード： 212062

口腔インプラント補綴学Ⅱ

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・実	**時間数**	120	**単位数**	4
科目責任者	正木　千尋						
担当教員	正木　千尋,近藤　祐介,向坊　太郎,宗政　翔,野代　知孝						

授業の概要

治療計画の立案に必要な解剖、画像診断、シミュレーション法等の知識を習得後、口腔インプラント患者の治療を行い、治療の実際を体得する。また、骨移植やGBR、サイナスリフト、即時負荷、抜歯即時埋入等の応用事項を学習する。その他、症例検討会および各種セミナーを通して口腔インプラント学に関わる広い学識と高度な専門技能を修得する。

学生の到達目標

1．口腔インプラント治療について他の欠損補綴法と比較し、説明できる。 2．X線CTシミュレーション法の基礎的な理論を理解し、治療計画を立案できる。 3．必要な診査や検査を行い、インプラント埋入手術を安全・確実に行うことができる。 4．骨造成術、即時負荷、抜歯即時埋入等の必要性を判断でき、実践できる。 5．口腔インプラント治療における暫間補綴物の意義と目的を理解し、実践できる。 6．適切なインプラント義歯を製作できる。7．口腔インプラント治療におけるメインテナンスの重要性を理解し、実践できる。

参考書

タイトル	著者	出版社
補綴臨床別冊　インプラントのポジショニング		医歯薬出版
日本人のための最新All-on-4マニュアル		医歯薬出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
演習中の諮問に対する回答	60%
症例検討会での内容や姿勢	40%

その他

学生相談：随時
※テキストは特に指定せず、講義当日に資料を配布する。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1～4	インフォームドコンセントについて：インプラント補綴治療に必要なインフォームドコンセントについて学習する。 【事前学習課題】インプラント補綴学	講義・実習	正木　千尋 近藤　祐介 向坊　太郎 宗政　翔 野代　知孝	配布資料による復習	その他 Microsoft Teams

2025年度　　科目コード： 212062

口腔インプラント補綴学Ⅱ

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・実	**時間数**	120	**単位数**	4
科目責任者	正木　千尋						
担当教員	正木　千尋,近藤　祐介,向坊　太郎,宗政　翔,野代　知孝						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
5～11	診断用Wax-upおよび診断用ステントの製作：補綴難症例の診断用模型製作および診断用ワックスアップ・ステント製作について学習する。 【事前学習課題】インプラント補綴学	講義・実習	正木　千尋 近藤　祐介 向坊　太郎 宗政　翔 野代　知孝	配布資料による復習	その他 Microsoft Teams
12～18	X線CTシミュレーション法を用いた治療計画の立案：補綴難症例のインプラント治療のシミュレーションについて学習する。 【事前学習課題】インプラント補綴学	講義・実習	正木　千尋 近藤　祐介 向坊　太郎 宗政　翔 野代　知孝	配布資料による復習	その他 Microsoft Teams
19～25	指導医とともにインプラント埋入手術の実際を体験：インプラント埋入手術の体験を通じて外科術式を学習する。 【事前学習課題】インプラント補綴学	講義・実習	正木　千尋 近藤　祐介 向坊　太郎 宗政　翔 野代　知孝	配布資料による復習	その他 Microsoft Teams
26～32	骨造成術、即時負荷、抜歯即時埋入について：インプラント外科術式における付加術式について学習する。 【事前学習課題】インプラント補綴学	講義・実習	正木　千尋 近藤　祐介 向坊　太郎 宗政　翔 野代　知孝	配布資料による復習	その他 Microsoft Teams
33～39	体験したインプラント症例の結果を調査、症例報告：症例プレゼンテーションを行い、複数評価者によるフィードバックを受ける。 【事前学習課題】インプラント補綴学	講義・実習	正木　千尋 近藤　祐介 向坊　太郎 宗政　翔 野代　知孝	配布資料による復習	その他 Microsoft Teams
40～46	適切な咬合を付与した暫間補綴物の製作：暫間補綴のタイミングおよびその製作法について学習する。 【事前学習課題】インプラント補綴学	講義・実習	正木　千尋 近藤　祐介 向坊　太郎 宗政　翔 野代　知孝	配布資料による復習	その他 Microsoft Teams
47～53	印象採得およびインプラント義歯の製作：インプラント支持義歯の製作法について学習する。 【事前学習課題】インプラント補綴学	講義・実習	正木　千尋 近藤　祐介 向坊　太郎 宗政　翔 野代　知孝	配布資料による復習	その他 Microsoft Teams

2025年度　　科目コード： 212062

口腔インプラント補綴学Ⅱ

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・実	**時間数**	120	**単位数**	4
科目責任者	正木　千尋						
担当教員	正木　千尋,近藤　祐介,向坊　太郎,宗政　翔,野代　知孝						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
54～60	インプラント治療における術後管理：インプラント補綴治療における術後管理について症例を交えて学習する。 【事前学習課題】インプラント補綴学	講義・実習	正木　千尋 近藤　祐介 向坊　太郎 宗政　翔 野代　知孝	配布資料による復習	その他 Microsoft Teams

2025年度　　科目コード： 212063

口腔再建リハビリテーション学1

開講学科	歯学専攻			開講年次	1〜2 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	正木　千尋						
担当教員	正木　千尋,近藤　祐介,向坊　太郎,宗政　翔,野代　知孝						

授業の概要

顎骨骨質や骨代謝、全身疾患、口腔内環境（特に唾液腺の機能）などインプラント治療のリスクとなる因子について、基礎研究および臨床研究を行い、科学的視点で歯科臨床を捉える姿勢を体得することを目標とする。

学生の到達目標

1．インプラント治療とそのリスクファクターに関する基礎的概念を習得し、実践できる。 2．文献的考察について理解し実践できる。 3．骨質および骨代謝について説明できる。 4．唾液腺における水輸送について説明できる。

参考書

タイトル	著者	出版社
各講義・演習ごとにできるだけ最新の情報を事前に提供する予定.		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
課題の到達度	70%
手技に関する到達度	30%
	0%

その他

学生相談：随時
※テキストは特に指定せず、講義当日に資料を配布する。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	オリエンテーション(臨床講座における基礎研究とは？) 【事前学習課題】基礎研究	講義・演習	正木　千尋 近藤　祐介 向坊　太郎 宗政　翔 野代　知孝	配布資料による復習	その他 Microsoft Teams
2	文献的考察1（科学論文の読み方、科学的プレゼンテーションについて） 【事前学習課題】英語論文	講義・演習	正木　千尋 近藤　祐介 向坊　太郎 宗政　翔 野代　知孝	配布資料による復習	その他 Microsoft Teams

2025年度　　科目コード： 212063

口腔再建リハビリテーション学1

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～2 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	正木　千尋						
担当教員	正木　千尋,近藤　祐介,向坊　太郎,宗政　翔,野代　知孝						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
3	文献的考察2（文献検索の方法、科学雑誌について、研究の質）【事前学習課題】英語論文	講義・演習	正木　千尋 近藤　祐介 向坊　太郎 宗政　翔 野代　知孝	配布資料による復習	その他 Microsoft Teams
4	実験室の使用方法1（実験器具の基本的使用方法）　【事前学習課題】実験器具	演習	正木　千尋 近藤　祐介 向坊　太郎 宗政　翔 野代　知孝	配布資料による復習	その他 Microsoft Teams
5	実験室の使用方法2（試薬の調整および取り扱い）　【事前学習課題】試薬	演習	正木　千尋 近藤　祐介 向坊　太郎 宗政　翔 野代　知孝	配布資料による復習	その他 Microsoft Teams
6	インプラント治療の概念とインプラント周囲炎　【事前学習課題】インプラント	講義・演習	正木　千尋 近藤　祐介 向坊　太郎 宗政　翔 野代　知孝	配布資料による復習	その他 Microsoft Teams
7	モデル動物の作成　【事前学習課題】糖尿病モデル、口腔乾燥症モデル、閉経モデル、慢性腎臓病モデル	講義・演習	正木　千尋 近藤　祐介 向坊　太郎 宗政　翔 野代　知孝	配布資料による復習	その他 Microsoft Teams
8	骨質の概念　【事前学習課題】骨質	講義・演習	正木　千尋 近藤　祐介 向坊　太郎 宗政　翔 野代　知孝	配布資料による復習	その他 Microsoft Teams
9	骨代謝について　【事前学習課題】骨代謝	講義・演習	正木　千尋 近藤　祐介 向坊　太郎 宗政　翔 野代　知孝	配布資料による復習	その他 Microsoft Teams
10	唾液腺機能　【事前学習課題】唾液腺における水輸送	演習	正木　千尋 近藤　祐介 向坊　太郎 宗政　翔 野代　知孝	配布資料による復習	その他 Microsoft Teams

2025年度　　科目コード： 212064

口腔再建リハビリテーション学2

開講学科	歯学専攻			開講年次	2～4 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	正木　千尋						
担当教員	正木　千尋,近藤　祐介,向坊　太郎,宗政　翔,野代　知孝						

授業の概要

顎骨骨質や骨代謝、全身疾患、口腔内環境（特に唾液腺の機能）などインプラント治療のリスクとなる因子について、基礎研究および臨床研究を行い、科学的視点で歯科臨床を捉える姿勢を体得することを目標とする。

学生の到達目標

1．インプラント治療とそのリスクファクターに関する基礎的概念を習得し、実践できる。 2．文献的考察について理解し実践できる。 3．骨質および骨代謝について説明できる。 4．唾液腺における水輸送について説明できる。

参考書

タイトル	著者	出版社
各講義・演習ごとにできるだけ最新の情報を事前に提供する予定.		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
課題の到達度	70%
手技に関する到達度	30%
	0%

その他

学生相談：随時
※テキストは特に指定せず、講義当日に資料を配布する。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	オリエンテーション(臨床講座における基礎研究とは？) 【事前学習課題】基礎研究	講義・演習	正木　千尋 近藤　祐介 向坊　太郎 宗政　翔 野代　知孝	配布資料による復習	その他 Microsoft Teams
2	文献的考察1（科学論文の読み方、科学的プレゼンテーションについて） 【事前学習課題】英語論文	講義・演習	正木　千尋 近藤　祐介 向坊　太郎 宗政　翔 野代　知孝	配布資料による復習	その他 Microsoft Teams

2025年度　　科目コード： 212064

口腔再建リハビリテーション学2

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	2～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	正木　千尋						
担当教員	正木　千尋,近藤　祐介,向坊　太郎,宗政　翔,野代　知孝						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
3	文献的考察2（文献検索の方法、科学雑誌について、研究の質）【事前学習課題】英語論文	講義・演習	正木　千尋 近藤　祐介 向坊　太郎 宗政　翔 野代　知孝	配布資料による復習	その他 Microsoft Teams
4	実験室の使用方法1（実験器具の基本的使用方法）　【事前学習課題】実験器具	演習	正木　千尋 近藤　祐介 向坊　太郎 宗政　翔 野代　知孝	配布資料による復習	その他 Microsoft Teams
5	実験室の使用方法2（試薬の調整および取り扱い）　【事前学習課題】試薬	演習	正木　千尋 近藤　祐介 向坊　太郎 宗政　翔 野代　知孝	配布資料による復習	その他 Microsoft Teams
6	インプラント治療の概念とインプラント周囲炎　【事前学習課題】インプラント	講義・演習	正木　千尋 近藤　祐介 向坊　太郎 宗政　翔 野代　知孝	配布資料による復習	その他 Microsoft Teams
7	モデル動物の作成　【事前学習課題】糖尿病モデル、口腔乾燥症モデル、閉経モデル、慢性腎臓病モデル	講義・演習	正木　千尋 近藤　祐介 向坊　太郎 宗政　翔 野代　知孝	配布資料による復習	その他 Microsoft Teams
8	骨質の概念　【事前学習課題】骨質	講義・演習	正木　千尋 近藤　祐介 向坊　太郎 宗政　翔 野代　知孝	配布資料による復習	その他 Microsoft Teams
9	骨代謝について　【事前学習課題】骨代謝	講義・演習	正木　千尋 近藤　祐介 向坊　太郎 宗政　翔 野代　知孝	配布資料による復習	その他 Microsoft Teams
10	唾液腺機能　【事前学習課題】唾液腺における水輸送	演習	正木　千尋 近藤　祐介 向坊　太郎 宗政　翔 野代　知孝	配布資料による復習	その他 Microsoft Teams

2025年度　　科目コード： 212065

口腔再建リハビリテーション学3

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	2～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	正木　千尋						
担当教員	正木　千尋,近藤　祐介,向坊　太郎,宗政　翔,野代　知孝						

授業の概要

当分野で進行中の研究テーマの中からひとつを選択し、文献的考察による研究背景の把握、研究計画の立案を行い、予備実験、考察、本実験、結果の批判的吟味などを行い論文作成の土台を得る。 当分野での研究の例 （１）インプラント即時負荷のリスクファクターに関する臨床研究 （２）インプラントのリスクとなる全身疾患に関する基礎的研究 （３）インプラント周囲炎の診断と治療方法の開発に関する基礎的研究 （４）顎骨骨質に関する研究 （５）唾液腺機能と口腔乾燥症治療法に関する研究

学生の到達目標

テーマの学術的背景の学習から実際に研究を行い，それらを吟味することでEvidence Based Dentistryを体現し、実践できる。

参考書

タイトル	著者	出版社
各講義・演習ごとに出来るだけ最新の情報を提供する予定。 事前に動物実験講習を受講しておくことが望ましい。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
課題の到達度	70%
手技に関する到達度	30%

その他

学生相談：随時
※テキストは特に指定せず、講義当日に資料を配布する。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	オリエンテーション（研究テーマに関するディスカッション）	講義・演習	正木　千尋 近藤　祐介 向坊　太郎 宗政　翔 野代　知孝	配布資料による復習	その他 Microsoft Teams
2～15	各テーマに担当教員を充当、研究にあたる。 【事前学習課題】実験内容のまとめ	講義・演習	正木　千尋 近藤　祐介 向坊　太郎 宗政　翔 野代　知孝	配布資料による復習	その他 Microsoft Teams

2025年度　　科目コード： 212066

最新口腔再建リハビリテーション学

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	演習	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	正木　千尋						
担当教員	正木　千尋,近藤　祐介,向坊　太郎,宗政　翔,野代　知孝						

授業の概要

口腔再建リハビリテーション学分野でのセミナー形式の講義。Clinical Oral Implants Research、International Journal of Oral and Maxillofacial Implant、Journal of Prosthodontic Research、International Journal of Prosthodontics、Journal of Dental Research、Dental Materialsなどの最新論文を紹介する。

学生の到達目標

論文の要旨の把握と科学的背景の読み方を理解し、短時間に紹介するためのレジュメの作成、プレゼンテーションソフトを用いた説明用スライドの作成方法などを学び知識を高める。

参考書

タイトル	著者	出版社
各講義・演習ごとに出来るだけ最新の情報を事前に提供する予定。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
当人のセミナー時のプレゼンテーション内容	60%
各セミナーの出欠およびセミナー時の質問や理解度	40%

その他

学生相談：随時
※テキストは特に指定せず、講義当日に資料を配布する。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	オリエンテーション	演習	正木　千尋 近藤　祐介 向坊　太郎 宗政　翔 野代　知孝	配布資料による復習	その他 Microsoft Teams
2～15	担当の各自が選んだ論文紹介レジュメを作成しプレゼンテーションする。　【事前学習課題】英語論文	演習	正木　千尋 近藤　祐介 向坊　太郎 宗政　翔 野代　知孝	配布資料による復習	その他 Microsoft Teams

2025年度　　科目コード： 212066

最新口腔再建リハビリテーション学

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	演習	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	正木　千尋						
担当教員	正木　千尋,近藤　祐介,向坊　太郎,宗政　翔,野代　知孝						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
			正木　千尋 近藤　祐介 向坊　太郎 宗政　翔 野代　知孝		その他 Microsoft Teams

2025年度　　科目コード： 212071

地域口腔保健医療学Ⅰベーシックコース

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～3 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	実習	時間数	120	単位数	4
科目責任者	安細　敏弘						
担当教員	安細　敏弘,角田　聡子,片岡　正太,白木　光						

授業の概要

ヘルスオリエンティッドコンセプトならびにミニマムインターベンションの概念に基づいた知識を学習し、臨床の場で実践する技能を修得する。ベーシックコースでは2大疾患である齲蝕と歯周病がバイオフィルム感染症であることを理解し、その対応法について修得するとともに実践行動医学を踏まえた保健指導のノウハウを修得する。

学生の到達目標

1.　スタンダードプリコーションが実践できる。2.　コミュニケーションスキルができる。3.　頻度の高い唾液・細菌検査を実施し、リスク評価ができる。4.　健康心理学に基づいた歯科保健指導ができる。5.　再石灰化療法の理論と実践ができる。6.　ライフステージに応じた地域歯科保健活動ができる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
D-3-2-3	歯周疾患の病因と病態を理解している。
D-3-2-4	口腔細菌、プラーク(口腔バイオフィルム)及び歯石を理解している。
D-5-1-1	主な歯科疾患(齲蝕、歯周疾患、不正咬合)の予防を理解している。
D-5-1-2	齲蝕予防における予防塡塞及びフッ化物の応用方法を理解している。
D-5-1-4	ライフステージに応じた歯科疾患の予防を理解している。
D-5-2-3-2	歯周疾患の検査法、診断及び治療方針(メインテナンスを含む)を理解している。
E-2-1-1-2	医療面接における基本的なコミュニケーションができる。（Ⅱ）
PS-09	患者安全と感染対策を理解している。
SO-04	社会や地域における歯科医療の現状を理解し、口腔の健康を通じて全身の健康の増進の活動に積極的に参加できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
配付資料		

参考書

タイトル	著者	出版社
新臨床研修歯科医ハンドブック		医歯薬出版、東京、2020
デンタルカリエスーその病態と臨床マネージメント	Fejerskovほか著、高橋信博　監訳	医歯薬出版
健康行動学	木原雅子ほか	メディカルサイエンスインターナショナル

2025年度　　科目コード： 212071

地域口腔保健医療学Ⅰベーシックコース

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～3 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	実習	**時間数**	120	**単位数**	4
科目責任者	安細　敏弘						
担当教員	安細　敏弘,角田　聡子,片岡　正太,白木　光						

タイトル	著者	出版社
グローバルヘルス	木原正博ほか	メディカルサイエンスインターナショナル

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	50%
プレゼンテーション	30%
発言内容・質疑応答の内容	20%

その他

学生相談：随時、メール等で受けつける。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
					Microsoft Teams
1～2	スタンダードプリコーションの基本スタンダードプリコーションの基本を学習する。	実習	安細　敏弘	事前配布された資料により学習する。	Microsoft Teams
3～4	消毒剤の種類と使用法、スポルディングの分類について各種消毒剤の適切な使い方と適用を学習する。	実習	安細　敏弘	事前配布された資料により学習する。	Microsoft Teams
5～6	おさえておくべき感染対策医療現場における多剤耐性菌対策のCDCガイドラインならびに抗菌薬適性使用プログラムを中心に学習する。	実習	安細　敏弘	事後レポートの提出	Microsoft Teams
7～10	医療面接の方法医療面接の基本を学習する。	実習	角田　聡子	事後レポートの提出	Microsoft Teams
11～15	WHOの口腔診査法の基本とキャリブレーションのしかた国際標準の診査基準の基本とデータ標準化のしかたを学習する。	実習	白木　光	事前配布された資料により学習する。	Microsoft Teams

2025年度　　科目コード： 212071

地域口腔保健医療学Ⅰベーシックコース

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～3 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	実習	**時間数**	120	**単位数**	4
科目責任者	安細　敏弘						
担当教員	安細　敏弘,角田　聡子,片岡　正太,白木　光						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
16～20	齲蝕・歯周病の診断と診断機器の変遷と現在齲蝕・歯周病等の診断法のこれまで歴史的な経緯を踏まえ診断機器の現状と課題について学習する。	実習	角田　聡子	事前配布された資料により学習する。	Microsoft Teams
21～24	唾液等の検体を用いた非侵襲的な診断技術の現状と課題国内外で進んでいる非侵襲的な診断技術についてこれまでの歴史的な経緯を踏まえ現状と課題についてを学習する。	実習	角田　聡子	事前配布された資料により学習する。	Microsoft Teams
25～29	行動理論に基づく禁煙指導健康心理学に基づく禁煙プログラムの基本を学習する。	実習	安細　敏弘	事前配布された資料により学習する。	Microsoft Teams
30～34	臨床疫学で用いる評価法の現状と課題臨床や疫学調査の現場でしばしば使われる各種評価法についてその歴史的経緯を踏まえ現状と課題について学習する。	実習	角田　聡子	事前配布された資料により学習する。	Microsoft Teams
35～38	フロリデーションの基本全身的応用法であるフロリデーションの現状と課題について学習する。	実習	片岡　正太	事前配布された資料により学習する。	Microsoft Teams
39～41	局所的フッ化物応用の種類と手技局所的フッ化物応用の基本を学習する。	実習	片岡　正太	事後レポートの提出	Microsoft Teams
42～45	口腔バイオフィルムの理論と除去手法バイオフィルムに対する臨床的アプローチを学習する。	実習	角田　聡子	事前配布された資料により学習する。	Microsoft Teams
46～50	再石灰化療法の理論と実践再石灰化の理論と臨床現場での実践方法を学習する。	実習	安細　敏弘	事前配布された資料により学習する。	Microsoft Teams
51～55	ライフステージに応じた健康支援・社会支援（I）学校や職場における現場の活動を体験する。	実習	角田　聡子	事後レポートの提出	Microsoft Teams

2025年度　　科目コード： 212071

地域口腔保健医療学Ⅰベーシックコース

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～3 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	実習	**時間数**	120	**単位数**	4
科目責任者	安細　敏弘						
担当教員	安細　敏弘,角田　聡子,片岡　正太,白木　光						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
56～60	ライフステージに応じた健康支援・社会支援（II）高齢者・要介護者がいる現場の活動を体験する。	実習	安細　敏弘	事後レポートの提出	Microsoft Teams

2025年度　　科目コード： 212072

地域口腔保健医療学 II アドバンスコース

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～3 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	実習	**時間数**	120	**単位数**	4
科目責任者	安細　敏弘						
担当教員	安細　敏弘,角田　聡子,片岡　正太,白木　光						

授業の概要

医療、介護、保健の現場における地域住民の健康づくりを支援するためのしくみや役割を理解し、行動医学や保健指導についての実践的な知識とノウハウを修得する。

学生の到達目標

1.　地域医療・介護・保健のしくみと役割が説明できる。2.　地域包括ケアのしくみと役割が説明できる。3.　行動心理学に基づいた保健指導や臨床的対応ができる。4.　ライフステージに応じた保健指導プログラムの作成と実践ができる。5.　災害時の歯科保健医療支援の留意点や対応法が説明できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
C-1-3-3	医療、保健、福祉、介護における多職種連携と歯科医師の役割を理解している。
C-1-3-4	医療や介護をはじめとする他職種、他業種や他の医療機関との連携を行うための手続きとコミュニケーション(適切な略語などを含む)を理解している。
C-4-3-1	地域、職場及び各ライフステージの保健医療施策の背景と概要を理解している。
C-4-3-6	地域包括ケアシステムをはじめとする、地域における医療・保健・福祉・介護の連携を理解している。
C-4-3-8	災害時の歯科医療の必要性を理解している。
C-5-3	プライマリヘルスケアとヘルスプロモーションを理解している。
S0-03	医療、保健、福祉、介護とそれを取り巻く社会環境を理解している。
S0-05	地域医療において、各種制度に基づく歯科医師の果たす役割を自覚し、行動できる。
S0-06	災害時における歯科医師の役割を理解している。

参考書

タイトル	著者	出版社
地域医療テキスト	自治医科大学　監修	医学書院、東京、2009.
災害歯科医学	槻木恵一ほか編	医歯薬出版、東京、2018
地域医療学入門 第2版	全国地域医療教育協議会	診断と治療社

2025年度　　科目コード： 212072

地域口腔保健医療学Ⅱアドバンスコース

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～3 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	実習	**時間数**	120	**単位数**	4
科目責任者	安細　敏弘						
担当教員	安細　敏弘,角田　聡子,片岡　正太,白木　光						

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	50%
プレゼンテーション	30%
発言・質疑応答の内容	20%

その他

学生相談：随時、メール等で受けつける。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
					Microsoft Teams
1～4	地域口腔保健医療総論Ⅰ 地域医療・介護・保健の現状と役割について学習する。	実習	安細　敏弘	事前配布された資料により学習する。	Microsoft Teams
5～8	地域口腔保健医療総論Ⅱ 地域医療・介護・保健の基本となるプライマリ・ケアついて学習する	実習	安細　敏弘	事前配布された資料により学習する。事後レポートの提出	Microsoft Teams
9～12	地域口腔保健医療システム論Ⅰ地域医療を支える人的要素、医療機関、自治体のしくみと役割について学習する。	実習	安細　敏弘	事前配布された資料により学習する。	Microsoft Teams
13～16	地域口腔保健医療システム論Ⅱ 介護と保健・福祉のしくみと役割について学習する。	実習	安細　敏弘	事前配布された資料により学習する。	Microsoft Teams
17～20	地域口腔保健医療システム論Ⅲ地域包括ケアのしくみと役割について学習する。	実習	角田　聡子	事前配布された資料により学習する。	Microsoft Teams
21～24	地域口腔保健医療システム論Ⅳ ヘルスプロモーションの理念に基づく保健活動と健康支援について学習する。	実習	角田　聡子	事前配布された資料により学習する。事後レポートの提出	Microsoft Teams
25～28	実践保健指導総論Ⅰ ヘルス・コミュニケーションの理論と実際について学習する。	実習	白木　光	事前配布された資料により学習する。	Microsoft Teams

2025年度　　科目コード： 212072

地域口腔保健医療学Ⅱアドバンスコース

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～3 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	実習	時間数	120	単位数	4
科目責任者	安細　敏弘						
担当教員	安細　敏弘,角田　聡子,片岡　正太,白木　光						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
29～32	実践保健指導総論Ⅱ 健康心理学および行動理論の基礎について学習する。	実習	安細　敏弘	事前配布された資料により学習する。	Microsoft Teams
33～36	実践保健指導各論Ⅰ 食育・食行動と健康支援について学習する。	実習	角田　聡子	事前配布された資料により学習する。	Microsoft Teams
37～41	実践保健指導各論Ⅱ 禁煙指導プログラムと健康支援について学習する。	実習	白木　光	事前配布された資料により学習する。事後レポートの提出	Microsoft Teams
42～45	ライスステージに応じた健康支援・保健指導Ⅰ 母子・妊産婦・子育て期から学童・思春期における健康支援・保健指導の知識とノウハウを学習する。	実習	角田　聡子	事前配布された資料により学習する。	Microsoft Teams
46～48	ライスステージに応じた健康支援・保健指導Ⅱ 成人期・職場および高齢期における健康支援・保健指導の知識とノウハウを学習する。	実習	角田　聡子	事前配布された資料により学習する。	Microsoft Teams
49～54	地域包括システムにおける多職種連携の現場を経験し、知識とノウハウを学習する。	実習	安細　敏弘	事後レポートの提出	Microsoft Teams
55～58	チーム医療の現場における周術期管理に関する知識とノウハウを学習する。	実習	片岡　正太	事後レポートの提出	Microsoft Teams
59～60	災害時の歯科保健医療歯科としての災害時健康危機支援対策の実際を学習する。	実習	安細　敏弘	事前配布された資料により学習する。事後レポートの提出	Microsoft Teams

2025年度　　科目コード： 212073

地域口腔保健医療学演習Ⅰ

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～2 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	安細　敏弘						
担当教員	安細　敏弘,角田　聡子,片岡　正太,白木　光						

授業の概要

講義では、口腔健康学関連の研究に必要な疫学理論、生物学的統計の基本的知識と技能を修得し、臨床疫学、環境疫学など様々なテーマを付け加えた疫学の応用研究に対応できる能力を養う。演習では、事例に基づいたデータを用い、統計ソフトの取り扱いとともに記述疫学的方法論、分析疫学的方法論、因果関係の判定法およびベイズ統計モデリングの基礎について修得する。

学生の到達目標

①疫学における統計学の役割を説明できる。②保健医療事象の実態を明らかにするための記述疫学的手法を説明できる。③保健医療事象にかかわる要因を明らかにする分析疫学的手法を説明できる。④疫学における交絡および因果関係を説明できる。⑤統計ソフトSPSSやRを使用し、データの解析を実践できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
C-6-2-1	確率変数とその分布、統計的推測(推定と検定)の原理と方法を理解している。
C-6-2-4	調査方法と統計的分析法を理解している。
PS-04	疫学と予防を理解している。

テキスト

タイトル	著者	出版社
配付資料		

参考書

タイトル	著者	出版社
医学的研究のデザイン 研究の質を高める疫学的アプローチ 第4版		メディカルサイエンスインターナショナル;第4版(2014/9/1)

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	40%
プレゼンテーション	40%
質疑応答	20%

その他

学生相談：随時、メール等で受けつける。

2025年度　　科目コード： 212073

地域口腔保健医療学演習Ⅰ

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～2 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	安細　敏弘						
担当教員	安細　敏弘,角田　聡子,片岡　正太,白木　光						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
					Microsoft Teams
1	疫学理論１　変数の種類と確率分布変数の種類と要約、信頼区間ならびに確率変数・確率分布について学習する。	講義	安細　敏弘	事前配布された資料により学習する。	Microsoft Teams
2	疫学理論２　群間比較と有意水準群間比較の手法、有意水準ならびに第1種・第2種の過誤について習得する。	講義	角田　聡子	事前配布された資料により学習する。	Microsoft Teams
3	疫学理論３　多重比較多重比較の種類ならびに用いる場合の問題点について学習する。	講義	角田　聡子	事前配布された資料により学習する。	Microsoft Teams
4	疫学理論４　バイアスと交絡、外的妥当性および内的妥当性、いわゆるCBCについて学習する。	講義	安細　敏弘	事前配布された資料により学習する。	Microsoft Teams
5	疫学理論５　EBMと臨床研究、研究デザインEBMの5つのステップならびにクリニカルクエスチョン、臨床研究の種類、臨床研究のための国際ルールについて学習する。	講義	安細　敏弘	事前配布された資料により学習する。	Microsoft Teams
6	口腔保健医療行政の保健医療事業評価口腔保健医療事業評価について、効果・効用・便益を踏まえながら評価の考え方を学習する。	講義	安細　敏弘	事前配布された資料により学習する。	Microsoft Teams
7	口腔保健医療データ解析１－要約統計量具体的データを用いて、SPSSの操作を踏まえながら要約統計量について学習する。	演習	角田　聡子	事前配布された資料により学習する。事後レポートを提出する。	Microsoft Teams
8	口腔保健医療データ解析２　単変量解析と多変量解析具体的データを用いて、SPSSの操作を踏まえながら単変量解析と多変量解析、変数選択法の種類について学習する。	演習	角田　聡子	事前配布された資料により学習する。事後レポートを提出する。	Microsoft Teams

2025年度　　科目コード： 212073

地域口腔保健医療学演習Ⅰ

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～2 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	安細　敏弘						
担当教員	安細　敏弘,角田　聡子,片岡　正太,白木　光						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
9	口腔保健医療データ解析３　相関と回帰具体的データを用いて、SPSSの操作を踏まえながら相関と回帰について学習する。	演習	角田　聡子	事前配布された資料により学習する。事後レポートを提出する。	Microsoft Teams
10	口腔保健医療データ解析４　交絡制御具体的データを用いて、STATAの操作を踏まえながら交絡因子の統計学的調整と交互作用について学習する。	演習	白木　光	事前配布された資料により学習する。事後レポートを提出する。	Microsoft Teams
11	口腔保健医療データ解析５　多重Cox 比例ハザードモデル具体的データを用いて、STATAの操作を踏まえながら多重Cox 比例ハザードモデルについて学習する。	演習	白木　光	事前配布された資料により学習する。事後レポートを提出する。	Microsoft Teams
12	ベイズ統計学の基本Ⅰ：ベイズ統計学の考え方と特徴について頻度統計学との比較を含めて学習する。	演習	片岡　正太	事前配布された資料により学習する。事後レポートを提出する。	Microsoft Teams
13	ベイズ統計学の基本Ⅱ：ベイズ推論とMCMCの基本について学習する。	演習	片岡　正太	事前配布された資料により学習する。事後レポートを提出する。	Microsoft Teams
14	ベイズ統計学の基本Ⅲ：ベイズ統計を用いた研究例の紹介ならびにStanの使い方の基本について学習する。	演習	片岡　正太	事前配布された資料により学習する。	Microsoft Teams
15	研究仮説発表会：口腔保健医療分野で興味のあるテーマについて文献を検索し、研究仮説の設定について学習し、発表する。	演習	安細　敏弘	当日のプレゼンテーションおよび事後レポートを提出する。	Microsoft Teams

2025年度　　科目コード： 212074

地域口腔保健医療学演習 II

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	2〜3 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	安細　敏弘						
担当教員	安細　敏弘,片岡　正太						

授業の概要

科学的な報告は高い水準で行わなければならない。本講義・演習では、口腔健康学関連の研究に必要な疫学・統計学の基本的知識と技能を修得した者を対象とし、統計解析で得られた知見を明確かつ適切に報告する技術を習得することを目的とする。学会発表、論文執筆に役立つ実践的なスキルを修得する。

学生の到達目標

①ヘルスサイエンスにおける効果的なデータ報告の方法を身につけ対応できる。②数値と記述統計量の報告の基本と応用を身につけ対応できる。③図表を用いたデータと統計量の効果的な提示法を身につけ対応できる。④ヘルスサイエンスにおける効果的な発表の方法を身につけ対応できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
C-2-7	各自の興味に応じて科学的研究に積極的に参加できる。
RE	科学的探究(Research)/社会に適応する医学を創造していくために、医学・医療の発展のための歯学研究の重要性を理解し、科学的・批判的思考を身に付けながら学術・研究活動に関与していく。
RE-02	研究の基礎となる科学的理論や方法論を身に付ける。
RE-06	科学的考察に基づいて、研究発表を行うことができる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
プリント配布		

参考書

タイトル	著者	出版社
研究の育て方	近藤克則	医学書院
臨床研究と疫学研究のための国際ルール集PART1・PART2	中山健夫、ほか	ライフサイエンス出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	40%
プレゼンテーション	40%
ディスカッション	20%

その他

学生相談：随時

2025年度　　科目コード： 212074

地域口腔保健医療学演習 II

開講学科	歯学専攻			開講年次	2〜3 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	安細　敏弘						
担当教員	安細　敏弘,片岡　正太						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
					Microsoft Teams
1	論文の構成と論文執筆の基本論文を書くにあたっての基本について学ぶ。	講義	安細　敏弘	事前配布された資料により学習する。	Microsoft Teams
2	図表の作り方、結果の記述ならびに効果的な図表の作成方法の基本について学ぶ。	演習	安細　敏弘	事前配布された資料により学習する。	Microsoft Teams
3	考察と結論の考え方と書き方、考察ならびに結論の書き方のポイントおよび全体の推敲の手順について学ぶ。	講義	安細　敏弘	事前配布された資料により学習する。	Microsoft Teams
4	論文投稿および査読プロセス作成した論文の投稿先の選び方やオーサーシップならびに査読結果の読み方・対応方法の基本について学ぶ。	講義	安細　敏弘	事前配布された資料により学習する。	Microsoft Teams
5	論文掲載に関わる出版および編集におけるルール論文の訂正や不正、重複出版ないし二次出版等に関わる問題と対応について学ぶ。	講義	安細　敏弘	事前配布された資料により学習する。	Microsoft Teams
6，7	学会発表の事前準備と事後への対応学会発表にあたっての資料や原稿作成、予行演習等の事前準備、当日の発表と質疑応答の作法について学ぶ。	講義	安細　敏弘	事前配布された資料により学習する。	Microsoft Teams
8，9	ヘルスサイエンスにおける発表の方法１：効果的なポスター発表の方法を学ぶ。	演習	片岡　正太	事前配布された資料により学習する。事後レポートを提出する。	Microsoft Teams
10，11	ヘルスサイエンスにおける発表の方法２：効果的なスライド発表の方法を学ぶ。	演習	片岡　正太	事前配布された資料により学習する。	Microsoft Teams
12，13	研究助成申請書の書き方研究助成の探し方ならびに申請書作成上のポイント等について学ぶ。	講義	安細　敏弘	事前配布された資料により学習する。	Microsoft Teams

2025年度　　科目コード： 212074

地域口腔保健医療学演習 II

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	2〜3 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	安細　敏弘						
担当教員	安細　敏弘,片岡　正太						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
14	研究倫理に関する指針ヘルシンキ宣言およびわが国における医学研究に関する指針、倫理審査委員会のしくみや倫理審査申請書の書き方について学ぶ。	講義	安細　敏弘	事前配布された資料により学習する。事後レポートを提出する。	Microsoft Teams
15	まとめ： プレゼンテーション・ディスカッションの結果を受講生にフィードバックする。	演習	安細　敏弘	事前配布された資料により学習する。	Microsoft Teams

2025年度　　科目コード： 212075

地域口腔保健医療学特論Ⅰ

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～3 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	演習	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	安細　敏弘						
担当教員	安細　敏弘,角田　聡子,片岡　正太,白木　光						

授業の概要

予防歯科（口腔衛生）学関連、公衆衛生学関連、臨床栄養関連ならびに疫学関連の研究の動向を理解するために最新の文献の科学的読み方、論文の書き方およびプレゼンテーションの技法について演習を通じて修得する。

学生の到達目標

1.　英語文献を理解し、検証する能力を養うことができる。2.　文献検索の方法を修得することができる。3.　科学論文の作成やプレゼンテーションのポイントを修得することができる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
C-2-7	各自の興味に応じて科学的研究に積極的に参加できる。
RE-02	研究の基礎となる科学的理論や方法論を身に付ける。
RE-06	科学的考察に基づいて、研究発表を行うことができる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
配付資料		

参考書

タイトル	著者	出版社
関連分野の文献および参考書等必要なものを用意する。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
説明した論文の理解度	50%
プレゼンテーション	30%
ディスカッション時の発言内容	20%

その他

学生相談：随時、メール等で受けつける。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1～15	研究の背景、内容、今後の展望を理解する。目的にあった文献を検索し、理解し、まとめ、資料を作成し、プレゼンテーションを行う。	文献紹介および討論（Microsoft Teams)	安細　敏弘 角田　聡子 片岡　正太 白木　光	担当者が準備した資料により学習する。	Microsoft Teams

2025年度　　科目コード： 212081

歯科と全身疾患

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～4 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	中道　郁夫						
担当教員	中道　郁夫						

授業の概要

歯科診療の質を向上するために、合併する全身疾患を念頭に置く事は重要なことである。本講義においては、代表的な内科疾患の病態・診断・治療を学ぶ。次に全身の病態と歯科疾患との関連性について討論を行うことにより知識を整理する。また、共通の病態（基礎医学）を学ぶことにより、歯学研究に新たな視点が生まれる。

学生の到達目標

１．代表的全身疾患の病態・診断・治療を理解できる。
２．歯科診療に影響を与える全身の病態が理解できる。
３．全身疾患に影響を与える歯科診療の予想ができる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
毎回テーマに沿った動画資料を用いる。		

参考書

タイトル	著者	出版社
歯科のための内科学		南江堂

成績評価方法・基準

評価項目	割合
討論と発表	100%

その他

【オフィスアワー】メールで随時受け付ける。
【公欠相当の事由による遠隔対応 】 Microsoft Teams で配信可能

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	循環の領域：不整脈、虚血性心疾患（狭心症、心筋梗塞）、心不全、高血圧について学ぶ。 【事前学習課題】心電図	内科図書室にて講義・討論	中道　郁夫	参考書を読む	その他
2	血液の領域：貧血、白血病、止血機構、血栓・塞栓症、血友病（凝固因子）について学ぶ。 【事前学習課題】抗凝固・抗血小板薬	内科図書室にて講義・討論	中道　郁夫	参考書を読む	その他

2025年度　　科目コード： 212081

歯科と全身疾患

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講義	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	中道　郁夫						
担当教員	中道　郁夫						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
3	呼吸の領域：気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患、かぜ症候群、肺炎、肺結核について学ぶ。 【事前学習課題】感冒と肺炎の違い	内科図書室にて講義・討論	中道　郁夫	参考書を読む	その他
4	消化の領域：胃炎、消化性潰瘍、過敏性腸症候群、下痢・便秘、肝炎について学ぶ。 【事前学習課題】薬の副作用	内科図書室にて講義・討論	中道　郁夫	参考書を読む	その他
5	代謝の領域：糖尿病、高脂血症、高尿酸血症（痛風）、骨粗鬆症について学ぶ。 【事前学習課題】生活習慣病	内科図書室にて講義・討論	中道　郁夫	参考書を読む	その他
6	腎・泌尿器の領域：糸球体腎炎、腎不全、血液透析、前立腺肥大症について学ぶ。 【事前学習課題】eGFRとは	内科図書室にて講義・討論	中道　郁夫	参考書を読む	その他
7	運動・神経の領域：てんかん、パーキンソン病、認知症、脳卒中について学ぶ。 【事前学習課題】脳卒中の後遺症	内科図書室にて講義・討論	中道　郁夫	参考書を読む	その他
8	精神の領域：統合失調症、気分障害（抑うつ）、神経症、心身症について学ぶ。 【事前学習課題】精神疾患への対応	内科図書室にて講義・討論	中道　郁夫	参考書を読む	その他
9	免疫の領域：アレルギー、自己免疫疾患、免疫不全（AIDS）について学ぶ。 【事前学習課題】細胞性免疫、液性免疫	内科図書室にて講義・討論	中道　郁夫	参考書を読む	その他
10	悪性新生物：悪性腫瘍の概要、胃癌、大腸癌、肝癌、肺癌、乳癌、子宮癌について学ぶ。 【事前学習課題】癌の最新治療や末期癌への対応	内科図書室にて講義・討論	中道　郁夫	参考書を読む	その他

2025年度　　科目コード： 212091

小児歯科学Ⅰ(ベーシックコース)

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～3 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	実習	時間数	120	単位数	4
科目責任者	森川　和政						
担当教員	森川　和政						

授業の概要

小児期において心身の成長発達を考慮した継続的管理を行い、正常な永久歯列への誘導を行える包括的な知識、技術および技能を習得する。

学生の到達目標

１.小児の対応ができる
２.齲蝕治療ができる
３.予防処置および保健指導ができる
４.外傷歯の処置ができる
５.外科的処置ができる
６.不協力児、障害児の歯科治療ができる
７.咬合育成処置ができる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
小児歯科学　第6版	白川哲夫 他	医歯薬出版 株式会社

成績評価方法・基準

評価項目	割合
試問（評価表は学生に配布）	30%
ケースプレゼンテーション（評価表は学生に配布）	30%
単位認定試験	40%

その他

【オフィスアワー】相談は随時受け付け可能だが、原則、時間予約を電話、メールにて行うこと。担当教員：西田、佐伯、森川
【公欠相当の事由による遠隔対応】事由発生時に担当教員へ相談すること。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
			西田　郁子 佐伯　桂 森川　和政		その他

2025年度　　科目コード： 212091

小児歯科学Ⅰ(ベーシックコース)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～3 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	実習	**時間数**	120	**単位数**	4
科目責任者	森川　和政						
担当教員	森川　和政						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1,2	医療面接Ⅰ 医療面接について主訴の聞き取りを踏まえながら患者や保護者の病気に対する考え方を学ぶ	実習ロールプレイ	西田　郁子 佐伯　桂 森川　和政	【事前学習課題】 医療面接 小児の心身の発育 【事後学習課題】 内容復習	その他
3,4	小児患者への行動変容療法Ⅰ 行動変容について年齢別対応を踏まえながら対応法を学ぶ	実習 ロールプレイ	西田　郁子 佐伯　桂 森川　和政	【事前学習課題】 小児の心身の発育・行動変容療法 【事後学習課題】 内容復習	その他
5,6	エックス線撮影Ⅰ エックス線撮影について口内法、咬翼法、パノラマエックス線写真を踏まえながら画像診断を学ぶ	実習	西田　郁子 佐伯　桂 森川　和政	【事前学習課題】 エックス線撮影法 小児患者の画像診断 【事後学習課題】 内容復習	その他
7,8	印象採得 印象採得についてスタディモデルの作製を踏まえながら小児の口腔の発達を学ぶ	実習	西田　郁子 佐伯　桂 森川　和政	【事前学習課題】 印象採得 小児の口腔の発育 【事後学習課題】 内容復習	その他 臨床実習_病院
9,10	治療計画の立案 治療計画の立案について医療面接、エックス線写真、スタディモデルを用いた治療計画を踏まえながら診断・治療方針を学ぶ	実習	西田　郁子 佐伯　桂 森川　和政	【事前学習課題】 小児患者の診査・診断・治療方針 【事後学習課題】 内容復習	その他
11,12	試問１ ディスカッション ケースプレゼンテーション	試問	西田　郁子 佐伯　桂 森川　和政	【事前学習課題】 これまでの資料の確認 【事後学習課題】 内容復習	その他
13,14	局所麻酔Ⅰ 局所麻酔について模型実習を踏まえながら小児患者への局所麻酔を学ぶ	実習	西田　郁子 佐伯　桂 森川　和政	【事前学習課題】 局所麻酔 【事後学習課題】 内容復習	その他 臨床実習_病院

2025年度　　科目コード： 212091

小児歯科学Ⅰ(ベーシックコース)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～3 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	実習	**時間数**	120	**単位数**	4
科目責任者	森川　和政						
担当教員	森川　和政						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
15,16	ラバーダム防湿法 ラバーダム防湿法について乳歯、半萌出歯、永久歯への対応を踏まえながら手順・要点を学ぶ	実習	西田　郁子 佐伯　桂 森川　和政	【事前学習課題】 ラバーダム防湿法 【事後学習課題】 内容復習	その他 臨床実習_病院
17,18	乳歯の歯冠修復Ⅰ 乳歯の歯冠修復について乳歯の特徴を踏まえながらコンポジットレジン修復、セメント修復を学ぶ	実習	西田　郁子 佐伯　桂 森川　和政	【事前学習課題】 乳歯の特徴 歯冠修復 【事後学習課題】 内容復習	その他 臨床実習_病院
19,20	幼若永久歯の歯冠修復Ⅰ 幼若永久歯の歯冠修復について幼若永久歯の特徴を踏まえながらコンポジットレジン修復、セメント修復を学ぶ	実習	西田　郁子 佐伯　桂 森川　和政	【事前学習課題】 幼若永久歯の特徴 歯冠修復 【事後学習課題】 内容復習	その他 臨床実習_病院
21,22	乳歯へのインレー修復 乳歯のインレー修復について Willetの窩洞を踏まえながら乳歯へのインレー窩洞形成を学ぶ	実習	西田　郁子 佐伯　桂 森川　和政	【事前学習課題】 乳歯へのインレー窩洞形成 【事後学習課題】 内容復習	その他 臨床実習_病院
23,24	既製乳歯冠修復 既製乳歯冠修復について既製乳歯冠・鋳造冠の特徴を踏まえながら修復法を学ぶ	実習	西田　郁子 佐伯　桂 森川　和政	【事前学習課題】 既製乳歯冠 鋳造冠 【事後学習課題】 内容復習	その他 臨床実習_病院
25,26	乳歯、幼若永久歯への覆髄法 乳歯、幼若永久歯への覆髄法について覆髄剤を踏まえながら治療法を学ぶ	実習	西田　郁子 佐伯　桂 森川　和政	【事前学習課題】 覆髄法 【事後学習課題】 内容復習	その他 臨床実習_病院
27,28	乳歯への生活歯髄切断法 乳歯への生活歯髄切断法について水酸化カルシウム法を踏まえながら術式を学ぶ	実習	西田　郁子 佐伯　桂 森川　和政	【事前学習課題】 生活歯髄切断法 【事後学習課題】 内容復習	その他 臨床実習_病院
29,30	小児歯科における歯内療法 抜髄法、感染根管処置、根管充填法抜髄法、感染根管処置、根管充填法について使用器具を踏まえながら術式を学ぶ	実習	西田　郁子 佐伯　桂 森川　和政	【事前学習課題】 抜髄法 感染根管処置 根管充填法 【事後学習課題】 内容復習	その他 臨床実習_病院

2025年度　　科目コード： 212091

小児歯科学Ⅰ(ベーシックコース)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～3 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	実習	**時間数**	120	**単位数**	4
科目責任者	森川　和政						
担当教員	森川　和政						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
31,32	試問2 ディスカッション	試問	西田　郁子 佐伯　桂 森川　和政	【事前学習課題】 これまでの資料の確認 【事後学習課題】 内容復習	その他
33,34	歯周疾患の診断と処置 歯周疾患の診断と処置について症状を踏まえながら治療法を学ぶ	実習	西田　郁子 佐伯　桂 森川　和政	【事前学習課題】 小児期の歯周疾患 診断 処置 【事後学習課題】 内容復習	その他
35,36	外傷歯の診断 外傷歯の診断について外傷歯への固定法等を踏まえながら術式を学ぶ	実習	西田　郁子 佐伯　桂 森川　和政	【事前学習課題】 診断 固定法 予後 【事後学習課題】 内容復習	その他
37,38	抜歯Ⅰ 抜歯について乳歯の交換期・病的乳歯の症状を踏まえながら術式を学ぶ	実習	西田　郁子 佐伯　桂 森川　和政	【事前学習課題】 診断 抜歯法 【事後学習課題】 内容復習	その他 臨床実習_病院
39,40	消炎処置 消炎処置について開窓・膿瘍切開等を踏まえながら術式を学ぶ	実習	西田　郁子 佐伯　桂 森川　和政	【事前学習課題】 診断 開窓 切開 【事後学習課題】 内容復習	その他 臨床実習_病院
41,42	試問3 ディスカッション	試問	西田　郁子 佐伯　桂 森川　和政	【事前学習課題】 これまでの資料の確認 【事後学習課題】 内容復習	その他
43,44	予防処置Ⅰ 予防処置について小窩裂溝填塞法を踏まえながら術式を学ぶ	実習	西田　郁子 佐伯　桂 森川　和政	【事前学習課題】 小窩裂溝填塞法 【事後学習課題】 内容復習	その他 臨床実習_病院
45,46	予防処置Ⅱ 予防処置についてブラッシング指導を踏まえながらフッ化物の応用法を学ぶ	実習	西田　郁子 佐伯　桂 森川　和政	【事前学習課題】 予防処置 保健指導 【事後学習課題】 内容復習	その他 臨床実習_病院

2025年度　　科目コード： 212091

小児歯科学Ⅰ(ベーシックコース)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～3 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	実習	**時間数**	120	**単位数**	4
科目責任者	森川　和政						
担当教員	森川　和政						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
47,48	非協力児への対応法 非協力児への対応法について抑制法、笑気吸入鎮静法を踏まえながら対応法を学ぶ	実習	西田　郁子 佐伯　桂 森川　和政	【事前学習課題】 抑制法 笑気吸入鎮静法 【事後学習課題】 内容復習	その他 臨床実習_病院
49,50	咬合誘導診断および保護者への説明法 咬合誘導診断について保護者への説明を踏まえながら診断・治療計画を学ぶ	実習	西田　郁子 佐伯　桂 森川　和政	【事前学習課題】 診断 治療計画および説明 【事後学習課題】 内容復習	その他
51,52	咬合誘導装置の作製Ⅰ 咬合誘導装置の作製について保隙装置の特徴を踏まえながらクラウンループ、リンガルアーチ、小児義歯の作成法を学ぶ	実習	西田　郁子 佐伯　桂 森川　和政	【事前学習課題】 保隙装置 【事後学習課題】 内容復習	その他 診療室_病院
53,54	咬合誘導装置の作製Ⅱ 咬合誘導装置の作製について口腔習癖を踏まえながら口腔習癖除去装置作成法を学ぶ	実習	西田　郁子 佐伯　桂 森川　和政	【事前学習課題】 スペースリゲイナー 【事後学習課題】 内容復習	その他 診療室_病院
55,56	障害児への歯科治療 障害児への歯科治療について各疾患の特徴を踏まえながら対応法を学ぶ	実習	西田　郁子 佐伯　桂 森川　和政	【事前学習課題】 障害児 【事後学習課題】 内容復習	その他 臨床実習_病院
59,60	ケースプレゼンテーション 単位認定試験	症例発表 試験	西田　郁子 佐伯　桂 森川　和政	【事前学習課題】 これまでの資料の確認 【事後学習課題】 内容復習	その他

2025年度　　科目コード： 212092

小児歯科学Ⅱ(アドバンスコース)

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～3 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	実習	時間数	120	単位数	4
科目責任者	森川　和政						
担当教員	森川　和政						

授業の概要

小児期において心身の成長発育を考慮した継続的管理を行い、正常な永久歯列への誘導を行える包括的な知識、技術および技能を習得する。

学生の到達目標

１.小児の対応ができる
２.齲蝕治療ができる
３.予防処置および保健指導ができる
４.歯牙外傷の処置ができる
５.外科的処置ができる
６.非協力児、障害児の歯科治療ができる
７.咬合育成処置ができる
８.1口腔1単位を基本とした処置を行うことができる
９.発育を考慮した継続的管理を実施できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
小児歯科学	白川哲夫 他	医歯薬出版 株式会社

参考書

タイトル	著者	出版社
小児の口腔科学	朝田芳信 他	学建書院

成績評価方法・基準

評価項目	割合
ケースプレゼンテーション（評価表は学生に配布）	30%
試問（評価表は学生に配布）	30%
単位認定試験	40%

その他

【オフィスアワー】相談は随時受け付け可能だが、原則、時間予約を電話、メールにて行うこと。担当教員：森川、西田
【公欠相当の事由による遠隔対応】事由発生時に担当教員へ相談すること。

2025年度　　科目コード： 212092

小児歯科学Ⅱ(アドバンスコース)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～3 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	実習	**時間数**	120	**単位数**	4
科目責任者	森川　和政						
担当教員	森川　和政						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
			西田　郁子 森川　和政		臨床実習_病院 診療室_病院
1,2	医療面接Ⅱ 患者や保護者の不安、不満への対応を踏まえてチームアプローチ、他の医療機関への紹介を学ぶ。	実習ロールプレイ	西田　郁子 森川　和政	【事前学習課題】 教科書の復習 ・医療面接 ・隣接医学 【事後学習課題】 実習内容	診療室_病院
3,4	小児患者への行動変容療法Ⅱ 小児の性格および親子関係を踏まえながら対応法を学ぶ。	実習ロールプレイ	西田　郁子 森川　和政	【事前学習課題】 教科書の復習 ・小児の心身の発育 ・行動変容療法 【事後学習課題】 実習内容	診療室_病院
5,6	エックス線撮影Ⅱ エックス線規格写真、頭部エックス線写真の撮影および読影分析を踏まえながら画像 診断を学ぶ。	実習	西田　郁子 森川　和政	【事前学習課題】 教科書の復習 ・エックス線撮影法 ・小児患者の画像診断 【事後学習課題】 実習内容	診療室_病院
7,8	口腔内写真撮影法 口腔内写真撮影および継続的管理を踏まえながら資料作製管理を学ぶ。	実習	西田　郁子 森川　和政	【事前学習課題】 教科書の復習 ・口腔内写真 ・小児の口腔の発育 【事後学習課題】 実習内容	診療室_病院
9,10	全身管理 全身疾患を有する小児への薬物適用を踏まえながら全身管理を学ぶ。	実習	西田　郁子 森川　和政	【事前学習課題】 教科書の復習 ・薬物療法 ・全身疾患 【事後学習課題】 実習内容	診療室_病院
11,12	試問 ディスカッション ケースプレゼンテーション	実習	西田　郁子 森川　和政	【事前学習課題】 症例検討 【事後学習課題】 実習内容	その他

2025年度　　科目コード： 212092

小児歯科学Ⅱ(アドバンスコース)

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～3 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	実習	時間数	120	単位数	4
科目責任者	森川　和政						
担当教員	森川　和政						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
13,14	局所麻酔Ⅱ 局所麻酔時の合併症への対応を踏まえながら局所麻酔を行うことを学ぶ。	実習	西田　郁子 森川　和政	【事前学習課題】 教科書の復習 ・局所麻酔 ・合併症 【事後学習課題】 実習内容	診療室_病院
15,16	乳歯の歯冠修復Ⅱ 乳歯の特徴を踏まえながらレジンジャケット冠による歯冠修復を学ぶ。	実習	西田　郁子 森川　和政	【事前学習課題】 教科書の復習 ・乳歯の特徴 ・レジンジャケット冠 【事後学習課題】 実習内容	診療室_病院
17,18	小児期の歯冠修復 小児への最適な処置法の選択および継続的管理を踏まえながら小児期の歯冠修復を学ぶ。	実習	西田　郁子 森川　和政	【事前学習課題】 教科書の復習 ・歯冠修復法 ・継続的管理 【事後学習課題】 実習内容	診療室_病院
19,20	幼若永久歯への暫間的間接覆髄法 幼若永久歯の特徴を踏まえながら暫間的間接覆髄法を学ぶ	実習	西田　郁子 森川　和政	【事前学習課題】 教科書の復習 ・幼若永久歯 ・暫間的間接覆髄法 【事後学習課題】 実習内容	診療室_病院
21,22	幼若永久歯への歯内療法 幼若永久歯への歯内療法適応症、術式を踏まえながらアペキソゲネーシス、アペキシフィケーションを学ぶ。	実習	西田　郁子 森川　和政	【事前学習課題】 教科書の復習 ・幼若永久歯 ・歯内療法 【事後学習課題】 実習内容	診療室_病院
23,24	歯髄・根尖歯周組織疾患の急性症状への診断および処置 乳歯・幼若永久歯の特徴、適応症、術式を踏まえながら歯髄・根尖歯周組織疾患の急性 症状への診断および処置を学ぶ。	実習	西田　郁子 森川　和政	【事前学習課題】 教科書の復習 ・急性症状 ・診断および処置法 【事後学習課題】 実習内容	診療室_病院

2025年度　　科目コード： 212092

小児歯科学Ⅱ(アドバンスコース)

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～3 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	実習	時間数	120	単位数	4
科目責任者	森川　和政						
担当教員	森川　和政						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
25,26	歯の変色 変色歯に対する診断および処置変色歯の原因を踏まえながら診断、処置を行う。	実習	西田　郁子 森川　和政	【事前学習課題】 教科書の復習 ・変色歯 ・診断および処置法 【事後学習課題】 実習内容	診療室_病院
27,28	乳歯と幼若永久歯の難治症例 乳歯・幼若永久歯の特徴、適応症、術式を踏まえながら歯髄・根尖歯周組織疾患の難治症例への対応法を学ぶ。	実習	西田　郁子 森川　和政	【事前学習課題】 教科書の復習 ・難治症例 ・診断および処置法 【事後学習課題】 実習内容	診療室_病院
29,30	試問2 ディスカッション	実習	西田　郁子 森川　和政	【事前学習課題】 教科書の復習 ・症例検討 【事後学習課題】 実習内容	その他
31,32	小児の歯周疾患 小児の歯周疾患の特徴を踏まえながら小児期の歯周病の継続的な管理を学ぶ。	実習	西田　郁子 森川　和政	【事前学習課題】 教科書の復習 ・歯周外科 ・継続的管理 【事後学習課題】 実習内容	診療室_病院
33,34	外傷（固定） 外傷歯への固定法外傷歯の固定法の種類を踏まえながら混合歯列期の固定法を学ぶ。	実習	西田　郁子 森川　和政	【事前学習課題】 教科書の復習 ・診断 ・固定法 ・予後 【事後学習課題】 実習内容	診療室_病院
35,36	外傷（再植） 外傷歯への処置再植歯の適応を踏まえながら再植を学ぶ。	実習	西田　郁子 森川　和政	【事前学習課題】 教科書の復習 ・外傷歯 ・再植 ・矯正的挺出 【事後学習課題】 実習内容	診療室_病院
37,38	抜歯Ⅱ 埋伏過剰歯の診査、診断を踏まえながら抜歯法を学ぶ。	実習	西田　郁子 森川　和政	【事前学習課題】 教科書の復習 ・抜歯法 ・埋伏過剰歯 【事後学習課題】 実習内容	診療室_病院

2025年度　　科目コード： 212092

小児歯科学Ⅱ(アドバンスコース)

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～3 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	実習	時間数	120	単位数	4
科目責任者	森川　和政						
担当教員	森川　和政						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
39,40	外科処置 嚢胞、腫瘍、軟組織疾患への診断および対応を踏まえながら小児期の外科処置を学 ぶ。	実習	西田　郁子 森川　和政	【事前学習課題】 教科書の復習 ・外科処置 【事後学習課題】 実習内容	診療室_病院
41,42	試問３ ディスカッション	実習	西田　郁子 森川　和政	【事前学習課題】 教科書の復習 ・症例検討 【事後学習課題】 実習内容	その他
43,44	咬合誘導装置の作製Ⅲ スペースリゲイナーの適応症を十分考慮して作成法を学ぶ。	実習	西田　郁子 森川　和政	【事前学習課題】 教科書の復習 ・スペースリ ゲイナー 【事後学習課題】 実習内容	診療室_病院
45,46	咬合誘導装置の作製 ムーシールドの適応症を十分考慮して作成法を学ぶ。	実習	西田　郁子 森川　和政	【事前学習課題】 教科書の復習 ・ムーシール ド 【事後学習課題】 実習内容	診療室_病院
47,48	筋機能訓練 筋機能訓練の必要な患児の適応症を踏まえて金機能訓練法を学ぶ。	実習	西田　郁子 森川　和政	【事前学習課題】 教科書の復習 ・筋機能訓練 【事後学習課題】 実習内容	診療室_病院
49,50	障害児の歯科治療Ⅱ 障害児への歯科治療について各疾患の特徴を踏まえながら対応法を学ぶ	実習	西田　郁子 森川　和政	【事前学習課題】 教科書の復習 ・障害児 ・行動調整 ・歯科治療 【事後学習課題】 実習内容	診療室_病院
51,52	全身麻酔下歯科治療 小児の特性、全身状態を十分考慮して全身麻酔下歯科治療を学ぶ。	実習	西田　郁子 森川　和政	【事前学習課題】 教科書の復習 ・全身麻酔 【事後学習課題】 実習内容	診療室_病院

2025年度　　科目コード： 212092

小児歯科学Ⅱ(アドバンスコース)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～3 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	実習	**時間数**	120	**単位数**	4
科目責任者	森川　和政						
担当教員	森川　和政						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
53,54	口腔内管理 発達段階を十分考慮して口腔内管理の実施を学ぶ。	実習	西田　郁子 森川　和政	【事前学習課題】 教科書の復習　・発育段階　・口腔内管理 【事後学習課題】 実習内容	診療室_病院
55,56	母子保健活動 妊産婦への予防活動、小児の摂食指導を踏まえながら母子保健指導を学ぶ。	実習	西田　郁子 森川　和政	【事前学習課題】 教科書の復習　・妊産婦　・母子保健 【事後学習課題】 実習内容	診療室_病院
57,58	試問4 ディスカッション	試問 実習	西田　郁子 森川　和政	【事前学習課題】 ・症例検討　【事後学習課題】　実習内容	その他
59,60	ケースプレゼンテーション単位認定試験	症例発表 試験	西田　郁子 森川　和政	【事前学習課題】 ・症例検討　【事後学習課題】　実習内容	その他

2025年度　　科目コード： 212093

口腔機能発達学Ⅰ

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～3 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	森川　和政						
担当教員	森川　和政						

授業の概要

包括治療である小児歯科治療に関し、基礎的内容から最新の先端医療に関する講義を担当教員が行う。また学生は、関連の内容の文献を整理、分析してプレゼンテーションを行う。

学生の到達目標

1.小児歯科臨床全般に知識を深め、理解できる
2.小児歯科臨床を行うにあたって基礎（解剖、組織等）を理解できる
3.プレゼンテーションのための資料作成法を習得し、実践できる
4.研究のための関連の文献の収集と整理分析が行うことができる

テキスト

タイトル	著者	出版社
小児歯科学	白川哲夫 他	医歯薬出版 株式会社

参考書

タイトル	著者	出版社
小児の口腔科学	朝田芳信 他	学建書院

成績評価方法・基準

評価項目	割合
単位認定試験	100%

その他

【オフィスアワー】相談は随時受け付け可能だが、原則、時間予約を電話、メールにて行うこと。担当教員：森川、西田
【公欠相当の事由による遠隔対応】事由発生時に担当教員へ相談すること。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
			西田　郁子 佐伯　桂 森川　和政		その他
1	オリエンテーション	講義	森川　和政	【事前学習課題】 教科書の復習 小児歯科概論 ・小児歯科学の意義 【事後学習課題】 講義内容	その他

2025年度　　科目コード： 212093

口腔機能発達学Ⅰ

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～3 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	森川　和政						
担当教員	森川　和政						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
2	歯および歯列の成長発育 歯および歯列の成長発育を踏まえて臨床との関わりを学ぶ。	講義	森川　和政	【事前学習課題】 文献詳読及び関連分野の調査 ・成長 ・発達 【事後学習課題】 講義内容	その他
3	歯の萌出のメカニズム 歯の形成と萌出の関わりを踏まえて基礎的なメカニズムを学ぶ。	講義	森川　和政	【事前学習課題】 文献詳読及び関連分野の調査 ・歯の発生 【事後学習課題】 講義内容	その他
4	乳歯の歯内療 法乳歯の特徴を踏まえて歯内療法の留意点を学ぶ。	講義	佐伯　桂	【事前学習課題】 文献詳読及び関連分野の調査 ・乳歯の歯髄炎 ・乳歯の根尖性歯周炎 【事後学習課題】 講義内容	その他
5	幼若永久歯の歯内療法 幼若永久歯の特徴を踏まえて歯内療法の留意点を学ぶ。	講義	西田　郁子	【事前学習課題】 文献詳読及び関連分野の調査 ・アペキソゲネーシス ・アペキシフィケーション 【事後学習課題】 講義内容	その他
6	小児期の外傷 乳歯列期、幼若永久歯の外傷の特徴を踏まえて固定法、修復、歯内療法を学ぶ。	講義	西田　郁子	【事前学習課題】 文献詳読及び関連分野の調査 ・乳歯の外傷 【事後学習課題】 講義内容	その他
7	受動的な咬合誘導 保隙装置の重要性を踏まえながら臨床例を学ぶ。	講義	森川　和政	【事前学習課題】 文献詳読及び関連分野の調査 ・静的咬合誘導 【事後学習課題】 講義内容	その他

2025年度　　科目コード： 212093

口腔機能発達学Ⅰ

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～3 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	森川　和政						
担当教員	森川　和政						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
8	能動的咬合誘導 スペースリゲーナーや習癖防止装置などの適応症、作成方法を踏まえながら臨床例を 学ぶ。	講義	佐伯　桂	【事前学習課題】 文献詳読及び関連分野の調査 ・動的咬合誘導 【事後学習課題】 講義内容	その他
9	乳歯及び幼若永久歯の歯冠修復 乳歯及び幼若永久歯の特徴を踏まえながら歯冠修復方法を学ぶ。	講義	西田　郁子	【事前学習課題】 文献詳読及び関連分野の調査 ・暫間的間接覆髄法 【事後学習課題】 講義内容	その他
10	障害者（児）歯科治療 障害者（児）歯科治療の特徴を踏まえながら障害者（児）歯科治療を学ぶ。	講義	森川　和政	【事前学習課題】 文献詳読及び関連分野の調査 ・障害者（児）の歯科的対応法 【事後学習課題】 講義内容	その他
11	小児の外傷歯の対応 小児の外傷歯の対応を学ぶ。	講義	西田　郁子	【事前学習課題】 文献詳読及び関連分野の調査 ・乳歯の外傷の影響 【事後学習課題】 講義内容	その他
12	小児の外科処置(I) 埋伏過剰歯の診査、診断を踏まえながら抜歯法を学ぶ	講義	森川　和政	【事前学習課題】 文献詳読及び関連分野の調査 ・埋伏過剰歯の疫学・埋伏過剰歯の影響 【事後学習課題】 講義内容	その他
13	小児の外科処置（II） 嚢胞、腫瘍、軟組織疾患への診断および対応を踏まえながら小児期の外科処置を学ぶ 。	講義	西田　郁子	【事前学習課題】 文献詳読及び関連分野の調査 ・嚢胞・腫瘍・軟組織疾患 【事後学習課題】 講義内容	その他

2025年度　　科目コード： 212093

口腔機能発達学Ⅰ

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～3 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	森川　和政						
担当教員	森川　和政						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
14	総合討議	講義	西田　郁子 佐伯　桂 森川　和政	【事前学習課題】 文献詳読及び関連分野の調査 【事後学習課題】 講義内容	その他
15	単位認定試験	試験	森川　和政	【事前学習課題】文献詳読及び関連分野の調査 【事後学習課題】 講義内容	その他

2025年度　　科目コード： 212094

口腔機能発達学Ⅱ(検討会)

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～3 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	演習	時間数	30	単位数	2
科目責任者	森川　和政						
担当教員	森川　和政						

授業の概要

小児歯科学関連の最新の研究の動向を理解するために、文献の抄読を行う。各自の研究に関し、内容や進行状況に対する報告会やデイスカッション、、他分野の研究者（基礎系分野を中心）のセミナーの実施。

学生の到達目標

1.英語文献を読み込む能力を高める
2.研究の内容を理解できる
3.研究を通しての批評能力を高める
4.研究の動向や背景を学び、知識を高める
5.小児歯科学及び骨形態計測関連の最新の情報を得るなど、知識を高める

テキスト

タイトル	著者	出版社
小児歯科学	白川哲夫	医歯薬出版株式会社

参考書

タイトル	著者	出版社
小児の口腔科学	朝田芳信他	学建書院

成績評価方法・基準

評価項目	割合
文献抄読発表、講義レポート（評価表は学生に配布）	100%

その他

【オフィスアワー】相談は随時受け付け可能だが、原則、時間予約を電話、メールにて行うこと。担当教員：森川、西田
【公欠相当の事由による遠隔対応】事由発生時に担当教員へ相談すること。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1~15	研究の背景と小児歯科学及び骨形態計測関連の最新の文献の内容、および関連分野の 研究の内容を踏まえながら、研究・臨床への応用を学ぶ。	輪読、文献紹介及び討論。	西田　郁子 佐伯　桂 森川　和政	【事前学習課題】 文献詳読及び 関連分野の調査 【事後学習課題】 講義内容	その他

2025年度　　科目コード： 212095

口腔機能発達学III

開講学科	歯学専攻			開講年次	1〜4 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	森川　和政						
担当教員	森川　和政						

授業の概要

小児歯科学関連の最新の研究の動向を理解するために、文献の抄読を行う。特に小児期の咬合育成に関連する内容の文献についての検索を深め る。また咬合誘導装置作製は実際にデモを行ない、その後に実習を行う。

学生の到達目標

1.英語文献を読み込む能力を高める
2.小児歯科学及び矯正学関連の最新の情報を得るなど、知識を高める
3. 交合誘導装置の作製について講義?実習を通して修得する

テキスト

タイトル	著者	出版社
小児歯科学基礎・臨床実習	白川哲夫 他	医歯薬出版 株式会社

成績評価方法・基準

評価項目	割合
文献抄読発表（50%）講義レポート(50%)により 評価する。（評価表は学生に配布)	100%

その他

【オフィスアワー】相談は随時受け付け可能だが、原則、時間予約を電話、メールにて行うこと。担当教員：森川、西田
【公欠相当の事由による遠隔対応】事由発生時に担当教員へ相談すること。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1〜15	小児歯科学及び矯正学関連の最新の文献の内容、および関連分野の研究の内容を踏まえながら、研究・臨床への応用を学ぶ。	輪読、文献紹介及び討論、装置作製実習。	西田　郁子 佐伯　桂 森川　和政	【事前学習課題】 関連分野の調査、咬合誘装置作製は実際にデモを行ないその後に実習を行なう。 【事後学習課題】 実習内容	その他

2025年度　　科目コード： 212101

歯科矯正学1(ベーシック)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～2 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	川元　龍夫						
担当教員	川元　龍夫,郡司掛　香織,黒石　加代子,水原　正博,白川　智彦,宮本　順						

授業の概要

顎口腔機能矯正学の臨床研究の立案と実施に必要な基本的知識を理解し習得する。

学生の到達目標

１．診断に必要な様々な情報を分析し総括できる。
２．矯正治療に必要な生物学的、生体力学的基礎を理解できる。
３．顎口腔機能の分析評価ができる。
４．矯正装置の作用機序、適応症を理解できる。
５．顎変形症、口唇裂口蓋裂の生理的病理的問題を把握し解決法を考えることができる。
６．骨組織と軟組織の生物学を理解できる。
７．顎顔面および歯列咬合の成長発育の原理を理解できる。
８．咬合育成の概念を理解し実施できる。
９．先天性疾患の発症の機序を理解できる。
１０．歯科矯正用材料を理解できる。

参考書

タイトル	著者	出版社
Contemporary Orthodontics	William R. Proffit	Mosby
頭部X線規格写真法の基礎	宮下 邦彦	クインテッセンス出版
最新歯科矯正アトラス	井上直彦・鈴木祥井	医歯薬出版
顔面成長発育の基礎	[監訳] 黒田敬之	クインテッセンス出版
歯科矯正学　第6版	飯田順一郎他	医歯薬出版
歯科矯正学臨床シリーズ１「反対咬合」	須佐美隆三，中後忠男編集	医歯薬出版
歯科矯正学臨床シリーズ２「上顎前突」	山内和夫，作田守　編集	医歯薬出版
歯科矯正学臨床シリーズ３「開咬」	河田照茂，尾関　哲編集	医歯薬出版

2025年度　　科目コード： 212101

歯科矯正学1(ベーシック)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～2 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	川元　龍夫						
担当教員	川元　龍夫,郡司掛　香織,黒石　加代子,水原　正博,白川　智彦,宮本　順						

タイトル	著者	出版社
歯科矯正学臨床シリーズ４「叢生」	松本　光生，中川皓文編集	医歯薬出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
修了試験	80%
小テスト	20%

その他

【オフィスアワー】随時、メール受付可
【公欠相当の事由による遠隔対応】事由発生時に担当教員へ相談すること。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
					診療室_病院
1	診断資料の作成、印象採得、顎態模型作製、セファロトレース、模型分析、セファロ分析基礎的な診断資料の作成法を踏まえながら、評価法を学ぶ。	講義、演習	白川　智彦	参考書、配付資料の復習	診療室_病院
2	診断、抜歯、set-up model、治療方針、装置基礎的な診断を踏まえながら、治療方針、治療方法を学ぶ。	講義、演習	水原　正博	参考書、配付資料の復習	診療室_病院
3	CT画像、MRI画像診断基本的な画像診断法を踏まえながら、症例との関連性を学ぶ。	講義、演習	宮本　順	参考書、配付資料の復習	診療室_病院
4	顎口腔機能、顎運動、咀嚼、咬合力、咀嚼効率、顎関節症基本的な顎口腔機能検査について、検査方法、結果および症例の関連性を踏まえながら評価法を学ぶ。	講義	宮本　順	参考書、配付資料の復習	診療室_病院

2025年度　　科目コード： 212101

歯科矯正学1(ベーシック)

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～2 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	川元　龍夫						
担当教員	川元　龍夫,郡司掛　香織,黒石　加代子,水原　正博,白川　智彦,宮本　順						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
5	歯の移動と矯正力、歯の固定、生力学、矯正用インプラント基礎的な歯の移動方法を踏まえながら、矯正装置を学ぶ。	講義	白川　智彦	参考書、配付資料の復習	診療室_病院
6	矯正力と組織反応矯正歯科治療によって生じる反応について、歯根吸収、歯根膜内で生じる血流の変化、硝子様変性を踏まえながら矯正力に対する歯、歯周組織の反応について学ぶ。	講義	黒石　加代子	参考書、配付資料の復習	診療室_病院
7	顎整形力とその反応　矯正歯科治療によって生じる反応について、軟骨性成長、縫合性成長などを踏まえながら顎整形力によって生じる顎骨の反応や成長変化について学ぶ。	講義	白川　智彦	参考書、配付資料の復習	診療室_病院
8	骨代謝、生物学、分子細胞矯正的歯の移動について、歯周組織を構成する細胞の働きを踏まえながら骨代謝の仕組みについて学ぶ。	講義	黒石　加代子	参考書、配付資料の復習	診療室_病院
9	歯科矯正用材料に関する材料学 矯正歯科治療に必要な材料の特性とその選択について学習する	講義	郡司掛　香織	参考書、配付資料の復習	診療室_病院
10	各矯正装置の使用法と作用機序 基本的な矯正装置の構造と作用機序および適応症、注意点について学習する。	講義	宮本　順	参考書、配付資料の復習	診療室_病院
11	マルチブラケット法　マルチブラケット法について、マルチブラケット装置の構造や動的矯正治療を学ぶ	講義、演習	郡司掛　香織	参考書、配付資料の復習	診療室_病院
12	顎変形症に対する矯正歯科治療顎変形症について、治療の目的、適応症、治療の手順を踏まえながら外科矯正歯科治療を学ぶ。	講義	郡司掛　香織	参考書、配付資料の復習	診療室_病院

2025年度　　科目コード： 212101

歯科矯正学1(ベーシック)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～2 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	川元　龍夫						
担当教員	川元　龍夫,郡司掛　香織,黒石　加代子,水原　正博,白川　智彦,宮本　順						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
13	先天性異常に伴う咬合異常先天性異常に伴う咬合異常ついて、原因、全身的所見、不正咬合の特徴を踏まえながら先天性異常について学ぶ。	講義	黒石　加代子	参考書、配付資料の復習	診療室_病院
14	口蓋裂の治療,骨移植　先天異常の口蓋裂について、成長発育を踏まえて経年的な矯正治療を学ぶ	講義	水原　正博	参考書、配付資料の復習	診療室_病院
15	保定と保定装置（可撤式，固定式）　保定について、動的矯正治療や生体反応を踏まえながら各種保定装置や静的矯正治療を学ぶ	講義	郡司掛　香織	参考書、配付資料の復習	診療室_病院
16	筋訓練法(MFT)　態癖（悪習癖）の歯列弓に及ぼす影響を踏まえて予防および矯正法を学ぶ	講義	川元　龍夫	参考書、配付資料の復習	診療室_病院
17	歯列咬合、および顎顔面の成長発育　頭蓋顎顔面ならびに歯、歯列、咬合の正常な成長発育について学習する	講義	水原　正博	参考書、配付資料の復習	診療室_病院
18	成長発育と矯正治療　各種の不正咬合について、成長発育による変化を踏まえて経年的な矯正治療を学ぶ	講義	川元　龍夫	参考書、配付資料の復習	診療室_病院
19	咬合育成学　咬合育成について、経年的な成長発育や不正咬合の誘因を踏まえて咬合育成学を学ぶ	講義	川元　龍夫	参考書、配付資料の復習	診療室_病院
20	包括的歯科診療ー口腔単位で治療を行う事を踏まえ、チームアプローチを学ぶ	講義	川元　龍夫	参考書、配付資料の復習	診療室_病院

2025年度　　科目コード： 212102

歯科矯正学2(基礎実習)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	実習	**時間数**	30	**単位数**	1
科目責任者	川元　龍夫						
担当教員	川元　龍夫,郡司掛　香織,黒石　加代子,水原　正博,白川　智彦,宮本　順						

授業の概要

臨床研究に必要な資料を採得して分析する。基本的矯正装置を作製し作用機序を知る。

学生の到達目標

１．臨床研究のための資料が採得できる。
２．矯正治療装置の作用機序を理解し、装置を作製できる。
３．顎口腔機能の記録と分析評価ができる。
４．プレゼンテーションのための資料を作成し、有効に利用できる。

参考書

タイトル	著者	出版社
４年次生用基礎実習書		
最新歯科矯正アトラス	井上直彦・鈴木祥井	医歯薬出版
Contemporary Orthodontics, 6th Edition	William R. Proffit	Mosby

成績評価方法・基準

評価項目	割合
実技試験	100%

その他

【オフィスアワー】随時、メール送付
【公欠相当の事由による遠隔対応】事由発生時に担当教員へ相談すること。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
					診療室_病院
1	診断資料の作成（口腔内写真、顔面規格写真）口腔内写真、顔面規格写真の撮影法について、デジタルカメラの使用を踏まえながら診断資料の作成を習得する。	実習	黒石　加代子	基礎実習書、参考書の予習	診療室_病院

2025年度　　科目コード： 212102

歯科矯正学2(基礎実習)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	実習	**時間数**	30	**単位数**	1
科目責任者	川元　龍夫						
担当教員	川元　龍夫,郡司掛　香織,黒石　加代子,水原　正博,白川　智彦,宮本　順						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
2	診断資料の作成（印象採得、顎態模型）印象採得、顎態模型の製作法について、アルジネート印象材による概形印象の技術、顔弓計測を踏まえながら、診断資料の作成を習得する。	実習	白川　智彦	基礎実習書、参考書の予習	診療室_病院
3	診断資料の作成（セファロトレース、セファロ分析、模型分析）基礎的な診断資料の作成法を踏まえながら、診断資料の作成を習得する。	実習	水原　正博	基礎実習書、参考書の予習	診療室_病院
4	顎口腔機能　計測評価基本的な顎口腔機能検査機器について、その使用法を踏まえながら計測を学ぶ。	実習	宮本　順	基礎実習書、参考書の予習	診療室_病院
5	診断、抜歯、set-up model、治療方針、装置基礎的な診断を踏まえながら、症例との関連性を学ぶ。	実習	郡司掛　香織	基礎実習書、参考書の予習	診療室_病院
6	プレゼンテーションデジタルデータの取り込みとPowerpoint, Phtoshopの使用法を踏まえながら、プレゼンテーションの作成を学ぶ。	実習	水原　正博	基礎実習書、参考書の予習	診療室_病院
7	基礎実習（舌側弧線装置）舌側弧線装置の製作法と調整を修得する。	実習	白川　智彦	基礎実習書、参考書の予習	診療室_病院
8	基礎実習（舌側弧線装置）舌側弧線装置の製作法と調整を修得する。	実習	宮本　順	基礎実習書、参考書の予習	診療室_病院
9	基礎実習（アクチバトール）構成咬合位の採得、機能的矯正装置の作製法および調整法を習得する。	実習	黒石　加代子	基礎実習書、参考書の予習	診療室_病院
10	基礎実習（アクチバトール）構成咬合位の採得、機能的矯正装置の作製法および調整法を習得する。	実習	黒石　加代子	基礎実習書、参考書の予習	診療室_病院

2025年度　　科目コード： 212102

歯科矯正学2(基礎実習)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	実習	**時間数**	30	**単位数**	1
科目責任者	川元　龍夫						
担当教員	川元　龍夫,郡司掛　香織,黒石　加代子,水原　正博,白川　智彦,宮本　順						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
11	基礎実習（保定装置）Beggタイプリテーナーの製作法および調整法を修得する	実習	郡司掛　香織	基礎実習書、参考書の予習	診療室_病院
12	基礎実習（保定装置）　Beggタイプリテーナーの製作法および調整法を修得する	実習	郡司掛　香織	基礎実習書、参考書の予習	診療室_病院
13	治療効果の分析評価治療効果の分析評価を踏まえながら、治療について学ぶ。	実習	川元　龍夫	基礎実習書、参考書の予習	診療室_病院
14	成長発育系の分析評価成長発育の分析評価を踏まえながら、治療について学ぶ。	実習	川元　龍夫	教室臨床マニュアル予習	診療室_病院
15	矯正材料と歯の移動治療を踏まえながら、矯正材料と歯の移動について学ぶ。	実習	川元　龍夫	教室臨床マニュアル予習	診療室_病院

2025年度　　科目コード： 212102

初年次研究実践プログラム

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1 年	**開講期**	前期
必修/選択	必修	**授業方法**	講義	**時間数**	16	**単位数**	1
科目責任者	小野　堅太郎						
担当教員	大学院研究科長,小野　堅太郎,池田　弘,有吉　渉,安細　敏弘,正木　千尋,永松　有紀						

授業の概要

大学院で研究を行う上で必要な知識・技術の最も基本的な内容を教授する。

学生の到達目標

研究や論文の種類とその概要および研究にまつわる権利を理解し、必要なツールや英語、思考法を使用できるようになる。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
Moodleオンライン試験	68%
講義動画アンケート	32%

その他

授業内容に関する質問は受講者・教員で共有したほうが良いため、Class-wide questionsとしてTeams内の特定チャネルへ投稿してください。その際は、指定の教員を@でメンションしてください。成績などの個人的な質問は、各講義動画の教員ではなく、Private questionとして科目責任者に対してTeamsチャットで連絡してください。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	研究・論文の種類	講義	池田　弘	歯学研究における研究の種類、歯学研究における論文の種類	Moodle
2	基礎研究	講義	有吉　渉 小野　堅太郎	インビトロ研究、インビボ研究	Moodle
3	臨床研究	講義	安細　敏弘 正木　千尋	疫学研究の基礎、診療ガイドライン	Moodle
4	特許とMTA	講義	小野　堅太郎	薬剤特許、MTAについて	Moodle
5	研究必須アプリ	講義	永松　有紀	ワードとエクセル、パワーポイントとアウトルック	Moodle
6	研究英語	講義	池田　弘	科学英語、論文受理までのフロー	Moodle

2025年度　　科目コード： 212102

初年次研究実践プログラム

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1 年	**開講期**	前期
必修/選択	必修	**授業方法**	講義	**時間数**	16	**単位数**	1
科目責任者	小野　堅太郎						
担当教員	大学院研究科長,小野　堅太郎,池田　弘,有吉　渉,安細　敏弘,正木　千尋,永松　有紀						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
7	実験ノートとICT利用	講義	池田　弘	実験ノート、ICTの活用	Moodle
8	研究評価と論理的思考法	講義	池田　弘 小野　堅太郎	研究の評価	Moodle

2025年度　　科目コード： 212103

歯科矯正学3(タイポドント)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	実習	**時間数**	30	**単位数**	1
科目責任者	川元　龍夫						
担当教員	川元　龍夫,郡司掛　香織,黒石　加代子,水原　正博,白川　智彦,宮本　順						

授業の概要

適正な歯の移動のための力学を理解し、タイポドント上で実施する。

学生の到達目標

１．歯の移動様式と矯正力との関係を理解できる。
２．ワイヤーとブラケットの摩擦力を理解できる。
３．力とモーメントの関係を理解できる。
４．顎内固定、顎間固定、顎外固定などの固定の必要性を理解できる。
５．ワイヤーの物性を理解できる。

参考書

タイトル	著者	出版社
タイポドントシラバス		
最新歯科矯正アトラス	井上直彦・鈴木祥井	医歯薬出版
Common Sense Mechanics	Thomas . Mulligan	
Biomechanics in Orthodontics	Ram S, Nanda	

成績評価方法・基準

評価項目	割合
チェック項目に対する評価及びディスカッション	100%

その他

【オフィスアワー】随時、メール送付
【公欠相当の事由による遠隔対応】事由発生時に担当教員へ相談すること。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
					診療室_病院

2025年度　　科目コード： 212103

歯科矯正学3(タイポドント)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	実習	**時間数**	30	**単位数**	1
科目責任者	川元　龍夫						
担当教員	川元　龍夫,郡司掛　香織,黒石　加代子,水原　正博,白川　智彦,宮本　順						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	タイポドント準備１マルチブラケット装置による治療について、メタルティ-スへのブラケットのボンディングおよび位置付け、臼歯部のバンド製作およびブラケットの電気鑞着を踏まえながら、矯正歯科治療時のブラケット装着を習得する。	実習	白川　智彦	タイポドントシラバスの予習と復習	診療室_病院
2	タイポドント準備２マルチブラケット装置による治療について、メタルティ-スへのブラケットのボンディングおよび位置付け、臼歯部のバンド製作およびブラケットの電気鑞着を踏まえながら、矯正歯科治療時のブラケット装着を習得する。	実習	黒石　加代子	タイポドントシラバスの予習と復習	診療室_病院
3	タイポドント準備３マルチブラケット装置による治療について、メタルティ-スへのブラケットのボンディングおよび位置付け、臼歯部のバンド製作およびブラケットの電気鑞着を踏まえながら、矯正歯科治療時のブラケット装着を習得する。	実習	黒石　加代子	タイポドントシラバスの予習と復習	診療室_病院
4	ワイヤーベンディング１　スタンダードエッジワイズ装置におけるアーチワイヤーの形態について学び、ラウンドワイヤーを屈曲する。	実習	川元　龍夫	タイポドントシラバスの予習と復習	診療室_病院
5	ワイヤーベンディング２　スタンダードエッジワイズ装置におけるレクトアンギュラーワイヤーの形態について学び、屈曲する。	実習	水原　正博	タイポドントシラバスの予習と復習	診療室_病院
6	ワイヤーベンディング３　アーチワイヤーの調整法について学び、屈曲する。	実習	宮本　順	タイポドントシラバスの予習と復習	診療室_病院

2025年度　　科目コード： 212103

歯科矯正学3(タイポドント)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	実習	**時間数**	30	**単位数**	1
科目責任者	川元　龍夫						
担当教員	川元　龍夫,郡司掛　香織,黒石　加代子,水原　正博,白川　智彦,宮本　順						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
7	タイポドント１（レベリング）マルチブラケット装置について、生体反応を踏まえながら矯正材料による不正咬合の初期変化を学ぶ	実習	白川　智彦	タイポドントシラバスの予習と復習	診療室_病院
8	タイポドント２（レベリング）マルチブラケット装置について、生体反応を踏まえながら矯正材料による不正咬合の初期変化を学ぶ	実習	白川　智彦	タイポドントシラバスの予習と復習	診療室_病院
9	タイポドント３（犬歯遠心移動）犬歯の遠心移動を行う目的、方法、注意点について習得する。	実習	水原　正博	タイポドントシラバスの予習と復習	診療室_病院
10	タイポドント３（犬歯遠心移動）犬歯の遠心移動を行う目的、方法、注意点について習得する。	実習	水原　正博	タイポドントシラバスの予習と復習	診療室_病院
11	タイポドント５（切歯舌側移動）マルチブラケット装置による治療について、加強固定の必要性の有無、切歯の舌側移動時のトルク調整、歯列弓幅径の変化を踏まえながら切歯の舌側移動を習得する。	実習	宮本　順	タイポドントシラバスの予習と復習	診療室_病院
12	タイポドント６（切歯舌側移動）マルチブラケット装置による治療について、加強固定の必要性の有無、切歯の舌側移動時のトルク調整、歯列弓幅径の変化を踏まえながら切歯の舌側移動を習得する。	実習	宮本　順	タイポドントシラバスの予習と復習	診療室_病院
13	タイポドント７（アイディアル、咬合完成）マルチブラケット装置について、生体反応や矯正器材を踏まえながら個性正常咬合の確立を学ぶ	実習	郡司掛　香織	タイポドントシラバスの予習と復習	診療室_病院
14	タイポドント８（アイディアル、咬合完成）　最終チェックマルチブラケット装置について、生体反応や矯正器材を踏まえながら個性正常咬合の確立を学ぶ	実習	郡司掛　香織	タイポドントシラバスの予習と復習	診療室_病院

2025年度　　科目コード： 212103

歯科矯正学3(タイポドント)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	実習	**時間数**	30	**単位数**	1
科目責任者	川元　龍夫						
担当教員	川元　龍夫,郡司掛　香織,黒石　加代子,水原　正博,白川　智彦,宮本　順						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
15	タイポドント発表会（経過説明） タイポドント実習について、全体の経過を説明することにより、マルチブラケット法のシステムを理解する。	実習	川元　龍夫	タイポドントシラバスの予習と復習	診療室_病院

2025年度　　科目コード： 212104

歯科矯正学4(臨床研修)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	2～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	実習	**時間数**	30	**単位数**	1
科目責任者	川元　龍夫						
担当教員	川元　龍夫,郡司掛　香織,黒石　加代子,水原　正博,白川　智彦,宮本　順						

授業の概要

１年次に習得した基本的知識と技能をもとに治療開始から終了まで治療を行い、臨床研究の立案のための知識と技能を更新する。

学生の到達目標

１．患者との円滑なコミュニケーションができる。
２．診断に必要な様々な情報を分析し総括できる。
３．矯正治療に必要な生物学的、生体力学的基礎を理解できる。
４．治療の変化を分析できる、治療ステップに応用できる。
５．治療機序を分析評価できる。

参考書

タイトル	著者	出版社
Contemporary Orthodontics, 6th Edition	William R. Proffit	Mosby
Common Sense Mechanics	Thomas . Mulligan	

成績評価方法・基準

評価項目	割合
各ステップのチェック	100%

その他

【オフィスアワー】随時、メール送付
【公欠相当の事由による遠隔対応】事由発生時に担当教員へ相談すること。

2025年度　　科目コード： 212104

歯科矯正学4(臨床研修)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	2～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	実習	**時間数**	30	**単位数**	1
科目責任者	川元　龍夫						
担当教員	川元　龍夫,郡司掛　香織,黒石　加代子,水原　正博,白川　智彦,宮本　順						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	診断資料の作成（口腔内写真、顔面規格写真、印象採得、顎態模型）配当された患者について、口腔内写真、顔面規格写真の撮影法について、デジタルカメラの使用を踏まえながら、また、印象採得、顎態模型の製作法について、アルジネート印象材による概形印象の技術、顔弓計測を踏まえながら、診断資料の作成を修得する。	講義，実習	川元　龍夫 郡司掛　香織 黒石　加代子 水原　正博 白川　智彦 宮本　順	診断から治療終了までの各ステップのまとめ	診療室_病院
2	診断資料の作成（セファロトレース、セファロ分析、模型計測）配当された患者について、診断資料の作成法を踏まえながら、評価法を学ぶ。	講義，実習	川元　龍夫 郡司掛　香織 黒石　加代子 水原　正博 白川　智彦 宮本　順	診断から治療終了までの各ステップのまとめ	診療室_病院
3	顎口腔機能（咀嚼、咬合、呼吸）の評価分析配当された患者差について治療前、中および後分析評価を踏まえながら、顎口腔機能について学ぶ。	講義，実習	川元　龍夫 郡司掛　香織 黒石　加代子 水原　正博 白川　智彦 宮本　順	診断から治療終了までの各ステップのまとめ	診療室_病院
4~5	診断、プレゼンテーション配当された患者について、診断を行い、治療方針、治療計画を立案し、デジタルデータ取り込みとPowerpoint, Phto shopの使用法を踏まえながら、プレゼンテーションの作成を学ぶ。	講義，実習	川元　龍夫 郡司掛　香織 黒石　加代子 水原　正博 白川　智彦 宮本　順	診断から治療終了までの各ステップのまとめ	診療室_病院
6~12	矯正材料と歯の移動配当された患者について、治療を踏まえながら、矯正材料と歯の移動について学ぶ。	講義，実習	川元　龍夫 郡司掛　香織 黒石　加代子 水原　正博 白川　智彦 宮本　順	診断から治療終了までの各ステップのまとめ	診療室_病院
13~15	治療効果、成長発育の分析評価配当された患者について、治療効果および成長発育の分析評価を踏まえながら、治療について学ぶ。	講義，実習	川元　龍夫 郡司掛　香織 黒石　加代子 水原　正博 白川　智彦 宮本　順	診断から治療終了までの各ステップのまとめ	診療室_病院

2025年度　　科目コード： 212105

顎口腔機能矯正学1

開講学科	歯学専攻			開講年次	1 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	川元　龍夫						
担当教員	川元　龍夫,郡司掛　香織,黒石　加代子,宮本　順,水原　正博,白川　智彦						

授業の概要

研究に向けての準備として収集した文献と情報を、整理、分析してプレゼンテーションを行う。研究の方法を検討する。

学生の到達目標

１．プレゼンテーションのための資料を作成し、有効に利用できる。２．研究のための情報の収集と整理分析し発表できる。３．研究の方法論を検討できる。４．データの収集ができる。

参考書

タイトル	著者	出版社
Contemporary Orthodontics, 6th Edition	William R. Proffit	Mosby
カラーアトラス　X線解剖学とセファロ分析法	宮下邦彦	クインテッセンス出版
Orhodontics Current Principles & Techniques	T.M.Graber	ELSEVER/MOSBY

成績評価方法・基準

評価項目	割合
研究背景	50%
研究プロトコール	50%

その他

【オフィスアワー】随時、メール送付
【公欠相当の事由による遠隔対応】事由発生時に担当教員へ相談すること。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1～3	文献検索と整理方法　研究テーマについて、文献検索と整理方法を踏まえながら研究の進め方を学ぶ。	講義、演習	川元　龍夫 郡司掛　香織 黒石　加代子 水原　正博 白川　智彦 宮本　順	インターネットの使用、PubMedの利用法、File makerの利用法の理解	診療室_病院

2025年度　　科目コード： 212105

顎口腔機能矯正学1

開講学科	歯学専攻			開講年次	1 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	川元　龍夫						
担当教員	川元　龍夫,郡司掛　香織,黒石　加代子,宮本　順,水原　正博,白川　智彦						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
4～7	研究テーマの背景と文献まとめ 研究テーマについて、文献検索と整理方法を踏まえながら研究の進め方を学ぶ。	演習、小グループセミナー	川元　龍夫 郡司掛　香織 黒石　加代子 水原　正博 白川　智彦 宮本　順	各自のPubMedを利用した文献の収集とFile makerを利用した文献の整理の予習	診療室_病院
8～9	生物学、分子細胞、遺伝学と矯正治療　矯正治療について、生物学、分子細胞、遺伝学を踏まえながら矯正治療を通しての研究を学ぶ。	演習、小グループセミナー	川元　龍夫 郡司掛　香織 黒石　加代子 水原　正博 白川　智彦 宮本　順	各自のPubMedを利用した文献の収集とFile makerを利用した文献の整理の予習	診療室_病院
10～12	研究テーマに対する方法論の討議 研究テーマについて、自分の研究結果を踏まえながら、アピールの仕方を学ぶ。	演習、小グループセミナー	川元　龍夫 郡司掛　香織 黒石　加代子 水原　正博 白川　智彦 宮本　順	Powerpointを利用したプレゼンテーションの準備	診療室_病院
13～15	輪読会（関連する国内外の論文の抄読）　研究テーマに関連する国内外の論文を踏まえながら、研究結果の考察の仕方を学ぶ。	演習、小グループセミナー	川元　龍夫 郡司掛　香織 黒石　加代子 水原　正博 白川　智彦 宮本　順	各自のテーマに関連する国内外の論文の抄読	診療室_病院

2025年度　　科目コード： 212106

顎口腔機能矯正学2

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	2～3 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	60	**単位数**	4
科目責任者	川元　龍夫						
担当教員	川元　龍夫,郡司掛　香織,黒石　加代子,水原　正博,白川　智彦,宮本　順						

授業の概要

収集した文献と情報を、整理、分析してプレゼンテーションを行う。研究の方法を検討する。学会発表を行い論文投稿する。

学生の到達目標

1．顎口腔機能と咬合育成の意義を理解できる。2．矯正治療に必要な生物学的、生体力学的基礎を理解できる。3．プレゼンテーションのための資料を作成し、有効に利用できる。4．研究のための情報の収集と整理分析し発表できる。5．研究の方法論を検討できる。6．論文を作成し、投稿できる。

参考書

タイトル	著者	出版社
Contemporary Orthodontics, 6th Edition	William R. Proffit	Mosby
Comprehensive Cleft Care	Joseph Losee, Richard E. Kirschner	CRC Press
Atlas of Orthodontic Treatment for Patients with Birth Defects	Takayuki Kuroda, Kimie Ohyama	Needham Press, Inc
新 先天奇形症候群アトラス	梶井 正ら(監修)	南江堂
Contemporary Treatmnet of Dentofacial Deformity	W.R.Proffit	Mosby
Gorlin's Syndrome of the Head and Neck, 5th Ed	Hennekam/Krantz/Allanson 共著	Oxford University

成績評価方法・基準

評価項目	割合
研究の進捗状況及び学会発表	100%

2025年度　　科目コード： 212106

顎口腔機能矯正学2

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	2～3 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	60	**単位数**	4
科目責任者	川元　龍夫						
担当教員	川元　龍夫,郡司掛　香織,黒石　加代子,水原　正博,白川　智彦,宮本　順						

その他

【オフィスアワー】随時、メール送付
【公欠相当の事由による遠隔対応】事由発生時に担当教員へ相談すること。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1～2	顎口腔機能と咬合育成顎口腔機能の基礎を理解することで、それにより影響を受ける咬合の成り立ちを習得する。	講義，演習	宮本　順	配付資料の復習	診療室_病院
3～4	顎口腔機能矯正学分野の研究の動向矯正に関連する基礎的、臨床的研究を理解することで、今後の矯正の進むべき方向を習得する。	講義，演習	黒石　加代子	１年次の講義録の復習	診療室_病院
5～6	歯の移動に伴う組織学的変化歯の移動に対する歯、歯周組織の反応について学ぶ。	講義，演習	水原　正博	１年次の講義録の復習	診療室_病院
7～8	歯の移動の力学歯の移動について、傾斜移動、歯体移動、圧下、挺出、回転、トルクの違いを踏まえながら、歯の移動様式を学ぶ。	講義，演習	郡司掛　香織	タイポドントシラバス	診療室_病院
9～10	生物学、分子細胞、遺伝学と矯正治療基礎的学問を理解することで、矯正治療の必要性を習得する。	講義，演習	白川　智彦	１年次の講義録の復習	診療室_病院
11	研究テーマの背景、文献考察 自身の研究内容の学術的背景について発表を行う	講義，演習	川元　龍夫	各自の研究テーマに関するPower pointの作成	診療室_病院
12	研究テーマの背景、文献考察 自身の研究内容の学術的背景について発表を行う	講義，演習	郡司掛　香織	各自の研究テーマに関するPower pointの作成	診療室_病院
13	研究テーマの背景、文献考察 自身の研究内容の学術的背景について発表を行う	講義，演習	黒石　加代子	各自の研究テーマに関するPower pointの作成	診療室_病院
14	研究テーマの背景、文献考察の発表　自身の研究内容（研究経過、学会発表）について発表を行う。	講義，演習	水原　正博	各自の研究テーマに関するPower pointの作成	診療室_病院

2025年度　　科目コード： 212106

顎口腔機能矯正学2

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	2～3 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	60	**単位数**	4
科目責任者	川元　龍夫						
担当教員	川元　龍夫,郡司掛　香織,黒石　加代子,水原　正博,白川　智彦,宮本　順						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
15	研究テーマの背景、文献考察の発表　自身の研究内容（研究経過、学会発表）について発表を行う。	講義，演習	白川　智彦	各自の研究テーマに関するPower pointの作成	診療室_病院
16	研究テーマの背景、文献考察の発表　自身の研究内容（研究経過、学会発表）について発表を行う。	講義，演習	宮本　順	各自の研究テーマに関するPower pointの作成	診療室_病院
17	研究テーマに対する方法論研究の方法について、文献検索および情報収集を踏まえながら方法論について学ぶ。	講義，演習	川元　龍夫	各自の研究テーマに関するPower pointの作成	診療室_病院
18	研究テーマに対する方法論研究の方法について、文献検索および情報収集を踏まえながら方法論について学ぶ。	講義，演習	郡司掛　香織	各自の研究テーマに関するPower pointの作成	診療室_病院
19	研究テーマに対する方法論研究の方法について、文献検索および情報収集を踏まえながら方法論について学ぶ。	講義，演習	黒石　加代子	各自の研究テーマに関するPower pointの作成	診療室_病院
20	研究テーマに対する方法論の発表研究の方法について、図や表を用いたPower pointの作製を踏まえながら研究の方法論の発表について学ぶ。	講義，演習	水原　正博	各自の研究テーマに関するPower pointの作成	診療室_病院
21	研究テーマに対する方法論の発表研究の方法について、図や表を用いたPower pointの作製を踏まえながら研究の方法論の発表について学ぶ。	講義，演習	白川　智彦	各自の研究テーマに関するPower pointの作成	診療室_病院
22	研究テーマに対する方法論の発表研究の方法について、図や表を用いたPower pointの作製を踏まえながら研究の方法論の発表について学ぶ。	講義，演習	宮本　順	各自の研究テーマに関するPower pointの作成	診療室_病院
23	収集データの分析発表　研究テーマについて、収集されたデータの分析結果を発表	講義，演習	川元　龍夫	各自の研究テーマに関するPower pointの作成	診療室_病院

2025年度　　科目コード： 212106

顎口腔機能矯正学2

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	2～3 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	60	**単位数**	4
科目責任者	川元　龍夫						
担当教員	川元　龍夫,郡司掛　香織,黒石　加代子,水原　正博,白川　智彦,宮本　順						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
24	収集データの分析発表　研究テーマについて、収集されたデータの分析結果を発表	講義，演習	郡司掛　香織	各自の研究テーマに関するPower point の作成	診療室_病院
25	学会発表用プレゼンテーションとメディアと作成　研究テーマについて、研究データの分析結果を学会口演あるいは学術展示の形式で発表（第1報）	講義，演習	黒石　加代子	各自の研究テーマに関するPower point の作成	診療室_病院
26	学会発表用プレゼンテーションとメディアと作成　研究テーマについて、研究データの分析結果を学会口演あるいは学術展示の形式で発表（第1報）	講義，演習	水原　正博	各自の研究テーマに関するPower point の作成	診療室_病院
27	学会発表用プレゼンテーションとメディアと作成　研究テーマについて、研究データの分析結果を学会口演あるいは学術展示の形式で発表（第2報）	講義，演習	白川　智彦	各自の研究テーマに関するPower point の作成	診療室_病院
28	学会発表用プレゼンテーションとメディアと作成　研究テーマについて、研究データの分析結果を学会口演あるいは学術展示の形式で発表（第2報）	講義，演習	宮本　順	各自の研究テーマに関するPower point の作成	診療室_病院
29～30	論文作成と投稿専門雑誌の投稿要領を理解し、正しい論文の書き方を習得する。	講義，演習	川元　龍夫	投稿雑誌の投稿要領の確認	診療室_病院

2025年度　　科目コード： 212107

顎口腔機能矯正学3

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	2 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	川元　龍夫						
担当教員	川元　龍夫,郡司掛　香織,黒石　加代子,水原　正博,白川　智彦,宮本　順						

授業の概要

顎口腔機能と歯科矯正学との関わりを、咀嚼、嚥下、呼吸機能を通じて理解する（研究テーマと関連して）。また、治療に伴うリスクである歯根吸収や疼痛の原因について検討する。

学生の到達目標

１．呼吸機能を評価できる。２．咀嚼筋活動と筋電図および咬合音の関連性を解明、理解できる。３．口呼吸と咬合育成の関連性を解明、理解できる。４．三叉神経節を介した骨代謝調節機構を解明、理解できる。５．歯周組織におけるオステオアクチビンの作用機序の解明、理解できる。６．ブラケットとワイヤー間に発生する摩擦力を解明、理解できる。

参考書

タイトル	著者	出版社
Contemporary Orthodontics, 6th Edition	William R. Proffit	Mosby
Orhodontics Current Principles & Techniques	T.M.Graber	ELSEVER/MOSBY

成績評価方法・基準

評価項目	割合
研究プロトコール	100%

その他

【オフィスアワー】随時、メール送付
【公欠相当の事由による遠隔対応】事由発生時に担当教員へ相談すること。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1〜3	顎口腔機能顎口腔機能について、成長発育を踏まえて矯正治療による顎口腔機能を学ぶ	講義	白川　智彦	配付資料の復習	診療室_病院
4〜6	最適な矯正力に関する生物学的考察矯正力について、歯周組織を構成する細胞の働き、骨代謝機構および歯根吸収を踏まえながら最適な矯正力に関する生物学的考察について学ぶ。	演習、小グループセミナー	水原　正博	１年次講義録の復習	診療室_病院

2025年度　　科目コード： 212107

顎口腔機能矯正学3

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	2 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	川元　龍夫						
担当教員	川元　龍夫,郡司掛　香織,黒石　加代子,水原　正博,白川　智彦,宮本　順						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
7～8	歯の移動と骨のモデリング矯正的歯の移動について、歯根膜線維芽細胞、破骨細胞の働きを踏まえながら歯の移動時の骨リモデリングについて学ぶ。	演習、小グループセミナー	黒石　加代子	関連論文の精読	診療室_病院
9	歯の移動と骨のモデリング矯正的歯の移動について、骨芽細胞の働きを踏まえながら歯の移動時の骨リモデリングについて学ぶ。	演習、小グループセミナー	黒石　加代子	関連論文の精読	診療室_病院
10～11	咀嚼機能の評価咀嚼機能の基礎を理解し、歯科矯正治療の必要性を習得する。	演習、小グループセミナー	宮本　順	関連論文の精読	診療室_病院
12	咀嚼機能の評価咀嚼機能の基礎を理解し、歯科矯正治療の必要性を習得する。	演習、小グループセミナー	川元　龍夫	関連論文の精読	診療室_病院
13	三叉神経節を介した骨代謝調節機構神経系と骨代謝についての関連について学ぶ	演習、小グループセミナー	郡司掛　香織	関連論文の精読	診療室_病院
14	歯周組織における骨代謝の作用機序矯正的歯の移動時の歯周組織の骨代謝について、歯根膜線維芽細胞において骨形成性因子の作用機序を踏まえながら、牽引側の骨形成の仕組みについて学ぶ。	演習、小グループセミナー	郡司掛　香織	関連論文の精読	診療室_病院
15	歯周組織における骨代謝の作用機序矯正的歯の移動時の歯周組織の骨代謝について、歯根膜線維芽細胞において骨形成性因子の作用機序を踏まえながら、牽引側の骨形成の仕組みについて学ぶ。	演習、小グループセミナー	川元　龍夫	関連論文の精読	診療室_病院

2025年度　　科目コード： 212111

歯科放射線学

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	実習	**時間数**	120	**単位数**	4
科目責任者	森本　泰宏						
担当教員	森本　泰宏,小田　昌史,若杉　奈緒,西村　瞬,松本　忍 （歯科放射線指導医）森本　泰宏、小田　昌史　（歯科放射線専門医）森本　泰宏、若杉　奈緒、小田　昌史、西村　瞬　（歯科放射線認定医）森本　泰宏、若杉　奈緒、小田　昌史、松本　忍、西村　瞬						

授業の概要

本教室で作成された600症例以上のTeaching Filesの読影を行い、読影報告書を作成してもらう。更に、各症例に対して担当の教員より解説を行い、読影の要点を説明してもらう。その後、それぞれの症例の病理画像を「Contemporary Oral and Maxillofacial Pathology」を教科書として理解してもらう。読影の際に使用する教科書としては「頭頸部のCT・MRI」及び「頭頸部画像診断ハンドブック」である。

学生の到達目標

頭頸部に発生する各種疾患に対して、歯科用エックス線写真、パノラマエックス線写真、CT、MRI、超音波、PET等を用いて作成された各種画像の対象疾患に対する診断の実践を理解する。その際、主訴、視診、触診及び画像所見を論理的にしかも正確に評価し、質的及び部位的診断が総合的に高いレベルで実践できる。

参考書

タイトル	著者	出版社
頭頸部のCT・MRI		
頭頸部画像診断ハンドブック		
Contemporary Oral and Maxillofacial Pathology		
放射線概論		
口腔解剖学		
今さら聞けない歯科用CBCTとCTの読像法	森本泰宏、金田　隆	クインテッセンス出版
口腔・歯・顎・顔面ポケット画像解剖	中山英二、森本泰宏	医学情報社

成績評価方法・基準

評価項目	割合
セミナー中の発表	50%
口頭試問	50%

その他

【オフィスアワー】講義の前後、またはメールで受け付ける。病院3階歯科放射線科診療室及び病院11階歯科放射線学講座研究室にて随時質問事項を受け付けています。

2025年度　　科目コード： 212111

歯科放射線学

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～4 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	実習	時間数	120	単位数	4
科目責任者	森本　泰宏						
担当教員	森本　泰宏,小田　昌史,若杉　奈緒,西村　瞬,松本　忍 （歯科放射線指導医）森本　泰宏、小田　昌史　（歯科放射線専門医）森本　泰宏、若杉　奈緒、小田　昌史、西村　瞬　（歯科放射線認定医）森本　泰宏、若杉　奈緒、小田　昌史、松本　忍、西村　瞬						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1,2	Teaching Filesの20例歯に生じる疾患について報告書を作成する。	実習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 松本　忍 西村　瞬	予習、復習として参考書を読む	
3,4	Teaching Filesの20例主に歯牙及び顎骨疾患について報告書を作成する。	実習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 松本　忍 西村　瞬	予習、復習として参考書を読む	
5,6	Teaching Filesの20例主に歯周疾患について報告書を作成する。	実習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 松本　忍 西村　瞬	予習、復習として参考書を読む	
7,8	Teaching Filesの20例主に歯周・顎骨疾患について報告書を作成する。	実習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 松本　忍 西村　瞬	予習、復習として参考書を読む	
9,10	Teaching Filesの20例主に口腔粘膜関連症例について報告書を作成する。（I）	実習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 松本　忍 西村　瞬	予習、復習として参考書を読む	
11,12	Teaching Filesの20例主に口腔粘膜関連症例について報告書を作成する。（II）	実習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 松本　忍 西村　瞬	予習、復習として参考書を読む	
13,14	Teaching Filesの20例主に旁咽頭間隙症例について報告書を作成する。	実習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 松本　忍 西村　瞬	予習、復習として参考書を読む	
15,16	Teaching Filesの20例主に頸動脈間隙・椎周囲間隙症例について報告書を作成する。	実習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 松本　忍 西村　瞬	予習、復習として参考書を読む	

2025年度　　科目コード： 212111

歯科放射線学

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～4 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	実習	時間数	120	単位数	4
科目責任者	森本　泰宏						
担当教員	森本　泰宏,小田　昌史,若杉　奈緒,西村　瞬,松本　忍 （歯科放射線指導医）森本　泰宏、小田　昌史　（歯科放射線専門医）森本　泰宏、若杉　奈緒、小田　昌史、西村　瞬　（歯科放射線認定医）森本　泰宏、若杉　奈緒、小田　昌史、松本　忍、西村　瞬						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
17,18	Teaching Filesの20例主に咽頭・喉頭症例について報告書を作成する。	実習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 松本　忍 西村　瞬	予習、復習として参考書を読む	
19,20	Teaching Filesの20例主に顎下間隙症例について報告書を作成する。（I）	実習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 松本　忍 西村　瞬	予習、復習として参考書を読む	
21,22	Teaching Filesの20例主に顎下間隙症例について報告書を作成する。（II）	実習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 松本　忍 西村　瞬	予習、復習として参考書を読む	
23,24	Teaching Filesの20例主に舌下間隙症例について報告書を作成する。（I）	実習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 松本　忍 西村　瞬	予習、復習として参考書を読む	
25,26	Teaching Filesの20例主に舌下間隙症例について報告書を作成する。（II）	実習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 松本　忍 西村　瞬	予習、復習として参考書を読む	
27,28	Teaching Filesの20例顎下・舌下間隙症例について報告書を作成する。	実習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 松本　忍 西村　瞬	予習、復習として参考書を読む	
29,30	Teaching Filesの20例主に咀嚼筋間隙症例について報告書を作成する。	実習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 松本　忍 西村　瞬	予習、復習として参考書を読む	
31,32	Teaching Filesの20例主に副鼻腔症例について報告書を作成する。	実習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 松本　忍 西村　瞬	予習、復習として参考書を読む	

2025年度　　科目コード： 212111

歯科放射線学

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	実習	**時間数**	120	**単位数**	4
科目責任者	森本　泰宏						
担当教員	森本　泰宏,小田　昌史,若杉　奈緒,西村　瞬,松本　忍 （歯科放射線指導医）森本　泰宏、小田　昌史　（歯科放射線専門医）森本　泰宏、若杉　奈緒、小田　昌史、西村　瞬　（歯科放射線認定医）森本　泰宏、若杉　奈緒、小田　昌史、松本　忍、西村　瞬						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
33,34	Teaching Filesの20例主に顎関節症例について報告書を作成する。	実習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 松本　忍 西村　瞬	予習、復習として参考書を読む	
35,36	Teaching Filesの20例主に上・下顎骨症例について報告書を作成する。	実習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 松本　忍 西村　瞬	予習、復習として参考書を読む	
37,38	Teaching Filesの20例主に咽頭後間隙症例について報告書を作成する。	実習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 松本　忍 西村　瞬	予習、復習として参考書を読む	
39,40	Teaching Filesの20例主に旁咽頭間隙・咽頭後間隙症例について報告書を作成する。	実習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 松本　忍 西村　瞬	予習、復習として参考書を読む	
41,42	Teaching Filesの20例主に咀嚼筋間隙・咽頭症例について報告書を作成する。	実習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 松本　忍 西村　瞬	予習、復習として参考書を読む	
43,44	Teaching Filesの20例主に咽頭症例について報告書を作成する。	実習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 松本　忍 西村　瞬	予習、復習として参考書を読む	
45,46	Teaching Filesの20例主に頸部リンパ節転移について報告書を作成する。	実習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 松本　忍 西村　瞬	予習、復習として参考書を読む	
47,48	Teaching Filesの20例主に頸部嚢胞性腫瘤について報告書を作成する。	実習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 松本　忍 西村　瞬	予習、復習として参考書を読む	

2025年度　　科目コード： 212111

歯科放射線学

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	実習	**時間数**	120	**単位数**	4
科目責任者	森本　泰宏						
担当教員	森本　泰宏,小田　昌史,若杉　奈緒,西村　瞬,松本　忍 （歯科放射線指導医）森本　泰宏、小田　昌史　（歯科放射線専門医）森本　泰宏、若杉　奈緒、小田　昌史、西村　瞬　（歯科放射線認定医）森本　泰宏、若杉　奈緒、小田　昌史、松本　忍、西村　瞬						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
49,50	Teaching Filesの20例主に唾液腺疾患について報告書を作成する。	実習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 松本　忍 西村　瞬	予習、復習として参考書を読む	
51,52	Teaching Filesの20例主に甲状腺・副甲状腺疾患について報告書を作成する。	実習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 松本　忍 西村　瞬	予習、復習として参考書を読む	
53,54	Teaching Filesの20例主に頭蓋底と側頭骨について報告書を作成する。	実習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 松本　忍 西村　瞬	予習、復習として参考書を読む	
55,56	Teaching Filesの20例全般的な症例について報告書を作成する。	実習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 松本　忍 西村　瞬	予習、復習として参考書を読む	
57,58	Teaching Filesの20例全般的な症例について報告書を作成する。	実習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 松本　忍 西村　瞬	予習、復習として参考書を読む	
59,60	Teaching Filesの20例全般的な症例について報告書を作成する。	実習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 松本　忍 西村　瞬	予習、復習として参考書を読む	

2025年度　　科目コード： 212112

歯科放射線学検討会

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	演習	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	森本　泰宏						
担当教員	森本　泰宏,小田　昌史,若杉　奈緒,西村　瞬,松本　忍 （歯科放射線指導医）森本　泰宏、小田　昌史 （歯科放射線専門医）森本　泰宏、若杉　奈緒、小田　昌史、西村　瞬 （歯科放射線認定医）森本　泰宏、若杉　奈緒、小田　昌史、松本　忍、西村　瞬						

授業の概要
歯科放射線診断学に関する読影を、カンファレンス形式で学ぶ。

学生の到達目標
実際の症例画像を正しく読影する能力を身につける。

テキスト

タイトル	著者	出版社
頭頸部のCT・MRI　第3版	尾尻博也・酒井修　編	メディカルサイエンスインターナショナル

参考書

タイトル	著者	出版社
Diagnostic Imaging Oral and Maxillofacial 2nd ed.	Koenig et al.	ELSEVIER

成績評価方法・基準

評価項目	割合
セミナー中の発表	50%
口頭試問	50%

その他
【オフィスアワー】講義の前後、またはメールで受け付ける。病院3階歯科放射線科診療室及び病院11階歯科放射線学講座研究室にて随時質問事項を受け付けています。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1～15	5症例の画像について画像所見と診断を検討し、読影レポートを作成	演習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 松本　忍 西村　瞬	予習、復習として参考書を読む	

2025年度　　科目コード： 212113

歯科放射線学概論

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～4 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	60	単位数	2
科目責任者	森本　泰宏						
担当教員	森本　泰宏,小田　昌史,若杉　奈緒,西村　瞬,松本　忍 （歯科放射線指導医）森本　泰宏、小田　昌史　（歯科放射線専門医）森本　泰宏、若杉　奈緒、小田　昌史、西村　瞬　（歯科放射線認定医）森本　泰宏、若杉　奈緒、小田　昌史、松本　忍、西村　瞬						

授業の概要

歯科放射線学は臨床系の学問ではあるが、基礎教科として物理学、生物学、解剖学、病理学の学習を必要とする。それらの科目を基礎として、画像診断学及び放射線治療学が成り立っていくのである。リサーチマインドを持ち将来歯科放射線学の研究者を目指すためにまず上記内容を高いレベル理解してもらうことが重要である。そこで、授業では「放射線概論」、「口腔解剖学」及び「Contemporary Oral and Maxillofacial Pathology」を教科書としてその中の日常臨床と関連する内容を発表形式で復習してもらう。その中で第一種放射線取扱主任者の合格、口腔解剖学及び口腔病理学の知識を掌握できることを目指してもらう。次に、それらの内容をベースにして画像診断学の修得を行ってもらう。具体的には、下記に示す教科書を用いて授業を行い、質の高い画像をもとに論理的に正しい診断手法を身に着けてもらう。そこで、臨床実践に則した形式で学んでもらうよう授業形態はゼミ方式をとり、使用教科書としては「頭頸部のCT・MRI」及び「頭頸部画像診断ハンドブック」を用いる。この本を分担して読みながら日常臨床に関連する内容を発表形式で授業する。

学生の到達目標

学部学生時代に学んだエックス線の発生原理、エックス線写真の画像化原理及びエックス線写真を作成するための手法について復習し、一歩進んだレベル迄把握することで、放射線物理学の科目で第一種放射線取扱主任者の合格レベルを充たす。同時に、放射線とはどのようなものであるかを理解し、放射線被曝により引き起こされる生物学的作用の発生機序及び疾患を深いレベル迄理解することで、放射線生物学における第一種放射線取扱主任者の合格レベルを充たす。同時に生物学的効果を利用した放射線治療法についても最新のガンマナイフ等を利用した治療の在り方について迄把握する。放射線の生物学的影響から放射線従事者の身体を守るための防護方法について法律学的立場からとそれに準じた具体的方策を理解し、第一種放射線取扱主任者試験の放射線防護学及び管理学に合格できるレベルを充たす。上記内容を把握した上で、頭頸部に発生する各種疾患に対して、歯科用エックス線写真、パノラマエックス線写真、CT、MRI、超音波、PET等を用いて作成された各種画像の対象疾患に対する特徴的所見を理解できる。更に、それら所見を論理的にしかも正確に評価し、質的及び部位的診断が総合的に高いレベルで実践できる。

参考書

タイトル	著者	出版社
頭頸部のCT・MRI		
頭頸部画像診断ハンドブック		
Contemporary Oral and Maxillofacial Pathology		
放射線概論		
口腔解剖学		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
発表	50%
口頭試問	50%

2025年度　　科目コード： 212113

歯科放射線学概論

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	60	**単位数**	2
科目責任者	森本　泰宏						
担当教員	森本　泰宏,小田　昌史,若杉　奈緒,西村　瞬,松本　忍 （歯科放射線指導医）森本　泰宏、小田　昌史 （歯科放射線専門医）森本　泰宏、若杉　奈緒、小田　昌史、西村　瞬 （歯科放射線認定医）森本　泰宏、若杉　奈緒、小田　昌史、松本　忍、西村　瞬						

その他

【オフィスアワー】講義の前後、またはメールで受け付ける。病院3階歯科放射線科診療室及び病院11階歯科放射線学講座研究室にて随時質問事項を受け付けています。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	放射線物理学：放射線の発生原理と物質との相互作用について理解する	講義・演習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 西村　瞬 松本　忍	予習、復習として参考書を読む	
2	放射線化学：放射性核種の製造、利用法について理解する	講義・演習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 西村　瞬 松本　忍	予習、復習として参考書を読む	
3	放射線生物学：放射線被曝により引き起こされる生物学的作用の発生機序及び代表的疾患について理解する	講義・演習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 西村　瞬 松本　忍	予習、復習として参考書を読む	
4	放射線測定技術：被曝線量の測定機器の原理と放射線測定の実際について理解する	講義・演習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 西村　瞬 松本　忍	予習、復習として参考書を読む	
5	放射線測定技術：放射線被曝に対する防護、事故防止のための放射線の管理技術について理解する	講義・演習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 西村　瞬 松本　忍	予習、復習として参考書を読む	
6	放射線に関する法令：放射線障害防止法の概要について理解する	講義・演習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 西村　瞬 松本　忍	予習、復習として参考書を読む	
7	写真工学：X線写真撮影を行った後それを画像化するために必要な処理方法を理解する	講義・演習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 西村　瞬 松本　忍	予習、復習として参考書を読む	

2025年度　　科目コード： 212113

歯科放射線学概論

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	60	**単位数**	2
科目責任者	森本　泰宏						
担当教員	森本　泰宏,小田　昌史,若杉　奈緒,西村　瞬,松本　忍 （歯科放射線指導医）森本　泰宏、小田　昌史 （歯科放射線専門医）森本　泰宏、若杉　奈緒、小田　昌史、西村　瞬 （歯科放射線認定医）森本　泰宏、若杉　奈緒、小田　昌史、松本　忍、西村　瞬						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
8	医用画像転送技術：現代の医学に欠かすことの出来ない医用画像転送技術の有益性と危険性を理解する	講義・演習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 西村　瞬 松本　忍	予習、復習として参考書を読む	
9	基礎放射線のまとめを行い、全内容を復習する。	講義・演習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 西村　瞬 松本　忍	予習、復習として参考書を読む	
10	画像検査法・単純エックス線検査：頭頸部領域の疾患に対して行われる単純エックス線検査の特徴とその画像上での所見について理解する	講義・演習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 西村　瞬 松本　忍	予習、復習として参考書を読む	
11	画像検査法・CT検査：CT検査の画像化機序および各種疾患におけるCT検査上での特徴的な所見について理解する	講義・演習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 西村　瞬 松本　忍	予習、復習として参考書を読む	
12	画像検査法・MRI検査：MRI検査の画像化機序および各種疾患におけるMRI検査上での特徴的な所見について理解する	講義・演習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 西村　瞬 松本　忍	予習、復習として参考書を読む	
13	画像検査法・超音波検査：超音波検査の画像化機序および各種疾患における超音波検査上での特徴的な所見について理解する	講義・演習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 西村　瞬 松本　忍	予習、復習として参考書を読む	
14	画像検査法・核医学検査：核医学検査法の種類及び画像化機序および各種疾患における核医学検査上での特徴的な所見について理解する	講義・演習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 西村　瞬 松本　忍	予習、復習として参考書を読む	
15	画像検査法のまとめ、全内容を復習する。	講義・演習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 西村　瞬 松本　忍	予習、復習として参考書を読む	

2025年度　　科目コード： 212113

歯科放射線学概論

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	60	**単位数**	2
科目責任者	森本　泰宏						
担当教員	森本　泰宏,小田　昌史,若杉　奈緒,西村　瞬,松本　忍 （歯科放射線指導医）森本　泰宏、小田　昌史 （歯科放射線専門医）森本　泰宏、若杉　奈緒、小田　昌史、西村　瞬 （歯科放射線認定医）森本　泰宏、若杉　奈緒、小田　昌史、松本　忍、西村　瞬						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
16	画像診断・副鼻腔：副鼻腔の解剖および副鼻腔に発生する各種疾患の特徴的画像所見について理解する	講義・演習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 西村　瞬 松本　忍	予習、復習として参考書を読む	
17	画像診断・顎関節：顎関節の解剖および顎関節に発生する各種疾患の特徴的画像所見について理解する	講義・演習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 西村　瞬 松本　忍	予習、復習として参考書を読む	
18	画像診断・下顎骨：下顎骨の解剖および下顎骨に発生する各種疾患の特徴的画像所見について理解する	講義・演習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 西村　瞬 松本　忍	予習、復習として参考書を読む	
19	画像診断・頭部筋膜間隙(Ⅰ)：旁咽頭間隙、咀嚼筋間隙、頚動脈間隙の解剖およびこれらの部位に発生する各種疾患の特徴的画像所見について理解する	講義・演習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 西村　瞬 松本　忍	予習、復習として参考書を読む	
20	画像診断・頭部筋膜間隙(Ⅱ)：咽頭後間隙、椎周囲間隙、舌下・顎下間隙の解剖およびこれらの部位に発生する各種疾患の特徴的画像所見について理解する	講義・演習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 西村　瞬 松本　忍	予習、復習として参考書を読む	
21	画像診断・中咽頭・口腔：中咽頭・口腔の解剖およびこれらの部位に発生する各種疾患の特徴的画像所見について理解する	講義・演習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 西村　瞬 松本　忍	予習、復習として参考書を読む	
22	画像診断・上咽頭・下咽頭・喉頭：上咽頭・下咽頭・喉頭の解剖およびこれらの部位に発生する各種疾患の特徴的画像所見について理解する	講義・演習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 西村　瞬 松本　忍	予習、復習として参考書を読む	
23	画像診断・頚部リンパ節転移：頚部リンパ節の解剖および頚部リンパ節転移の特徴的画像所見、頚部郭清術について理解する	講義・演習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 西村　瞬 松本　忍	予習、復習として参考書を読む	

2025年度　　科目コード： 212113

歯科放射線学概論

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	60	**単位数**	2
科目責任者	森本　泰宏						
担当教員	森本　泰宏,小田　昌史,若杉　奈緒,西村　瞬,松本　忍 （歯科放射線指導医）森本　泰宏、小田　昌史 （歯科放射線専門医）森本　泰宏、若杉　奈緒、小田　昌史、西村　瞬 （歯科放射線認定医）森本　泰宏、若杉　奈緒、小田　昌史、松本　忍、西村　瞬						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
24	画像診断・頸部嚢胞性腫瘤：頸部嚢胞性腫瘤の特徴的画像所見について理解する	講義・演習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 西村　瞬 松本　忍	予習、復習として参考書を読む	
25	画像診断・唾液腺：唾液腺の解剖および唾液腺に発生する各種疾患の特徴的画像所見について理解する	講義・演習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 西村　瞬 松本　忍	予習、復習として参考書を読む	
26	画像診断・甲状腺・副甲状腺：甲状腺・副甲状腺に発生する各種疾患の特徴的画像所見について理解する	講義・演習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 西村　瞬 松本　忍	予習、復習として参考書を読む	
27	画像診断・頭蓋底と側頭骨：頭蓋底と側頭骨に発生する各種疾患の特徴的画像所見について理解する	講義・演習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 西村　瞬 松本　忍	予習、復習として参考書を読む	
28	画像検査法のまとめ：実際の症例による画像診断演習を行う	講義・演習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 西村　瞬 松本　忍	予習、復習として参考書を読む	
29	頭頸部におけるInterventional Radiology：頭頸部の血管内治療の留意点・実際について理解する	講義・演習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 西村　瞬 松本　忍	予習、復習として参考書を読む	
30	放射線治療学：口腔癌の放射線治療についてその方法、作用機序及び効果的な腫瘍の種類について理解する	講義・演習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 西村　瞬 松本　忍	予習、復習として参考書を読む	

2025年度　　科目コード： 212114

歯科放射線学演習Ⅰ

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	森本　泰宏						
担当教員	森本　泰宏,小田　昌史,若杉　奈緒,西村　瞬,松本　忍 （歯科放射線指導医）森本　泰宏、小田　昌史　（歯科放射線専門医）森本　泰宏、若杉　奈緒、小田　昌史、西村　瞬　（歯科放射線認定医）森本　泰宏、若杉　奈緒、小田　昌史、松本　忍、西村　瞬						

授業の概要

歯科放射線学概論で学んだ内容を基にして、放射線診断学、放射線生物学及び放射線物理学実験の手技を学ぶ。同時にその実験手技を学ぶ際に必要な、第一種、第二種放射線取扱主任者免状取得に向けて演習を行う。

学生の到達目標

放射線診断学、放射線生物学及び放射線物理学実験の手技を理解できる。同時に、第一種もしくは第二種放射線取扱主任者試験の受験を目指し、知識を高める。

参考書

タイトル	著者	出版社
絵とき　放射線のやさしい知識		オーム社
初級放射線		通商産業研究社
放射線概論		通商産業研究社

成績評価方法・基準

評価項目	割合
発表	50%
口頭試問	50%

その他

【オフィスアワー】講義の前後、またはメールで受け付ける。病院3階歯科放射線科診療室及び病院11階歯科放射線学講座研究室にて随時質問事項を受け付けています。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	第一種及び二種放射線取扱主任者試験について受験の方法を理解する。	講義・演習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 松本　忍 西村　瞬	予習、復習として参考書を読む	

2025年度　　科目コード： 212114

歯科放射線学演習Ⅰ

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	森本　泰宏						
担当教員	森本　泰宏,小田　昌史,若杉　奈緒,西村　瞬,松本　忍 （歯科放射線指導医）森本　泰宏、小田　昌史　（歯科放射線専門医）森本　泰宏、若杉　奈緒、小田　昌史、西村　瞬　（歯科放射線認定医）森本　泰宏、若杉　奈緒、小田　昌史、松本　忍、西村　瞬						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
2	放射線の定義及びその発生原理について理解する。	講義・演習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 松本　忍 西村　瞬	予習、復習として参考書を読む	
3	放射線と物質との相互作用について理解する。	講義・演習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 松本　忍 西村　瞬	予習、復習として参考書を読む	
4	放射性核種の製造及び利用法について理解する。	講義・演習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 松本　忍 西村　瞬	予習、復習として参考書を読む	
5	被曝線量の測定機器の原理について理解する。	講義・演習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 松本　忍 西村　瞬	予習、復習として参考書を読む	
6	放射線管理技術について理解する。	講義・演習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 松本　忍 西村　瞬	予習、復習として参考書を読む	
7	放射線被曝に対する防護について理解する	講義・演習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 松本　忍 西村　瞬	予習、復習として参考書を読む	
8	放射線関連法規について理解する。（I）	講義・演習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 松本　忍 西村　瞬	予習、復習として参考書を読む	
9	放射線関連法規について理解する。（II）	講義・演習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 松本　忍 西村　瞬	予習、復習として参考書を読む	

2025年度　　科目コード： 212114

歯科放射線学演習Ⅰ

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	森本　泰宏						
担当教員	森本　泰宏,小田　昌史,若杉　奈緒,西村　瞬,松本　忍 （歯科放射線指導医）森本　泰宏、小田　昌史　（歯科放射線専門医）森本　泰宏、若杉　奈緒、小田　昌史、西村　瞬　（歯科放射線認定医）森本　泰宏、若杉　奈緒、小田　昌史、松本　忍、西村　瞬						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
10	放射線被曝により引き起こされる生物学的作用の発生機序及び代表的疾患について理解する。	講義・演習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 松本　忍 西村　瞬	予習、復習として参考書を読む	
11	放射性化学について理解する。（I）	講義・演習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 松本　忍 西村　瞬	予習、復習として参考書を読む	
12	放射性化学について理解する。（II）	講義・演習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 松本　忍 西村　瞬	予習、復習として参考書を読む	
13	第一種、第二種放射線取扱主任者試験の総合問題を解き、理解する。（I）	講義・演習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 松本　忍 西村　瞬	予習、復習として参考書を読む	
14	第一種、第二種放射線取扱主任者試験の総合問題を解き、理解する。（II）	講義・演習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 松本　忍 西村　瞬	予習、復習として参考書を読む	
15	第一種、第二種放射線取扱主任者試験の総合問題を解き、理解する。（III）	講義・演習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 松本　忍 西村　瞬	予習、復習として参考書を読む	

2025年度　　科目コード： 212115

歯科放射線学演習 II

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	森本　泰宏						
担当教員	森本　泰宏,小田　昌史,若杉　奈緒,西村　瞬,松本　忍 （歯科放射線指導医）森本　泰宏、小田　昌史　（歯科放射線専門医）森本　泰宏、若杉　奈緒、小田　昌史、西村　瞬　（歯科放射線認定医）森本　泰宏、若杉　奈緒、小田　昌史、松本　忍、西村　瞬						

授業の概要

歯科放射線学概論で学んだ内容を基にして、歯科放射線診断学に関する研究を行う。

学生の到達目標

一般的及び特殊なエックス線CT撮影を行い、付属ソフトを利用して画像解析技術を学び、研究に応用する。一般的及び特殊なMRI撮像を行い、付属ソフトを利用して画像解析が出来る。それにより画像を用いたin vitro、in vivo研究に応用できる。統計学的ソフトSPSSを使用し、臨床及び実験的データを分析できる。

参考書

タイトル	著者	出版社
CT、MRI撮像装置の撮像技術読本		
統計処理ソフトSPSSに関する本		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
発表	50%
口頭試問	50%

その他

【オフィスアワー】講義の前後、またはメールで受け付ける。病院3階歯科放射線科診療室及び病院11階歯科放射線学講座研究室にて随時質問事項を受け付けています。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	一般的エックス線CTの撮影及び画像処理について理解する。	講義・演習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 松本　忍 西村　瞬	予習、復習として参考書を読む	
2	血管描出用CTの撮影及び画像処理について理解する。	演習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 松本　忍 西村　瞬	予習、復習として参考書を読む	

2025年度　　科目コード： 212115

歯科放射線学演習 II

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	森本　泰宏						
担当教員	森本　泰宏,小田　昌史,若杉　奈緒,西村　瞬,松本　忍 （歯科放射線指導医）森本　泰宏、小田　昌史　（歯科放射線専門医）森本　泰宏、若杉　奈緒、小田　昌史、西村　瞬　（歯科放射線認定医）森本　泰宏、若杉　奈緒、小田　昌史、松本　忍、西村　瞬						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
3	統計処理ソフトSPSSを用いたデータ処理方法について理解する。（I）	講義・演習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 松本　忍 西村　瞬	予習、復習として参考書を読む	
4	一般的MRI撮影及び画像処理について理解する。（II）	講義・演習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 松本　忍 西村　瞬	予習、復習として参考書を読む	
5	一般的MRI撮影及び画像処理について理解する。（II）	演習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 松本　忍 西村　瞬	予習、復習として参考書を読む	
6	一般的MRI撮影及び画像処理について理解する。（III）	演習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 松本　忍 西村　瞬	予習、復習として参考書を読む	
7	特殊MRI撮影及び画像処理（Dynamic MR sialography（I））について理解する。	講義・演習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 松本　忍 西村　瞬	予習、復習として参考書を読む	
8	特殊MRI撮影及び画像処理（Dynamic MR sialography（II））について理解する。	演習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 松本　忍 西村　瞬	予習、復習として参考書を読む	
9	特殊MRI撮影及び画像処理（Functional MRI（I））について理解する。	講義・演習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 松本　忍 西村　瞬	予習、復習として参考書を読む	
10	特殊MRI撮影及び画像処理（Functional MRI（II））について理解する。	演習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 松本　忍 西村　瞬	予習、復習として参考書を読む	

2025年度　　科目コード： 212115

歯科放射線学演習 II

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	森本　泰宏						
担当教員	森本　泰宏,小田　昌史,若杉　奈緒,西村　瞬,松本　忍 （歯科放射線指導医）森本　泰宏、小田　昌史　（歯科放射線専門医）森本　泰宏、若杉　奈緒、小田　昌史、西村　瞬　（歯科放射線認定医）森本　泰宏、若杉　奈緒、小田　昌史、松本　忍、西村　瞬						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
11	特殊MRI撮影及び画像処理（Functional MRI（III））について理解する。	演習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 松本　忍 西村　瞬	予習、復習として参考書を読む	
12	特殊MRI撮影及び画像処理（MR angiography（I））について理解する。	講義・演習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 松本　忍 西村　瞬	予習、復習として参考書を読む	
13	特殊MRI撮影及び画像処理（MR angiography（II））について理解する。	演習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 松本　忍 西村　瞬	予習、復習として参考書を読む	
14	統計処理ソフトSPSSを用いたデータ処理方法について理解する。（II）	講義・演習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 松本　忍 西村　瞬	予習、復習として参考書を読む	
15	講義全ての総括を行い、CTやMRIの撮影及び画像処理について再確認する。	講義・演習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 松本　忍 西村　瞬	予習、復習として参考書を読む	

2025年度　　科目コード： 212116

歯科放射線学輪読会

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	演習	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	森本　泰宏						
担当教員	森本　泰宏,小田　昌史,若杉　奈緒,西村　瞬,松本　忍 （歯科放射線指導医）森本　泰宏、小田　昌史 （歯科放射線専門医）森本　泰宏、若杉　奈緒、小田　昌史、西村　瞬 （歯科放射線認定医）森本　泰宏、若杉　奈緒、小田　昌史、松本　忍、西村　瞬						

授業の概要

歯科放射線学のバイブルであるSom et alが記載した「Head and Neck Imaging」を読み、各疾患の画像を勉強する。

学生の到達目標

Som et alが記載した「Head and Neck Imaging」を読み、口腔・顎・顔面の各疾患の特徴的な画像所見を把握できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
Head and Neck Imaging 3rd edition, Som, Curtin et al Mosby 1996	Som, Curtin et al	Mosby

参考書

タイトル	著者	出版社
Head and Neck Imaging 3rd edition 1996	Som, Curtin et al	Mosby

成績評価方法・基準

評価項目	割合
輪読会中の発表	50%
口頭試問	50%

その他

【オフィスアワー】講義の前後、またはメールで受け付ける。病院3階歯科放射線科診療室及び病院11階歯科放射線学講座研究室にて随時質問事項を受け付けています。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1～15	「Head and Neck Imaging」を輪読する。	演習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 松本　忍 西村　瞬	予習、復習として参考書を読む	

2025年度　　科目コード： 212121

顎顔面外科学ベーシック治療学コース

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～3 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	実習	**時間数**	120	**単位数**	4
科目責任者	土生　学						
担当教員	土生　学,高橋　理,田部　士郎,原口　和也,森岡　政彦						

授業の概要

口腔外科学の治療に関する基本手技を修得する。また、口腔外科専門医となるための中・高難度手術についての理解を深めるとともに、全身麻酔を含めた全身管理の基本を理解し、救急救命処置が行えるようにする。

学生の到達目標

１．歯科の小手術を安全、確実に行うことができる。　２．中・高難度の口腔外科手術の実際が理解できる。　３．術前準備、術後手術創管理を行うことができる。　４．術前・術中・術後の全身管理を行うことができる。　５．救急救命処置を行うことができる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
Contemporary Oral and Maxillofacial Surgery	Mosby	

参考書

タイトル	著者	出版社
口腔外科ハンドマニュアル		クインテッセンス出版
口腔外科臨床ヒント集		クインテッセンス出版
その他、関連分野の文献および参考書は各自必要なものを選別する		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
ケースプレゼンテーション	30%
症状・手術レポート	30%
単位認定試験	40%

その他

学生相談：随時

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1,2	普通抜歯術を学習する。5症例以上を実施する	実習	高橋　理	参考書の予習復習	
3,4	難抜歯術を学習する。5症例以上を実施する	実習	高橋　理 原口　和也	参考書の予習復習	

2025年度　　科目コード： 212121

顎顔面外科学ベーシック治療学コース

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～3 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	実習	時間数	120	単位数	4
科目責任者	土生　学						
担当教員	土生　学,高橋　理,田部　士郎,原口　和也,森岡　政彦						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
5,6	簡単な埋伏歯抜歯術を学習する。5症例以上を実施する	実習	原口　和也	参考書の予習復習	
7,8	試問１、ディスカッションカンファレンスでの症例発表	ケースプレゼンテーション	土生　学	症例・手術レポート	
9,10	嚢胞摘出術を学習する。3症例以上を実施する	実習	原口　和也	参考書の予習復習	
11,12	歯根端切除術を学習する。3症例以上を実施する	実習	原口　和也	参考書の予習復習	
13,14	良性腫瘍摘出術を学習する。1症例以上を実施する	実習	原口　和也	参考書の予習復習	
15,16	補綴前外科手術を学習する。1症例以上を介助する	実習	田部　士郎	参考書の予習復習	
17,18	手術創感染予防を学習する。10症例上の術後管理を実施する	実習	田部　士郎	参考書の予習復習	
19,20	試問２、ディスカッションカンファレンスでの症例発表	ケースプレゼンテーション	土生　学	症例・手術レポート	
21,22	顎変形症の術前準備を学習する。2症例以上を実施する	実習	田部　士郎	参考書の予習復習	
23,24	顎変形症の手術を学習する。2症例以上を介助する	実習	田部　士郎	参考書の予習復習	
25,26	顎変形症の術後管理を学習する。2症例以上を実施する	実習	田部　士郎 森岡　政彦	参考書の予習復習	
27,28	試問３、ディスカッションカンファレンスでの症例発表	ケースプレゼンテーション	高橋　理	症例・手術レポート	
29,30	癌の化学療法を学習する。2症例以上を実施する	実習	森岡　政彦	参考書の予習復習	
31,32	癌の放射線療法を学習する。1症例以上見学をする	実習	森岡　政彦	参考書の予習復習	
33,34	口腔癌切除術を学習する。2症例以上を介助する	実習	森岡　政彦	参考書の予習復習	

2025年度　　科目コード： 212121

顎顔面外科学ベーシック治療学コース

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～3 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	実習	時間数	120	単位数	4
科目責任者	土生　学						
担当教員	土生　学,高橋　理,田部　士郎,原口　和也,森岡　政彦						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
35,36	口腔癌の再建法を学習する。2症例以上を介助する	実習	森岡　政彦	参考書の予習復習	
37,38	口腔癌の術後管理を学習する。2症例以上を実施する	実習	笹栗　正明	参考書の予習復習	
39,40	ターミナルケア1症例以上見学をする	実習	笹栗　正明	参考書の予習復習	
41,42	試問４、ディスカッションカンファレンスでの症例発表	ケースプレゼンテーション	高橋　理	症例・手術レポート	
43,44	顎関節症の外科的処置を学習する。1症例以上を介助する	実習	笹栗　正明	参考書の予習復習	
45,46	口唇口蓋裂の術前準備を学習する。1症例以上を実施する	実習	笹栗　正明	参考書の予習復習	
47,48	口唇口蓋裂の術後管理を学習する。1症例以上を実施する	実習	笹栗　正明	参考書の予習復習	
49,50	口唇口蓋裂の手術を学習する。1症例以上を介助する	実習	笹栗　正明	参考書の予習復習	
51,52	試問５、ディスカッションカンファレンスでの症例発表	ケースプレゼンテーション	高橋　理	症例・手術レポート	
53,54	静脈内鎮静法を学習する。1症例以上を見学する	実習	笹栗　正明	参考書の予習復習	
55,56	全身麻酔を学習する。1症例以上を見学する	実習	笹栗　正明	参考書の予習復習	
57,58	救急救命処置を学習する。BLSコースを受講する	実習	笹栗　正明	参考書の予習復習	
59,60	単位認定試験症例の総括を提出する	-	土生　学	-	

2025年度　　科目コード： 212122

顎顔面外科学ベーシック診断学コース

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～3 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	実習	**時間数**	120	**単位数**	4
科目責任者	土生　学						
担当教員	土生　学,高橋　理,田部　士郎,原口　和也,森岡　政彦						

授業の概要

口腔外科の各種疾患の診断の基本を修得する。顎関節症、歯科心身症（舌痛症など）や口腔粘膜疾患など口腔内科的な治療に関する基本知識を修得する。併せて、医の倫理を身につけ、高齢社会の中で遭遇頻度の高い全身疾患を理解し、関連医科との連携の下に歯科治療が行えるようにする。

学生の到達目標

１．診断のための適切な医療面接（情報収集）ができる。 ２．診断のために必要な画像診断法の選択ができる。 ３．各種画像の診断ができる。 ４．収集した情報を分析し、診断する基本を修得し、実践できる。 ５．口腔粘膜疾患の診断ができる。 ６．口腔粘膜疾患の基本治療ができる。 ７．顎関節症の診断ができる。 ８．顎関節症の基本治療ができる。 ９．遭遇頻度の高い全身疾患の病態が理解できる。 10．全身疾患を持つ患者に対し、医科との連携の下に必要な対応ができる。 11．医の倫理を身につけ、知識を高める。

テキスト

タイトル	著者	出版社
Contemporary Oral and Maxillofacial Surgery		Mosby

参考書

タイトル	著者	出版社
口腔外科ハンドマニュアル		クインテッセンス出版
口腔外科臨床ヒント集		クインテッセンス出版
その他、関連分野の文献および参考書は各自必要なものを選別する。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
ケースプレゼンテーション	30%
症状レポート	30%
単位認定試験	40%

その他

学生相談；随時

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1,2	医療面接（情報収集）10症例以上を実施する	実習	高橋　理	参考書の予習復習	

2025年度　　科目コード： 212122

顎顔面外科学ベーシック診断学コース

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～3 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	実習	時間数	120	単位数	4
科目責任者	土生　学						
担当教員	土生　学,高橋　理,田部　士郎,原口　和也,森岡　政彦						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
3,4	臨床検査の理解1：血液一般、生化学検査5症例以上を実施する	実習	高橋　理	参考書の予習復習	
5,6	臨床検査の理解2：血液一般、生化学検査5症例以上を実施する	実習	高橋　理 原口　和也	参考書の予習復習	
7,8	CTの読影10症例以上を実施する	実習	原口　和也	参考書の予習復習	
9,10	MRIの読影5症例以上を実施する	実習	原口　和也	参考書の予習復習	
11,12	超音波画像の読影5症例以上を実施する	実習	原口　和也	参考書の予習復習	
13,14	各種疾患の診断に必要な画像診断の選択10症例以上を実施する	実習	原口　和也	参考書の予習復習	
15,16	収集した情報の分析による診断5症例以上を実施する	実習	田部　士郎	参考書の予習復習	
17,18	試問１、ディスカッションカンファレンスでの症例発表	ケースプレゼンテーション	土生　学	症例レポート	
19,20	口腔粘膜疾患の診断１：病態病理学的側面3症例以上を実施する	実習	田部　士郎	参考書の予習復習	
21,22	口腔粘膜疾患の診断２：臨床的側面3症例以上を実施する	実習	田部　士郎	参考書の予習復習	
23,24	口腔粘膜疾患の基本治療3症例以上を実施する	実習	田部　士郎	参考書の予習復習	
25,26	歯性感染症の診断3症例以上を実施する	実習	田部　士郎 森岡　政彦	参考書の予習復習	
27,28	歯性感染症の基本治療3症例以上を実施する	実習	森岡　政彦	参考書の予習復習	
29,30	顎関節症の診断3症例以上を実施する	実習	森岡　政彦	参考書の予習復習	
31,32	顎関節症の基本治療3症例以上を実施する	実習	土生　学	参考書の予習復習	
33,34	歯科心身症の診断2症例以上を実施する	実習	森岡　政彦	参考書の予習復習	

2025年度　　科目コード： 212122

顎顔面外科学ベーシック診断学コース

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～3 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	実習	時間数	120	単位数	4
科目責任者	土生　学						
担当教員	土生　学,高橋　理,田部　士郎,原口　和也,森岡　政彦						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
35,36	歯科心身症の基本治療2症例以上を実施する	実習	笹栗　正明	参考書の予習復習	
37,38	試問２、ディスカッションカンファレンスでの症例発表	ケースプレゼンテーション	土生　学	症例レポート	
39,40	糖尿病患者の歯科治療についての理解3症例以上を実施する	実習	笹栗　正明	参考書の予習復習	
41,42	高血圧、心疾患患者の歯科治療についての理解3症例以上を実施する	実習	笹栗　正明	参考書の予習復習	
43,44	抗凝固療法中の患者の歯科治療についての理解3症例以上を実施する	実習	笹栗　正明	参考書の予習復習	
45,46	肝・腎疾患患者の歯科治療についての理解3症例以上を実施する	実習	笹栗　正明	参考書の予習復習	
47,48	ビスホスホネート製剤使用患者の歯科治療についての理解3症例以上を実施する	実習	笹栗　正明	参考書の予習復習	
49,50	医科との連携下の歯科治療の実際3症例以上を実施する	実習	笹栗　正明	参考書の予習復習	
51,52	試問３、ディスカッションカンファレンスでの症例発表	ケースプレゼンテーション	高橋　理	症例レポート	
53,54	医の倫理について講義を受講する	実習	笹栗　正明	参考書の予習復習	
55,56	POSについて講義を受講する	実習	笹栗　正明	参考書の予習復習	
57,58	試問５、ディスカッションカンファレンスでの症例発表	ケースプレゼンテーション	高橋　理	症例レポート	
59,60	単位認定試験症例の総括を提出する	-	土生　学	-	

2025年度　　科目コード： 212123

顎顔面外科学1(病理･病態解明)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～3 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	土生　学						
担当教員	土生　学,高橋高橋　理,田部　士郎,原口　和也,森岡　政彦						

授業の概要
口腔のさまざまな疾患モデルについての基本知識を修得する。

学生の到達目標
１．病理組織標本の作り方を修得し、実践できる。　２．免疫組織化学染色の基本を修得し、実践できる。　３．骨延長動物モデルの作製法を理解できる。　４．顎関節炎モデルの作製法を理解できる。　５．骨壊死モデルの作製法を理解できる。　６．移植腫瘍モデルの作製法を理解できる。　７．病態モデルの病理組織所見を判断できる。　８．病態モデルの免疫組織化学所見を判断できる。

参考書

タイトル	著者	出版社
関連分野の文献および参考書は各自必要なものを選別する。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
演習結果	50%
単位認定試験	50%

その他
学生相談：随時

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	病理標本の作製法１：標本固定から包埋までのプロセスを理解し、実際に行う。	講義・演習	高橋　理	参考書の予習・復習	
2	病理標本の作製法2：　硬組織脱灰法、標本薄切法を理解し、実際に行う。	講義・演習	高橋　理	参考書の予習・復習	
3	病理標本の作製法４：H・E染色の実際を学習する。	講義・演習	田部　士郎	参考書の予習・復習	
4	免疫組織化学染色法１：軟組織の免疫組織化学染色の実際を学習する。	講義・演習	田部　士郎	参考書の予習・復習	

2025年度　　科目コード： 212123

顎顔面外科学1(病理･病態解明)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～3 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	土生　学						
担当教員	土生　学,高橋高橋　理,田部　士郎,原口　和也,森岡　政彦						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
5	免疫組織化学染色法１：硬組織の免疫組織化学染色の実際を学習する。	講義・演習	原口　和也	参考書の予習・復習	
6	顎関節炎モデルの意義を理解し、作製法を学習する。	講義・演習	原口　和也	参考書の予習・復習	
7	顎関節炎モデルの病理所見を学習する。	講義	土生　学	参考書の予習・復習	
8	BRONJモデルの意義を理解し、作製法を学習する。	講義	土生　学	参考書の予習・復習	
9	骨粗鬆用動物におけるBRONJモデルの作製法を学習する。	講義	森岡　政彦	参考書の予習・復習	
10	BRONJモデルの病理所見を学習する。	講義	森岡　政彦	参考書の予習・復習	
11	BRONJモデルの免疫組織化学的所見を学習する	講義	笹栗　正明	参考書の予習・復習	
12	BRONJの治療法開発におけるモデルの応用を学習する	講義	笹栗　正明	参考書の予習・復習	
13	移植腫瘍モデルの意義を理解し、作製法を学習する。	講義	笹栗　正明	参考書の予習・復習	
14	移植腫瘍モデルの病理所見を学習する。	講義	笹栗　正明	参考書の予習・復習	
15	単位認定試験	-	土生　学	-	

2025年度　　科目コード： 212124

顎顔面外科学2(薬物･遺伝子導入)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～3 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	土生　学						
担当教員	土生　学,高橋　理,田部　士郎,原口　和也,森岡　政彦						

授業の概要
電気や超音波を用いた薬物・遺伝子導入法を修得する。

学生の到達目標
１．細胞培養の基本を修得し、実践できる。　２．菌体操作の基本を習得し、実践できる。　３．DNAの取り扱いの基本を修得し、実践できる。　４．エレクトロポレーション法（電気穿孔法）の基本を修得し、実践できる。　５．ソノポレーション法（超音波導入法）の基本を修得し、実践できる。　６．基本的な解析方法を修得し、実践できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
なし		

参考書

タイトル	著者	出版社
必ず上手くいく遺伝子導入と発現解析プロトコール		羊土社
アット・ザ・ベンチ　バイオ研究完全指南		メディカルサイエンスインターナショナル

成績評価方法・基準

評価項目	割合
演習結果	50%
単位認定試験	50%

その他
学生相談：随時

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	細胞培養１：無菌操作の基本、培養室への入り方を学習する。	講義・演習	高橋　理	参考書の予習・復習	
2,3	細胞培養２：細胞の継代を学習する。	講義・演習	原口　和也	参考書の予習・復習	
4	菌体操作：培養と維持を学習する。	講義・演習	高橋　理	参考書の予習・復習	
5,6	DNA取扱い：DNA抽出を学習する。	講義・演習	田部　士郎	参考書の予習・復習	

2025年度　　科目コード： 212124

顎顔面外科学2(薬物･遺伝子導入)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～3 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	土生　学						
担当教員	土生　学,高橋　理,田部　士郎,原口　和也,森岡　政彦						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
7	エレクトロポレーション法を学習する。	講義・演習	森岡　政彦	参考書の予習・復習	
8	ソノポレーション法を学習する。	講義・演習	森岡　政彦	参考書の予習・復習	
9,10	解析方法１：PCR法を学習する。	講義・演習	笹栗　正明	参考書の予習・復習	
11,12	解析方法２：ウェスタンブロッティング法を学習する。	講義・演習	笹栗　正明	参考書の予習・復習	
13,14	解析方法３：フローサイトメトリー法を学習する。	講義・演習	土生　学	参考書の予習・復習	
15	単位認定試験	-	土生　学	参考書の予習・復習	

2025年度　　科目コード： 212125

顎顔面外科学3(検討会)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1〜3 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	土生　学						
担当教員	土生　学,高橋　理,田部　士郎,原口　和也,森岡　政彦						

授業の概要

口腔外科学関連の最新の研究の動向を理解するために、英語文献の抄読を行う。 口腔外科の英文の教科書の輪読を行う。 各自の研究内容に対する報告会、ディスカッションを行う。 学内の各種チームアプローチ検討会への参加（顎関節症、顎変形症、口腔腫瘍、インプラント、ドライマウスなど）。

学生の到達目標

１．英語文献を読み込む能力を高める。 ２．研究の内容を理解できる。 ３．研究を批判する力を高める。 ４．研究の背景や動向を理解できる。 ５．学際的領域の理解を深める。

テキスト

タイトル	著者	出版社
なし		

参考書

タイトル	著者	出版社
関連分野の文献および参考書は各自必要なものを選別する。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
発表	100%

その他

学生相談：随時

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1〜15	研究の背景と最新の文献の内容、および関連分野の研究の今後の展望を理解する	輪読、抄読、文献紹介および討論	土生　学 高橋　理 田部　士郎 原口　和也 森岡　政彦 笹栗　正明	文献詳読および関連分野の調査	

2025年度　　科目コード： 212131

口腔内科学ベーシックコース

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	吉岡　泉						
担当教員	吉岡　泉,吉賀　大午,大谷　泰志,鶴島　弘基,坂口　修,早川　真奈,西牟田　文香,水田　奏						

授業の概要

口腔内科学(Oral medicine)は 歯科患者の口腔だけに視点を向けず、全身的背景を考慮した口腔疾患の診断と治療を目的とし、内科的なアプローチを主体として口腔の医療にあたる学問である。口腔内科の基本的な考え方について学ぶ。

学生の到達目標

1.　全身疾患を考えながら口腔疾患の診断と治療が進めることができる。2.　全身疾患を持った患者の口腔疾患の治療を行うに際して、全身疾患を把握し、口腔疾患の治療が全身に及ぼす影響と全身疾患が口腔疾患の治療に与える影響について理解を深める。 3.　他科の医師をはじめとした関連する職種の人達との医療連携、チーム医療を理解できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
プリント配布		

参考書

タイトル	著者	出版社
口腔外科学	白砂兼光、古郷幹彦編	医歯薬出版
口腔内科学	山根源之、草間幹夫、久保田英朗、中村誠司	永末書店

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	60%
演習課題	40%

その他

学生相談：月～金：17:00～

2025年度　　科目コード： 212131

口腔内科学ベーシックコース

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	吉岡　泉						
担当教員	吉岡　泉,吉賀　大午,大谷　泰志,鶴島　弘基,坂口　修,早川　真奈,西牟田　文香,水田　奏						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
			吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏		
1	口腔内科学総論・口腔内科診断学内科学的なアプローチによる口腔疾患の診断や治療法を学習し、口腔疾患と全身疾患の関連性を学習する。	講義・演習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏	文献、参考書予習	
2	口腔粘膜疾患の診断と治療口腔粘膜の構造と免疫学的特徴、口腔粘膜疾患の症候、診断法、治療法の概要を学習する。	講義・演習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏	講義・演習の復習と次回講義部分の予習	
3	顎関節症の診断と治療顎関節の機能と構造、顎関節症の分類、鑑別診断について学習する。	講義・演習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏	講義・演習の復習と次回講義部分の予習	
4	ドライマウスの診断と治療ドライマウスの分類、症状、鑑別疾患、治療法について学習する	講義・演習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏	講義・演習の復習と次回講義部分の予習	

2025年度　　科目コード： 212131

口腔内科学ベーシックコース

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	吉岡　泉						
担当教員	吉岡　泉,吉賀　大午,大谷　泰志,鶴島　弘基,坂口　修,早川　真奈,西牟田　文香,水田　奏						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
5	口腔心身症の診断と治療口腔心身症の分類、症状、鑑別疾患、治療法について学習する。	講義・演習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏	講義・演習の復習と次回講義部分の予習	
6	口腔顎顔面痛・味覚障害の診療口腔顎顔面痛・味覚障害を訴える患者の診断方法、治療方法について学習する。	講義・演習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏	講義・演習の復習と次回講義部分の予習	
7	抗菌薬の使い方抗菌薬の分類、特徴、使い方について学習する。	講義・演習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏	講義・演習の復習と次回講義部分の予習	
8	顎関節洗浄の実際関節腔洗浄療法について学習する。	講義・演習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏	講義・演習の復習と次回講義部分の予習	
9	がん治療における周術期口腔管理がん治療における周術期口腔管理の意義と実際の手技について学習する。	講義・演習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏	講義・演習の復習と次回講義部分の予習	

2025年度　　科目コード： 212131

口腔内科学ベーシックコース

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	吉岡　泉						
担当教員	吉岡　泉,吉賀　大午,大谷　泰志,鶴島　弘基,坂口　修,早川　真奈,西牟田　文香,水田　奏						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
10	口腔癌の非手術的治療法口腔癌の化学療法，免疫療法などの非手術的治療法について学習する。	講義・演習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏	講義・演習の復習と次回講義部分の予習	
11	循環器・呼吸器疾患患者の口腔治療循環器・呼吸器疾患患者の口腔疾患を治療する際の注意点について学習する。	講義	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏	講義・演習の復習と次回講義部分の予習	
12	代謝内分泌・婦人科疾患患者の口腔治療代謝内分泌・婦人科疾患患者の口腔疾患を治療する際の注意点について学習する。	講義	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏	講義・演習の復習と次回講義部分の予習	
13	消化器・泌尿器疾患患者の口腔治療消化器・泌尿器疾患患者の口腔疾患を治療する際の注意点について学習する。	講義	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏	講義・演習の復習と次回講義部分の予習	
14	血液・自己免疫疾患患者の口腔治療血液・自己免疫疾患患者の口腔疾患を治療する際の注意点について学習する	講義	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏	講義・演習の復習と次回講義部分の予習	

2025年度　　科目コード： 212131

口腔内科学ベーシックコース

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	吉岡　泉						
担当教員	吉岡　泉,吉賀　大午,大谷　泰志,鶴島　弘基,坂口　修,早川　真奈,西牟田　文香,水田　奏						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
15	医療連携・まとめチーム医療を行うのに必要な病診連携、病病連携、医科歯科連携、多職種連携、コンサルテーションについて学習する。	講義	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏	講義・演習の復習	

2025年度　　科目コード： 212132

口腔内科学アドバンスコースⅠ

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	実習	**時間数**	120	**単位数**	4
科目責任者	吉岡　泉						
担当教員	吉岡　泉,吉賀　大午,大谷　泰志,鶴島　弘基,坂口　修,早川　真奈,西牟田　文香,水田　奏						

授業の概要
口腔内科的疾患の検査法および治療法を、実習を通して学ぶ。

学生の到達目標
全身疾患を考えながら口腔疾患の診断と治療が進めることができる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
プリント配布		

参考書

タイトル	著者	出版社
口腔外科学	白砂兼光、 古郷幹彦編	医歯薬出版
口腔内科学	山根源之 草間幹夫 久保田英朗 中村誠司	永末書店

成績評価方法・基準

評価項目	割合
ケースプレゼンテーション	60%
レポート	40%

その他
学生相談：月～金：17:00～

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
			吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏		

2025年度　　科目コード： 212132

口腔内科学アドバンスコースⅠ

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	実習	**時間数**	120	**単位数**	4
科目責任者	吉岡　泉						
担当教員	吉岡　泉,吉賀　大午,大谷　泰志,鶴島　弘基,坂口　修,早川　真奈,西牟田　文香,水田　奏						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1,2	口腔粘膜疾患診断のための情報収集医療面接について学習する。	実習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 西牟田　文香 坂口　修 早川　真奈 水田　奏	医療面接10症例以上を実施する。	
3,4	口腔粘膜疾患診断のための情報収集血液検査、細胞診、生検など検査方法について学習する。	実習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 西牟田　文香 坂口　修 早川　真奈 水田　奏	血液検査、細胞診、生検5症例以上を実施する。	
5,6	口腔粘膜疾患診断のための仮説の設定・評価・検証・診断診断の思考プロセスについて学習する。	実習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 西牟田　文香 坂口　修 早川　真奈 水田　奏	診断方法５症例以上を実施する。	
7,8	口腔粘膜疾患の治療治療法について学習する。	実習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 西牟田　文香 坂口　修 早川　真奈 水田　奏	口腔粘膜疾患の治療法5症例以上を実施する。	
9,10	顎関節疾患診断のための情報収集医療面接について学習する。	実習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 西牟田　文香 坂口　修 早川　真奈 水田　奏	医療面接10症例以上を実施する。	

2025年度　　科目コード： 212132

口腔内科学アドバンスコースⅠ

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～4 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	実習	時間数	120	単位数	4
科目責任者	吉岡　泉						
担当教員	吉岡　泉,吉賀　大午,大谷　泰志,鶴島　弘基,坂口　修,早川　真奈,西牟田　文香,水田　奏						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
11,12	顎関節疾患診断のための情報収集画像検査など検査方法について学習する。	実習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 西牟田　文香 坂口　修 早川　真奈 水田　奏	顎関節の画像検査5症例以上を実施する。	
13,14	顎関節疾患診断のための仮説の設定・評価・検証・診断診断の思考プロセスについて学習する。	実習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 西牟田　文香 坂口　修 早川　真奈 水田　奏	顎関節疾患診断5症例以上を実施する。	
15,16	顎関節症の治療１運動療法について学習する。	実習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 西牟田　文香 坂口　修 早川　真奈 水田　奏	運動療法5症例以上を実施する。	
17,18	顎関節症の治療２スプリント療法について学習する。	実習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 西牟田　文香 坂口　修 早川　真奈 水田　奏	スプリント療法1症例以上を実施する。	
19,20	顎関節症の治療３マニピュレーションについて学習する。	実習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 西牟田　文香 坂口　修 早川　真奈 水田　奏	マニピュレーション1症例以上を実施する。	

2025年度　　科目コード： 212132

口腔内科学アドバンスコースⅠ

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～4 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	実習	時間数	120	単位数	4
科目責任者	吉岡　泉						
担当教員	吉岡　泉,吉賀　大午,大谷　泰志,鶴島　弘基,坂口　修,早川　真奈,西牟田　文香,水田　奏						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
21,22	顎関節症の治療４上関節腔洗浄療法について学習する。	実習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 西牟田　文香 坂口　修 早川　真奈 水田　奏	上関節腔洗浄療法1症例以上を説明する。	
23,24	顎関節症の治療５理学療法について学習する。	実習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 西牟田　文香 坂口　修 早川　真奈 水田　奏	理学療法5症例以上を実施する。	
25,26	顎関節脱臼の治療１保存的治療について学習する。	実習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 西牟田　文香 坂口　修 早川　真奈 水田　奏	顎関節脱臼の保存的治療1症例以上を説明する。	
27,28	顎関節脱臼の治療２手術治療について学習する。	実習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 西牟田　文香 坂口　修 早川　真奈 水田　奏	顎関節脱臼の手術療法1症例以上を説明する。	
29,30	その他の顎関節疾患の治療治療法選択について学習する。	実習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 西牟田　文香 坂口　修 早川　真奈 水田　奏	その他の顎関節疾患1症例以上を説明する。	

2025年度　　科目コード： 212132

口腔内科学アドバンスコースⅠ

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	実習	**時間数**	120	**単位数**	4
科目責任者	吉岡　泉						
担当教員	吉岡　泉,吉賀　大午,大谷　泰志,鶴島　弘基,坂口　修,早川　真奈,西牟田　文香,水田　奏						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
31,32	ドライマウス診断のための情報収集医療面接について学習する。	実習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 西牟田　文香 坂口　修 早川　真奈 水田　奏	医療面接5症例以上を実施する。	
33,34	ドライマウス診断のための情報収集血液検査、生検、画像検査など検査方法について学習する。	実習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 西牟田　文香 坂口　修 早川　真奈 水田　奏	血液検査、生検、画像検査5症例以上を実施する。	
35,36	ドライマウス診断のための仮説の設定・評価・検証・診断診断の思考プロセスについて学習する。	実習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 西牟田　文香 坂口　修 早川　真奈 水田　奏	ドライマウス診断5症例以上を実施する。	
37,38	ドライマウスの治療治療法について学習する。	実習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 西牟田　文香 坂口　修 早川　真奈 水田　奏	ドライマウス治療5症例以上を実施する。	
39,40	口腔心身症診断のための情報収集医療面接について学習する。	実習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 西牟田　文香 坂口　修 早川　真奈 水田　奏	医療面接3症例以上を実施する。	

2025年度　　科目コード： 212132

口腔内科学アドバンスコースⅠ

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	実習	**時間数**	120	**単位数**	4
科目責任者	吉岡　泉						
担当教員	吉岡　泉,吉賀　大午,大谷　泰志,鶴島　弘基,坂口　修,早川　真奈,西牟田　文香,水田　奏						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
41,42	口腔心身症診断のための情報収集心理検査など検査方法について学習する。	実習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 西牟田　文香 坂口　修 早川　真奈 水田　奏	心理検査1症例以上を実施する。	
43,44	口腔心身症診断のための仮説の設定・評価・検証・診断診断の思考プロセスについて学習する。	実習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 西牟田　文香 坂口　修 早川　真奈 水田　奏	口腔心身症診断1症例以上を実施する。	
45,46	口腔心身症の治療治療法について学習する。	実習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 西牟田　文香 坂口　修 早川　真奈 水田　奏	口腔心身症の治療1症例以上を実施する。	
47,48	口腔顎顔面痛診断のための情報収集医療面接について学習する。	実習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 西牟田　文香 坂口　修 早川　真奈 水田　奏	医療面接1症例以上を実施する。	
49,50	口腔顎顔面痛診断のための情報収集血液検査など検査方法について学習する。	実習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 西牟田　文香 坂口　修 早川　真奈 水田　奏	血液検査1症例以上を実施する。	

2025年度　　科目コード： 212132

口腔内科学アドバンスコースⅠ

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	実習	**時間数**	120	**単位数**	4
科目責任者	吉岡　泉						
担当教員	吉岡　泉,吉賀　大午,大谷　泰志,鶴島　弘基,坂口　修,早川　真奈,西牟田　文香,水田　奏						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
51,52	口腔顎顔面痛診断のための仮説の設定・評価・検証・診断診断の思考プロセスについて学習する。	実習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 西牟田　文香 坂口　修 早川　真奈 水田　奏	口腔顎顔面痛の診断1症例以上を実施する。	
53,54	口腔顎顔面痛の治療治療法について学習する。	実習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 西牟田　文香 坂口　修 早川　真奈 水田　奏	口腔顎顔面痛の治療1症例以上を実施する。	
55,56	がん化学療法の全身管理がん化学療法の全身管理について学習する	実習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 西牟田　文香 坂口　修 早川　真奈 水田　奏	がん化学療法1症例以上を説明する。	
57,58	がん放射線治療の周術期管理がん放射線治療の周術期管理について学習する	実習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 西牟田　文香 坂口　修 早川　真奈 水田　奏	がん放射線治療1症例以上を説明する。	
59,60	がん分子標的薬治療の周術期管理がん分子標的薬治療の周術期管理について学習する	実習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 西牟田　文香 坂口　修 早川　真奈 水田　奏	がん分子標的薬治療1症例以上を説明する。	

2025年度　　科目コード： 212133

口腔内科学アドバンスコースII

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	実習	**時間数**	60	**単位数**	2
科目責任者	吉岡　泉						
担当教員	吉岡　泉,吉賀　大午,大谷　泰志,鶴島　弘基,坂口　修,早川　真奈,西牟田　文香,水田　奏						

授業の概要
全身疾患を持った患者の口腔治療を、実習を通して学ぶ。

学生の到達目標
全身疾患を持った患者の口腔疾患の治療を行うに際して、全身疾患を把握し、口腔疾患の治療が全身に及ぼす影響と全身疾患が口腔疾患の治療に与える影響について理解できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
プリント配布		

参考書

タイトル	著者	出版社
口腔外科学	白砂兼光、古郷幹彦編	医歯薬出版
口腔内科学	山根源之、草間幹夫、久保田英朗、中村誠司	永末書店

成績評価方法・基準

評価項目	割合
ケースプレゼンテーション	60%
レポート	40%

その他
学生相談：月～金：17:00～

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
			吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏		

2025年度　　科目コード： 212133

口腔内科学アドバンスコースII

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	実習	**時間数**	60	**単位数**	2
科目責任者	吉岡　泉						
担当教員	吉岡　泉,吉賀　大午,大谷　泰志,鶴島　弘基,坂口　修,早川　真奈,西牟田　文香,水田　奏						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1,2	高血圧症高血圧症患者の口腔治療について学習する。	実習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏	高血圧症2症例以上を実施する。	
3,4	心疾患心疾患患者の口腔治療について学習する。	実習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏	心疾患2症例以上を実施する。	
5,6	呼吸器疾患呼吸器疾患患者の口腔治療について学習する。	実習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏	呼吸器疾患2症例以上を実施する。	
7,8	糖尿病糖尿病患者の口腔治療について学習する。	実習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏	糖尿病2症例以上を実施する。	
9,10	婦人科疾患・妊婦婦人科疾患患者・妊婦の口腔治療について学習する。	実習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏	婦人科疾患・妊婦2症例以上を実施する。	

2025年度　　科目コード： 212133

口腔内科学アドバンスコースII

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	実習	**時間数**	60	**単位数**	2
科目責任者	吉岡　泉						
担当教員	吉岡　泉,吉賀　大午,大谷　泰志,鶴島　弘基,坂口　修,早川　真奈,西牟田　文香,水田　奏						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
11,12	血液疾患血液疾患患者の口腔治療について学習する。	実習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏	血液疾患2症例以上を実施する。	
13,14	自己免疫疾患自己免疫疾患患者の口腔治療について学習する。	実習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏	自己免疫疾患2症例以上を実施する。	
15,16	肝疾患肝疾患患者の口腔治療について学習する。	実習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏	肝疾患2症例以上を実施する。	
17,18	腎疾患腎疾患患者の口腔治療について学習する。	実習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏	腎疾患2症例以上を実施する。	
19,20	整形外科疾患整形外科患者の口腔治療について学習する。	実習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏	整形外科2症例以上を実施する。	

2025年度　　科目コード： 212133

口腔内科学アドバンスコースII

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	実習	**時間数**	60	**単位数**	2
科目責任者	吉岡　泉						
担当教員	吉岡　泉,吉賀　大午,大谷　泰志,鶴島　弘基,坂口　修,早川　真奈,西牟田　文香,水田　奏						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
21,22	精神疾患精神疾患患者の口腔治療について学習する。	実習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏	精神疾患2症例以上を実施する。	
23,24	脳神経外科疾患脳神経外科患者の口腔治療について学習する。	実習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏	脳神経外科疾患2症例以上を実施する。	
25,26	耳鼻咽喉科疾患耳鼻咽喉科疾患患者の口腔治療について学習する。	実習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏	耳鼻咽喉科疾患2症例以上を実施する。	
27,28	感染症感染症患者の口腔治療について学習する。	実習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏	感染症2症例以上を実施する。	
29,30	皮膚科疾患眼科患者の口腔治療について学習する。	実習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏	皮膚科疾患2症例以上を実施する。	

2025年度　　科目コード： 212134

口腔内科学アドバンスコースIII

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	実習	**時間数**	60	**単位数**	2
科目責任者	吉岡　泉						
担当教員	吉岡　泉,吉賀　大午,大谷　泰志,鶴島　弘基,坂口　修,早川　真奈,西牟田　文香,水田　奏						

授業の概要
医療連携を、実習を通して学ぶ。

学生の到達目標
他科の医師をはじめとした関連する職種の人達との医療連携、チーム医療を理解できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
プリント配布		

参考書

タイトル	著者	出版社
口腔外科学	白砂兼光、古郷幹彦編	医歯薬出版
口腔内科学	山根源之、草間幹夫、久保田英朗、中村誠司	永末書店

成績評価方法・基準

評価項目	割合
ケースプレゼンテーション	60%
レポート	40%

その他
連絡先：月～金：17:00～　大谷泰志

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
			吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏		

2025年度　　科目コード： 212134

口腔内科学アドバンスコースIII

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	実習	**時間数**	60	**単位数**	2
科目責任者	吉岡　泉						
担当教員	吉岡　泉,吉賀　大午,大谷　泰志,鶴島　弘基,坂口　修,早川　真奈,西牟田　文香,水田　奏						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1,2,3,4	病診連携病診連携について学習する。	実習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏	病診連携各回2症例以上を実施する。	
5,6	コンサルテーションコンサルテーションについて学習する。	実習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏	コンサルテーション各回2症例以上を実施する。	
7,,8	医科歯科連携医科歯科連携について学習する。	実習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏	医科歯科連携各回2症例以上を実施する。	
9,10	多職種連携医師との連携について学習する。	実習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏	多職種連携各回2症例以上を実施する。	
11,12	多職種連携看護師との連携について学習する。	実習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏	多職種連携各回2症例以上を実施する。	

2025年度　　科目コード： 212134

口腔内科学アドバンスコースIII

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	実習	**時間数**	60	**単位数**	2
科目責任者	吉岡　泉						
担当教員	吉岡　泉,吉賀　大午,大谷　泰志,鶴島　弘基,坂口　修,早川　真奈,西牟田　文香,水田　奏						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
13,14	多職種連携栄養士との連携について学習する。	実習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏	多職種連携各回2症例以上を実施する。	
15,16	多職種連携歯科衛生士との連携について学習する。	実習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏	多職種連携各回2症例以上を実施する。	
17,18	多職種連携メディカルソシャルワーカーとの連携について学習する。	実習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏	多職種連携各回1症例以上を実施する。	
19,20	多職種連携介護士との連携について学習する。	実習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏	多職種連携各回1症例以上を実施する。	
21,22	多職種連携医療事務との連携について学習する。	実習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏	多職種連携各回1症例以上を実施する。	

2025年度　　科目コード： 212134

口腔内科学アドバンスコースIII

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	実習	**時間数**	60	**単位数**	2
科目責任者	吉岡　泉						
担当教員	吉岡　泉,吉賀　大午,大谷　泰志,鶴島　弘基,坂口　修,早川　真奈,西牟田　文香,水田　奏						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
23,24	がん周術期口腔管理１がん化学療法患者の口腔管理について学習する。	実習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏	がん周術期口腔管理各回1症例以上を実施する。	
25,26	がん周術期口腔管理２放射線治療患者の口腔管理について学習する。	実習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏	がん周術期口腔管理各回1症例以上を実施する。	
27,28	骨吸収抑制薬使用患者の口腔管理骨吸収抑制薬使用患者の口腔管理について学習する。	実習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏	骨吸収抑制薬各回2症例以上を実施する。	
29,30	骨吸収抑制薬使用患者の口腔管理骨吸収抑制薬関連顎骨壊死治療について学習する。	実習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏	骨吸収抑制薬関連顎骨壊死各回2症例以上を実施する。	
			吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏		

2025年度　　科目コード： 212135

口腔内科学Ⅰ(顎変形症)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	吉岡　泉						
担当教員	吉岡　泉,吉賀　大午,大谷　泰志,鶴島　弘基,坂口　修,早川　真奈,西牟田　文香,水田　奏						

授業の概要
顎変形症研究の知識と技能を習得する。

学生の到達目標
1.　顎変形症の形態の分析・評価方法を理解できる。2.　顎変形症の機能の分析・評価方法を理解できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
プリント配布		

参考書

タイトル	著者	出版社
口腔外科学	白砂兼光、 古郷幹彦編	医歯薬出版
口腔内科学	山根源之 草間幹夫 久保田英朗 中村誠司	永末書店

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	60%
演習課題	40%

その他
学生相談：月～金：17:00～

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
			吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏		

2025年度　　科目コード： 212135

口腔内科学Ⅰ(顎変形症)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	吉岡　泉						
担当教員	吉岡　泉,吉賀　大午,大谷　泰志,鶴島　弘基,坂口　修,早川　真奈,西牟田　文香,水田　奏						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	顎変形症研究の動向顎変形症研究の動向について学習する。	講義・演習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏	顎変形症研究の動向	
2	顎変形症の検査顎変形症の検査について学習する。	講義・演習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏	顎変形症の検査	
3	顎変形症の分析顎変形症の分析について学習する。	講義・演習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏	顎変形症の分析	
4	顎変形症の術前評価顎変形症の術前評価について学習する。	講義・演習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏	顎変形症の術前評価	
5	顎変形症の術前情報の統合顎変形症の術前情報の統合について学習する	講義・演習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏	顎変形症の術前情報の統合	

2025年度　　科目コード： 212135

口腔内科学Ⅰ(顎変形症)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	吉岡　泉						
担当教員	吉岡　泉,吉賀　大午,大谷　泰志,鶴島　弘基,坂口　修,早川　真奈,西牟田　文香,水田　奏						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
6	顎変形症の医療連携顎変形症の医療連携について学習する。	講義・演習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏	顎変形症の医療連携	
7	顎変形症の手術顎変形症の手術について学習する。	講義・演習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏	顎変形症の手術	
8	顎変形症の術後評価顎変形症の術後評価について学習する。	講義・演習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏	顎変形症の術後評価	
9	顎変形症の咀嚼機能顎変形症の咀嚼機能について学習する。	講義・演習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏	顎変形症の咀嚼機能	
10	顎変形症患者の心理的評価顎変形症患者の心理的評価について学習する。	講義・演習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏	顎変形症患者の心理的評価	

2025年度　　科目コード： 212135

口腔内科学Ⅰ(顎変形症)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	吉岡　泉						
担当教員	吉岡　泉,吉賀　大午,大谷　泰志,鶴島　弘基,坂口　修,早川　真奈,西牟田　文香,水田　奏						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
11	顎変形症と呼吸機能顎変形症と呼吸機能について学習する。	講義・演習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏	顎変形症と呼吸機能	
12	顎変形症と構音機能顎変形症と構音機能について学習する。	講義・演習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏	顎変形症と構音機能	
13	顎変形症と消化機能顎変形症と消化機能について学習する。	講義・演習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏	顎変形症と消化機能	
14	顎変形症の3次元的評価顎変形症の3次元的評価について学習する。	講義・演習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏	顎変形症の3次元的評価	
15	顎変形症の遺伝学的特徴顎変形症の遺伝学的特徴について学習する。	講義・演習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏	顎変形症の遺伝学的特徴	

2025年度　　科目コード： 212136

口腔内科学Ⅱ

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	吉岡　泉						
担当教員	吉岡　泉,吉賀　大午,大谷　泰志,鶴島　弘基,坂口　修,早川　真奈,西牟田　文香,水田　奏						

授業の概要
医療連携を、実習を通して学ぶ。

学生の到達目標
他科の医師をはじめとした関連する職種の人達との医療連携、チーム医療を理解できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
プリント配布		

参考書

タイトル	著者	出版社
口腔外科学	白砂兼光、古郷幹彦編	医歯薬出版
口腔内科学	山根源之、草間幹夫、久保田英朗、中村誠司	永末書店

成績評価方法・基準

評価項目	割合
ケースプレゼンテーション	60%
レポート	40%

その他
連絡先：月～金：17:00～　大谷泰志

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
			吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏		

2025年度　　科目コード： 212136

口腔内科学Ⅱ

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	吉岡　泉						
担当教員	吉岡　泉,吉賀　大午,大谷　泰志,鶴島　弘基,坂口　修,早川　真奈,西牟田　文香,水田　奏						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1,2,3,4	病診連携病診連携について学習する。	実習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏	病診連携各回2症例以上を実施する。	
5,6	コンサルテーションコンサルテーションについて学習する。	実習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏	コンサルテーション各回2症例以上を実施する。	
7,,8	医科歯科連携医科歯科連携について学習する。	実習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏	医科歯科連携各回2症例以上を実施する。	
9,10	多職種連携医師との連携について学習する。	実習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏	多職種連携各回2症例以上を実施する。	
11,12	多職種連携看護師との連携について学習する。	実習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏	多職種連携各回2症例以上を実施する。	

2025年度　　科目コード： 212136

口腔内科学Ⅱ

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～4 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	吉岡　泉						
担当教員	吉岡　泉,吉賀　大午,大谷　泰志,鶴島　弘基,坂口　修,早川　真奈,西牟田　文香,水田　奏						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
13,14	多職種連携栄養士との連携について学習する。	実習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏	多職種連携各回2症例以上を実施する。	
15,16	多職種連携歯科衛生士との連携について学習する。	実習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏	多職種連携各回2症例以上を実施する。	
17,18	多職種連携メディカルソシャルワーカーとの連携について学習する。	実習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏	多職種連携各回1症例以上を実施する。	
19,20	多職種連携介護士との連携について学習する。	実習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏	多職種連携各回1症例以上を実施する。	
21,22	多職種連携医療事務との連携について学習する。	実習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏	多職種連携各回1症例以上を実施する。	

2025年度　　科目コード： 212136

口腔内科学Ⅱ

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	吉岡　泉						
担当教員	吉岡　泉,吉賀　大午,大谷　泰志,鶴島　弘基,坂口　修,早川　真奈,西牟田　文香,水田　奏						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
23,24	がん周術期口腔管理１がん化学療法患者の口腔管理について学習する。	実習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏	がん周術期口腔管理各回1症例以上を実施する。	
25,26	がん周術期口腔管理２放射線治療患者の口腔管理について学習する。	実習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏	がん周術期口腔管理各回1症例以上を実施する。	
27,28	骨吸収抑制薬使用患者の口腔管理骨吸収抑制薬使用患者の口腔管理について学習する。	実習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏	骨吸収抑制薬各回2症例以上を実施する。	
29,30	骨吸収抑制薬使用患者の口腔管理骨吸収抑制薬関連顎骨壊死治療について学習する。	実習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏	骨吸収抑制薬関連顎骨壊死各回2症例以上を実施する。	
			吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏		

2025年度　　科目コード： 212137

口腔内科学III

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～4 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	吉岡　泉						
担当教員	吉岡　泉,吉賀　大午,大谷　泰志,鶴島　弘基,坂口　修,早川　真奈,西牟田　文香,水田　奏						

授業の概要
医療連携を、実習を通して学ぶ。

学生の到達目標
他科の医師をはじめとした関連する職種の人達との医療連携、チーム医療を理解できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
プリント配布		

参考書

タイトル	著者	出版社
口腔外科学	白砂兼光、古郷幹彦編	医歯薬出版
口腔内科学	山根源之、草間幹夫、久保田英朗、中村誠司	永末書店

成績評価方法・基準

評価項目	割合
ケースプレゼンテーション	60%
レポート	40%

その他
連絡先：月～金：17:00～　吉岡

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
			吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏		

2025年度　　科目コード： 212137

口腔内科学III

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～4 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	吉岡　泉						
担当教員	吉岡　泉,吉賀　大午,大谷　泰志,鶴島　弘基,坂口　修,早川　真奈,西牟田　文香,水田　奏						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1,2,3,4	病診連携病診連携について学習する。	実習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏	病診連携各回2症例以上を実施する。	
5,6	コンサルテーションコンサルテーションについて学習する。	実習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏	コンサルテーション各回2症例以上を実施する。	
7,,8	医科歯科連携医科歯科連携について学習する。	実習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏	医科歯科連携各回2症例以上を実施する。	
9,10	多職種連携医師との連携について学習する。	実習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏	多職種連携各回2症例以上を実施する。	
11,12	多職種連携看護師との連携について学習する。	実習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏	多職種連携各回2症例以上を実施する。	

2025年度　　科目コード： 212137

口腔内科学III

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～4 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	吉岡　泉						
担当教員	吉岡　泉,吉賀　大午,大谷　泰志,鶴島　弘基,坂口　修,早川　真奈,西牟田　文香,水田　奏						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
13,14	多職種連携栄養士との連携について学習する。	実習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏	多職種連携各回2症例以上を実施する。	
15,16	多職種連携歯科衛生士との連携について学習する。	実習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏	多職種連携各回2症例以上を実施する。	
17,18	多職種連携メディカルソシャルワーカーとの連携について学習する。	実習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏	多職種連携各回1症例以上を実施する。	
19,20	多職種連携介護士との連携について学習する。	実習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏	多職種連携各回1症例以上を実施する。	
21,22	多職種連携医療事務との連携について学習する。	実習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏	多職種連携各回1症例以上を実施する。	

2025年度　　科目コード： 212137

口腔内科学III

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～4 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	吉岡　泉						
担当教員	吉岡　泉,吉賀　大午,大谷　泰志,鶴島　弘基,坂口　修,早川　真奈,西牟田　文香,水田　奏						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
23,24	がん周術期口腔管理１がん化学療法患者の口腔管理について学習する。	実習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏	がん周術期口腔管理各回1症例以上を実施する。	
25,26	がん周術期口腔管理２放射線治療患者の口腔管理について学習する。	実習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏	がん周術期口腔管理各回1症例以上を実施する。	
27,28	骨吸収抑制薬使用患者の口腔管理骨吸収抑制薬使用患者の口腔管理について学習する。	実習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏	骨吸収抑制薬各回2症例以上を実施する。	
29,30	骨吸収抑制薬使用患者の口腔管理骨吸収抑制薬関連顎骨壊死治療について学習する。	実習	吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏	骨吸収抑制薬関連顎骨壊死各回2症例以上を実施する。	
			吉岡　泉 吉賀　大午 大谷　泰志 鶴島　弘基 坂口　修 西牟田　文香 早川　真奈 水田　奏		

2025年度　　科目コード： 212141

歯科麻酔学ベーシックコース

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～4 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	左合　徹平						
担当教員	左合　徹平,椎葉　俊司,茂山　幸代						

授業の概要

歯科臨床における麻酔には全身麻酔法、静脈内鎮静法、吸入鎮静法、局所麻酔法があり、安全な歯科診療を行う上で必要不可欠である。 各種麻酔法を安全・確実に行うために必要な解剖、生理、画像診断等の基礎的な理論を理解し、術前患者評価や麻酔計画立案に必要な知識を習得する。 また提示された症例について麻酔計画立案から周術期管理までのシミュレーション、フィードバックを行い、歯科麻酔の臨床的な能力を高める。

学生の到達目標

１．情報収集の技法を理解できる。
２．良好な病診連携について理解する。
３．麻酔法の種類を理解する。
４．バイタルサイン異常の発生機序を理解する。
５．麻酔管理上注意を要する疾患について理解する。
６．手術中の異常事態に対する対応法を学習する。
７．二次救急処置の基本について学習する。

テキスト

タイトル	著者	出版社
歯科麻酔学　第8版		医師薬出版

参考書

タイトル	著者	出版社
ミラー麻酔科学		メディカルサイエンスインターナショナル

成績評価方法・基準

評価項目	割合
口頭試問による評価	100%

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	術前情報収集手術前の情報収集について学習する。【事前学習課題】静脈内鎮静法、全身麻酔法	講義	左合　徹平 椎葉　俊司 茂山　幸代	参考書の予習・復習	
2	麻酔管理上注意を要する疾患(循環器疾患)循環生理と循環器疾患について学習する。【事前学習課題】心電図、高血圧、循環作動薬、降圧薬、昇圧薬	講義	左合　徹平 椎葉　俊司 茂山　幸代	参考書の予習・復習	

2025年度　　科目コード： 212141

歯科麻酔学ベーシックコース

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～4 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	左合　徹平						
担当教員	左合　徹平,椎葉　俊司,茂山　幸代						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
3	麻酔管理上注意を要する疾患(循環器疾患)循環生理と循環器疾患について学習する。【事前学習課題】心電図、高血圧、循環作動薬、降圧薬、昇圧薬	講義	左合　徹平 椎葉　俊司 茂山　幸代	参考書の予習・復習	
4	麻酔管理上注意を要する疾患(呼吸器疾患)呼吸生理と呼吸器疾患について学習する。【事前学習課題】呼吸器疾患の検査法、喘息、喘息発作時の対応	講義	左合　徹平 椎葉　俊司 茂山　幸代	参考書の予習・復習	
5	麻酔管理上注意を要する疾患(呼吸器疾患)呼吸生理と呼吸器疾患について学習する。【事前学習課題】呼吸器疾患の検査法、喘息、喘息発作時の対応	講義	左合　徹平 椎葉　俊司 茂山　幸代	参考書の予習・復習	
6	麻酔管理上注意を要する疾患(代謝性疾患)代謝生理と代謝性疾患について学習する。【事前学習課題】糖尿病、甲状腺疾患	講義	左合　徹平 椎葉　俊司 茂山　幸代	参考書の予習・復習	
7	画像診断麻酔管理に必要な画像診断について学習する。【事前学習課題】MRI、CT、エコー検査	講義	左合　徹平 椎葉　俊司 茂山　幸代	参考書の予習・復習	
8	各種麻酔法の適応と分類各種麻酔法の長所・短所および適応について学習する。【事前学習課題】局所麻酔、硬膜外麻酔、吸入鎮静法、静脈内鎮静法、全身麻酔	講義	左合　徹平 椎葉　俊司 茂山　幸代	参考書の予習・復習	
9	各種麻酔法の適応と分類各種麻酔法の長所・短所および適応について学習する。【事前学習課題】局所麻酔、硬膜外麻酔、吸入鎮静法、静脈内鎮静法、全身麻酔	講義	左合　徹平 椎葉　俊司 茂山　幸代	参考書の予習・復習	
10	全身麻酔法(薬剤)全身麻酔で使用する薬剤について学習する。【事前学習課題】静脈麻酔薬、吸入麻酔薬、麻薬性鎮痛薬、筋弛緩薬	講義	左合　徹平 椎葉　俊司 茂山　幸代	参考書の予習・復習	

2025年度　　科目コード： 212141

歯科麻酔学ベーシックコース

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～4 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	左合　徹平						
担当教員	左合　徹平,椎葉　俊司,茂山　幸代						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
11	全身麻酔法(薬剤)全身麻酔で使用する薬剤について学習する。【事前学習課題】静脈麻酔薬、吸入麻酔薬、麻薬性鎮痛薬、筋弛緩薬	講義	左合　徹平 椎葉　俊司 茂山　幸代	参考書の予習・復習	
12	全身麻酔法(薬剤)全身麻酔で使用する薬剤について学習する。【事前学習課題】静脈麻酔薬、吸入麻酔薬、麻薬性鎮痛薬、筋弛緩薬	講義	左合　徹平 椎葉　俊司 茂山　幸代	参考書の予習・復習	
13	全身麻酔法(薬剤)全身麻酔で使用する薬剤について学習する。【事前学習課題】静脈麻酔薬、吸入麻酔薬、麻薬性鎮痛薬、筋弛緩薬	講義	左合　徹平 椎葉　俊司 茂山　幸代	参考書の予習・復習	
14	全身麻酔法(薬剤)全身麻酔で使用する薬剤について学習する。【事前学習課題】静脈麻酔薬、吸入麻酔薬、麻薬性鎮痛薬、筋弛緩薬	講義	左合　徹平 椎葉　俊司 茂山　幸代	参考書の予習・復習	
15	全身麻酔法(気道管理)各種気道管理デバイスについて学習し、その使用法に習熟する。【事前学習課題】気管挿管、声門上器具、ビデオ喉頭鏡、ファイバースコープ	講義	左合　徹平 椎葉　俊司 茂山　幸代	参考書の予習・復習	
16	全身麻酔法(気道管理)各種気道管理デバイスについて学習し、その使用法に習熟する。【事前学習課題】気管挿管、声門上器具、ビデオ喉頭鏡、ファイバースコープ	講義	左合　徹平 椎葉　俊司 茂山　幸代	参考書の予習・復習	
17	全身麻酔法(術後管理)全身麻酔の術後の管理方法について学習する。【事前学習課題】オピオイドローテーション、超音波ガイド下神経ブロック	講義	左合　徹平 茂山　幸代 椎葉　俊司	参考書の予習・復習	
18	静脈内鎮静法に使用する薬剤や実際の静脈内鎮静法について学習する。【事前学習課題】ミダゾラム、プロポフォール、デクスメデトミジン	講義	左合　徹平 椎葉　俊司 茂山　幸代	参考書の予習・復習	

2025年度　　科目コード： 212141

歯科麻酔学ベーシックコース

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～4 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	左合　徹平						
担当教員	左合　徹平,椎葉　俊司,茂山　幸代						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
19	静脈内鎮静法に使用する薬剤や実際の静脈内鎮静法について学習する。【事前学習課題】ミダゾラム、プロポフォール、デクスメデトミジン	講義	左合　徹平 椎葉　俊司 茂山　幸代	参考書の予習・復習	
20	静脈内鎮静法に使用する薬剤や実際の静脈内鎮静法について学習する。【事前学習課題】ミダゾラム、プロポフォール、デクスメデトミジン	講義	左合　徹平 椎葉　俊司 茂山　幸代	参考書の予習・復習	
21	静脈内鎮静法に使用する薬剤や実際の静脈内鎮静法について学習する。【事前学習課題】ミダゾラム、プロポフォール、デクスメデトミジン	講義	左合　徹平 椎葉　俊司 茂山　幸代	参考書の予習・復習	
22	静脈内鎮静法に使用する薬剤や実際の静脈内鎮静法について学習する。【事前学習課題】ミダゾラム、プロポフォール、デクスメデトミジン	講義	左合　徹平 椎葉　俊司 茂山　幸代	参考書の予習・復習	
23	まれな疾患の麻酔まれな疾患の麻酔管理法について学習する。【事前学習課題】周術期に注意を要する症候群	講義	左合　徹平 椎葉　俊司 茂山　幸代	参考書の予習・復習	
24	まれな疾患の麻酔まれな疾患の麻酔管理法について学習する。【事前学習課題】周術期に注意を要する症候群	講義	左合　徹平 椎葉　俊司 茂山　幸代	参考書の予習・復習	
25	まれな疾患の麻酔まれな疾患の麻酔管理法について学習する。【事前学習課題】周術期に注意を要する症候群	講義	左合　徹平 椎葉　俊司 茂山　幸代	参考書の予習・復習	
26	周術期トラブルシューティング(1) 周術期に生じる各種トラブルとその対処法について学習する。【事前学習課題】周術期に生じやすいトラブル	講義	左合　徹平 椎葉　俊司 茂山　幸代	参考書の予習・復習	

2025年度　　科目コード： 212141

歯科麻酔学ベーシックコース

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	左合　徹平						
担当教員	左合　徹平,椎葉　俊司,茂山　幸代						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
27	周術期トラブルシューティング(2) 周術期に生じる各種トラブルとその対処法について学習する。【事前学習課題】周術期に生じやすいトラブル	講義	左合　徹平 椎葉　俊司 茂山　幸代	参考書の予習・復習	
28	周術期トラブルシューティング(3) 周術期に生じる各種トラブルとその対処法について学習する。【事前学習課題】周術期に生じやすいトラブル	講義	左合　徹平 椎葉　俊司 茂山　幸代	参考書の予習・復習	
29	周術期トラブルシューティング(4) 周術期に生じる各種トラブルとその対処法について学習する。【事前学習課題】周術期に生じやすいトラブル	講義	左合　徹平 椎葉　俊司 茂山　幸代	参考書の予習・復習	
30	周術期トラブルシューティング(5) 周術期に生じる各種トラブルとその対処法について学習する。【事前学習課題】周術期に生じやすいトラブル	講義	左合　徹平 椎葉　俊司 茂山　幸代	参考書の予習・復習	

2025年度　　科目コード： 212142

歯科麻酔学アドバンスコースⅠ

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	実習	**時間数**	60	**単位数**	2
科目責任者	椎葉　俊司						
担当教員	椎葉　俊司,左合　徹平,茂山　幸代						

授業の概要

呼吸循環管理の上で必要な基本的手技の理解、習得を目標とする。基本手技はマスク換気、静脈路確保、モニタリング、気管挿管とする

学生の到達目標

１．　呼吸循環モニタリングの知識を習得し、理解できる。２．　マスク換気が理解でき、実践できる。３．静脈路確保が理解でき、実践できる。４．　気管挿管が理解でき、実践できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
ビジュアル基本手技シリーズ（注射・採血法、改訂版、必ずうまくいく　気管挿管　改訂版）		羊土社
周術期モニタリング徹底ガイド		羊土社

成績評価方法・基準

評価項目	割合
Evaluation of the technique of mask ventilation, tracheal intubation and insertion of iv cath.	35%
Evaluation of the preparation for the ECG, NIBP, SpO2 monitoring.	35%
Evaluation of the anesthesia records	30%

その他

Feel free to contact through the e-mail or visit directly our office, located in the 9th floor of Kyushu Dental University Hospital.

2025年度　　科目コード： 212142

歯科麻酔学アドバンスコースⅠ

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	実習	**時間数**	60	**単位数**	2
科目責任者	椎葉　俊司						
担当教員	椎葉　俊司,左合　徹平,茂山　幸代						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1,2	呼吸モニタリングの理解と実践	講義・実習		参考書の該当部分の読み込み	
3,4	循環モニタリングの理解と実践	講義・実習		参考書の該当部分の読み込み	
5,6	その他の生体モニタリングの理解と実践	講義・実習		参考書の該当部分の読み込み	
7,8	マスク換気の理解と実践	講義・実習		参考書の該当部分の読み込み	
9,10	気管挿管の理解と実践	講義・実習		参考書の該当部分の読み込み	
11,12	静脈路確保の理解と実践	講義・実習		参考書の該当部分の読み込み	
13,14	呼吸の評価と循環の評価と実践	講義・実習		参考書の該当部分の読み込み	
15	試験	試験		参考書の該当部分の読み込み	

2025年度　　科目コード： 212143

歯科麻酔学アドバンスコースII

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	実習	**時間数**	60	**単位数**	2
科目責任者	左合　徹平						
担当教員	左合　徹平,椎葉　俊司,茂山　幸代						

授業の概要

呼吸循環管理の上で必要な基本的手技の理解、習得を目標とする。基本手技はマスク換気、静脈路確保、モニタリング、気管挿管とする

学生の到達目標

１．　呼吸循環モニタリングの知識を習得し、理解できる。
２．　マスク換気が理解でき、実践できる。
３．　静脈路確保が理解でき、実践できる。
４．　気管挿管が理解でき、実践できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
歯科麻酔学　第8版		医師薬出版

参考書

タイトル	著者	出版社
気道管理大全		中外医学社

成績評価方法・基準

評価項目	割合
口頭試問	100%

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1～5	呼吸モニタリングの理解と実践	講義・実習	左合　徹平 椎葉　俊司 茂山　幸代	参考書の該当部分の予習	
6～10	循環モニタリングの理解と実践	講義・実習	左合　徹平 椎葉　俊司 茂山　幸代	参考書の該当部分の予習	
11～15	その他の生体モニタリングの理解と実践	講義・実習	左合　徹平 椎葉　俊司 茂山　幸代	参考書の該当部分の予習	
16~20	マスク換気の理解と実践	講義・実習	左合　徹平 椎葉　俊司 茂山　幸代	参考書の該当部分の予習	
21~25	気管挿管の理解と実践	講義・実習	左合　徹平 椎葉　俊司 茂山　幸代	参考書の該当部分の予習	
26~30	静脈路確保の理解と実践	講義・実習	左合　徹平 椎葉　俊司 茂山　幸代	参考書の該当部分の予習	
31~35	呼吸の評価と循環の評価と実践	講義・実習	左合　徹平 椎葉　俊司 茂山　幸代	参考書の該当部分の予習	

2025年度　　科目コード： 212143

歯科麻酔学アドバンスコースII

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	実習	**時間数**	60	**単位数**	2
科目責任者	左合　徹平						
担当教員	左合　徹平,椎葉　俊司,茂山　幸代						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
36~45	静脈内鎮静法の実践	講義・実習	左合　徹平 椎葉　俊司 茂山　幸代	参考書の該当部分の予習	
46~59	全身麻酔の実践	講義・実習	左合　徹平 椎葉　俊司 茂山　幸代	参考書の該当部分の予習	
60	口頭試問	試験	左合　徹平 椎葉　俊司 茂山　幸代	参考書の該当部分の予習	

2025年度　　科目コード： 212144

歯科麻酔学アドバンスコースIII

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	実習	**時間数**	60	**単位数**	2
科目責任者	左合　徹平						
担当教員	左合　徹平,椎葉　俊司,茂山　幸代						

授業の概要

歯科臨床における麻酔には全身麻酔法、静脈内鎮静法、吸入鎮静法、局所麻酔法があり、安全な歯科診療を行う上で必要不可欠である。 各種麻酔法を安全・確実に行うために必要な解剖、生理、画像診断等の基礎的な理論を理解し、術前患者評価や麻酔計画立案に必要な知識を習得する。 また提示された症例について麻酔計画立案から周術期管理までのシミュレーション、フィードバックを行い、歯科麻酔の臨床的な能力を高める。

学生の到達目標

全身疾患を持ち、周術期管理が困難な患者に対して安全な周術期管理が行えるようになるための知識・技術を獲得する。

テキスト

タイトル	著者	出版社
歯科麻酔学　第8版		医歯薬出版

参考書

タイトル	著者	出版社
ミラー麻酔科学		メディカルサイエンスインターナショナル
気道管理大全		中外医学社
麻酔科トラブルシューティング　A to Z		文光堂

成績評価方法・基準

評価項目	割合
症例検討の発表	100%
口頭試問	0%

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1～5	麻酔管理上注意を要する疾患(循環器疾患)循環生理と循環器疾患について学習する。【事前学習課題】心電図、高血圧、循環作動薬、降圧薬、昇圧薬	講義	左合　徹平 椎葉　俊司 茂山　幸代	参考書の予習・復習	
6～10	麻酔管理上注意を要する疾患(呼吸器疾患)呼吸生理と呼吸器疾患について学習する。【事前学習課題】呼吸器疾患の検査法、喘息、喘息発作時の対応	講義	左合　徹平 椎葉　俊司 茂山　幸代	参考書の予習・復習	

2025年度　　科目コード： 212144

歯科麻酔学アドバンスコースIII

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	実習	**時間数**	60	**単位数**	2
科目責任者	左合　徹平						
担当教員	左合　徹平,椎葉　俊司,茂山　幸代						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
11～15	麻酔管理上注意を要する疾患(代謝性疾患)代謝生理と代謝性疾患について学習する。【事前学習課題】糖尿病、甲状腺疾患	講義	左合　徹平 椎葉　俊司 茂山　幸代	参考書の予習・復習	
16,17	麻酔管理に必要な画像診断について学習する。【事前学習課題】MRI、CT、エコー検査	講義	左合　徹平 椎葉　俊司 茂山　幸代	参考書の予習・復習	
18～30	各種麻酔法の長所・短所および適応について学習する。【事前学習課題】局所麻酔、硬膜外麻酔、吸入鎮静法、静脈内鎮静法、全身麻酔	講義	左合　徹平 椎葉　俊司 茂山　幸代	参考書の予習・復習	
31～40	全身麻酔法、静脈内鎮静法(薬剤)全身麻酔や静脈内鎮静法で使用する薬剤について学習する。【事前学習課題】静脈麻酔薬、吸入麻酔薬、麻薬性鎮痛薬、筋弛緩薬	講義	左合　徹平 椎葉　俊司 茂山　幸代	参考書の予習・復習	
41～45	緊急時や術中合併症が生じた際に使用する薬剤について学習する。【事前学習課題】循環作動薬、抗不整脈薬	講義	左合　徹平 椎葉　俊司 茂山　幸代	参考書の予習・復習	
45～50	全身麻酔法(気道管理) 各種気道管理デバイスについて学習し、その使用法に習熟する。【事前学習課題】気管挿管、声門上器具、ビデオ喉頭鏡、ファイバースコープ	講義	左合　徹平 椎葉　俊司 茂山　幸代	参考書の予習・復習	
51,52	高度な静脈路確保 静脈路確保が困難な患者(乳児、肥満患者など)に遭遇した際の対処法について学習する。【事前学習課題】超音波ガイド下静脈路確保、末梢挿入型中心静脈カテーテル(PICC)	講義	左合　徹平 椎葉　俊司 茂山　幸代	参考書の予習・復習	

2025年度　　科目コード： 212144

歯科麻酔学アドバンスコースIII

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	実習	**時間数**	60	**単位数**	2
科目責任者	左合　徹平						
担当教員	左合　徹平,椎葉　俊司,茂山　幸代						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
53～56	周術期に生じる各種トラブルとその対処法と麻酔管理困難患者に対する周術期管理について学習する。【事前学習課題】周術期に生じやすいトラブル、麻酔管理が困難な患者	講義	左合　徹平 椎葉　俊司 茂山　幸代	参考書の予習・復習	
57	症例検討１	講義	左合　徹平 椎葉　俊司 茂山　幸代	参考書および症例提示	
58	症例検討２	講義	左合　徹平 椎葉　俊司 茂山　幸代	参考書および症例提示	
59	症例検討３	講義	左合　徹平 椎葉　俊司 茂山　幸代	参考書および症例提示	
60	口頭試問	試験	左合　徹平 椎葉　俊司 茂山　幸代	参考書および症例提示	

2025年度　　科目コード： 212145

歯科麻酔学(全身管理)

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～4 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講・実	時間数	30	単位数	2
科目責任者	左合　徹平						
担当教員	左合　徹平,椎葉　俊司,茂山　幸代						

授業の概要

歯科臨床における麻酔には全身麻酔法、静脈内鎮静法、吸入鎮静法、局所麻酔法があり、安全な歯科診療を行う上で必要不可欠である。 各種麻酔法を安全・確実に行うために必要な解剖、生理、画像診断等の基礎的な理論を理解し、術前患者評価や麻酔計画立案に必要な知識を習得する。 また提示された症例について麻酔計画立案から周術期管理までのシミュレーション、フィードバックを行い、歯科麻酔の臨床的な能力を高める。

学生の到達目標

１．情報収集の技法を理解できる。
２．良好な病診連携について理解する。
３．麻酔法の種類を理解する。
４．バイタルサイン異常の発生機序を理解する。
５．麻酔管理上注意を要する疾患について理解する。
６．手術中の異常事態に対する対応法を学習する。
７．二次救急処置の基本について学習する。

テキスト

タイトル	著者	出版社
歯科麻酔学		医歯薬出版

参考書

タイトル	著者	出版社
歯科麻酔学　第8版		医師薬出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
症例検討の発表	100%

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1,2	術前情報収集手術前の情報収集について学習する。【事前学習課題】静脈内鎮静法、全身麻酔法	講義	左合　徹平 椎葉　俊司 茂山　幸代	参考書の予習・復習	
3,4	麻酔管理上注意を要する疾患(循環器疾患)循環生理と循環器疾患について学習する。【事前学習課題】心電図、高血圧、循環作動薬、降圧薬、昇圧薬	講義	左合　徹平 椎葉　俊司 茂山　幸代	参考書の予習・復習	
5,6	麻酔管理上注意を要する疾患(呼吸器疾患)呼吸生理と呼吸器疾患について学習する。【事前学習課題】呼吸器疾患の検査法、喘息、喘息発作時の対応	講義	左合　徹平 椎葉　俊司 茂山　幸代	参考書の予習・復習	

2025年度　　科目コード： 212145

歯科麻酔学(全身管理)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・実	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	左合　徹平						
担当教員	左合　徹平,椎葉　俊司,茂山　幸代						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
7,8	麻酔管理上注意を要する疾患(代謝性疾患)代謝生理と代謝性疾患について学習する。【事前学習課題】糖尿病、甲状腺疾患	講義	左合　徹平 椎葉　俊司 茂山　幸代	参考書の予習・復習	
9,10	画像診断麻酔管理に必要な画像診断について学習する。【事前学習課題】MRI、CT、エコー検査	講義	左合　徹平 椎葉　俊司 茂山　幸代	参考書の予習・復習	
11,12	各種麻酔法の適応と分類各種麻酔法の長所・短所および適応について学習する。【事前学習課題】局所麻酔、硬膜外麻酔、吸入鎮静法、静脈内鎮静法、全身麻酔	講義	左合　徹平 椎葉　俊司 茂山　幸代	参考書の予習・復習	
13,14	全身麻酔法(薬剤)全身麻酔で使用する薬剤について学習する。【事前学習課題】静脈麻酔薬、吸入麻酔薬、麻薬性鎮痛薬、筋弛緩薬	講義	左合　徹平 椎葉　俊司 茂山　幸代	参考書の予習・復習	
15,16	全身麻酔法(気道管理)各種気道管理デバイスについて学習し、その使用法に習熟する。【事前学習課題】気管挿管、声門上器具、ビデオ喉頭鏡、ファイバースコープ	講義	左合　徹平 椎葉　俊司 茂山　幸代	参考書の予習・復習	
17,18	全身麻酔法(術後管理)全身麻酔の術後の管理方法について学習する。【事前学習課題】オピオイドローテーション、超音波ガイド下神経ブロック	講義	左合　徹平 椎葉　俊司 茂山　幸代	参考書の予習・復習	
19,20	静脈内鎮静法静脈内鎮静法に使用する薬剤や実際の静脈内鎮静法について学習する。【事前学習課題】ミダゾラム、プロポフォール、デクスメデトミジン	講義	左合　徹平 椎葉　俊司 茂山　幸代	参考書の予習・復習	
21,22	まれな疾患の麻酔まれな疾患の麻酔管理法について学習する。【事前学習課題】周術期に注意を要する症候群	講義	左合　徹平 椎葉　俊司 茂山　幸代	参考書の予習・復習	

2025年度　　科目コード： 212145

歯科麻酔学(全身管理)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・実	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	左合　徹平						
担当教員	左合　徹平,椎葉　俊司,茂山　幸代						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
23,24	周術期トラブルシューティング周術期に生じる各種トラブルとその対処法について学習する。【事前学習課題】周術期に生じやすいトラブル	講義	左合　徹平 椎葉　俊司 茂山　幸代	参考書の予習・復習	
25,26	症例検討１	講義	左合　徹平 椎葉　俊司 茂山　幸代	参考書および症例提示	
27,28	症例検討２	講義	左合　徹平 椎葉　俊司 茂山　幸代	参考書および症例提示	
29,30	症例検討３	講義	左合　徹平 椎葉　俊司 茂山　幸代	参考書および症例提示	

2025年度　　科目コード： 212146

歯科麻酔学(疼痛管理)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	椎葉　俊司						
担当教員	椎葉　俊司,左合　徹平,茂山　幸代						

授業の概要

歯科における治療行為は生体にとって侵害刺激である。この刺激が何らかの理由により痛覚過敏症や触覚過敏を起こすことがある。また、歯科治療後に顔面部の麻痺や三叉神経痛、顎関節症などの併発を起こすこともある。また、歯性疼痛が原因でうつ症状を来すこともある。これらの疾患患者では通常の歯科的対応では治療困難なことが多い。そこで、これら歯科の顎・顔面部の神経疾患（急性・慢性疼痛や麻痺）の原因、機構、対応を学ぶ。

学生の到達目標

１．患者－歯科医師間の良好な関係を作れる情報収集の技法を理解できる。
２．良好な病診連携ができる。
３．顎顔面部の疼痛の種類を説明できる。
４．顎顔面部の疼痛の発生機序を説明できる。
５．顎顔面部の疼痛の制御機構を説明・実施できる。
６．顎顔面部の麻痺の種類、発生機序、対応法を説明できる。
７．救急処置の基本を身につける。

テキスト

タイトル	著者	出版社
口腔顔面痛の診断と治療ガイドブック　第２版	日本口腔顔面痛学会編	医歯薬出版株式会社

参考書

タイトル	著者	出版社
最新の論文を与え、その要約を発表する。Anesthesiology、Anesthesia & Analgesia、British Journal of Anaesthesia、Painなど。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
抄読会の発表	100%

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	医療危機管理の概要（リスクマネージメント）緊急時の対応法について学習する。【事前学習課題】一次救命処置、二次救命処置	講義		一次救命処置、静脈路確保、気管挿管	病院棟3Fセミナー室

2025年度　　科目コード： 212146

歯科麻酔学(疼痛管理)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	椎葉　俊司						
担当教員	椎葉　俊司,左合　徹平,茂山　幸代						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
2	インフォームドコンセントの定義インフォームドコンセントのために必要な説明の手法および書類について学習する。【事前学習課題】医療法、パターナリズム	講義		事例収集	病院棟3Fセミナー室
3	医療事故・医療過誤医療事故・医療過誤について理解する。【事前学習課題】医療法	講義		事例収集	病院棟3Fセミナー室
4	インシデント・アクシデントの対応定義と報告書の作製について学習する。【事前学習課題】インシデント・アクシデントの定義	講義		事例収集	病院棟3Fセミナー室
5	痛みの病態国際疼痛学会の痛みの定義について学習する。【事前学習課題】痛みの発生機序、痛みの種類、国際疼痛学会の痛みの定義	講義		不快な感覚と情動体験の関係、慢性痛と急性痛	病院棟3Fセミナー室
6	顎顔面部痛の発症と分類侵害受容性疼痛、神経障害性疼痛、心因性疼痛について学習する。【事前学習課題】口腔顔面領域に発生する疼痛の種類	講義		口腔顔面痛の分類	病院棟3Fセミナー室
7	顎顔面部痛の診断法診断に必要な検査法について学習する。【事前学習課題】顔面部の触診法	講義		触診、電流刺激閾値検査	病院棟3Fセミナー室
8	疼痛性疾患体性痛の分類と関連痛発症機序について学習する。【事前学習課題】体性痛の分類、口腔顔面領域に発生する関連痛の種類	講義		深部痛、異所性疼痛	病院棟3Fセミナー室
9	疼痛性疾患神経因性疼痛・心因性疼痛の発症機序と治療法について学習する。【事前学習課題】疼痛の発生機序、鎮痛薬の種類	講義		アロディニア、痛覚過敏症、ディセステジア	病院棟3Fセミナー室
10	疼痛性疾患癌性疼痛治療の５原則について学習する。【事前学習課題】癌性疼痛の発生機序、麻薬性鎮痛薬の薬理作用	講義		ステップラダー、麻薬性鎮痛薬の使用法	病院棟3Fセミナー室

2025年度　　科目コード： 212146

歯科麻酔学(疼痛管理)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	椎葉　俊司						
担当教員	椎葉　俊司,左合　徹平,茂山　幸代						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
11	麻痺性疾患顔面神経麻痺の発症機序と治療法について学習する。【事前学習課題】顔面神経麻痺の症状	講義		神経障害程度の評価、誘発筋電図、星状神経節ブロック	病院棟3Fセミナー室
12	麻痺性疾患三叉神経麻痺の発症機序と治療法について学習する。【事前学習課題】三叉神経の解剖学的特徴、三叉神経麻痺の症状	講義		神経障害程度の分類、神経損傷と治癒機転、星状神経節ブロック	病院棟3Fセミナー室
13	顔面筋の不随意運動顔面痙攣・眼瞼痙攣の発症機序と治療法について学習する。【事前学習課題】顔面部の神経、筋の解剖	講義		ボトックス、神経血管減圧術	病院棟3Fセミナー室
14	顔面筋の不随意運動口腔ジストニアの発症機序と治療法について学習する。【事前学習課題】脳神経の解剖	講義		アルコールブロック、ボトックス	病院棟3Fセミナー室
15	薬物療法顔面痛治療に使用される薬物と作用機序について学習する。【事前学習課題】鎮痛薬の薬理作用	講義		抗うつ薬、プレガバリン、抗てんかん薬、麻薬	病院棟3Fセミナー室

2025年度　　科目コード： 212147

歯科麻酔学(障害者歯科)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	左合　徹平						
担当教員	左合　徹平,椎葉　俊司,茂山　幸代						

授業の概要

社会と経済の発展によって医療と福祉が高度になるとともに、障害者の保健医療とその需要が増大したことから、歯科医療の拡大、分化と成熟が必要となってきた。そのような中で本コースでは、精神や身体の障害について、また障害者にみられる歯科疾患の特質、原因と症状について研究し、あわせて診断、予防と治療法の研究と開発を行い、それを歯科診療に具体化させていく事を目的とする。

学生の到達目標

１．障害者の社会的問題と制度・法律について理解できる。
２．障害の種類と歯科的特徴を理解できる。
３．障害者の歯科診療とその行動調整を理解できる。
４．障害者の全身管理を理解できる。
５．安全な笑気吸入鎮静法、静脈内鎮静法を習得し、実践できる。
６．障害者医療における歯科医師の役割を理解できる 。

テキスト

タイトル	著者	出版社
スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科　第２版	日本障害者歯科学会	医歯薬出版株式会社
歯科麻酔学　第８版	福島和昭	医歯薬出版株式会社

参考書

タイトル	著者	出版社
障害者歯科学会雑誌		日本障害者歯科学会
日本歯科麻酔学会雑誌		日本歯科麻酔学会

成績評価方法・基準

評価項目	割合
講義・演習におけるレポート	50%
口頭試問	50%

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	歯科医療におけるスペシャルニーズについて学習する	講義・演習	左合　徹平 椎葉　俊司 茂山　幸代		
2	障害がある人の医療や福祉の仕組みについて学習する	講義・演習	左合　徹平 椎葉　俊司 茂山　幸代		

2025年度　　科目コード： 212147

歯科麻酔学(障害者歯科)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	左合　徹平						
担当教員	左合　徹平,椎葉　俊司,茂山　幸代						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
3～8	精神発達・心理発達と行動の障害(知的能力障害、自閉症スペクトラム障害、注意欠如・多動性障害)とそれらの患者に対する歯科治療時の注意点や全身管理の方法について学習する	講義・演習	左合　徹平 椎葉　俊司 茂山　幸代		
9～15	神経・運動障害(脳性麻痺、重症心身障害児・者、二分脊椎、筋ジストロフィー、脊髄損傷、関節リウマチ、パーキンソン病、脳血管障害、脊髄小脳変性症、筋萎縮性側索硬化症、てんかん)とそれらの患者に対する歯科治療時の注意点や全身管理の方法について学習する	講義・演習	左合　徹平 椎葉　俊司 茂山　幸代		
16	感覚障害(視覚障害、聴覚障害、平衡障害、味覚障害)とそれらの患者に対する歯科治療時の注意点や全身管理の方法について学習する	講義・演習	左合　徹平 椎葉　俊司 茂山　幸代		
17	音声言語障害とそれらの患者に対する歯科治療時の注意点や全身管理の方法について学習する	講義・演習	左合　徹平 椎葉　俊司 茂山　幸代		
18～21	摂食嚥下障害と摂食・嚥下リハビリテーションについて学習する	講義・演習	左合　徹平 椎葉　俊司 茂山　幸代		
22～25	精神および行動の障害(統合失調症、双極性障害、うつ病、不安障害、心身症、認知症、摂食障害)とそれらの患者に対する歯科治療時の注意点や全身管理の方法について学習する	講義・演習	左合　徹平 椎葉　俊司 茂山　幸代		
26～29	歯科治療時に配慮すべき疾患・症候群とそれらの患者に対する歯科治療時の注意点や全身管理の方法について学習する	講義・演習	左合　徹平 椎葉　俊司 茂山　幸代		
30	口頭試問	試験	左合　徹平 椎葉　俊司 茂山　幸代		

2025年度　　科目コード： 212148

歯科麻酔学講究

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～4 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	演習	時間数	30	単位数	2
科目責任者	左合　徹平						
担当教員	左合　徹平,椎葉　俊司,茂山　幸代						

授業の概要

麻酔科学関連の最新の英文論文を選択し、抄読会で内容について発表する。

学生の到達目標

1.英文論文の構成について理解する。
2.最新の英文論文を読み、内容について評価・理解する。

参考書

タイトル	著者	出版社
Anestghesiology	Evan D. Kharasch	LWW Journals
Anesthesia & Analgesia	Jean-Francois Pittet	Wloters Kluwer
British Journal of Anaesthesia	Ravi P. Mahajan	Oxford Journals

成績評価方法・基準

評価項目	割合
抄読会における口頭試問と発表	100%

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1-13	Anesthesiology, Anesthesia & Analgesisa, British Journal of Anesthesiaなどに掲載されている最新の論文を読み、背景や最新の知見を理解する。抄読会で論文の核心部分を発表し、ディスカッションする。	Presentation and discussion	左合　徹平 椎葉　俊司 茂山　幸代	Read and think about the topics in the articles related to Anesthesiology.	
14-15	レビュー	講義・演習	左合　徹平 椎葉　俊司 茂山　幸代	講義のレビュー	

2025年度　　科目コード： 212161

摂食機能リハビリテーション学1(ベーシック)

開講学科	歯学専攻			開講年次	1〜2 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講・実	時間数	120	単位数	4
科目責任者	久保田　潤平						
担当教員	久保田　潤平,多田　葉子,唐木　純一						

授業の概要

摂食・嚥下障害の診査を行い、的確な機能訓練を取り入れたリハビリ処方を組み立てることができるために必要な診断の手技、リハビリテーションの手技・効果について学ぶ。

学生の到達目標

１．摂食・嚥下障害の障害を理解できる。２．摂食・嚥下障害に対するリハビリテーションを行うことができる。３．障害に応じた食事形態を選択することができる。４．摂食・嚥下障害への機能的補綴的対応ができる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
歯学生のための摂食・嚥下リハビリテーション学	向井美惠	医歯薬出版

参考書

タイトル	著者	出版社
食べる機能の障害	金子芳洋	医歯薬出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
ルーブリックにより評価する。	100%

その他

質問等は講義の前後、またはメールで受け付ける。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1,2	正常な摂食・嚥下の発達メカニズム摂食・嚥下障害（発達障害、中途障害、高齢者）	講義	久保田　潤平	摂食機能の発達	
3,4	摂食嚥下障害患者への口腔ケア	実習	久保田　潤平	口腔機能管理	
5,6	摂食・嚥下機能評価医療面接、病歴採取	講義	久保田　潤平	口腔機能アセスメント	
7,8	摂食・嚥下機能評価スクリーニング	実習	久保田　潤平	RSST、MWST、咳テスト、FT	
9,10	試験１	諮問	久保田　潤平	諮問内容の復習	
11,12	呼吸訓練、咳嗽訓練	実習	久保田　潤平	呼吸訓練、咳嗽訓練	
13,14	開口-閉口訓練開口障害に対する訓練、閉口障害に対する訓練	実習	久保田　潤平	開口-閉口訓練	

2025年度　　科目コード： 212161

摂食機能リハビリテーション学1(ベーシック)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～2 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・実	**時間数**	120	**単位数**	4
科目責任者	久保田　潤平						
担当教員	久保田　潤平,多田　葉子,唐木　純一						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
15,16	口腔周囲筋群・舌筋群の訓練１口唇閉鎖訓練、バンゲード法	実習	久保田　潤平	口唇閉鎖訓練	
17,18	口腔周囲筋群・舌筋群の訓練２頬訓練、バンゲード法、舌訓練	実習	久保田　潤平	頬訓練	
19,20	口腔周囲筋群・舌筋群の訓練３軟口蓋挙上訓練	実習	久保田　潤平	軟口蓋挙上訓練	
21,22	口腔周囲筋群・舌筋群の訓練４舌訓練、舌背挙上訓練、舌尖挙上訓練	実習	久保田　潤平	舌訓練、舌背挙上訓練、舌尖挙上訓練	
23,24	咀嚼・送り込み訓練咀嚼訓練、送り込み訓練	実習	久保田　潤平	咀嚼訓練、送り込み訓練	
25,26	嚥下運動訓練thermal tactile stimulation	実習	久保田　潤平	thermal tactile stimulation	
27,28	嚥下運動訓練舌根後退運動、舌保持嚥下訓練	実習	唐木　純一	舌根後退運動、舌保持嚥下訓練	
29,30	嚥下運動訓練Shaker exercise	実習	唐木　純一	頭部挙上訓練	
31,32	頸部リラクセーション頸部可動域拡大訓練、喉頭周囲筋群のストレッチ	実習	唐木　純一	頸部ROM訓練	
33,34	嚥下手技の獲得メンデルソン手技、バイオフィードバックの活用	実習	唐木　純一	メンデルソン手技	
35,36	代償的嚥下法側方向き嚥下、複数回嚥下、交互嚥下	実習	唐木　純一	側方向き嚥下、複数回嚥下、交互嚥下	
37,38	試験２	諮問	唐木　純一	諮問内容の復習	
39,40	鼻咽腔ファイバースコープの操作	実習	久保田　潤平	内視鏡下嚥下機能検査について	
41,42	鼻咽腔ファイバースコープによる摂食・嚥下障害の診査	実習	久保田　潤平	内視鏡下嚥下機能検査での診断	
43,44	嚥下造影の手順	講義	久保田　潤平	嚥下造影検査について	

2025年度　　科目コード： 212161

摂食機能リハビリテーション学1(ベーシック)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～2 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・実	**時間数**	120	**単位数**	4
科目責任者	久保田　潤平						
担当教員	久保田　潤平,多田　葉子,唐木　純一						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
45,46	嚥下造影模擬食品の調整	実習	久保田　潤平	バリウムアレルギーについて	
47,48	PAPの作製1印象、ワイヤークラスプの作製	実習	多田　葉子	ワイヤークラスプの作製	
49,50	PAPの作製2舌接触面形態調整	実習	多田　葉子	舌接触補助床について	
51,52	PAPの調整装着・調整	実習	多田　葉子	PAPの調整	
53,54	PLPの作製1印象、ワイヤークラスプの作製	実習	多田　葉子	PLP作成のための印象法	
55,56	PLPの作製2軟口蓋延長部の作製	実習	多田　葉子	PLP制作時の注意点	
57,58	PLPの調整装着・調整	実習	多田　葉子	PLPの調整	
59,60	総括、諮問３、単位認定試験	試験	久保田　潤平	諮問内容の復習	

2025年度　　科目コード： 212162

摂食機能リハビリテーション学2(アドバンス)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～3 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	実習	**時間数**	120	**単位数**	4
科目責任者	久保田　潤平						
担当教員	久保田　潤平,多田　葉子,唐木　純一						

授業の概要

要介護高齢者をはじめとした高齢者の全身状態を考慮した歯科治療と口腔ケア、指導ができるとともに、摂食嚥下機能考慮した要介護者の義歯修正および調整ができる。また、漢方薬や東洋医学などを理解した診療や指導ができる。

学生の到達目標

１．高齢者の全身状態の評価、ならびに口腔環境および口腔周囲の評価ができる。２．要介護高齢者の全身状態を考慮した口腔ケアや口腔機能訓練ができる。３．高齢者の全身状態を考慮した漢方薬による歯科診療ができる。４．基本的な舌診による保健指導ができる。４．寝たきり高齢者の基本的な訪問歯科治療ができる。５．要介護高齢者の摂食嚥下機能を考慮した義歯調整および修正ができる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
資料は提示・配布する		

参考書

タイトル	著者	出版社
歯科漢方医学	柿木保明	末永書店

成績評価方法・基準

評価項目	割合
ルーブリックにより評価する。	100%

その他

質問等は講義の前後、またはメールで受け付ける。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1,2	ＱＯＬおよびＡＤＬの評価バイタルサインの評価	実習	久保田　潤平	ＱＯＬとＡＤＬについて	
3,4	心理検査とうつ状態の検査	実習	久保田　潤平	うつ病	
5,6	口腔周囲筋の筋力評価咬合に関連する筋および表情筋、顔面の筋	実習	久保田　潤平	筋硬度計の使用法	
7,8	口腔機能関連筋の筋力評価頸部と肩周囲の筋	実習	久保田　潤平	口腔機能関連筋の解剖	
9,10	味覚検査	実習	久保田　潤平	味覚検査	
11,12	口腔内感覚および顔面部の感覚評価	実習	唐木　純一	感覚受容器について	

2025年度　　科目コード： 212162

摂食機能リハビリテーション学2(アドバンス)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～3 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	実習	**時間数**	120	**単位数**	4
科目責任者	久保田　潤平						
担当教員	久保田　潤平,多田　葉子,唐木　純一						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
13,14	唾液分泌検査安静時唾液の評価吐唾法と評価方法	実習	唐木　純一	ワッテ法吐唾法	
15,16	唾液分泌検査刺激時唾液の評価サクソン法・ガム法の評価方法	実習	唐木　純一	サクソンテスト・ガムテスト	
17,18	唾液分泌および分布度検査唾液湿潤度検査紙による評価口腔水分計ムーカスによる評価	実習	唐木　純一	湿潤度検査紙	
19,20	唾液の物性検査粘度計（超音波型、回転型）曳糸性測定器	実習	唐木　純一	粘度計曳糸性測定器	
21,22	口臭測定オーラルクロマを用いた口臭測定と評価	実習	唐木　純一	口臭測定器の使い方	
23,24	試験１	諮問	久保田　潤平	諮問内容の復習	
25,26	口腔機能向上器質的口腔ケアと機能的口腔ケアの基本	実習	久保田　潤平	基本的口腔ケア技術	
27,28	口腔機能向上液体タイプおよびゲル状タイプの保湿剤を用いた口腔ケア	実習	久保田　潤平	保湿剤	
29,30	寝たきり状態の口腔ケア基本技術	実習	久保田　潤平	口腔衛生管理	
31,32	口腔粘膜疾患の評価法口腔内カメラによる記録	実習	久保田　潤平	口腔内カメラの基本技術	
33,34	口腔粘膜および舌粘膜の評価法西洋医学的評価および診断東洋医学的評価および診断	実習	久保田　潤平	口腔粘膜評価	
35,36	舌診の基本技術	実習	久保田　潤平	舌診の基本	
37,38	舌診からみた漢方薬選択（１）	実習	久保田　潤平	口腔乾燥の漢方薬治療	
39,40	舌診からみた漢方薬選択（２）	実習	久保田　潤平	舌痛の漢方治療	
41,42	舌診からみた漢方薬選択（３）	実習	久保田　潤平	歯痛の漢方治療	
43,44	舌診からみた保健指導、生活指導食事指導	実習	久保田　潤平	舌診からみた保健指導	
45,46	試験2	諮問	久保田　潤平	諮問内容の復習	
47,48	訪問歯科治療の準備	実習	多田　葉子	器具の理解	
49,50	訪問歯科治療の治療器具選択	実習	多田　葉子	歯科訪問診療に持参できる器具の理解	

2025年度　　科目コード： 212162

摂食機能リハビリテーション学2(アドバンス)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～3 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	実習	**時間数**	120	**単位数**	4
科目責任者	久保田　潤平						
担当教員	久保田　潤平,多田　葉子,唐木　純一						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
51,52	訪問歯科治療の基本技術注水下の歯科治療(介助者)	実習	多田　葉子	バキューム・シリンジ	
53,54	訪問歯科治療の基本技術注水下の歯科治療（術者）	実習	多田　葉子	エンジンおよびタービン	
55,56	寝たきり患者および要介護高齢者の義歯修正	実習	多田　葉子	義歯調整	
57,58	寝たきり患者および要介護高齢者の義歯調整	実習	多田　葉子	PLPの調整	
59,60	総括、試問３、単位認定試験	試験	久保田　潤平	諮問内容の復習	

2025年度　　科目コード： 212163

高齢者歯科学セミナー1(摂食機能リハビリ)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講義	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	久保田　潤平						
担当教員	久保田　潤平,多田　葉子,唐木　純一						

授業の概要

高齢者歯科および摂食機能リハビリテーションに関する国内外の研究を理解し、評価方法および必要な治療法や訓練方について学ぶ。

学生の到達目標

1.高齢者歯科学の基本を理解し、国内外の研究を理解する能力を高める。2.摂食機能リハビリテーション学の基本を理解し、国内外の研究を理解する能力を高める。3.臨床研究および基礎研究を評価できる力を高める。

テキスト

タイトル	著者	出版社
資料は提示・配布する		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
ルーブリックにより評価する。	100%

その他

質問等は講義の前後、またはメールで受け付ける。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1～15	高齢者歯科学および摂食機能リハビリテーションに関する最新の論文を検索し、評価することにより、研究の今後の展望を理解する。	臨床講義ゼミ抄読会	久保田　潤平 多田　葉子 唐木　純一	関連領域の文献検索および精読	

2025年度　　科目コード： 212164

高齢者歯科学セミナー2(統合医学)

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	久保田　潤平						
担当教員	久保田　潤平,多田　葉子,唐木　純一						

授業の概要

高齢者の歯科治療や高齢者歯科学の研究に関連する統合医学の基本を理解し、評価方法および必要な治療法や訓練法について学ぶ。 漢方薬の西洋医学的および東洋医学的の作用や作用機序などについても学ぶ。また、舌診の歯科臨床への応用方法についても学ぶ。 高齢者歯科医療において西洋医学と東洋医学を理解した統合医療を実践できる知識を学ぶ。 統合医療に関する国内外の基礎的および臨床的研究について学ぶ。

学生の到達目標

１．統合医学の基本を理解し、国内外の研究を理解する能力を高める。２．西洋医学および東洋医学の基本を理解し、国内外の研究を理解する能力を高める。３．代替補完医療学の基本を理解し、国内外の研究を理解する能力を養うととみに、臨床に応用できる。４．臨床研究および基礎研究を評価できる力を高める。

テキスト

タイトル	著者	出版社
資料は提示・配布する		

参考書

タイトル	著者	出版社
歯科漢方医学	柿木保明	永末書店

成績評価方法・基準

評価項目	割合
ルーブリックにより評価する。	100%

その他

質問等は講義の前後、またはメールで受け付ける。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1～15	東洋医学、漢方医学、統合医学に関する文献を検索し、評価することにより、研究の今後の展望を理解する。	臨床講義演習 セミナー	久保田　潤平 多田　葉子 唐木　純一	関連領域の文献検索および精読	

2025年度　　科目コード： 212165

高齢･障害者歯科学特論

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～4 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	久保田　潤平						
担当教員	久保田　潤平,多田　葉子,唐木　純一						

授業の概要

要介護高齢者や特別の対応を必要とする患者に対する歯科診療や口腔ケアの特殊性を理解し、評価方法および必要な治療法やケア方法について学ぶ。 とくに、寝たきり高齢者の病態について学ぶことで、訪問歯科診療とリハビリテーションを実践できる知識を学ぶ。また、特別の対応を必要とする患者の歯科診療およびリハビリテーションを実践できる知識や心因性因子の関与する患者の歯科診療に関する知識を学ぶ。

学生の到達目標

１．高齢者歯科診療の基本を理解し、国内外の研究を理解する能力を高める。２．要介護高齢者の全身疾患と病態を理解し、国内外の研究を理解する能力を高める。３．障害者の全身疾患と病態を理解し、国内外の研究を理解する能力を高める。４．不定愁訴等など心因性因子の関与する患者の歯科診療を理解し、国内外の研究を理解する能力を高める。５．高齢者歯科学及び障害者歯科学、心身医学に関する臨床、基礎研究を評価できる力を高める。

テキスト

タイトル	著者	出版社
資料は提示・配布する		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
ルーブリックにより評価する。	70%

その他

質問等は講義の前後、またはメールで受け付ける。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1～15	要介護高齢者に対する訪問歯科診療および口腔ケア、障害者の歯科診療とリハビリテーション、心身医学に関する最新の知識と研究を検索し、評価することにより、研究の今後の展望を理解する。	臨床講義、演習、セミナー	久保田　潤平 多田　葉子 唐木　純一	関連領域の文献検索および精読	

2025年度　　科目コード： 212166

摂食嚥下リハビリテーションセミナー（実践）

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～4 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	久保田　潤平						
担当教員	久保田　潤平,多田　葉子,唐木　純一						

授業の概要

摂食・嚥下リハビリテーションについて基礎的な内容から実際に検査・診断を行うための手技等について講義・演習を通して学ぶ。

学生の到達目標

① 摂食嚥下のメカニズムを説明できる。② 摂食嚥下障害の原因を説明できる。③ 摂食嚥下障害の診査・診断について説明できる。④ 摂食嚥下障害に対するアプローチを説明できる。⑤内視鏡を用いた検査を実施できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
歯学生のための摂食・嚥下リハビリテーション学	向井美惠	医歯薬出版

参考書

タイトル	著者	出版社
食べる機能の障害	金子芳洋	医歯薬出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
ルーブリックにより評価する。	100%

その他

質問等は講義の前後、またはメールで受け付ける。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1.2	摂食嚥下のメカニズム	講義	久保田　潤平	摂食嚥下の5期モデル、プロセスモデル	
3.4	摂食嚥下機能の発達	講義	多田　葉子	摂食嚥下機能発達過程	
5.6	摂食嚥下障害の原因	講義	唐木　純一	器質的嚥下障害、運動機能性嚥下障害、機能性嚥下障害	
7.8	摂食嚥下障害の診査	講義	久保田　潤平	スクリーニング検査、ＶＥ・ＶＦ	
9	摂食嚥下障害への対応1	講義	多田　葉子	訓練法の種類	
10.11	摂食嚥下障害への対応2	演習	久保田　潤平 多田　葉子 唐木　純一	間接訓練	

2025年度　　科目コード： 212166

摂食嚥下リハビリテーションセミナー（実践）

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	久保田　潤平						
担当教員	久保田　潤平,多田　葉子,唐木　純一						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
12.13	摂食嚥下障害への対応3	演習	久保田　潤平 多田　葉子 唐木　純一	直接訓練	
14.15	嚥下内視鏡検査	演習	久保田　潤平 多田　葉子 唐木　純一	咽頭の構造、内視鏡の取り扱い	

2025年度　　科目コード： 213001

大学院特別講義

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～4 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	古株　彰一郎						
担当教員	古株　彰一郎						

授業の概要

第一線で活躍されている研究者を招き、最新情報を講演してもらう。

学生の到達目標

１．各講演者の専門領域の最新情報を得て知識を高める。
２．研究の背景、研究をするに至った動機、研究の結果および考察を理解できる。
３．今後の研究の展開について考え、対応できる。
４．講演内容が各自の研究へどのように反映されるか考え、対応できる。
５．学会・コンファレンスに参加し、質疑応答ができる。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
出席・講義終了後レポート	100%

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
	母集団分布の正規性の検定と２つの母集団の等分散の検定			講義後レポート	
	35年で顎矯正手術はどのように変わったか？			講義後レポート	
	「口腔領域に関わる疾患遺伝子の同定と機能解析」、「乳歯を用いた再生医療技術の開発」			講義後レポート	
	口腔健康管理における歯科衛生士の役割と今後の展望			講義後レポート	
	インプラント骨質研究の新展開			講義後レポート	
	口腔感染症に対する新たな治療戦略			講義後レポート	
	舌・呼吸・MFTに関する基礎知識			講義後レポート	
	低酸素応答による生体内代謝調節の理解と疾患治療への応用			講義後レポート	
	歯科の疫学研究の現状と課題			講義後レポート	
	歯周炎とインプラント周囲炎 - 治療とその予防 -			講義後レポート	

2025年度　　科目コード： 213001

大学院特別講義

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講義	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	古株　彰一郎						
担当教員	古株　彰一郎						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
	α-ケトグルタル酸はヒストンメチル化を調節することで加齢に伴う骨粗鬆症を改善する			講義後レポート	
	アントレプレナーシップとは。			講義後レポート	
	歯科医療人と死生学			講義後レポート	
	歯科器材における先端デジタルテクノロジー			講義後レポート	
	金属生体材料を最も用いている診療科は歯科であり、金属アレルギーは、歯科治療の上で重要な疾患である。金属アレルギーの疫学調査、ならびに、金属アレルギーの発症機序について最新の知見を加え、講義する。			講義後レポート	

2025年度　　科目コード： 213011

生命分子形態学

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～2 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	演習	**時間数**	16	**単位数**	1
科目責任者	瀬田　祐司						
担当教員	瀬田　祐司,豊野　孝,片岡　真司,松山　佳永						

授業の概要

（１）硬組織や軟組織を中心に、口腔組織の常態や病態について関連の最新の研究の動向を理解するため、文献を詳読する。　（２）光顕ならびに電顕試料の作製法を理解するとともに、標本を作製できる。　（３）免疫組織化学法、in situ Hybridization法を理解するとともに標本を作製できる。

学生の到達目標

1．英語文献を読み込む能力を養うとともに、論文を書く能力を習得し、実践できる。2．免疫組織化学法を理解できる。3．in situ Hybridization法の基礎を理解できる。4．免疫電子顕微鏡法の基礎を理解できる。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
演習中の試問に対する回答	10%
実験操作の正確性・達成度	90%

その他

学生相談：随時

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	オリエンテーション本演習で学ぶ手技について原理・応用を学習する。	講義	瀬田　祐司 豊野　孝 片岡　真司 松山　佳永	文献及び参考文献の学習	
2	組織切片の作製法１ 各種固定液の調整法、マウスの還流固定を演習する。	演習	瀬田　祐司 豊野　孝 片岡　真司 松山　佳永	文献及び参考文献の学習	
3	組織切片の作製法２ 固定した組織の包埋を演習する。	演習	瀬田　祐司 豊野　孝 片岡　真司 松山　佳永	文献及び参考文献の学習	
4	組織切片の作製法3 包埋したブロックからの切片作製法を演習する。	演習	瀬田　祐司 豊野　孝 片岡　真司 松山　佳永	文献及び参考文献の学習	
5	免疫染色演習（組織における蛋白局在の検索） 抗体を用いて切片上での蛋白質の局在の検索を演習する。	演習	瀬田　祐司 豊野　孝 片岡　真司 松山　佳永	文献及び参考文献の学習	

2025年度　　科目コード： 213011

生命分子形態学

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～2 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	演習	**時間数**	16	**単位数**	1
科目責任者	瀬田　祐司						
担当教員	瀬田　祐司,豊野　孝,片岡　真司,松山　佳永						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
6	In situ Hybridization法演習１ In situ Hybridization用の組織切片の作製法を演習する。	演習	瀬田　祐司 豊野　孝 片岡　真司 松山　佳永	文献及び参考文献の学習	
7	In situ Hybridization法演習２ プローブを用いて、組織切片上での遺伝子発現を検索する方法を演習する。	演習	瀬田　祐司 豊野　孝 片岡　真司 松山　佳永	文献及び参考文献の学習	
8	免疫電子顕微鏡法の基礎と実際 post embedding法による蛋白の微細局在の検出を演習する。	演習	瀬田　祐司 豊野　孝 片岡　真司 松山　佳永	文献及び参考文献の学習	

2025年度　　科目コード： 213021

分子生物学演習Ⅰ

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～3 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	20	単位数	1
科目責任者	松原　琢磨						
担当教員	松原　琢磨,古株　彰一郎,Addison William						

授業の概要

分子生物学実験でよく用いられるWestern Blotting法とRT-PCR法を理解し、各自の研究に応用する。また、科学論文で上記方法がどのような解析に用いられているか理解する。分子生物学演習ⅠではWestern Blotting法とRT-PCR法をマスターする。 具体的には、骨芽細胞を骨誘導因子BMPで刺激し、BMPのシグナル伝達分子Smad1/5/8のリン酸化をWestern Blotで検討する。またBMP刺激によって発現が誘導される転写因子（Id1, Osterix）や骨芽細胞の分化マーカー（Ⅰ型コラーゲン、Oteonectin, Osteocalcin）の発現の変化をRT-PCR法で検討する。

学生の到達目標

・セントラルドグマを説明できる。
・RNA、タンパク質の取り扱いができる。
・RT-PCRの原理を説明できる。
・Western Blottingの原理を説明できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
A-1-1-2	分子の成り立ちと生体構成分子に関する化学的性質を理解している。
A-1-2-1	アミノ酸とタンパク質の構造、機能及び代謝を理解している。
A-1-3-1	メンデルの法則や遺伝子型と表現型の関係を理解している。
A-1-3-2	核酸、遺伝子及び染色体の構造と機能を理解している。
A-1-3-3	デオキシリボ核酸(DNA)複製と修復、DNAからリボ核酸(RNA)への転写、タンパク質合成に至る翻訳を含む遺伝情報の発現及び調節を理解している。
A-1-3-4	遺伝性疾患の発生機序を理解している。
A-1-3-5	遺伝子解析や遺伝子工学技術を理解している。
A-1-3-6	染色体分析とDNA配列決定を含むゲノム解析技術を理解している。

テキスト

タイトル	著者	出版社
必要に応じて各自入手する。		

参考書

タイトル	著者	出版社
必要に応じて各自入手する。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
口頭試問	100%

2025年度　　科目コード： 213021

分子生物学演習Ⅰ

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～3 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	20	**単位数**	1
科目責任者	松原　琢磨						
担当教員	松原　琢磨,古株　彰一郎,Addison William						

その他

学生相談：随時

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1，2	Western Blotting について学ぶ#１ 骨芽細胞をBMPで刺激し、経時的(0,15,30,60,120分)にタンパク質を調製する。	講義・演習	松原　琢磨	タンパク質の取扱の予習	その他
3，4	Western Blotting について学ぶ#２ タンパク定量、SDS-PAGE、transferからblocking後、１次抗体を反応させる。	講義・演習	松原　琢磨	Western Blottingの原理の予習	その他
5，6	Western Blotting について学ぶ#３ ２次抗体の反応、結果を見る。 RT-PCR について学ぶ#１ 骨芽細胞をBMPで刺激し、経時的（1,2,4,12,24 h）にRNAを調製し、RNAの定量をおこなう。	講義・演習	松原　琢磨	RNAの取り扱いの予習	その他
7，8	RT-PCR について学ぶ#２ cDNAの合成およびPCRをおこなう。	講義・演習	古株　彰一郎	RT-PCRの原理の予習	その他
9，10	RT-PCR について学ぶ#３ PCRの結果をアガロース電気泳動で確認する。	講義・演習	Addison William	RT-PCRおよびWestern Blottingの復習	その他

2025年度　　科目コード： 213022

分子生物学演習Ⅱ

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～3 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	20	単位数	1
科目責任者	松原　琢磨						
担当教員	松原　琢磨,古株　彰一郎,Addison William						

授業の概要

分子生物学実験でよく用いられる遺伝子導入法を理解し、各自の研究に応用する。また、科学論文で上記方法がどのような解析に用いられているか理解する。分子生物学演習Ⅱでは遺伝子導入法とその発現量、機能解析法をマスターする。

学生の到達目標

・遺伝子導入の原理について説明できる。
・タグの種類、検出法が説明できる。
・ルシフェラーゼアッセイの原理が説明できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
A-1-1-2	分子の成り立ちと生体構成分子に関する化学的性質を理解している。
A-1-2-1	アミノ酸とタンパク質の構造、機能及び代謝を理解している。
A-1-2-5	酵素の機能と調節、主な代謝異常を理解している。
A-1-3-2	核酸、遺伝子及び染色体の構造と機能を理解している。
A-1-3-3	デオキシリボ核酸(DNA)複製と修復、DNAからリボ核酸(RNA)への転写、タンパク質合成に至る翻訳を含む遺伝情報の発現及び調節を理解している。
A-1-3-4	遺伝性疾患の発生機序を理解している。
A-1-3-5	遺伝子解析や遺伝子工学技術を理解している。
A-1-3-6	染色体分析とDNA配列決定を含むゲノム解析技術を理解している。

テキスト

タイトル	著者	出版社
必要に応じて各自入手する。		

参考書

タイトル	著者	出版社
必要に応じて各自入手する。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
口頭試問	0%

その他

学生相談：随時

2025年度　　科目コード： 213022

分子生物学演習 II

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～3 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	20	**単位数**	1
科目責任者	松原　琢磨						
担当教員	松原　琢磨,古株　彰一郎,Addison William						

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1，2	遺伝子導入法の原理と手技を学ぶ。① 遺伝子導入法の種類およびルシフェラーゼアッセイの原理の説明。② FLAGタグ、V5タグを付加した遺伝子とルシフェラーゼ遺伝子を導入する。	講義・演習	古株　彰一郎	遺伝子導入の原理およびタグ	その他
3，4	ルシフェラーゼアッセイの原理と手技を学ぶタンパク質の調製およびルシフェラーゼアッセイ。	講義・演習	Addison William	ルシフェラーゼアッセイ	その他
5，6	タグの原理と検出方法を学ぶタグに対する抗体を用いたWestern blottingによる遺伝子導入したタンパク質の発現確認	講義・演習	松原　琢磨	タグを付加した遺伝子の発現確認法	その他
7，8	GFP融合タンパク質の原理を学ぶ。GFP融合タンパク質の説明とGFP誘導タンパク質の遺伝子導入	講義・演習	松原　琢磨	GFP融合タンパク質	その他
9，10	GFP融合タンパク質の検出方法を学ぶ。蛍光顕微鏡によるGFPの発現確認	講義・演習	松原　琢磨	これまでの復習	その他

2025年度　　科目コード： 213031

神経生理実験法

開講学科	歯学専攻			開講年次	1〜2 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	演習	時間数	16	単位数	1
科目責任者	小野　堅太郎						
担当教員	小野　堅太郎,中富　千尋						

授業の概要

スライス標本作製法および単離神経細胞の作製方法を教授する。 パッチクランプ法を教授する。 動物実験による痛みの評価方法を教授する。

学生の到達目標

1.スライス標本作成法を習得する。2.神経細胞の単離の仕方および単離した神経細胞からの電気信号の記録法を理解する。3.疼痛の評価方法を理解する。

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	100%

その他

学生相談：随時

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1〜8	スライス標本作製パッチクランプ法疼痛評価法スライス標本作製し、神経細胞からパッチクランプにより電気活動記録を行う方法を学ぶ。動物を用いた痛覚評価法を学ぶ。	演習		文献、参考書の予習と演習の復習	

2025年度　　科目コード： 213041

画像撮影技術と解析法

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	演習	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	森本　泰宏						
担当教員	森本　泰宏,小田　昌史,若杉　奈緒,西村　瞬,松本　忍 （歯科放射線指導医）森本　泰宏、小田　昌史　（歯科放射線専門医）森本　泰宏、若杉　奈緒、小田　昌史、西村　瞬　（歯科放射線認定医）森本　泰宏、若杉　奈緒、小田　昌史、松本　忍、西村　瞬						

授業の概要

CT及びコーンビームCTの撮影技術と解析法を教授する。 MRIの撮影技術と解析法を教授する。 超音波検査の検査技術と解析法を教授する。

学生の到達目標

CT及びコーンビームCTの撮影を経験し、知識を高める。MRI撮影の技術を経験し、知識を高める。超音波検査を経験し、知識を高める。

参考書

タイトル	著者	出版社
CT、CBCT、MRI及び超音波装置の取扱説明書		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	60%
演習での口頭試問	40%

その他

【オフィスアワー】講義の前後、またはメールで受け付ける。病院3階歯科放射線科診療室及び病院11階歯科放射線学講座研究室にて随時質問事項を受け付けています。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1～3	最新のCTの撮影技術と画像解析法について実践を通して理解する。	演習	森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 松本　忍 西村　瞬	予習、復習として参考書を読む	
4，5	最新の歯科用コーンビームCT（CBCT）の撮影技術と画像解析法について実践を通して理解する。	演習	小田　昌史 森本　泰宏 若杉　奈緒 松本　忍 西村　瞬	予習、復習として参考書を読む	

2025年度　　科目コード： 213041

画像撮影技術と解析法

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	演習	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	森本　泰宏						
担当教員	森本　泰宏,小田　昌史,若杉　奈緒,西村　瞬,松本　忍 （歯科放射線指導医）森本　泰宏、小田　昌史　（歯科放射線専門医）森本　泰宏、若杉　奈緒、小田　昌史、西村　瞬　（歯科放射線認定医）森本　泰宏、若杉　奈緒、小田　昌史、松本　忍、西村　瞬						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
6，7	基礎的MRIの撮影技術と画像解析法について実践を通して理解する。	演習	若杉　奈緒 森本　泰宏 小田　昌史 松本　忍 西村　瞬	予習、復習として参考書を読む	
8~12	Dynamic MR、functional MRI及びCine-MRI等、最新のMRI撮影技術と画像解析法について実践を通して理解する。	演習	西村　瞬 森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 松本　忍	予習、復習として参考書を読む	
13~15	Power DopplerやElastography等、基礎から最新の超音波検査の撮影技術と画像解析法について実践を通して理解する。	演習	松本　忍 森本　泰宏 小田　昌史 若杉　奈緒 西村　瞬	予習、復習として参考書を読む	

2025年度　　科目コード： 213061

摂食脳科学

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～4 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	吉野　賢一						
担当教員	吉野　賢一						

授業の概要

認知期、咀嚼期、口腔期、咽頭期、食道期の5期に分類される摂食嚥下において、大脳皮質は重要な役割を担っている。本授業では、とくに認知期において不可欠なヒト高次脳機能について学ぶ。

学生の到達目標

１．ヒトと他の動物の摂食行動の違いを，大脳生理学的に説明できる。２．摂食行動に関与する高次脳機能について説明できる。３．神経系を介した口腔と全身の関わりについて理解する。

参考書

タイトル	著者	出版社
Principles of Neural Science, Fifth Edition	Kandel ER, Schwartz JH, Jessell TM Siegelbaum SA, Hudspeth AJ	

成績評価方法・基準

評価項目	割合
講義後レポート課題	100%
	0%

その他

吉野賢一：月～金の9:00～17:00

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
			吉野　賢一		Moodle
1	脳から見たの摂食行動（概念①）目ではなく脳で「見る」ことを理解し、口ではなく脳で「食べる」ことについて学ぶ。	講義	吉野　賢一	事後レポートの提出	Moodle
2	脳から見たの摂食行動（概念②）脳が「味わう」、脳が「痛い」を学ぶ。	講義	吉野　賢一	事後レポートの提出	Moodle

2025年度　　科目コード： 213061

摂食脳科学

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～4 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	吉野　賢一						
担当教員	吉野　賢一						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
3	摂食行動の認知期（情報処理①）視覚情報処理の「注意」について学ぶ。	講義	吉野　賢一	事後レポートの提出	Moodle
4	摂食行動の認知期（情報処理②）視覚情報処理の複雑な処理「輪郭の検出」「融合」「恒常性」について学ぶ。	講義	吉野　賢一	事後レポートの提出	Moodle
5	摂食行動の認知期（情報処理③）視覚情報処理における「意味（形・色）」の処理について学ぶ。	講義	吉野　賢一	事後レポートの提出	Moodle
6	摂食行動の認知期（情報処理④）視覚情報処理における「動き・場所」の処理について学ぶ。	講義	吉野　賢一	事後レポートの提出	Moodle
7	摂食行動の認知期（情報処理⑤）視覚情報処理における「空間情報」の処理について学ぶ。	講義	吉野　賢一	事後レポートの提出	Moodle
8	摂食行動の認知期（情報処理⑥）視覚情報処理における情報の「統合・認知・選択」について学ぶ。	講義	吉野　賢一	事後レポートの提出	Moodle
9	摂食行動の認知期（空間認知・運動準備）認知期における対象物の位置や性状の処理、運動のプログラミングや準備について学ぶ。	講義	吉野　賢一	事後レポートの提出	Moodle
10	摂食行動の準備期準備期における運動制御と感覚情報処理、および記憶の関与について学ぶ。	講義	吉野　賢一	事後レポートの提出	Moodle
11	ヒトの摂食行動①動物は栄養摂取のために摂食行動を行うが、ヒトは栄養摂取以外の目的でも「食べる」ことを理解し、食と心の関係を学ぶ。	講義	吉野　賢一	事後レポートの提出	Moodle
12	ヒトの摂食行動①ヒトの「食べる」には、感情の抑制と行動の制御、記憶（作動記憶）が深く関係することを学ぶ。	講義	吉野　賢一	事後レポートの提出	Moodle

2025年度　　科目コード： 213061

摂食脳科学

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講義	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	吉野　賢一						
担当教員	吉野　賢一						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
13	脳に関する基礎知識脳の機能局在性を理解し、大脳基底核、大脳辺縁系、大脳皮質、白質の機能を学ぶ。	講義	吉野　賢一	事後レポートの提出	Moodle
14	記憶①記憶の過程、長期記憶の種類および特徴について学ぶ。	講義	吉野　賢一	事後レポートの提出	Moodle
15	記憶②短期記憶の特徴について学ぶ。	講義	吉野　賢一	事後レポートの提出	Moodle

2025年度　　科目コード： 213062

保険診療実践演習

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	演習	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	福泉　隆喜						
担当教員	福泉　隆喜						

授業の概要

まず、保険診療の制度概要、基本事項の告示・留意事項通知、運用ルールの疑義解釈などを確認する。その後、実際の臨床で経験した具体的事例に基づいた演習を行い、適切な保険診療の進め方を学ぶ。この演習を通じて、適切かつ効率的に診療報酬を算定出来るスキルや、類似の症例にも即応できる応用力を習得する。

学生の到達目標

１．診療報酬制度の概要を説明できる。
２．保険診療の算定ルールを実践できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
歯科点数表の解釈		社会保険研究所

参考書

タイトル	著者	出版社
演習に使用する事例は、各自の症例を用いる。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
症例の理解度	50%
他の症例への応用力	50%

その他

学生相談：随時

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
			福泉　隆喜		
1	保険診療の制度概要、基本事項の告示・留意事項通知、運用ルールの疑義解釈などを確認する。	概要説明、意見交換	福泉　隆喜	保険診療の制度概要を把握する。	
2～15	実際の臨床で経験した具体的事例に基づいた演習を行い、適切な保険診療の進め方を学ぶ。この演習を通じて、適切かつ効率的に診療報酬を算定出来るスキルや、類似の症例にも即応できる応用力を習得する。	症例説明、意見交換	福泉　隆喜	各症例に関係する部分の歯科点数表の解釈を詳読する。	

2025年度　　科目コード： 213064

統計解析の基礎

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講義	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	深井　康成						
担当教員	深井　康成						

授業の概要

例題を解きながら統計学の方法を体得する。できる範囲で、統計学の方法の理論的な基礎についても説明する。
例題としては、医療に関連したテーマを多く採用する。

学生の到達目標

学生の到達目標
1．さまざまな仮説検定法を体得し、実践できる。
2．統計的推定を理解できる。
3，統計学の考え方を理解できる。

コアカリキュラム項目

コアカリキュラム	内容
C-6-2-1	確率変数とその分布、統計的推測(推定と検定)の原理と方法を理解している。

テキスト

タイトル	著者	出版社
プリントを配る		

参考書

タイトル	著者	出版社
例題中心　確率・統計入門	水原昴廣、宇野力	学術図書出版社

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	100%

その他

平方根が計算できる電卓を持参すること

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	確率論からの準備（その1） 集合について学ぶ。	講義	深井　康成	図書館の本（例えば、「例題中心　確率・統計入門」の１ページから３ページ）で集合につ復習	３１２講義室

2025年度　　科目コード： 213064

統計解析の基礎

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～4 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	深井　康成						
担当教員	深井　康成						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
2	確率論からの準備（その2) 確率空間の定義と確率の性質について学ぶ。	講義	深井　康成	集合についての復習	３１２講義室
3	確率論からの準備（その3) 離散型確率変数の平均と分散について学ぶ。	講義	深井　康成	確率空間の定義の復習	３１２講義室
4	確率論からの準備（その4) 確率変数の独立性、連続型確率変数の平均と分散について学ぶ。	講義	深井　康成	離散型確率変数の平均と分散の復習	３１２講義室
5	確率論からの準備（その5) 確率論からの準備（その1)~（その4）のまとめ	講義	深井　康成	確率変数の独立性、連続型確率変数の平均と分散の復習	３１２講義室
6	統計学の考え方 母集団、母数、母集団分布について学ぶ。	講義	深井　康成	確率空間、確率変数、独立性、平均と分散の定義の復習	３１２講義室
7	統計的推定 点推定、不偏推定量と区間推定法について学ぶ。	講義	深井　康成	母集団、母数、母集団分布についての復習	３１２講義室
8	統計的検定（その1) 仮説検定法、帰無仮説、対立仮説、危険率、棄却領域について学ぶ。	講義	深井　康成	点推定、不偏推定量と区間推定法についての復習	３１２講義室
9	統計的検定（その2) 平均値の検定について学ぶ。	講義	深井　康成	仮説検定法、帰無仮説、対立仮説、危険率、棄却領域についての復習	３１２講義室
10	統計的検定（その3) 出現率の検定について学ぶ。	講義	深井　康成	平均値の検定についての復習	３１２講義室
11	統計的検定（その4) 符号検定について学ぶ	講義	深井　康成	出現率の検定についての復習	３１２講義室
12	統計的検定（その5) 順序和検定について学ぶ。	講義	深井　康成	符号検定についての復習	３１２講義室

2025年度　　科目コード： 213064

統計解析の基礎

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講義	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	深井　康成						
担当教員	深井　康成						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
13	統計的検定（その6) 適合度の検定と独立性の検定について学ぶ。	講義	深井　康成	順序和検定についての復習	３１２講義室
14	統計的検定（その7) フィシャーの直接検定法について学ぶ。	講義	深井　康成	適合度の検定と独立性の検定についての復習	３１２講義室
15	統計的検定（その8) 相関係数を用いた検定について学ぶ。	講義	深井　康成	フィシャーの直接検定法についての復習	３１２講義室

2025年度　　科目コード： 213066

学術基礎英語

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～4 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	演習	時間数	30	単位数	2
科目責任者	海寶　康臣						
担当教員	海寶　康臣						

授業の概要

この科目では、研究に必要なリーディング力とライティング力の基礎を養うことを目指すとともに、語彙力の増強にも力を入れる。

学生の到達目標

①歯科医学に関する文章を効果的かつ効率的に読むことができるようになる。②よくまとまったパラグラフを書くことができる。③しっかりした構成のエッセイを書くことができる。④論文の抄録を書くことができる。⑤1,000語単語を増やす。⑥英語を使う習慣を身に着ける。

テキスト

タイトル	著者	出版社
使用教材については初回の授業で説明する。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
リーディングの課題	50%
ライティングの課題	50%

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	オリエンテーション　語彙サイズテスト	演習		自己紹介	
2	フリーライティング　パラグラフの構造について	演習		パラグラフの構造について	
3	パラグラフの構造を踏まえたライティング（テーマ１）リーディング	演習		語彙力学習 パラグラフの構造を踏まえたライティング（テーマ１）リーディング	
4	パラグラフの構造を踏まえたライティング（テーマ１）リーディング	演習		語彙学習 パラグラフの構造を踏まえたライティング（テーマ１）	

2025年度　　科目コード： 213066

学術基礎英語

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～4 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	演習	時間数	30	単位数	2
科目責任者	海寶　康臣						
担当教員	海寶　康臣						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
5	パラグラフの構造を踏まえたライティング（テーマ２）リーディング	演習		語彙学習 パラグラフの構造を踏まえたライティング（テーマ２）	
6	パラグラフの構造を踏まえたライティング（テーマ２）エッセイの構成について　リーディング	演習		語彙学習 パラグラフの構造を踏まえたライティング（テーマ２）	
7	エッセイライティング（テーマ１）リーディング	演習		語彙学習 エッセイライティング（テーマ１）	
8	エッセイライティング（テーマ１）リーディング	演習		語彙学習 エッセイライティング（テーマ１）	
9	エッセイライティング（テーマ２）リーディング	演習		語彙学習 エッセイライティング（テーマ２）	
10	エッセイライティング（テーマ２）リーディング	演習		語彙学習 エッセイライティング（テーマ２）	
11	エッセイライティング（テーマ３）リーディング	演習		語彙学習 エッセイライティング（テーマ３）リーディング	
12	エッセイライティング（テーマ３）リーディング			語彙学習 エッセイライティング（テーマ３）リーディング	
13	抄録の執筆　リーディング	演習		語彙学習 抄録の執筆	
14	抄録の執筆　リーディング	演習		語彙学習 抄録の執筆	

2025年度　　科目コード： 213066

学術基礎英語

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	演習	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	海寶　康臣						
担当教員	海寶　康臣						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
15	自己評価　語彙サイズテスト	演習		語彙学習	

2025年度　　科目コード： 214012

バイオ計測学特論

開講学科	歯学専攻			開講年次	1〜2 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	(非)佐藤　しのぶ						
担当教員	(非)佐藤　しのぶ						

授業の概要

バイオ分析化学は生命化学を学ぶ上で必要不可欠な学問として位置付けられる。ここでは、小分子と核酸、小分子と蛋白質の相互作用を分析するための最新のバイオ分析手法を取り上げ講義する。

学生の到達目標

１．生体高分子である蛋白質、核酸、酵素に関する知識を習得する。２．生体高分子の代表的な分析手法である分子分光分析、等温滴定型カロリメトリー、水晶発振子マイクロバランス、表面プラズモン共鳴、円偏光二色性分析、電気化学測定、原子間力顕微鏡の原理を理解する。３．データの取り扱い方、統計解析法を習得する。

テキスト

タイトル	著者	出版社
In this course, no textbook is available.		

参考書

タイトル	著者	出版社
Essential 細胞生物学	中村桂子・松原謙一 監訳	南江堂
ベーシック分析化学	高木誠　編著	化学同人
生命科学のための物理化学	稲葉章・中側敦史 訳	東京科学同人

成績評価方法・基準

評価項目	割合
講義の事後レポートもしくは演習課題の提出（10項目）10回×10点	100%

その他

学生相談：随時

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	授業の概説	講義		講義の復習	
2	蛋白質、核酸、酵素の構造と特徴	講義		講義の復習と次回講義部分の予習	

2025年度　　科目コード： 214012

バイオ計測学特論

開講学科	歯学専攻			開講年次	1〜2 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	(非)佐藤　しのぶ						
担当教員	(非)佐藤　しのぶ						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
3	分子分光分析-1 (結合解析)	講義		講義の復習と次回講義部分の予習	
4	分子分光分析-2 (速度論解析)	講義		講義の復習と次回講義部分の予習	
5	分子分光分析-3 (熱力学的解析)	講義		講義の復習と次回講義部分の予習	
6	等温滴定型カロリメトリー	講義		講義の復習と次回講義部分の予習	
7	水晶発振子マイクロバランス	講義		講義の復習と次回講義部分の予習	
8	表面プラズモン共鳴	講義		講義の復習と次回講義部分の予習	
9	円偏光二色性分析	講義		講義の復習と次回講義部分の予習	
10	電気化学測定(拡散系)	講義		講義の復習と次回講義部分の予習	
11	電気化学測定(固定化系)-1	講義		講義の復習と次回講義部分の予習	
12	電気化学測定(固定化系)-2	講義		講義の復習と次回講義部分の予習	
13	原子間力顕微鏡	講義		講義の復習と次回講義部分の予習	
14	測定データの取り扱い・統計解析	講義		講義の復習と次回講義部分の予習	
15	まとめ	講義		講義の復習	

2025年度　　科目コード： 214114

歯科放射線学概論

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講義	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	森本　泰宏						
担当教員	森本　泰宏 （歯科放射線指導医）森本　泰宏、小田　昌史 （歯科放射線専門医）森本　泰宏（歯科放射線認定医）森本　泰宏						

授業の概要

歯科放射線学は臨床系の学問ではあるが、基礎教科として物理学、生物学、解剖学、病理学の学習を必要とする。それらの科目を基礎として、画像診断学及び放射線治療学が成り立っていくのである。リサーチマインドを持ち将来歯科放射線学の研究者を目指すためにまず上記内容を高いレベル理解してもらうことが重要である。そこで、授業では「放射線概論」、「口腔解剖学」及び「Contemporary Oral and Maxillofacial Pathology」を教科書としてその中の日常臨床と関連する内容を発表形式で復習してもらう。その中で第一種放射線取扱主任者の合格、口腔解剖学及び口腔病理学の知識を掌握できることを目指してもらう。次に、それらの内容をベースにして画像診断学の修得を行ってもらう。具体的には、下記に示す教科書を用いて授業を行い、質の高い画像をもとに論理的に正しい診断手法を身に着けてもらう。そこで、臨床実践に則した形式で学んでもらうよう授業形態はゼミ方式をとり、使用教科書としては「頭頸部のCT・MRI」及び「頭頸部画像診断ハンドブック」を用いる。この本を分担して読みながら日常臨床に関連する内容を発表形式で授業する。

学生の到達目標

学部学生時代に学んだエックス線の発生原理、エックス線写真の画像化原理及びエックス線写真を作成するための手法について復習し、一歩進んだレベル迄把握することで、放射線物理学の科目で第一種放射線取扱主任者の合格レベルを充たす。同時に、放射線とはどのようなものであるかを理解し、放射線被曝により引き起こされる生物学的作用の発生機序及び疾患を深いレベル迄理解することで、放射線生物学における第一種放射線取扱主任者の合格レベルを充たす。同時に生物学的効果を利用した放射線治療法についても最新のガンマナイフ等を利用した治療の在り方について迄把握する。放射線の生物学的影響から放射線従事者の身体を守るための防護方法について法律学的立場からとそれに準じた具体的方策を理解し、第一種放射線取扱主任者試験の放射線防護学及び管理学に合格できるレベルを充たす。上記内容を把握した上で、頭頸部に発生する各種疾患に対して、歯科用エックス線写真、パノラマエックス線写真、CT、MRI、超音波、PET等を用いて作成された各種画像の対象疾患に対する特徴的所見を理解できる。更に、それら所見を論理的にしかも正確に評価し、質的及び部位的診断が総合的に高いレベルで実践できる。

参考書

タイトル	著者	出版社
頭頸部のCT・MRI		
頭頸部画像診断ハンドブック		
Contemporary Oral and Maxillofacial Pathology		
放射線概論		
口腔解剖学		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
発表	50%
口頭試問	50%

2025年度　　科目コード： 214114

歯科放射線学概論

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講義	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	森本　泰宏						
担当教員	森本　泰宏 （歯科放射線指導医）森本　泰宏、小田　昌史 （歯科放射線専門医）森本　泰宏（歯科放射線認定医）森本　泰宏						

その他

【オフィスアワー】講義の前後、またはメールで受け付ける。病院3階歯科放射線科診療室及び病院11階歯科放射線学講座研究室にて随時質問事項を受け付けています。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	放射線物理学：放射線の発生原理と物質との相互作用について理解する	講義・演習	森本　泰宏	予習、復習として参考書を読む	
2	放射線化学：放射性核種の製造、利用法について理解する	講義・演習	森本　泰宏	予習、復習として参考書を読む	
3	放射線生物学：放射線被曝により引き起こされる生物学的作用の発生機序及び代表的疾患について理解する	講義・演習	森本　泰宏	予習、復習として参考書を読む	
4	放射線測定技術：被曝線量の測定機器の原理と放射線測定の実際について理解する	講義・演習	森本　泰宏	予習、復習として参考書を読む	
5	放射線測定技術：放射線被曝に対する防護、事故防止のための放射線の管理技術について理解する	講義・演習	森本　泰宏	予習、復習として参考書を読む	
6	放射線に関する法令：放射線障害防止法の概要について理解する	講義・演習	森本　泰宏	予習、復習として参考書を読む	
7	写真工学：X線写真撮影を行った後それを画像化するために必要な処理方法を理解する	講義・演習	森本　泰宏	予習、復習として参考書を読む	
8	医用画像転送技術：現代の医学に欠かすことの出来ない医用画像転送技術の有益性と危険性を理解する	講義・演習	森本　泰宏	予習、復習として参考書を読む	
9	基礎放射線のまとめを行い、全内容を復習する。	講義・演習	森本　泰宏	予習、復習として参考書を読む	

2025年度　　科目コード： 214114

歯科放射線学概論

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講義	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	森本　泰宏						
担当教員	森本　泰宏 （歯科放射線指導医）森本　泰宏、小田　昌史 （歯科放射線専門医）森本　泰宏（歯科放射線認定医）森本　泰宏						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
10	画像検査法・単純エックス線検査：頭頸部領域の疾患に対して行われる単純エックス線検査の特徴とその画像上での所見について理解する	講義・演習	森本　泰宏	予習、復習として参考書を読む	
11	画像検査法・CT検査：CT検査の画像化機序および各種疾患におけるCT検査上での特徴的な所見について理解する	講義・演習	森本　泰宏	予習、復習として参考書を読む	
12	画像検査法・MRI検査：MRI検査の画像化機序および各種疾患におけるMRI検査上での特徴的な所見について理解する	講義・演習	森本　泰宏	予習、復習として参考書を読む	
13	画像検査法・超音波検査：超音波検査の画像化機序および各種疾患における超音波検査上での特徴的な所見について理解する	講義・演習	森本　泰宏	予習、復習として参考書を読む	
14	画像検査法・核医学検査：核医学検査法の種類及び画像化機序および各種疾患における核医学検査上での特徴的な所見について理解する	講義・演習	森本　泰宏	予習、復習として参考書を読む	
15	画像検査法のまとめ、全内容を復習する。	講義・演習	森本　泰宏	予習、復習として参考書を読む	
16	画像診断・副鼻腔：副鼻腔の解剖および副鼻腔に発生する各種疾患の特徴的画像所見について理解する	講義・演習	森本　泰宏	予習、復習として参考書を読む	
17	画像診断・顎関節：顎関節の解剖および顎関節に発生する各種疾患の特徴的画像所見について理解する	講義・演習	森本　泰宏	予習、復習として参考書を読む	

2025年度　　科目コード： 214114

歯科放射線学概論

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講義	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	森本　泰宏						
担当教員	森本　泰宏 （歯科放射線指導医）森本　泰宏、小田　昌史 （歯科放射線専門医）森本　泰宏（歯科放射線認定医）森本　泰宏						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
18	画像診断・下顎骨：下顎骨の解剖および下顎骨に発生する各種疾患の特徴的画像所見について理解する	講義・演習	森本　泰宏	予習、復習として参考書を読む	
19	画像診断・頭部筋膜間隙(Ⅰ)：旁咽頭間隙、咀嚼筋間隙、頚動脈間隙の解剖およびこれらの部位に発生する各種疾患の特徴的画像所見について理解する	講義・演習	森本　泰宏	予習、復習として参考書を読む	
20	画像診断・頭部筋膜間隙(Ⅱ)：咽頭後間隙、椎周囲間隙、舌下・顎下間隙の解剖およびこれらの部位に発生する各種疾患の特徴的画像所見について理解する	講義・演習	森本　泰宏	予習、復習として参考書を読む	
21	画像診断・中咽頭・口腔：中咽頭・口腔の解剖およびこれらの部位に発生する各種疾患の特徴的画像所見について理解する	講義・演習	森本　泰宏	予習、復習として参考書を読む	
22	画像診断・上咽頭・下咽頭・喉頭：上咽頭・下咽頭・喉頭の解剖およびこれらの部位に発生する各種疾患の特徴的画像所見について理解する	講義・演習	森本　泰宏	予習、復習として参考書を読む	
23	画像診断・頸部リンパ節転移：頸部リンパ節の解剖および頸部リンパ節転移の特徴的画像所見、頸部郭清術について理解する	講義・演習	森本　泰宏	予習、復習として参考書を読む	
24	画像診断・頸部嚢胞性腫瘤：頸部嚢胞性腫瘤の特徴的画像所見について理解する	講義・演習	森本　泰宏	予習、復習として参考書を読む	
25	画像診断・唾液腺：唾液腺の解剖および唾液腺に発生する各種疾患の特徴的画像所見について理解する	講義・演習	森本　泰宏	予習、復習として参考書を読む	

2025年度　　科目コード： 214114

歯科放射線学概論

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講義	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	森本　泰宏						
担当教員	森本　泰宏 （歯科放射線指導医）森本　泰宏、小田　昌史 （歯科放射線専門医）森本　泰宏（歯科放射線認定医）森本　泰宏						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
26	画像診断・甲状腺・副甲状腺：甲状腺・副甲状腺に発生する各種疾患の特徴的画像所見について理解する	講義・演習	森本　泰宏	予習、復習として参考書を読む	
27	画像診断・頭蓋底と側頭骨：頭蓋底と側頭骨に発生する各種疾患の特徴的画像所見について理解する	講義・演習	森本　泰宏	予習、復習として参考書を読む	
28	画像検査法のまとめ：実際の症例による画像診断演習を行う	講義・演習	森本　泰宏	予習、復習として参考書を読む	
29	頭頸部におけるInterventional Radiology：頭頸部の血管内治療の留意点・実際について理解する	講義・演習	森本　泰宏	予習、復習として参考書を読む	
30	放射線治療学：口腔癌の放射線治療についてその方法、作用機序及び効果的な腫瘍の種類について理解する	講義・演習	森本　泰宏	予習、復習として参考書を読む	

2025年度　　科目コード： 214115

顎顔面外科学概論

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～4 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	土生　学						
担当教員	土生　学						

授業の概要

口腔顎顔面に現れるさまざまな疾患の診断、治療の概略を理解し、臨床の現場で用いられている診断・分析技術、治療用具や薬剤、材料の進歩について理解を深める。 また、それから発して、再生医療や創薬、癌の予防やより早期の診断、低侵襲な治療など臨床の求めに工学の技術、手法がどのように役立てられるかについて考える

学生の到達目標

口腔顎顔面疾患の診断と治療における医療者側のニーズを理解する。

テキスト

タイトル	著者	出版社
資料配布		

参考書

タイトル	著者	出版社
必要に応じて各自入手する		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
講義後の課題レポートによる評価	100%

その他

学生相談：随時

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	顎顔面の解剖と発生	講義	土生　学	授業内容の復習と課題についてレポートを作成し提出すること。	
2	先天異常	講義	土生　学	授業内容の復習と課題についてレポートを作成し提出すること。	
3	発育異常	講義	土生　学	授業内容の復習と課題についてレポートを作成し提出すること。	
4	外傷（創傷治癒）	講義	土生　学	授業内容の復習と課題についてレポートを作成し提出すること。	

2025年度　　科目コード： 214115

顎顔面外科学概論

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～4 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	土生　学						
担当教員	土生　学						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
5	炎症	講義	土生　学	授業内容の復習と課題についてレポートを作成し提出すること。	
6	良性腫瘍	講義	土生　学	授業内容の復習と課題についてレポートを作成し提出すること。	
7	悪性腫瘍（1）	講義	土生　学	授業内容の復習と課題についてレポートを作成し提出すること。	
8	悪性腫瘍（2）	講義	土生　学	授業内容の復習と課題についてレポートを作成し提出すること。	
9	顎関節疾患	講義	土生　学	授業内容の復習と課題についてレポートを作成し提出すること。	
10	粘膜疾患	講義	土生　学	授業内容の復習と課題についてレポートを作成し提出すること。	
11	血液疾患	講義	土生　学	授業内容の復習と課題についてレポートを作成し提出すること。	
12	インプラント	講義	土生　学	授業内容の復習と課題についてレポートを作成し提出すること。	
13	顎顔面補綴	講義	土生　学	授業内容の復習と課題についてレポートを作成し提出すること。	

2025年度　　科目コード： 214115

顎顔面外科学概論

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講義	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	土生　学						
担当教員	土生　学						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
14	手術学（滅菌消毒）	講義	土生　学	授業内容の復習と課題についてレポートを作成し提出すること。	
15	まとめ	講義	土生　学		

2025年度　　科目コード： 214116

骨･骨格筋の分子生物学

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講義	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	古株　彰一郎						
担当教員	古株　彰一郎						

授業の概要

骨・骨格筋の衰弱による運動機能の低下は要支援・要介護状態の大きな原因であり、超高齢社会のわが国では骨と骨格筋の再生医療の確立が急務である。骨・骨格筋は組織量が多く、大きな荷重がかかるため、骨や骨格筋の再生医療では工学的視点が不可欠である。そこで本講義・実習ではベースとなる骨・骨格筋の生理学、関連する疾患ならびに実験手法を学ぶ。

学生の到達目標

骨・骨格筋の生理学、病態生理学、ならびに骨・骨格筋の分子生物学研究の基本となる知識、考え方や実験手法の知識の獲得を目指す。

参考書

タイトル	著者	出版社
必要に応じて各自入手する。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	80%
口頭試問	20%

その他

学生相談：随時

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	培養細胞の扱いと骨格筋細胞増殖モデルの作製法	講義（遠隔または対面）	古株　彰一郎	細胞培養について予習	
2	骨格筋細胞増殖の評価法	講義（遠隔または対面）	Addison William	骨格筋について予習	
3	骨格筋分化モデルの作製法	講義（遠隔または対面）	Addison William	細胞分化について予習	
4	骨格筋細胞分化の評価	講義（遠隔または対面）	Addison William	骨格筋幹細胞について予習	
5	骨格筋萎縮モデルの作製法	講義（遠隔または対面）	古株　彰一郎	骨格筋の萎縮について予習	

2025年度　　科目コード： 214116

骨･骨格筋の分子生物学

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講義	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	古株　彰一郎						
担当教員	古株　彰一郎						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
6	骨格筋萎縮の評価	講義（遠隔または対面）	古株　彰一郎	サルコペニアについて予習	
7	初代培養骨格筋幹細胞の採取と培養	講義（遠隔または対面）	Addison William	初代培養について予習	
8	骨芽細胞分化モデルの作製	講義（遠隔または対面）	松原　琢磨	骨芽細胞について予習	
9	骨芽細胞分化の評価I	講義（遠隔または対面）	松原　琢磨	骨芽細胞の分化について予習	
10	骨芽細胞分化の評価II	講義（遠隔または対面）	松原　琢磨	骨芽細胞の石灰化について予習	
11	マウス頭蓋冠からの骨芽細胞採取法と培養	講義（遠隔または対面）	古株　彰一郎	骨芽細胞と骨細胞の関係について予習	
12	骨髄間質幹細胞の採取法と培養	講義（遠隔または対面）	古株　彰一郎	骨髄間葉系幹細胞について予習	
13	破骨細胞分化モデルの作製法	講義（遠隔または対面）	松原　琢磨	破骨細胞について予習	
14	破骨細胞分化モデルの評価法I	講義（遠隔または対面）	松原　琢磨	破骨細胞の分化について予習	
15	破骨細胞分化モデルの評価法II	講義（遠隔または対面）	松原　琢磨	骨粗鬆症など骨代謝性疾患について予習	

2025年度　　科目コード： 214117

感染症の分子生物学

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講義	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	有吉　渉						
担当教員	有吉　渉,山﨑　亮太						

授業の概要

感染症を病原体-宿主相互作用という観点から捉え、これに関わる病原微生物と宿主の感染防御システムである免疫について分子生物学的に解説する。さらに、現在展開されている感染症に関する医歯工連携研究の一部を紹介し、新しい機序に基づく健康・医療技術シーズの創出を担う複眼的視点を持つ人材育成を目指す。

学生の到達目標

① 感染に関わる病原体側の因子を説明できる。
② バイオフィルムの機能や細菌間情報伝達機構を説明できる。
③ 口腔内の感染症について分子生物学およびマイクロバイオームの観点から説明できる。
④ 免疫による病原体の認識機構と排除機構を説明できる。
⑤ サイトカインや炎症性メディエーターを説明できる。
⑥ パターン認識受容体を説明できる。
⑦ 炎症応答における免疫細胞の機能を説明できる。
⑧ 口腔内の病原体排除機構を説明できる。
⑨ 感染症に対する診断、予防、治療を説明できる。
⑩ インフラマソームを説明できる。
⑪ 骨リモデリングの分子メカニズムを説明できる。
⑫ 骨代謝における免疫系の関与を説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
事前に資料を配布の上、学習項目を提示。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	100%

その他

【オフィスアワー】講義・演習の前後、またはメールで受け付ける。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	病原微生物の分子生物学Ⅰ： 感染症学に必要な分子生物学および細菌学の概要を学ぶ。	講義	山﨑　亮太 有吉　渉	【事前学修】配布資料の精読	Moodle Microsoft Teams

2025年度　　科目コード： 214117

感染症の分子生物学

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講義	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	有吉　渉						
担当教員	有吉　渉,山﨑　亮太						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
2	病原微生物の分子生物学Ⅱ： 病原体のもつ定着因子や内毒素について学ぶ。	講義	山﨑　亮太 有吉　渉	【事前学修】配布資料の精読	Moodle Microsoft Teams
3	病原微生物の分子生物学Ⅲ： バイオフィルムの構造や機能について学ぶ。	講義	山﨑　亮太 有吉　渉	【事前学修】配布資料の精読	Moodle Microsoft Teams
4	病原微生物の分子生物学Ⅳ： 口腔内の細菌のもつ病原因子について学ぶ。	講義	山﨑　亮太 有吉　渉	【事前学修】配布資料の精読	Moodle Microsoft Teams
5	病原微生物の分子生物学Ⅴ： マイクロバイオームの生態と機能について学ぶ。	講義	山﨑　亮太 有吉　渉	【事前学修】配布資料の精読　【事後学修】レポート作成	Moodle Microsoft Teams
6	感染防御の分子生物学Ⅰ： 免疫学の学習に必要な分子生物学の概要について学ぶ。	講義	有吉　渉 山﨑　亮太	【事前学修】：配布資料の精読	Moodle Microsoft Teams
7	感染防御の分子生物学Ⅱ： 自然免疫による異物の認識と抗原排除に関するメカニズムについて学ぶ。	講義	有吉　渉 山﨑　亮太	【事前学修】配布資料の精読	Moodle Microsoft Teams
8	感染防御の分子生物学Ⅲ： 体液性免疫による異物の認識と抗原排除に関するメカニズムについて学ぶ。	講義	有吉　渉 山﨑　亮太	【事前学修】配布資料の精読	Moodle Microsoft Teams
9	感染防御の分子生物学Ⅳ： 細胞性免疫による異物の認識と抗原排除に関するメカニズムについて学ぶ。	講義	有吉　渉 山﨑　亮太	【事前学修】配布資料の精読	Moodle Microsoft Teams
10	感染防御の分子生物学Ⅴ： 唾液および抗菌物質など、口腔内の感染防御機構について学ぶ。	講義	有吉　渉 山﨑　亮太	【事前学修】配布資料の精読	Moodle Microsoft Teams
11	感染防御の分子生物学Ⅵ： 病因論に基づいた感染症の診断、予防、治療について学ぶ。	講義	有吉　渉 山﨑　亮太	【事前学修】配布資料の精読	Moodle Microsoft Teams

2025年度　　科目コード： 214117

感染症の分子生物学

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講義	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	有吉　渉						
担当教員	有吉　渉,山﨑　亮太						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
12	感染防御の分子生物学VII： 炎症応答におけるインフラマソームの活性化メカニズムについて学ぶ。	講義	有吉　渉 山﨑　亮太	【事前学修】配布資料の精読 【事後学修】レポート作成	Moodle Microsoft Teams
13	炎症性骨破壊Ⅰ： 骨リモデリングの制御システムについて学ぶ。	講義	有吉　渉 山﨑　亮太	【事前学修】配布資料の精読	Moodle Microsoft Teams
14	炎症性骨破壊Ⅱ： 骨代謝の制御に関わる様々な免疫調節分子について学ぶ。	講義	有吉　渉 山﨑　亮太	【事前学修】配布資料の精読	Moodle Microsoft Teams
15	炎症性骨破壊Ⅲ： 骨免疫学を応用した炎症性骨吸収に対する治療アプローチについて学ぶ。	講義	有吉　渉 山﨑　亮太	【事前学修】配布資料の精読 【事後学修】レポート作成	Moodle Microsoft Teams

2025年度　　科目コード： 215011

臨床研究デザインⅠ

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	前期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	角舘　直樹						
担当教員	角舘　直樹,唐木　純一						

授業の概要

本講義では、臨床研究の基礎的内容を学習し、臨床研究デザインについて理解する。また、各自で考えた診療現場における疑問に基づいて文献を検索し、選んだ論文を批判的に吟味してプレゼンテーションを行うことで、Evidence-Based Dentistry(EBD)の実践力を養う。

学生の到達目標

１．診療上の疑問をリサーチクエスチョンにすることができる。２．臨床研究デザインの概略を理解する。３．適切な臨床研究デザインを選択できる。４．臨床研究論文・構造化抄録の批判的吟味ができる。５．Evidence-Based Dentistryを実践できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
Evidence-Based Dentistry入門		永末書店

参考書

タイトル	著者	出版社
医学的研究のデザインー研究の質を高める疫学的アプローチー第3版		メディカルサイエンスインターナショナル社
歯科診療に基づく研究・英語論文執筆ガイド		医歯薬出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
演習の成果物	60%
発表会	40%

その他

開講日程の事前確認：履修希望者は科目責任者に連絡し、講義日程を事前に確認した上で履修届を提出してください。【オフィスアワー】講義の前後、またはメールにて随時受付。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	臨床研究とEBD：臨床研究とEBDの関係について学び、臨床研究の全体像を理解する。	講義	角舘　直樹	予習：EBDの定義復習：エビデンスレベル	３１２講義室

2025年度　　科目コード： 215011

臨床研究デザインⅠ

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	前期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	角舘　直樹						
担当教員	角舘　直樹,唐木　純一						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
2	研究デザイン：各種の臨床研究デザインについて学び、その利点と欠点について理解する。	講義	角舘　直樹	予習：研究デザイン復習：横断研究、症例対照研究、コホート研究、ランダム化比較試験	３１２講義室
3	臨床研究におけるバイアスについて：バイアスについて学び、主に3大バイアスについて理解する。	講義	角舘　直樹	予習：バイアス復習：3大バイアス	３１２講義室
4	批判的吟味①（観察研究）：観察研究に関する論文の批判的吟味の方法について理解し、実際に行う。	講義＋演習	角舘　直樹	予習：課題論文の読解復習：スクリーニングについて	３１２講義室
5	批判的吟味②（介入研究）：ランダム化比較試験（RCT）に関する論文の批判的吟味の方法について理解し、実際に行う。	講義＋演習	角舘　直樹	予習：課題論文の読解復習：RCT論文の批判的吟味	３１２講義室
6	臨床研究論文・構造化抄録の読み方：臨床研究論文の構成および構造化抄録の読解方法を学ぶ。	講義	角舘　直樹	予習：論文の構成復習：論文読解のポイント	３１２講義室
7	システマティックレビュー・メタアナリシス・診療ガイドライン：データ統合型研究・診療ガイドラインの詳細について学び、その評価方法について理解する。	講義＋演習	角舘　直樹	予習：システマティックレビュー復習：メタアナリシス	３１２講義室
8	批判的吟味③（システマティックレビュー・メタアナリシス）：システマティックレビュー・メタアナリシスに関する論文の批判的吟味の方法について理解し、実際に行う。	講義＋演習	角舘　直樹	予習：課題論文の読解復習：論文の批判的吟味方法	３１２講義室
9	診療上の疑問の定式化：各自のリサーチクエスチョンをPICOのフォーマットを用いて定式化する。	講義＋演習	角舘　直樹	予習：疑問の定式化復習：PICOを用いた定式化	３１２講義室
10	情報検索演習①：文献検索方法について学び、PICOに基づいて実際にPubMed等を用いて文献検索する。	講義＋演習	角舘　直樹	予習：文献検索方法について復習：PubMed、医中誌を用いた検索	コンピュータ演習室

2025年度　　科目コード： 215011

臨床研究デザインⅠ

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	前期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	角舘　直樹						
担当教員	角舘　直樹,唐木　純一						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
11	情報検索演習②：Cochrane Library, Mindsを用いて、システマティックレビューや診療ガイドラインを検索する。	講義＋演習	角舘　直樹	予習：Cochrane Library/Minds復習：システマティックレビュー・診療ガイドライン	コンピュータ演習室
12	情報検索演習③：PubMed等を用いて、受講者自身の診療上の疑問に基づいて文献検索する。	演習	角舘　直樹	予習：文献検索方法について復習：文献検索結果のまとめを作成	コンピュータ演習室
13	プレゼンテーションスライド作成：各自で選んで批判的吟味した論文についてスライドを作成し、発表資料を作成し、質疑応答を行う。	演習	角舘　直樹	予習：発表資料の作成復習：発表資料の修正	３１２講義室
14	論文の批判的吟味発表会①：各自で検索した論文を読解して批判的吟味をした結果を発表する。	演習	角舘　直樹 唐木　純一	予習：発表用スライド準備復習：スライド修正	３１２講義室
15	論文の批判的吟味発表会②：各自で検索した論文を読解して批判的吟味をした結果を発表する。	演習	角舘　直樹 唐木　純一	予習：発表用スライド準備復習：スライド修正	３１２講義室

2025年度　　科目コード： 215012

臨床研究デザインII

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	角舘　直樹						
担当教員	角舘　直樹,唐木　純一						

授業の概要

本講義では、臨床研究の専門的な知識および臨床研究を実践する上での応用力を養う。また演習では診療現場における実際の疑問に基づいて研究をデザインし、プロトコールを作成するための能力を養う。最後に研究プロトコールの発表会を行う。

学生の到達目標

１．臨床疫学研究の計画から実施までの流れを理解できる。２．各自の診療上の疑問を定式化することができる。３．研究デザインを立案できる。４．基本的な統計学的分析方法を理解できる。　５．研究プロトコールを作成することができる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
Evidence-Based Dentistry 入門		永末書店

参考書

タイトル	著者	出版社
医学的研究のデザインー研究の質を高める疫学的アプローチー第3版		メディカルサイエンスインターナショナル社
歯科診療に基づく研究・英語論文執筆ガイド		医歯薬出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
演習の成果物	60%
発表会	40%

その他

開講日程の事前確認：履修希望者は科目責任者に連絡し、講義日程を事前に確認した上で履修届を提出してください。【オフィスアワー】講義の前後、またはメールにて随時受付。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	疑問の定式化：各自の診療上の疑問を用いてPICOのフォーマットを用いて定式化することの意義を学び、実践する。	講義	角舘　直樹	予習：PICOについて 復習：Finerチェックについて	３１２講義室

2025年度　　科目コード： 215012

臨床研究デザインII

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	角舘　直樹						
担当教員	角舘　直樹,唐木　純一						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
2	バイアスの制御①：情報バイアス、選択バイアスなどについて理解し、その対処法を学ぶ。	講義＋演習	角舘　直樹	予習：研究デザイン復習：情報バイアスと選択バイアスの制御方法	３１２講義室
3	バイアスの制御②：交絡バイアスについて理解し、それを制御する方法について学ぶ。	講義＋演習	角舘　直樹	予習：交絡バイアス復習：交絡バイアスの制御方法	３１２講義室
4	概念モデルの作成：第３の因子について学び、自らの仮説に基づいて概念モデルを作成する。	講義＋演習	角舘　直樹	予習：概念モデル復習：概念モデルの作成	３１２講義室
5	研究デザインの立案①：自らの臨床上の疑問を解決するために適切な臨床研究デザインを選択する。	演習	角舘　直樹	予習：臨床研究デザイン復習：各種の研究デザインの利点・欠点	３１２講義室
6	研究デザインの立案②：自らの臨床上の疑問を解決するために臨床研究をデザインを立案・計画する。	演習	角舘　直樹	予習：臨床研究デザイン復習：各種の研究デザインの利点・欠点	３１２講義室
7	文献検索演習①：文献検索方法について理解し、各自のPICOを基に文献検索する。	演習	角舘　直樹	予習：文献検索方法復習：PubMed、医中誌、Mindsの検索	３１２講義室 コンピュータ演習室
8	文献検索演習②：文献検索方法について理解し、各自のPICOを基に文献検索する。	演習	角舘　直樹	予習：文献検索方法復習：PubMed、医中誌、Mindsの検索	３１２講義室 コンピュータ演習室
9	質問票の作成/研究計画書の倫理委員会への申請：質問票の作り方を学び、実際に各自の質問項目を考える。また、研究計画書の作成方法・疫学研究における医療倫理について学び、実際に倫理委員会への書類提出のプロセスについて理解する。	講義＋演習	角舘　直樹	予習：質問紙調査、各種倫理指針・利益相反等復習：質問票の作成、倫理委員会提出のプロセス	３１２講義室
10	統計解析の基本①：データの種類と取扱い方について学び、相関について学習する。	講義	角舘　直樹	予習：データの種類について復習：相関について	３１２講義室

2025年度　　科目コード： 215012

臨床研究デザインII

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～4 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	角舘　直樹						
担当教員	角舘　直樹,唐木　純一						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
11	統計解析の基本②：仮説検定の方法について学び、カイ2乗検定およびt検定について学習する。	講義＋演習	角舘　直樹	予習：仮説検定について復習：カイ2乗検定、t検定	３１２講義室
12	統計解析の基本③：多変量解析、生存分析をはじめとする様々な統計学的分析方法について学習する。	講義	角舘　直樹	予習: 多変量解析、生存分析について復習：各種の統計学的分析方法について	３１２講義室
13	プレゼンテーションスライド作成：各自で作成した研究計画についてプレゼンテーションの準備を行う。	演習	角舘　直樹	予習：発表用スライド準備復習：スライド修正	３１２講義室
14	研究プロトコール最終発表会①：各自で作成した研究計画についてプレゼンテーションを行う。	演習	角舘　直樹 唐木　純一	予習：発表用スライド準備復習：スライド修正	３１２講義室
15	研究プロトコール最終発表会②：各自で作成した研究計画についてプレゼンテーションを行う。	演習	角舘　直樹 唐木　純一	予習：発表用スライド準備復習：スライド修正	３１２講義室

2025年度　　科目コード： 215013

高齢期歯科疾患概論Ⅰ

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～3 年	**開講期**	前期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	唐木　純一						
担当教員	唐木　純一,久保田　潤平,多田　葉子,磯部　彩香						

授業の概要

高齢期歯科疾患概論1（講義・演習）では、高齢者の身体的・社会的・精神的特徴について理解し、現在高齢者を取り巻く医療・介護制度についての把握をする。また、高齢期における歯科疾患の特徴を把握したうえで、口腔環境改善を通じた健康増進の観点から高齢者支援の知識を養う。

学生の到達目標

１．高齢者の身体的な変化と口腔領域の老化を理解する。
２．高齢者を取り巻く社会状況、医療・介護制度について理解する。
３．高齢期に多い歯科疾患を理解する。

テキスト

タイトル	著者	出版社
教科書は特に用いず、講義・演習プリントを配布する。各自の必要性に応じて参考書を購入すればよいが、どの参考書がよいか分からないときは随時相談に応じる。		

参考書

タイトル	著者	出版社
老年医学への招待	中村重信	南山堂
高齢者歯科ガイドブック	植松宏・渡邉誠・稲葉繁	医歯薬出版

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	100%

その他

随時学習相談に対応する。本科目は大学間連携共同教育推進事業科目に設定されている。複数大学の学生が受講する可能性が高いため、状況に応じて対面講義と遠隔講義（zoom,teams,オンデマンド）のいずれかを行う。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	高齢者医療を取り巻く現状①	講義	唐木　純一 久保田　潤平 多田　葉子 磯部　彩香	少子高齢化の進行と課題	

2025年度　　科目コード： 215013

高齢期歯科疾患概論Ⅰ

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～3 年	**開講期**	前期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	唐木　純一						
担当教員	唐木　純一,久保田　潤平,多田　葉子,磯部　彩香						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
2	高齢者医療を取り巻く現状②	講義	唐木　純一 久保田　潤平 多田　葉子 磯部　彩香	高齢者医療制度	
3	高齢者医療を取り巻く現状③	講義	唐木　純一 久保田　潤平 多田　葉子 磯部　彩香	終末期医療	
4	高齢者に多い口腔内疾患の特徴①	講義	唐木　純一 多田　葉子 磯部　彩香 久保田　潤平	バイオフィルム	
5	高齢者に多い口腔内疾患の特徴②	講義	唐木　純一 多田　葉子 磯部　彩香 久保田　潤平	口腔乾燥症	
6	高齢者に多い口腔内疾患の特徴③	講義	唐木　純一 多田　葉子 磯部　彩香 久保田　潤平	機能的口腔ケア	
7	口腔衛生管理と感染症①	講義	多田　葉子 磯部　彩香 久保田　潤平 唐木　純一	口腔機能	
8	口腔衛生管理と感染症②	講義	久保田　潤平 多田　葉子 磯部　彩香 唐木　純一	口腔機能向上	
9	口腔衛生管理と感染症③	講義	久保田　潤平 多田　葉子 磯部　彩香 唐木　純一	歯周病	
１０	要介護高齢者の訪問歯科診療①	講義	多田　葉子 磯部　彩香 唐木　純一 久保田　潤平	介護度	
１１	要介護高齢者の訪問歯科診療②	講義	多田　葉子 磯部　彩香 唐木　純一 久保田　潤平	介護老人福祉施設	
１２	要介護高齢者の訪問歯科診療③	講義	多田　葉子 磯部　彩香 唐木　純一 久保田　潤平	栄養摂取方法	

2025年度　　科目コード： 215013

高齢期歯科疾患概論Ⅰ

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～3 年	**開講期**	前期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	唐木　純一						
担当教員	唐木　純一,久保田　潤平,多田　葉子,磯部　彩香						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
１３	口腔内の環境に関する基礎知識と口腔ケア①	講義・演習	唐木　純一 磯部　彩香 多田　葉子 久保田　潤平	う蝕	
１４	口腔内の環境に関する基礎知識と口腔ケア②	講義・演習	唐木　純一 磯部　彩香 多田　葉子 久保田　潤平	誤嚥性肺炎	
１５	学際領域としての高齢者医療に対するアプローチ③	講義・演習	唐木　純一 久保田　潤平 多田　葉子 磯部　彩香	QOL(Quality of Life)	

2025年度　　科目コード： 215014

高齢期歯科疾患概論 II

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～3 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	唐木　純一						
担当教員	唐木　純一,久保田　潤平,多田　葉子,磯部　彩香						

授業の概要

高齢期歯科疾患概論2では、高齢期における歯科疾患の特徴と全身状態との関連について把握するとともに、高齢者歯科医学の隣接分野や患者報告型アウトカムについて学ぶことで、健康増進の観点から高齢者支援の知識を養うことを目的とする。

学生の到達目標

1.高齢期に多く見られる口腔関連疾患について理解する。
2 高齢者歯科医療分野における患者報告型アウトカム、QOLの重要性について理解する。
3.高齢者歯科医学の隣接分野の知識を得る。

テキスト

タイトル	著者	出版社
教科書は特に用いず、講義・演習プリントを配布する。各自の必要性に応じて参考書を購入すればよいが、どの参考書がよいか分からないときは随時相談に応じる。		

参考書

タイトル	著者	出版社
高齢者歯科ガイドブック	中村重信	南山堂

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	100%

その他

随時学習相談に対応する。本科目は大学間連携共同教育推進事業科目に設定されている。複数大学の学生が受講する可能性が高いため、状況に応じて対面講義と遠隔講義（zoom,teams,オンデマンド）のいずれかを行う。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	高齢者医療に関する保険制度①	講義	唐木　純一 久保田　潤平 多田　葉子 磯部　彩香	介護保険制度	その他
2	高齢者医療に関する保険制度②	講義	唐木　純一 久保田　潤平 多田　葉子 磯部　彩香	医療保険制度	その他

2025年度　　科目コード： 215014

高齢期歯科疾患概論Ⅱ

開講学科	歯学専攻			開講年次	1～3 年	開講期	後期
必修/選択	選択	授業方法	講・演	時間数	30	単位数	2
科目責任者	唐木　純一						
担当教員	唐木　純一,久保田　潤平,多田　葉子,磯部　彩香						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
3	QOL（生活の質）とPRO(患者報告型アウトカム)①	講義	唐木　純一 久保田　潤平 多田　葉子 磯部　彩香	健康関連QOL	その他
4	QOL（生活の質）とPRO(患者報告型アウトカム)②	講義	唐木　純一 久保田　潤平 多田　葉子 磯部　彩香	患者報告型アウトカム	その他
5	認知症①	講義	唐木　純一 久保田　潤平 多田　葉子 磯部　彩香	中核症状	その他
6	認知症②	講義	唐木　純一 久保田　潤平 多田　葉子 磯部　彩香	周辺症状	その他
7	災害と歯科①	講義	唐木　純一 久保田　潤平 多田　葉子 磯部　彩香	DMAT	その他
8	災害と歯科②	講義	唐木　純一 久保田　潤平 多田　葉子 磯部　彩香	災害拠点病院	その他
9	災害と歯科③	講義	唐木　純一 久保田　潤平 多田　葉子 磯部　彩香	広域災害救急医療情報システム	その他
１０	摂食嚥下障害と誤嚥性肺炎①	講義	唐木　純一 久保田　潤平 多田　葉子 磯部　彩香	摂食嚥下障害のスクリーニング検査	その他
１１	摂食嚥下障害と誤嚥性肺炎②	講義	唐木　純一 久保田　潤平 多田　葉子 磯部　彩香	間接訓練	その他
１２	摂食嚥下障害と誤嚥性肺炎③	講義	唐木　純一 久保田　潤平 多田　葉子 磯部　彩香	直接訓練	その他
１３	高齢者の臨床評価①	講義・演習	唐木　純一 久保田　潤平 多田　葉子 磯部　彩香	臨床評価	その他

2025年度　　科目コード： 215014

高齢期歯科疾患概論 II

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～3 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講・演	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	唐木　純一						
担当教員	唐木　純一,久保田　潤平,多田　葉子,磯部　彩香						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
１４	高齢者の臨床評価②	講義・演習	唐木　純一 久保田　潤平 多田　葉子 磯部　彩香	臨床評価	その他
１５	学際領域としての高齢者医療に対するアプローチ	講義・演習	唐木　純一 久保田　潤平 多田　葉子 磯部　彩香	高齢者医療の問題点	その他

2025年度　　科目コード： 215021

高分子物性論

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1〜2 年	**開講期**	後期
必修/選択	選択	**授業方法**	講義	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	(非)望月　慎一						
担当教員	(非)望月　慎一						

授業の概要

タンパク質などの生体高分子や医療材料につかわれるシリコンなどの合成高分子の理解に不可欠な高分子物性の基礎に関して学ぶ。

学生の到達目標

医療分野で使われるプラスチック材料の理解に、必要な高分子の性質の基礎について、分子量、結晶化、レオロジー、散乱に関して理解をする。

参考書

タイトル	著者	出版社
基礎高分子科学(2006, ISBN 978-4-8079-0635-2)	高分子学会	東京化学同人
高分子の物理学(1994, ISBN 978-4-7853-2056-0)	田中文彦	裳華房

成績評価方法・基準

評価項目	割合
レポート	100%

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	高分子とは	講義			
2	分子鎖の形態	講義			
3	高分子のコンフィギュレーション	講義			
4	高分子のコンフォメーション	講義			
5	結晶化状態	講義			
6	一次結晶化	講義			
7	二次結晶化	講義			
8	エントロピー弾性力	講義			
9	粘弾性	講義			
10	誘電性	講義			
11	界面物性	講義			
12	高分子と散乱　I	講義			
13	高分子と散乱　II	講義			
14	高分子と散乱　III	講義			
15	まとめ	講義			

2025年度　　科目コード： 215022

生体材料論

開講学科	歯学専攻			開講年次	1〜2 年	開講期	前期
必修/選択	選択	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	(非)中澤　浩二						
担当教員	(非)中澤　浩二						

授業の概要

生体材料は、医療器具、再生医療、人工臓器、細胞培養などのライフサイエンス分野において欠くことのできない材料である。本講義では、生体材料として利用される材料の種類とその特徴、生体材料に求められる条件、さらには材料と生体間で起こる反応について理解する

学生の到達目標

１．生体材料の特徴と必要条件を理解する。２．材料と生体間で起こる反応を理解する。３．生体材料の設計や開発に必要な知識を修得する。４．生体材料の開発に関する近年の動向を知る。５．生体適合性を高めるための方針やアイデアを提案できる。

参考書

タイトル	著者	出版社
新版ヴィジュアルでわかるバイオマテリアル(2011, ISBN 978-4-7809-0845-9)	古薗勉・岡田正弘	秀潤社
先端バイオマテリアルハンドブック(2012, ISBN 978-4-86469-003-4)	秋吉一成・石原一彦・山岡哲二監修	NTS

成績評価方法・基準

評価項目	割合
積極的な授業参加	30%
レポート	70%

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	バイオマテリアルとは	講義			
2	バイオマテリアルの必要条件	講義			
3	生体適合性	講義			
4	異物反応	講義			
5	マテリアルと生体反応	講義			
6	マテリアルの界面設計	講義			
7	安全性試験	講義			
8	金属	講義			
9	セラミックス	講義			
10	高分子	講義			
11	天然高分子	講義			
12	プレゼンと討論 1 （前半組）	講義			

2025年度　　科目コード： 215022

生体材料論

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～2 年	**開講期**	前期
必修/選択	選択	**授業方法**	講義	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	(非)中澤　浩二						
担当教員	(非)中澤　浩二						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
13	プレゼンと討論 2 （後半組）	講義			
14	総合討論	講義			
15	まとめ	講義			

2025年度　　科目コード： 215032

生体力学

開講学科	歯学専攻			開講年次	1〜2 年	開講期	前期
必修/選択	選択	授業方法	講義	時間数	32	単位数	2
科目責任者	(非)山田　宏						
担当教員	(非)山田　宏						

授業の概要

身体各部は内外で生じる力を受けており、その機能や挙動の一部は力学的現象である。生体現象と力学的因子との関係の解明は工学的観点から健康増進や障害・疾病の予防を支援する第一歩となる。本講義では筋骨格系等における生体組織の力学特性と工学的アプローチの習得のため、固体力学の立場から生体の構造、機能と応答を評価・解析する方法論を教授する。

学生の到達目標

１．バイオメカニクスの概要と関連分野を説明できる。　２．ニュートン力学の理論に基づいて筋骨格系に働く力を計算できる。　３．材料力学の考え方に基づいて骨や歯の力学特性や応力状態を説明できる。　４．粘弾性理論に基づいて生体軟組織の応力緩和やクリープ変形を説明できる。　５．連続体力学の考え方に基づいて生体軟組織の大変形を説明できる。　６．組織と細胞の材料力学試験と有限要素法による応力・ひずみ解析の方法を説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
力学の基礎とバイオメカニクス	山田宏	コロナ社

参考書

タイトル	著者	出版社
講義内で紹介する		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
各回の講義の中で課す小課題	40%
調査学習の発表・レポート	60%

その他

学生相談：随時 遠隔授業を受講可能。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	バイオメカニクスの概要と関連分野	講義		文献、参考書予習	
2	無重量状態での身体の力学的状態	講義		講義・演習の予復習	
3	静止状態で筋骨格系に働く力	講義		講義・演習の予復習	
4	硬組織の微小変形	講義		講義・演習の予復習	
5	骨や歯の力学特性（正常・修復状態）	講義		講義・演習の予復習	

2025年度　　科目コード： 215032

生体力学

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1～2 年	**開講期**	前期
必修/選択	選択	**授業方法**	講義	**時間数**	32	**単位数**	2
科目責任者	(非)山田　宏						
担当教員	(非)山田　宏						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
6	軟組織の粘弾性特性	講義		講義・演習の予復習	
7	調査学習（範囲：第１～６回）	演習		調査の準備と復習	
8	調査学習の発表（範囲：第１～６回）	演習		調査の準備と復習	
9	能動的収縮力を発揮する骨格筋の力学特性	講義		講義・演習の予復習	
10	軟組織の大変形	講義		講義・演習の予復習	
11	心臓・血管の力学特性１（生理的機能）	講義		講義・演習の予復習	
12	心臓・血管の力学特性２（加齢・病変）	講義		講義・演習の予復習	
13	衝撃を受ける生体組織の動的力学特性	講義		講義・演習の予復習	
14	組織・細胞の材料力学試験と有限要素解析	講義		講義・演習の予復習	
15	調査学習（範囲：第９～14回）	演習		調査の準備と復習	
16	調査学習の発表（範囲：第９～14回）	演習		調査の準備と復習	

2025年度　　科目コード： 215041

産業医学研究基盤コース

開講学科	歯学専攻			開講年次	1 年	開講期	前期
必修/選択	選択	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	(非)久岡　正典						
担当教員	(非)久岡　正典						

授業の概要

産業医学研究を進めるにあたって、医学倫理・研究倫理、研究における利益相反、疫学・統計学基礎、英語論文作成方法等の基盤的な専門知識と技能、ならびに、研究を企画・遂行できる能力を修得する。
学術的意義、新規性、創造性等を有する研究について、倫理性を備えて企画・推進・実施することを目標とし、その基盤を構築する。

学生の到達目標

１．大学院の使命を論じることができる。
２．トランスレーショナルリサーチについて説明できる。
３．医学倫理・研究倫理について説明できる。
４．研究における利益相反について説明できる。
５．産業医学研究における疫学の手法について説明できる。
６．基本的な統計学的手法を使うことができる。
７．論文投稿・発表の倫理について説明できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
講義の中で必要に応じ紹介する。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
発表等	60%
討論等	20%
レポート等	20%

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	大学院の使命	講義		-	
2	医学研究法	講義		-	
3	トランスレーショナルリサーチ１	講義		-	
4	トランスレーショナルリサーチ２	講義		-	
5	医学研究の倫理	講義		-	
6	研究における利益相反	講義		-	
7	統計学	講義		-	

2025年度　　科目コード： 215041

産業医学研究基盤コース

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1 年	**開講期**	前期
必修/選択	選択	**授業方法**	講義	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	(非)久岡　正典						
担当教員	(非)久岡　正典						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
8	組織形態学観察法についての基礎知識	講義		-	
9	英語論文作成手法	講義		-	
10	論文投稿・発表の倫理	講義		-	
11	研究用微生物の取り扱い	講義		-	
12	研究デザイン	講義		-	
13	遺伝子組換え実験講習会	講義		-	
14	動物実験を行う上での基礎知識	講義		-	
15	放射線及びラジオアイソトープの取り扱い	講義		-	

2025年度　　科目コード： 215042

医学研究概論

開講学科	歯学専攻			開講年次	1 年	開講期	前期
必修/選択	選択	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	(非)久岡　正典						
担当教員	(非)久岡　正典						

授業の概要

各専門領域における最新の医学研究（基礎医学や臨床医学）の基盤的な専門知識と技能、ならびに、研究を企画・遂行できる能力を修得し、研究を進めるにあたっての必要なリサーチマインドの熟成を目指す。
学術的意義、新規性、創造性等を有する研究について、高度な水準にある研究成果を論理的に説明て きること、および、倫理性を備えて企画・推進・実施することを目標とし、その基盤を構築する。

学生の到達目標

１．医学研究の目的や意義について説明できる。
２．最新の医学研究の動向について理解する。
３．医学研究の特徴と様々な方法について学び、研究の基本的なプロセスを理解する。
４．医学研究を行うにあたっての倫理的配慮および社会的責務について理解する。
５．実際の研究方法について、具体例を通じて理解する。
６．研究計画書の書き方を理解する。
７．研究成果を論理的に説明て きる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
講義の中で必要に応じ紹介する。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
発表等	60%
討論等	20%
レポート等	20%

その他

※　所属講座の教員の指導のもと、15コマを選択し受講すること。

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	構造形態と組織構造（第１解剖学）	講義		-	
2	機能形態と細胞構造（第２解剖学）	講義		-	

2025年度　　科目コード： 215042

医学研究概論

開講学科	歯学専攻			開講年次	1 年	開講期	前期
必修/選択	選択	授業方法	講義	時間数	30	単位数	2
科目責任者	(非)久岡　正典						
担当教員	(非)久岡　正典						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
3	法医診断学概論（法医学）	講義		-	
4	分子生物学概論（分子生物学）	講義		-	
5	分子標的薬（薬理学）	講義		-	
6	統合の生理機構（第１生理学）	講義		-	
7	生体防御と認識機構（免疫学・寄生虫学）	講義		-	
8	神経疾患の分子生物学（神経内科学）	講義		-	
9	臨床免疫学（第１内科学）	講義		-	
10	病態病理学（第１病理学）	講義		-	
11	感染病態学（微生物学）	講義		-	
12	臓器障害学概論（第１外科学）	講義		-	
13	臓器障害学概論（第２外科学）	講義		-	
14	運動器の機能と障害（整形外科学）	講義		-	
15	運動器障害学概論（リハビリテーション医学）	講義		-	
16	消化器障害（第３内科学）	講義		-	
17	皮膚病態学（皮膚科学）	講義		-	
18	尿路機能異常（泌尿器科学）	講義		-	
19	仮説提示の重要性（第２内科学）	講義		-	
20	医用画像から得られる最新生体情報（放射線科学）	講義		-	
21	びまん性肺疾患（呼吸器内科学）	講義		-	
22	脳腫瘍学（脳神経外科学）	講義		-	
23	遺伝学検査と遺伝カウンセリング（眼科学）	講義		-	
24	感音難聴の治療開発（耳鼻咽喉科・頭頸部外科学）	講義		-	
25	麻酔と患者転帰について（麻酔科学）	講義		-	
26	産婦人科癌の病因について（産科婦人科学）	講義		-	
27	小児造血器腫瘍学（小児科学）	講義		-	

2025年度　　科目コード： 215042

医学研究概論

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1 年	**開講期**	前期
必修/選択	選択	**授業方法**	講義	**時間数**	30	**単位数**	2
科目責任者	(非)久岡　正典						
担当教員	(非)久岡　正典						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
28	侵襲と免疫反応 （救急・集中治療医学）	講義		-	

2025年度　　科目コード： 215043

人間工学特論

開講学科	歯学専攻			開講年次	1 年	開講期	前期
必修/選択	選択	授業方法	講義	時間数	16	単位数	1
科目責任者	(非)榎原　毅						
担当教員	(非)榎原　毅						

授業の概要

人間工学を応用し、付加価値を高めるためのものづくりに関する最新知見を学ぶ。近年注目されているシステムズ・アプローチによる設計思想の基礎から、人間工学評価と対策立案までを身につける。また、オープンイノベーション・ワークショップ「エルゴノミクソン」を体験し、人間工学による設計手法・課題解決手法を体得する。

学生の到達目標

１．人間工学で知っておくべきものづくりの知識を概説できる。
２．人間中心設計・UXデザインの知識を概説し、その応用ができる。
３．人の生理学的測定・評価について説明できる。
４．ヒューマンエラーについて、その評価方法やその低減方法について説明できる。
５．組織人間工学や社会実装科学としての人間工学対策の基本的考え方について説明できる。
６．システムズ・アプローチによる社会課題の解決手法を実践できる。

テキスト

タイトル	著者	出版社
講義の中で必要に応じ紹介する。		

成績評価方法・基準

評価項目	割合
プレゼンテーション内容	40%
討議への参加度	20%
課題レポート	40%

授業計画

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
1	ものづくりに生かす人間工学	講義		-	
2	システムズ・アプローチとHuman Centered Design	講義		-	
3	コト・経験のデザイン（UXデザイン）と行動変容理論	講義		-	
4	人間工学評価１：人間工学で知っておくべき生理学的知識	講義		-	
5	人間工学評価２：ヒューマンエラーの評価と対策	講義		-	

2025年度　　科目コード： 215043

人間工学特論

開講学科	歯学専攻			**開講年次**	1 年	**開講期**	前期
必修/選択	選択	**授業方法**	講義	**時間数**	16	**単位数**	1
科目責任者	(非)榎原　毅						
担当教員	(非)榎原　毅						

回	学修内容	授業方法	担当教員	事前・事後学修課題	講義室等
6	人間工学対策１：座位行動の人間工学対策	講義		-	
7	人間工学対策２：組織人間工学と夜勤交代勤務	講義		-	
8	エルゴノミクソン・ワークショップ：社会課題の解決手法をまなぶ	講義・演習		-	